世 田 谷 区 民 意 識 調 査 2026

（令和８年（2026 年）５月実施）

世田谷区

はじめに

世田谷区では、日頃より、様々な形で区民の皆様から区政に対するご意見・ご要望をお聴かせいただいています。

区民意識調査も、こうした広聴事業のひとつとして、区政に対するニーズや意識とその変化を把握するために毎年実施しているもので、今回で５２回目となります。

本書は、本年実施した区民意識調査の結果を取りまとめたものです。今回の調査は、「定住性」「職員応対」など経年的な変化を把握するための調査項目に加え、「地域コミュニティ」「住まい」「里親制度」などに関する項目を調査対象といたしました。

この調査結果を今後の事業の見直しや政策立案の参考とさせていただくとともに、引き続き区民の皆様へのわかりやすい情報提供・情報発信に努め、行政への理解や関心を深めていただき、区民参加を更に推進してまいります。

最後に、調査実施にあたりまして、ご協力いただきました区民の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和８年（2026 年）９月

世田谷区

目　　次

調査概要 ····· 1
１．調査目的 ····· 3
２．調査項目 ····· 3
３．調査設計 ····· 3
４．標本設計 ····· 3
５．回収結果 ····· 6
６．この報告書のみかた ····· 7
７．標本誤差 ····· 7

標本構成 ····· 11
１．標本構成 ····· 13

質問と回答 ····· 17

調査結果 ····· 39

１．定住性 ····· 41
（１）居住年数 ····· 41
（２）暮らしの満足度 ····· 45
（３）幸福度 ····· 51
（４）住みやすさ ····· 55
（５）定住意向 ····· 60
（６）定住意向理由 ····· 66
（７）非定住意向理由 ····· 71
（８）地域における日常生活での困りごと ····· 73

２．区政 ····· 78
（１）区が積極的に取り組むべき事業 ····· 78

３．職員応対 ····· 82
（１）窓口応対 ····· 82
（２）印象が良かった点 ····· 85
（３）印象が悪かった点 ····· 88
（４）職員応対での注意点 ····· 90

４．広報 ・・・

11. 平和資料館 ····· 169
（1）せたがや未来の平和館（区立平和資料館）の認知度 ····· 169

12. 健康づくり ····· 172
（1）１日の歩行時間 ····· 172

13. 都市デザイン ····· 176
（1）ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み ····· 176
（2）区内の風景への興味・関心 ····· 178
（3）やってみたい風景づくり活動 ····· 181

14. 住まい ····· 183
（1）住居費要因による住みづらさ ····· 183
（2）住みづらいと感じている理由 ····· 188
（3）住みづらいと感じていない理由 ····· 193

15. 交通 ····· 197
（1）区の交通手段の満足度 ····· 197

16. 就労・起業 ····· 200
（1）キャリアアップへの興味 ····· 200
（2）キャリアアップについての考え方 ····· 202
（3）就労意向 ····· 204
（4）希望する働き方 ····· 206
（5）起業への関心 ····· 208
（6）起業に関する状況 ····· 210
（7）起業に関する情報・支援への興味 ····· 212

調　査　概　要

１．調査目的

この調査は、区民が区政に対してどのような意見・要望を持っているかを把握し、今後の区政を進めていくうえでの基礎資料とすることを目的としています。

２．調査項目

（１）定住性
（２）区政
（３）職員応対
（４）広報
（５）福祉と医療
（６）子育て
（７）里親制度
（８）災害時の備え
（９）地域コミュニティ
（10）男女共同参画
（11）平和資料館
（12）健康づくり
（13）都市デザイン
（14）住まい
（15）交通
（16）就労・起業

３．調査設計

（１）調 査 対 象　　世田谷区在住の満 15 歳以上の区民
（２）対　象　数　　5,000 人（内訳／日本国籍 4,821 人、外国籍 179 人）
（３）抽 出 方 法　　層化無作為抽出法
（４）調 査 方 法　　郵送配布・回収またはインターネットによる回答
（５）調 査 期 間　　令和８年（2026 年）５月 13 日～６月３日
（６）調 査 機 関　　株式会社アダムスコミュニケーション

４．標本設計

（１）母　集　団　　世田谷区在住の満 15 歳以上の区民
（２）対　象　数　　5,000 人
（３）抽 出 方 法　　層化無作為抽出法

【層　化】

世田谷区内を町丁目単位として、次の10地域に分類しそれぞれを層として計10層とした。

【標本数の配分】

各地域（層）における15歳以上の人口数（令和８年（2026年）４月１日現在）により、5,000の標本数を配分した。

【抽　出】

１地域ごとに［標本数の配分］にて設定した標本数を無作為抽出した。

地 域 別 町 丁 名 一 覧 表

地域	町丁目	
世田谷東部	池尻	１～４丁目
	下馬	１～６丁目
	三宿	１～２丁目
	太子堂	１～５丁目
	三軒茶屋	１～２丁目
	野沢	１～４丁目
	若林	１～５丁目
	上馬	１～５丁目
	駒沢	１～２丁目
世田谷西部	世田谷	１～４丁目
	弦巻	１～５丁目
	宮坂	１～３丁目
	桜	１～３丁目
	経堂	１～５丁目
	桜丘	１～５丁目
北沢東部	北沢	１～５丁目
	代沢	１～５丁目
	大原	１～２丁目
	羽根木	１～２丁目
	代田	１～６丁目
北沢西部	松原	１～６丁目
	梅丘	１～３丁目
	豪徳寺	１～２丁目
	赤堤	１～５丁目
	桜上水	１～５丁目
玉川北部	駒沢公園	
	駒沢	３～５丁目
	新町	１～３丁目
	深沢	１～８丁目
	桜新町	１～２丁目
	用賀	１～４丁目
	上用賀	１～６丁目
	玉川台	１～２丁目

地域	町丁目	
玉川南部	奥沢	１～８丁目
	東玉川	１～２丁目
	玉川田園調布	１～２丁目
	等々力	１～８丁目
	尾山台	１～３丁目
	玉堤	１～２丁目
玉川西部	中町	１～５丁目
	野毛	１～３丁目
	瀬田	１～５丁目
	上野毛	１～４丁目
	玉川	１～４丁目
砧北部	船橋	１～７丁目
	千歳台	１～６丁目
	祖師谷	１～６丁目
	砧	１～８丁目
	成城	１～９丁目
砧南部	大蔵	１～６丁目
	砧公園	
	岡本	１～３丁目
	鎌田	１～４丁目
	喜多見	１～９丁目
	宇奈根	１～３丁目
烏山	八幡山	１～３丁目
	南烏山	１～６丁目
	粕谷	１～４丁目
	北烏山	１～９丁目
	給田	１～５丁目
	上祖師谷	１～７丁目
	上北沢	１～５丁目

５．回収結果

（１）有効回収数　　2,477 人（内訳／日本国籍 2,411 人、外国籍 66 人）

（２）有効回収率　　49.5%

（内訳／郵送回収 1,419 通・57.3%、インターネット回収 1,058 通・42.7%）

回収結果内訳　（人口は令和８年（2026 年）４月１日現在）

			標本数A	15歳以上の人口数（母集団）	回収数B	回収率 C＝B／A
全体			5,000	828,884	2,477	49.5%
地区	世田谷	東部	820	135,988	352	42.9%
		西部	572	94,794	307	53.7%
	北沢	東部	413	68,485	193	46.7%
		西部	440	73,017	225	51.1%
	玉川	北部	465	77,021	240	51.6%
		南部	429	71,197	215	50.1%
		西部	332	55,065	159	47.9%
	砧	北部	613	101,595	312	50.9%
		南部	260	42,988	128	49.2%
	烏山		656	108,734	326	49.7%
	無回答		－	－	20	－
性別×年齢	男性	計	2,363	388,148	1,009	42.7%
		10歳代・20歳代	488	80,697	117	24.0%
		30歳代	362	59,273	120	33.1%
		40歳代	393	66,300	156	39.7%
		50歳代	418	71,055	194	46.4%
		60歳代	304	50,815	172	56.6%
		70歳代	239	36,172	161	67.4%
		80歳以上	159	23,836	89	56.0%
		無回答	－	－	－	－
	女性	計	2,637	440,736	1,399	53.1%
		10歳代・20歳代	463	82,525	127	27.4%
		30歳代	403	65,306	176	43.7%
		40歳代	469	73,062	231	49.3%
		50歳代	449	78,395	273	60.8%
		60歳代	317	53,087	246	77.6%
		70歳代	276	43,495	210	76.1%
		80歳以上	260	44,866	133	51.2%
		無回答	－	－	3	－
	その他		－	－	15	－
	無回答		－	－	54	－

６．この報告書のみかた

（１）百分比は回答者数（該当設問においては該当者数）を 100％として算出し、本文及び図表の数字はすべて小数点第２位を四捨五入してある。したがって、比率の合計が必ずしも 100.0％にならない場合がある。同様に、複数の回答の合計値も図表の数字が一致しない場合がある。

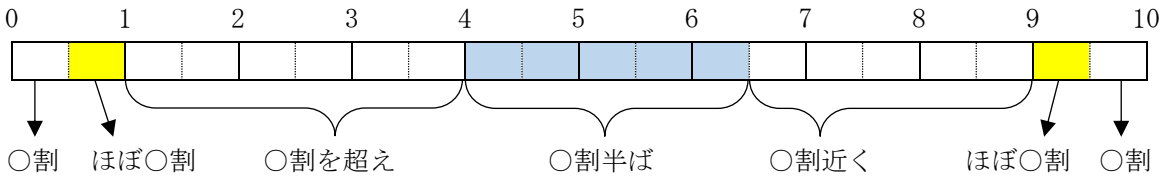
（２）設問中に特に指示がない限り、回答は１つである。

（３）複数回答の設問は、すべての比率の合計が 100.0％を超えることがある。

（４）設問に対して無回答があったクロス集計による分析では、各回答者数の合計が全体の回答者数と一致していない。

（５）基数が 30 に満たないデータについては参考値とする。

（６）数値を考察するにあたり、割合の表現は以下のとおりとしている。



（例：73.5％⇒７割を超え、38.3％⇒４割近く、59.5％⇒６割となる）

７．標本誤差

下記は標本誤差算出の数式である。

（標本誤差）　$$b = 2\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N＝母集団（世田谷区全体）
n＝比率算出の基礎（サンプル数）
p＝回答比率

Nはnより非常に大きいため、$\frac{N-n}{N-1} \fallingdotseq 1$とみなすことができるので、標準誤差の範囲は、次の標本誤差早見表のとおり求められる。

標 本 誤 差 早 見 表

基数(n) ＼ 回答比率(p)				10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
総数			2,477	± 1.2%	± 1.6%	± 1.8%	± 2.0%	± 2.0%
地域	世田谷	東部	352	± 3.2%	± 4.3%	± 4.9%	± 5.2%	± 5.3%
		西部	307	± 3.4%	± 4.6%	± 5.2%	± 5.6%	± 5.7%
	北沢	東部	193	± 4.3%	± 5.8%	± 6.6%	± 7.1%	± 7.2%
		西部	225	± 4.0%	± 5.3%	± 6.1%	± 6.5%	± 6.7%
	玉川	北部	240	± 3.9%	± 5.2%	± 5.9%	± 6.3%	± 6.5%
		南部	215	± 4.1%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.7%	± 6.8%
		西部	159	± 4.8%	± 6.3%	± 7.3%	± 7.8%	± 7.9%
	砧	北部	312	± 3.4%	± 4.5%	± 5.2%	± 5.5%	± 5.7%
		南部	128	± 5.3%	± 7.1%	± 8.1%	± 8.7%	± 8.8%
	烏 山		326	± 3.3%	± 4.4%	± 5.1%	± 5.4%	± 5.5%
性別	男 性		1,009	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.1%
	女 性		1,399	± 1.6%	± 2.1%	± 2.5%	± 2.6%	± 2.7%
年代	10・20歳代		248	± 3.8%	± 5.1%	± 5.8%	± 6.2%	± 6.4%
	30歳代		300	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
	40歳代		391	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 5.0%	± 5.1%
	50歳代		470	± 2.8%	± 3.7%	± 4.2%	± 4.5%	± 4.6%
	60歳代		421	± 2.9%	± 3.9%	± 4.5%	± 4.8%	± 4.9%
	70歳代		373	± 3.1%	± 4.1%	± 4.7%	± 5.1%	± 5.2%
	80歳以上		228	± 4.0%	± 5.3%	± 6.1%	± 6.5%	± 6.6%

基数(n) ＼ 回答比率(p)		10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
n = 2,500 の場合	(2,500)	± 1.2%	± 1.6%	± 1.8%	± 2.0%	± 2.0%
n = 2,000 の場合	(2,000)	± 1.3%	± 1.8%	± 2.0%	± 2.2%	± 2.2%
n = 1,500 の場合	(1,500)	± 1.5%	± 2.1%	± 2.4%	± 2.5%	± 2.6%
n = 1,000 の場合	(1,000)	± 1.9%	± 2.5%	± 2.9%	± 3.1%	± 3.2%
n = 800 の場合	(800)	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.5%	± 3.5%
n = 600 の場合	(600)	± 2.4%	± 3.3%	± 3.7%	± 4.0%	± 4.1%
n = 400 の場合	(400)	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
n = 200 の場合	(200)	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
n = 100 の場合	(100)	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%

（注）この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答数が 2,477 人であり、その設問の選択肢の回答比率が 40.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高で±2.0%である。」

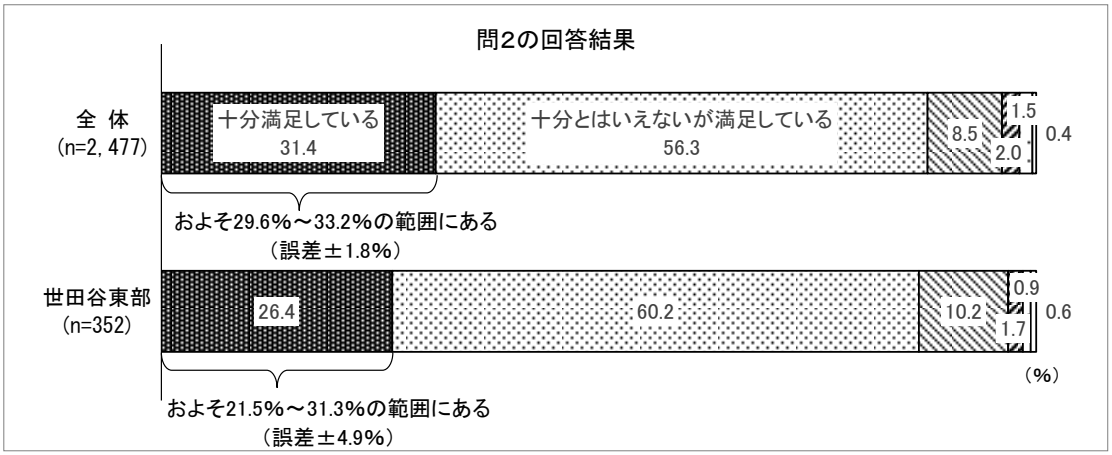
調査結果をみるうえでの留意点

１．標本誤差について

本調査は、区内在住の 15 歳以上の区民全員を対象とする全数調査ではなく、一部の区民を無作為に抽出して実施する標本調査である。そのため、調査結果には、母集団全体（15 歳以上の区民）を調査した場合の結果との差、すなわち標本誤差が生じる。標本誤差とは、「一部の回答者から得られた割合が、母集団全体の真の割合からどの程度ずれる可能性があるか」を示す統計上の目安である。

例えば、令和８年度（2026 年度）調査の有効回収数は 2,477 人である。問２の「十分満足している」の割合は 31.4%であり、標本誤差早見表（p8）の回答比率 30%をみると、誤差はおおむね±1.8%であることから、母集団全体における真の割合は、統計上の目安として 29.6%～33.2%の範囲にあると考えられる。

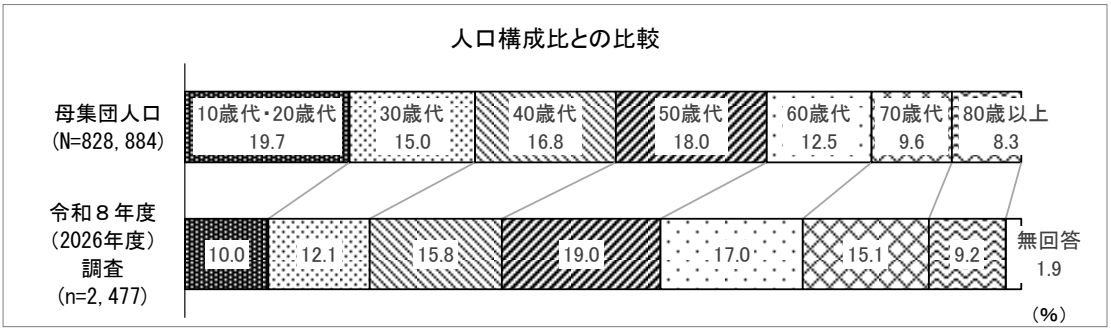
また、標本誤差は回答数（n）が少ないほど大きくなるため、問２の世田谷東部の場合、標本誤差はおおむね±4.9%であり、真の割合は 21.5%～31.3%の範囲にあると考えられる。



２．回収結果と人口構成比の差について

本調査の年代別回答者数と母集団の人口構成は完全には一致しない。令和８年（2026 年）４月１日時点の人口構成比と比較すると、本調査の回答者は、若い世代の割合が低く、高齢の世代の割合が高くなっている。これは、年代によって回収率に差があるためである（p6 参照）。このため、年代で意見が異なる質問では、実際より高齢の世代の回答の影響が強く反映される点に留意が必要となる。

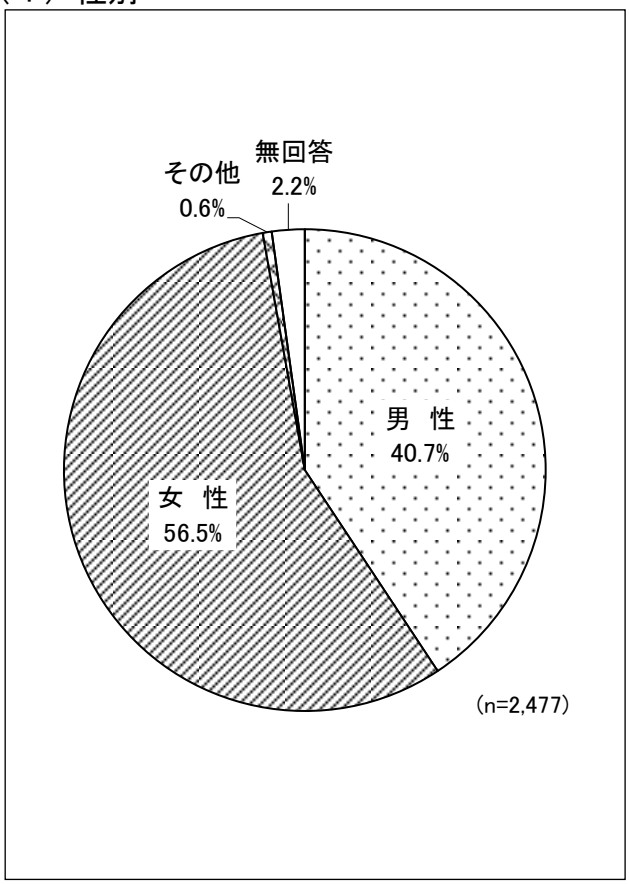
なお、女性の方が男性より回収率が高いことから、性別でも年代と同様のことがいえる。



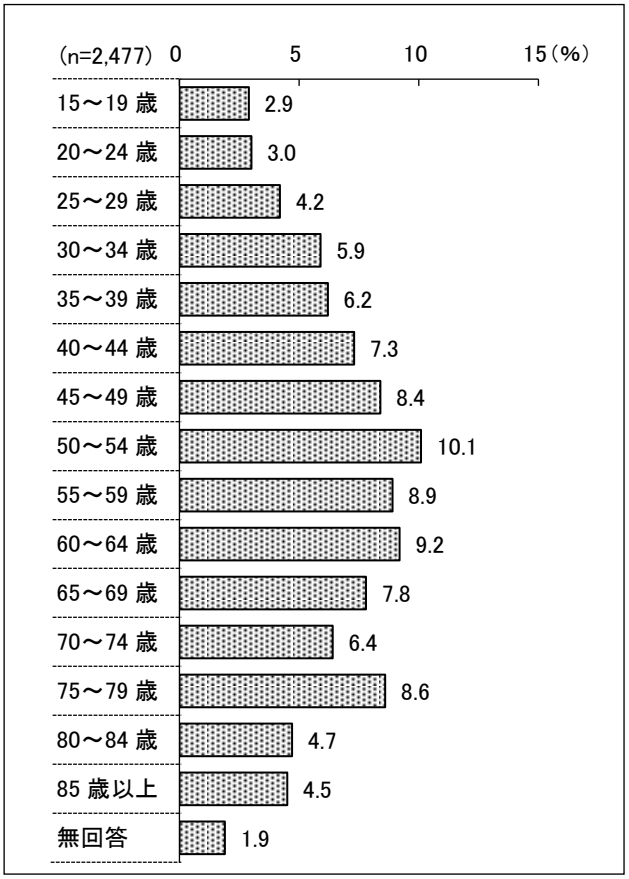
標　本　構　成

１．標本構成

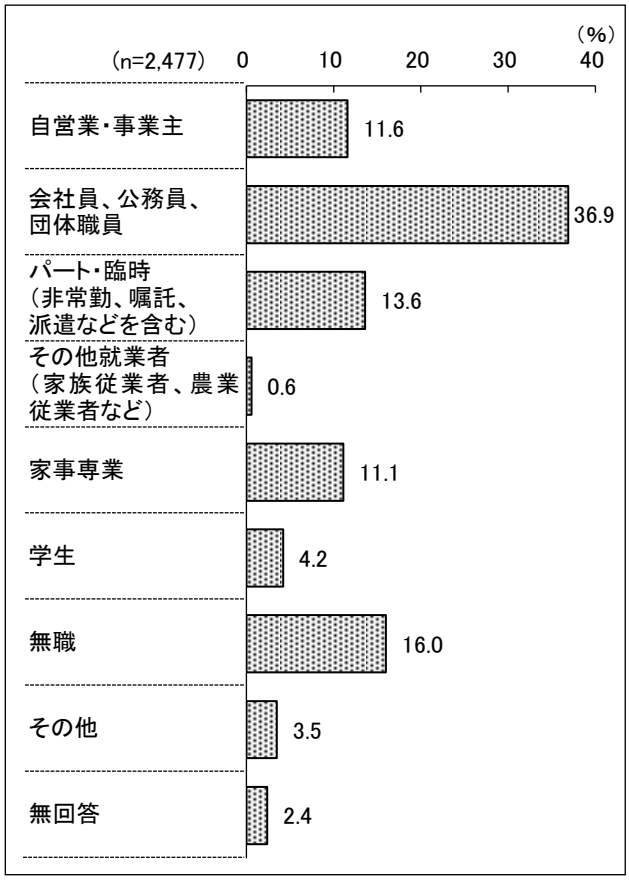
（１）性別



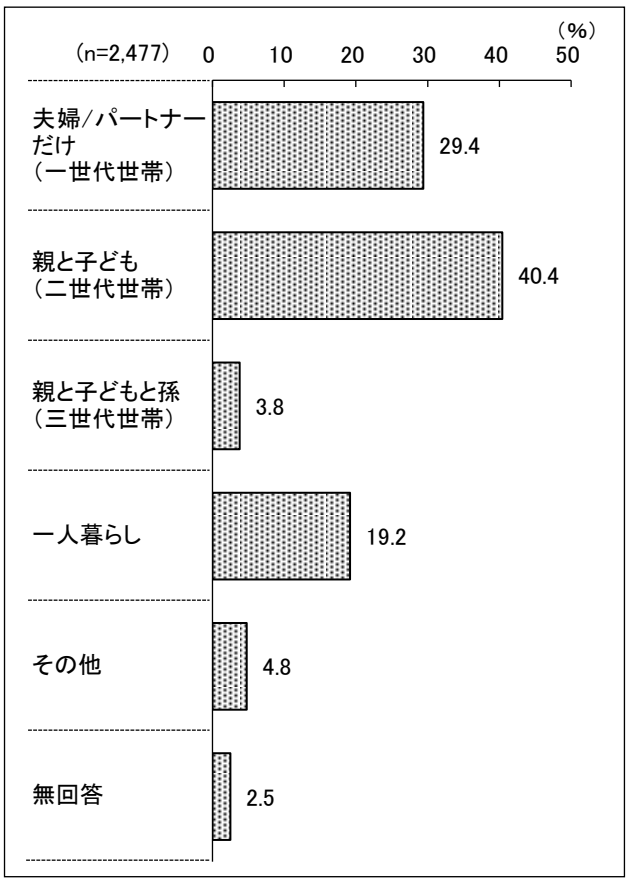
（２）年齢



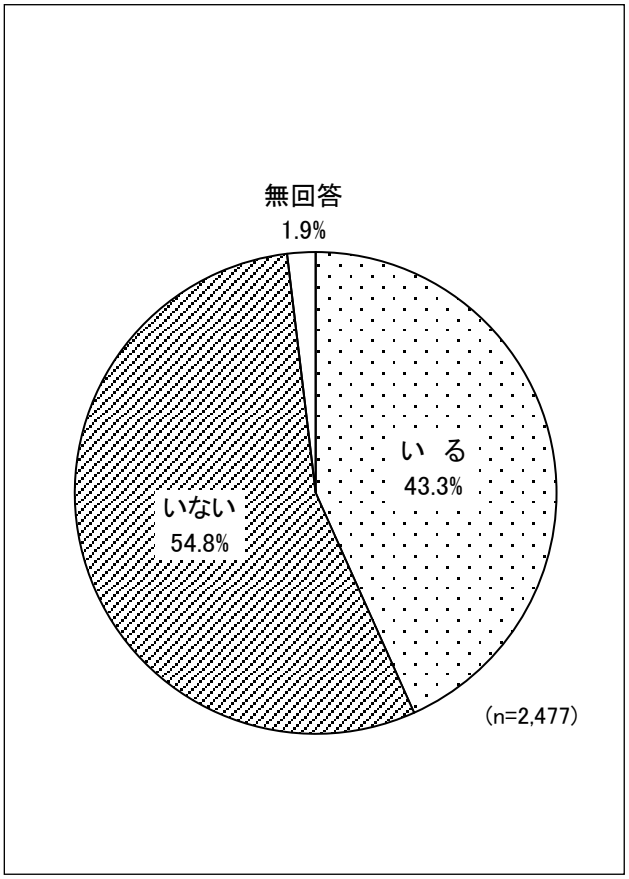
（３）職業



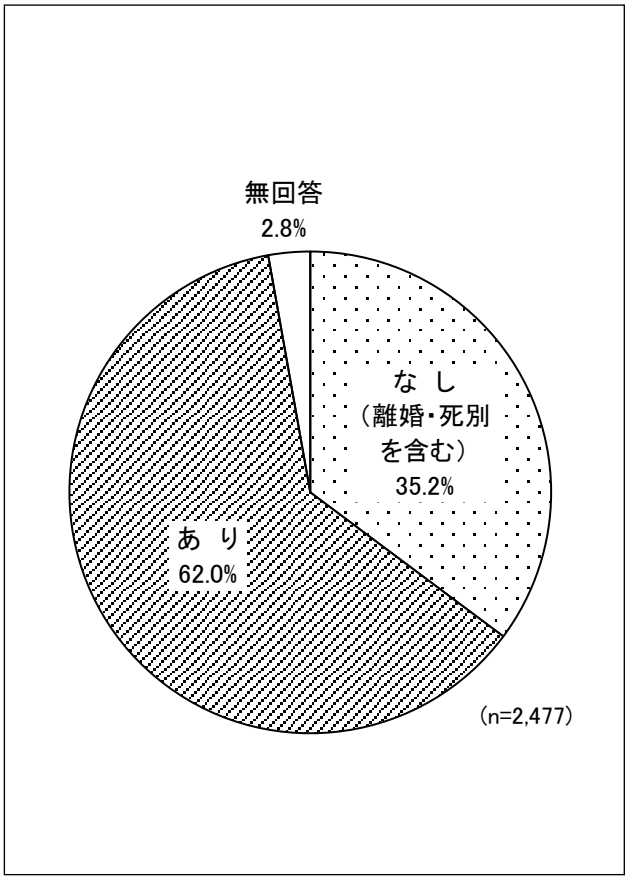
（４）世帯構成



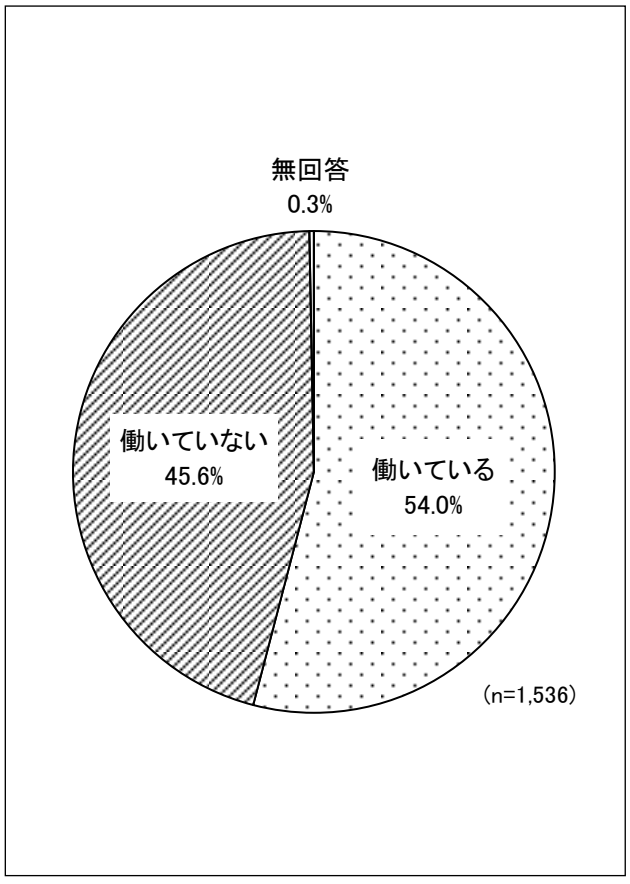
（５）同居家族における高齢者の有無



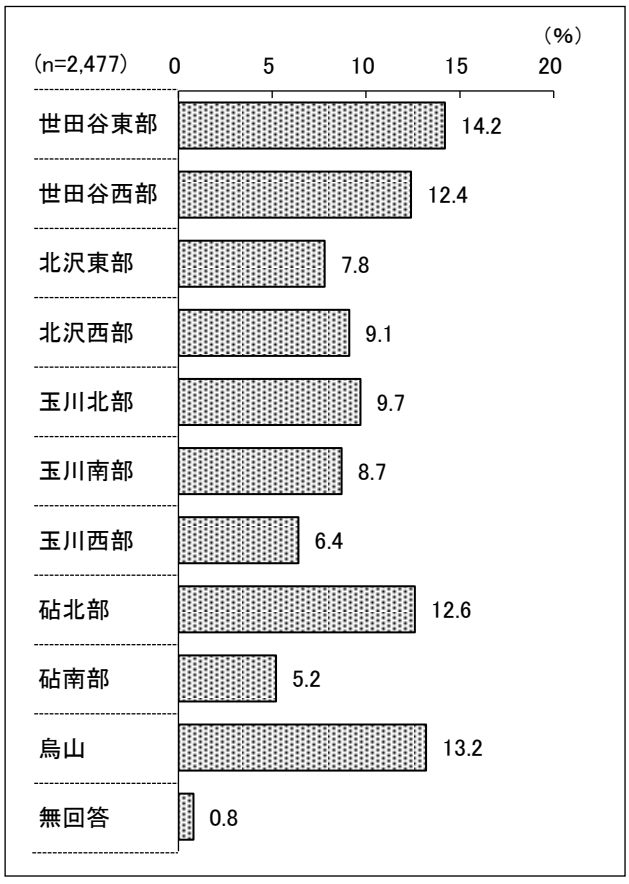
（６）配偶者の有無



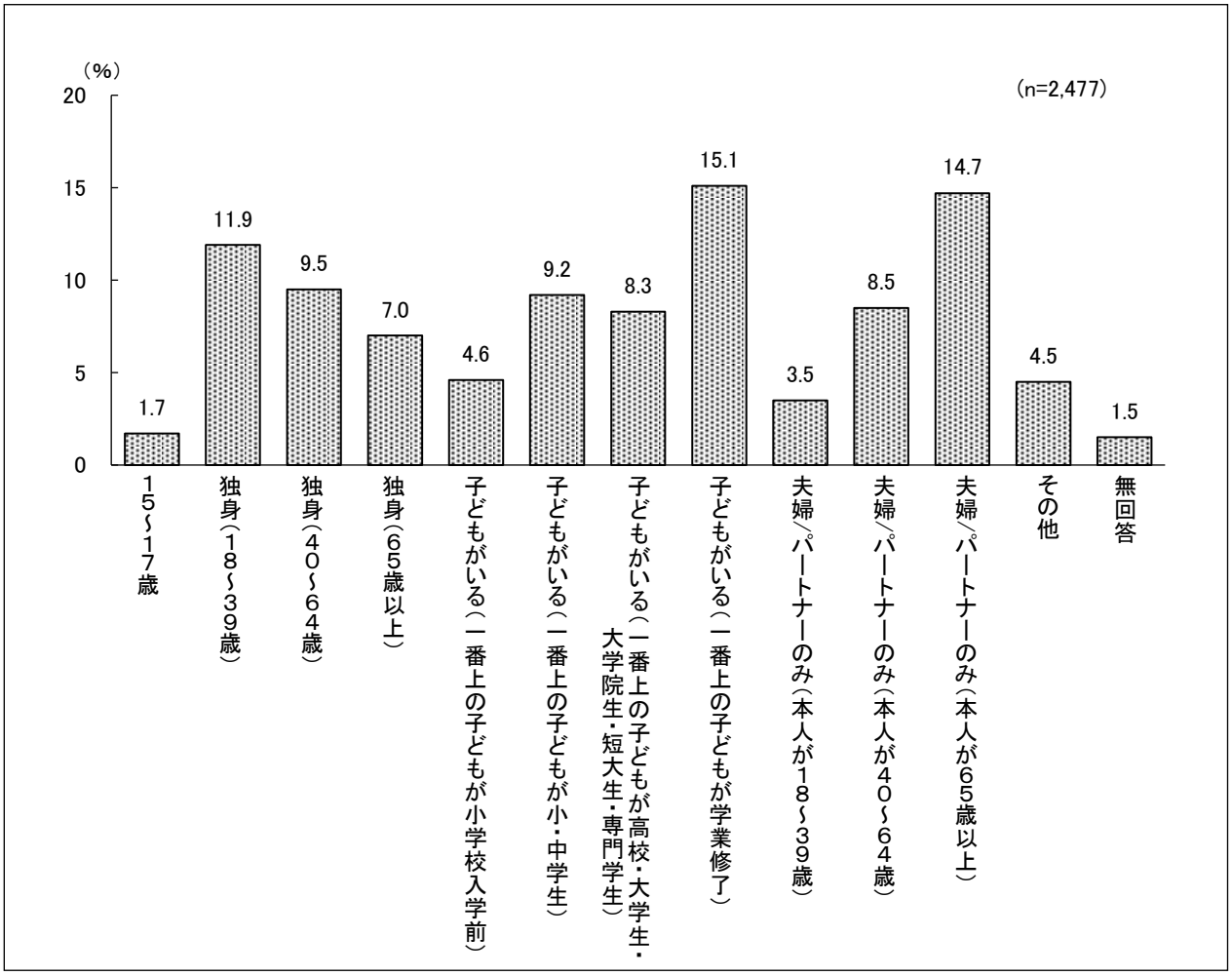
（７）共働きの有無



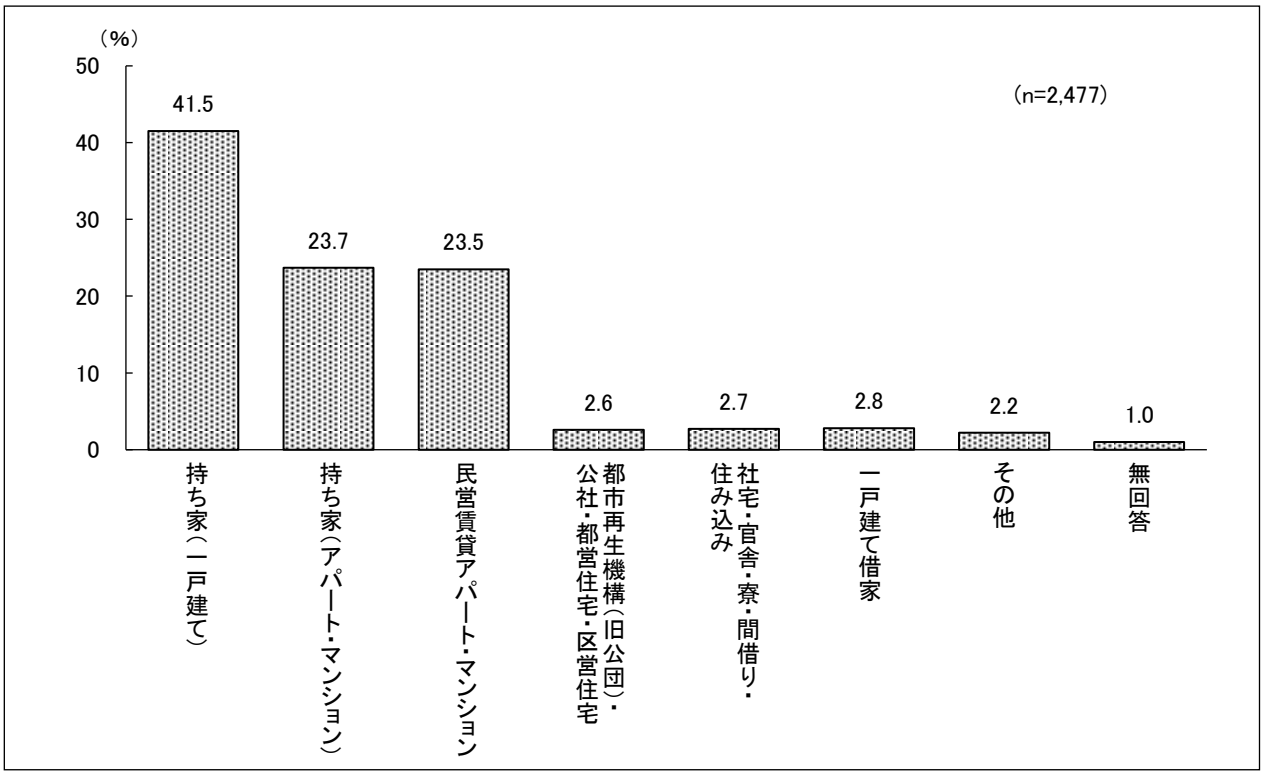
（８）居住地区



（９）ライフスタイル



（１０）住宅形態



質　問　と　回　答

この調査は世田谷区役所が実施しています

令和８年度　世田谷区民意識調査　調査票

【ご回答にあたってのお願い】

１．封筒の宛名に書かれているご本人がお答えください。
　ただし、事情によりご本人による記入やインターネット操作が難しい場合は、ご家族の方が代わりに行っていただいても構いません。
２．回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。
３．質問によって、○をつける数を（１つ）（いくつでも）などと指定していますので、その範囲内でお答えください。
４．わからないときや答えたくない質問は、飛ばしていただいて構いません。
５．回答は郵送またはインターネットで行うことができます。

６月３日（水）までに、ご回答いただくようお願いいたします。

≫≫調査の内容などについては下記へお問い合わせください。
せたがやコール　　電話　０３－５４３２－３３３３
午前８時～午後９時（年中無休）

≫≫調査主体　　世田谷区 政策経営部 広報広聴課

郵送による回答方法

１．記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
２．回答のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストに投函してください。

インターネットによる回答方法（文面は日本語と英語です）

パソコン、スマートフォンからご回答いただけます。

URL：https://○○○○/

あなたのＩＤ番号　：a12345

SAMPLE

１．回答を途中で終了した場合も、再度、ＩＤでログインすることで、続きから回答を再開できます。
２．このＩＤは無作為に配布していますので、個人を特定するものではありません。どなたがどのＩＤであるかは照合できません。
３．インターネットで回答した場合は調査用紙の提出は不要です。

＜インターネットによる回答の手順＞

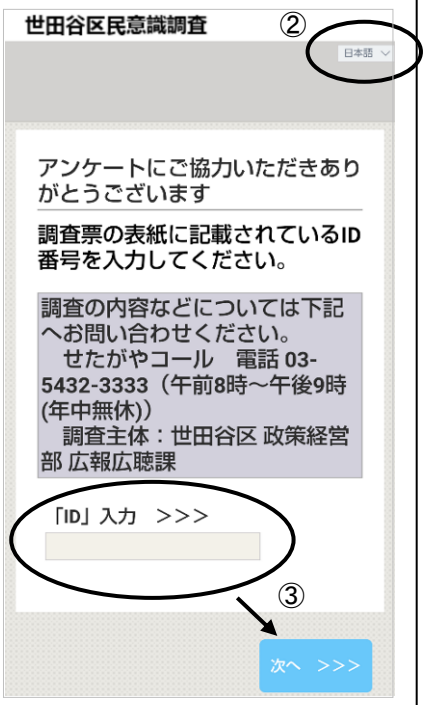
①この調査票の表紙に書かれているＵＲＬまたは二次元コードから回答ページにアクセスしてください。

②画面上に表示する言語は、画面右上の「日本語」または「English」の文字をクリックすると変更することができます。

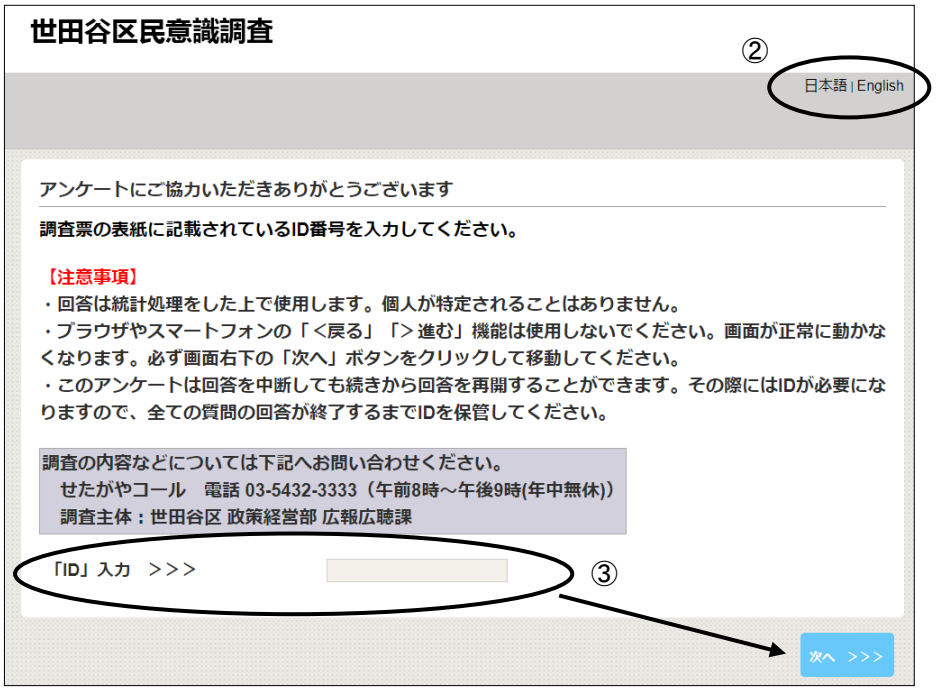
③表紙に書かれている「あなたのＩＤ番号」を入力して、画面右下の「次へ」ボタンをクリックしてください。

④画面の指示に従って回答してください。全ての質問を回答後、「送信」ボタンを押すと、回答が完了します。

［スマートフォン］



［パソコン・タブレット］



n=2,477

定　住　性

（全員の方に）

問１　あなたは、世田谷区に住んで何年くらいになりますか。（○は１つ）

1	１年未満	3.0	5	１０～１８年未満	16.4
2	１～３年未満	6.4	6	１８～３０年未満	18.7
3	３～６年未満	8.0	7	３０年以上	38.9
4	６～１０年未満	8.5		（無回答）	0.2

（全員の方に）

問２　あなたは、現在の暮らしについてどのように思っていますか。（○は１つ）

1	十分満足している	31.4	3	まだまだ不満だ	8.5
2	十分とはいえないが満足している	56.3	4	きわめて不満だ	2.0
			5	わからない	1.5
				（無回答）	0.4

（全員の方に）

問３　あなたは、今幸せだと感じていますか。（○は１つ）

1	幸せ	38.5	4	どちらかといえば幸せでない	2.8
2	どちらかといえば幸せ	44.7	5	幸せでない	1.7
3	どちらともいえない	11.1	6	わからない	0.8
				（無回答）	0.4

（全員の方に）

問４　あなたは､世田谷区は住みやすいところだと思いますか｡それとも住みにくいところだと思いますか。（○は１つ）

1	とても住みやすい	47.1	4	やや住みにくい	3.1
2	やや住みやすい	40.3	5	とても住みにくい	0.5
3	どちらともいえない	8.9		（無回答）	0.1

（全員の方に）

問５　あなたは、これからも世田谷区に住みたいと思いますか。（○は１つ）

1	住みたいと思う	83.6	問５－１にお答えください。
2	あまり住みたいとは思わない	4.7	→ 問５－２にお答えください。
3	住みたくない	0.7	
4	どちらともいえない	10.4	→ 問６にお答えください。
	（無回答）	0.5	

▼（問５で「１」と答えた方に）　(n=2,071)

問５－１　これからも世田谷区に住みたいと思う理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

1	住み慣れているから	69.4	8	人間関係がよいから	18.9
2	生まれた時からずっと住んでいるから	13.7	9	教育や文化、その他の社会施設などがよく整備されているから	21.1
3	自分の土地（住宅）だから	39.0	10	仕事や商売の関係で	7.8
4	住まいが広いなど住宅事情がよいから	10.3	11	家賃など経済的負担が適当だから	3.3
5	自然や街並みなど生活環境がよいから	51.6	12	子育てがしやすいから	11.5
6	交通や買物など生活に便利だから	65.7	13	その他	2.7
7	通勤・通学など交通の便がよいから	38.8	14	わからない	0.0
				（無回答）	0.3

（問５で「２～３」と答えた方に）　*(n=135)*

問５－２　世田谷区に住みたくない理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

1	土地柄になじめないから	*12.6*	8	地域・近隣との交流がほとんどないから	*13.3*
2	生まれ育った土地ではないから	*22.2*	9	教育や文化、その他の社会施設などが整備されていないから	*10.4*
3	自分の土地（住宅）でないから	*11.9*	10	仕事や商売の関係で	*7.4*
4	住まいが狭いなど住宅事情が悪いから	*24.4*	11	家賃など経済的負担が多いから	*50.4*
5	自然や街並みなど生活環境が悪いから	*10.4*	12	子育てがしにくいから	*12.6*
6	交通や買物など生活に不便だから	*28.1*	13	その他	*23.7*
7	通勤・通学など交通の便が悪いから	*14.8*	14	わからない	*1.5*

(無回答)　*0.7*

（全員の方に）

問６　あなたは、普段生活している地域でどんなことにお困りですか。（○は３つまで）

《街づくり・暮らし》

1	公園やスポーツのできるところがない	*8.7*
2	住宅が密集しすぎている	*15.7*
3	放置自転車が多くて迷惑	*4.5*
4	災害時の避難場所が近くにない	*4.0*
5	地域の治安が悪い	*1.4*
6	落書き、違法広告、風俗関係のチラシ	*1.5*
7	子育て環境が整備されていない	*2.1*
8	区民利用施設が使用しにくい	*10.4*
9	高齢者施設が使用しにくい	*4.6*
10	買い物が不便	*9.9*

《交通》

11	交通が不便	*10.4*
12	車など交通が激しい	*10.3*
13	電車の踏み切りがなかなか渡れない	*15.5*
14	道路が狭くて危険	*26.0*

《環境・ごみ》

15	騒音や振動が気になる	*7.4*
16	空気の汚れがひどい	*3.0*
17	空き缶・たばこなどのポイ捨て	*8.4*
18	路上喫煙などのたばこマナーが悪い	*9.6*
19	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない	*6.5*
20	カラスなどの鳥獣による被害	*19.7*
21	犬、猫などのペット公害	*5.3*
22	その他	*5.9*
23	特にない	*16.6*

(無回答)　*3.2*

区　　政

（全員の方に）

問７　あなたは、今後世田谷区が積極的に取り組む事業として、どれが必要だと思いますか。（○は３つまで）

《健康・福祉》

１	健康づくりの推進	10.8
２	見守り施策や地域支えあいの推進など、区民・事業者との協働による地域づくり	15.1
３	高齢者福祉の充実	23.9
４	障害者福祉の充実	5.1
５	生活困窮者への支援	8.0

《子ども若者・教育》

６	若者が力を発揮する地域づくり	10.9
７	生涯学習の充実	4.6
８	ＩＣＴ（情報通信技術）の推進	4.3
９	子どもが育つ環境づくり	19.2
10	質の高い学校教育の推進	10.3
11	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援	10.2

《暮らし・コミュニティ》

12	地域コミュニティの促進	6.3
13	防犯・地域安全の対策	31.4
14	消費者の支援	13.2
15	多様性の尊重（人権尊重・男女共同参画の推進など）	3.6
16	文化・芸術の推進	8.1
17	生涯スポーツの推進	4.5
18	清掃・資源リサイクルの推進	9.1
19	産業振興・雇用促進	2.5

《都市づくり》

20	災害に強いまちづくり	33.7
21	住宅政策	7.1
22	公園・緑地の整備	11.3
23	自然環境の保護	10.1
24	都市景観の保全や創出	3.3
25	交通ネットワークの整備	13.2
26	道路の管理保全	11.3
27	その他	1.5
28	特にない	3.4

（無回答）　1.1

職　員　応　対

（全員の方に）

問８　区役所の窓口や区職員の応対について印象はいかがでしたか。（○は１つ）

１	とても良かった	32.3
２	やや良かった	33.9
３	どちらともいえない	27.3
４	やや悪かった	1.8
５	とても悪かった	0.7

問８－１にお答えください。

→ 問９にお答えください。

→ 問８－２にお答えください。

（無回答）　4.0

▼（問８で「１～２」と答えた方に）　(n=1,640)

問８－１　印象が良かった点はどれですか。（○は２つまで）

１	説明がわかりやすかった	30.2
２	応対が正確・迅速だった	39.5
３	さわやかな対応だった	9.2
４	親切・丁寧な対応だった	58.4
５	言葉遣いが丁寧だった	8.0
	（無回答）	0.8

（問８で「４～５」と答えた方に）　*(n=63)*

問８－２　印象が悪かった点はどれですか。（○は２つまで）

1	説明がわかりにくい	*23.8*	4	不親切な対応だった	*61.9*
2	応対で待たされた	*22.2*	5	言葉遣いが悪い	*19.0*
3	たらい回しにされた	*28.6*		*(無回答)*	*0.0*

（全員の方に）

問９　今後、職員応対について、どのような点に注意すべきだと思いますか。（○は３つまで）

1	身だしなみ	*3.1*	6	待たせない事務処理の工夫	*43.0*
2	わかりやすい説明	*38.8*	7	窓口を明るい雰囲気に変える	*8.9*
3	名札の着用	*2.6*	8	プライバシーへの配慮	*12.9*
4	さわやかな挨拶	*6.4*	9	その他	*2.5*
5	親切・丁寧な対応	*37.1*	10	特にない	*20.1*
				(無回答)	*6.5*

広　　報

区では、区の取り組みや地域の身近な情報などを広報紙やホームページ、ＳＮＳなどを使って配信しています。

（全員の方に）

問１０　あなたは、区の取り組みや地域の身近な情報をどこから得ていますか。（○はいくつでも）

1	区のおしらせ「せたがや」（広報紙）	*40.9*	10	エフエム世田谷	*1.3*
2	区公式ホームページ	*23.9*	11	せたがや便利帳	*7.8*
3	区公式ＬＩＮＥ	*8.4*	12	せたがやコール（お問い合わせセンター）	*1.0*
4	区公式Ｘ	*2.3*	13	区広報板（区が設置している掲示板）	*11.8*
5	区公式Ｉｎｓｔａｇｒａｍ	*0.7*	14	街の掲示板アプリ「ｃｏｍｍｏｎ（コモン）」	*1.7*
6	区公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル	*0.3*	15	区作成のチラシ・パンフレット	*8.1*
7	区公式Ｆａｃｅｂｏｏｋ	*0.1*	16	町会・自治会の回覧板	*19.2*
8	メール配信サービス（メールマガジン）	*2.2*	17	その他	*2.1*
9	区のスマートフォン用アプリ	*1.2*	18	特に入手していない	*27.3*
				(無回答)	*1.5*

【参考情報】区の広報情報

区公式ホームページ URL：

https://www.city.setagaya.lg.jp/kouhou/kouhoujouhou/index.html

（全員の方に）

問１１　区が発信する取り組みや情報の中で、もっと知らせてほしいと思うものはどれですか。
（○はいくつでも）

1	区の施策や計画・財政状況	*17.1*	9	ごみ収集・リサイクル	*24.3*
2	区の手続き（届出や証明、申請など）	*27.1*	10	環境・エネルギー	*5.3*
3	税金・年金・保険	*32.3*	11	区施設の利用に関する情報	*20.3*
4	防犯や災害対策	*27.0*	12	区の催し物・イベント情報	*30.4*
5	子ども・子育てや教育	*14.7*	13	身近な地域の紹介	*11.0*
6	健康・医療や福祉	*27.8*	14	オンラインサービス情報（申請・相談など）	*16.6*
7	住まいや道路・交通、まちづくり	*18.2*	15	その他	*1.0*
8	仕事・就労	*7.3*	16	特にない	*10.7*

（無回答）　2.1

福 祉 と 医 療

（全員の方に）

問１２　あなたは、区内２８地区で実施しているまちづくりセンター、あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）、社会福祉協議会が連携して様々な福祉の相談を受ける「福祉の相談窓口」を知っていますか。（○は１つ）

1	利用したことがある	*20.2*
2	名称は知っている	*27.9*
3	名称は知らないがこういった取り組みを行っていることは知っている	*9.8*
4	知らない	*41.3*

（無回答）　0.8

（全員の方に）

問１３　あなたは、医療機関への通院ができなくなったときなどに、医師や看護師などの医療関係者が訪問することで、自宅等でも医療を受けられる「在宅医療」を知っていますか。（○は１つ）

1	知っている　*58.5*	2	知らない　*40.7*	*（無回答）*	*0.8*

人生の最終段階にどのような医療やケアを望むのかを、医療・介護関係者や家族などの信頼できる身近な人と繰り返し話し合うプロセスを「ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）」といいます。

（全員の方に）

問１４　あなたは、「ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）」を知っていますか。
（○は１つ）

1	知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある	*5.2*
2	知っているが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはない	*12.4*
3	「ＡＣＰ」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と人生の最終段階に希望する医療やケアについて話し合ったことはある	*12.0*
4	知らないし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともない	*69.6*

（無回答）　0.9

区では、誰もが安心して暮らすことができ、誰一人取り残さない世田谷をつくるため、包括的な支援体制を構築し、地域福祉を推進しています。

（全員の方に）

問１５　あなたは、あなたに不安や悩みが生じた場合、身近に相談相手はいますか。（○は１つ）

１	いる	*82.4*	２	いない	*16.2*
				（無回答）	*1.3*

（全員の方に）

問１６　あなたは現在日常生活において不安や悩みを感じることはありますか。（○は１つ）

１	ある *52.6*	問１６－１にお答えください。
２	ない *45.3*	→ 問１７にお答えください。
	（無回答） *2.1*	

▼（問１６で「１」と答えた方に）　*(n=1,303)*

問１６－１　あなたは日常生活における不安や悩みについて、行政機関やＮＰＯなどの民間団体から支援を受けていますか。（○は１つ）

１	受けている	*7.5*	２	受けていない	*92.4*
				（無回答）	*0.1*

（全員の方に）

問１７　不安や悩みを抱えている周りの人へ声掛けをするなどの地域住民同士の支え合いについて、最も近い考え方はどれですか。（○は１つ）

１	必要であり、積極的に声掛けをしたい	*20.3*	３	地域住民同士の支え合いは必要ない	*5.3*
２	必要だと思うが、自分では声掛けはできない	*53.3*	４	その他	*3.1*
			５	わからない	*16.1*
				（無回答）	*1.8*

認知症とは、脳の病気や様々な原因によって脳の働きが低下し、日常生活や社会生活を送るうえで支障が出てくる状態（暮らしの障害）をいいます。区では、一人ひとりの希望及び権利が尊重され、ともに安心して自分らしく暮らせるまちを目指して、令和２年に「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」を制定しました。

（全員の方に）

問１８　認知症についてどのような印象・考えをお持ちですか。（○はいくつでも）

１	認知症は、高齢者がなるもので、自分には関係がない	*3.5*
２	認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある	*85.7*
３	認知症に関する知識や情報について知りたい	*27.3*
４	認知症になってからも、自分なりにできることがある	*19.4*
５	認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる	*17.2*
６	あてはまるものはない	*3.7*
	（無回答）	*1.4*

子　育　て

（全員の方に）

問１９　あなたは、世田谷区は子育てをしやすいまちだと感じますか。（○は１つ）

１	とても子育てしやすいと感じる	*8.6*	３	あまり子育てしやすいと感じない	*9.4*
２	子育てしやすいと感じる	*44.1*	４	まったく子育てしやすいと感じない	*1.1*
			５	わからない	*34.0*
				（無回答）	*2.8*

里　親　制　度

区では、様々な理由で親元から離れて生活する子ども（社会的養護）が、家庭と同様の環境の下で養育されることを目指し、「里親制度」の普及啓発に取り組んでいます。

※里親制度とは、社会的養護の子どもに温かい愛情等を持って家庭に迎え入れ養育する制度。

（全員の方に）

問２０　あなたは「里親制度」を知っていますか。（○は１つ）

１	内容について知っている	*23.8*
２	名前は聞いたことあるが、内容はよく知らない	*52.8*
３	知らない	*21.3*
	（無回答）	*2.1*

問２０－１にお答えください。

（問２０で「１～２」と答えた方に）　*(n=1,897)*

問２０－１　里親制度のことをなにで知りましたか。（○はいくつでも）

１	ＳＮＳ（X、Ｉｎｓｔａｇｒａｍ、Ｆａｃｅｂｏｏｋ、ＹｏｕＴｕｂｅなど）	*8.5*
２	インターネット記事やニュースサイト	*23.3*
３	テレビ・ラジオの番組やニュース	*51.0*
４	新聞・雑誌の記事	*27.3*
５	ドラマ・映画・小説・アニメなど	*26.1*
６	自治体の区報・ＨＰ、チラシ・ポスター・デジタルサイネージ（※）	*6.4*
７	公共機関のチラシ・ポスター・デジタルサイネージ（※）	*2.9*
８	交通機関（電車・バスなど）の車体広告	*1.3*
９	催事やイベントのブース出展	*1.3*
10	学校や職場での説明・研修	*4.0*
11	里親制度に関する講演会、セミナー、里親カフェなど	*0.7*
12	児童相談所や役所での案内	*1.6*
13	興味があり自分で調べた（検索エンジンなど）	*4.3*
14	知人・友人・家族から聞いた	*11.6*
15	その他	*6.7*
	（無回答）	*1.1*

※デジタルサイネージ…液晶ディスプレイなどの電子表示機器を使って情報や広告を表示するシステム。

災 害 時 の 備 え

区は在宅避難を推進しています。震災時の避難所は、火災や倒壊により自宅等で生活できなくなった方を一時的に受け入れる施設です。自宅が無事である場合は、家庭で備蓄した水や食料などを使いながら、自宅で過ごす「在宅避難」が原則となります。また、震災時には、地域の助け合いが大きな効果を発揮します。区民相互の共助の意識を持ちましょう。

（全員の方に）

問２１　あなたは震度６強（※）の大きな地震が発生し、自宅が無事で危険がない場合、どのような避難行動をとると思いますか。（○は１つ）

※首都直下地震では世田谷区の約７割の面積で震度６強が観測されると想定されている。

１	自宅に留まる（在宅避難）	*73.1*	４	自身で宿泊施設等を確保して避難する（自主避難）	*0.9*
２	小中学校など地域の避難所に行く	*18.7*	５	その他	*0.8*
３	危険がない家族や親戚・友人の家に避難する（縁故避難）	*3.0*	６	考えていない	*1.9*
				（無回答）	*1.6*

（全員の方に）

問２２　あなたは、災害時に地域や近所の住民同士でどのような手助けができると思いますか。自分ができること、やりたいと思うことをお答えください。（○はいくつでも）

1	安否確認（声かけ）	69.6	6	消火活動の手助け	26.0
2	物資を運ぶ手助け	48.3	7	介助や応急手当	21.0
3	情報の共有（災害情報や避難情報など）	54.3	8	その他	3.6
4	避難の手助け	40.7	9	地域や近所と協力し合う関係性ではない	5.6
5	支援を必要とする人の手助け	43.8			
				（無回答）	2.5

（全員の方に）

問２３　あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。（○は１つ）

1	１～２日分	20.9	4	１週間分以上	12.3
2	３日分	35.1	5	水や食料の備蓄はしていない	10.8
3	４～６日分	19.7		（無回答）	1.2

（全員の方に）

問２４　あなたのご家庭では、災害に備えて非常用電力の備蓄をしていますか。（○はいくつでも）

1	小型発電機を備蓄している	4.2	5	太陽光蓄電池を設置している	7.5
2	小型ポータブル蓄電池を備蓄している	11.6	6	ＥＶ車などから電源を確保することができる	2.9
3	モバイルバッテリーを備蓄している	31.3	7	備蓄していない	48.2
4	手回し発電機を備蓄している	11.8			
				（無回答）	2.7

（全員の方に）

問２５　あなたのご家庭では、携帯トイレを何日分備蓄していますか。（○は１つ）

※備蓄の目安：１人１日約５回×家族分

1	１～２日分	24.6	4	１週間分以上	10.5
2	３日分	19.6	5	携帯トイレの備蓄はしていない	31.2
3	４～６日分	12.7		（無回答）	1.4

区では、「世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ」等により、区内の水害リスクやとるべき避難行動を周知・啓発しています。「世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ」は、災害対策課、道路管理課、各総合支所地域振興課・街づくり課、まちづくりセンター、図書館で配布しています。

（全員の方に）

問２６　あなたは、ハザードマップ等により、ご自宅の水害リスクを把握していますか。（○は１つ）

1	水害リスクを把握した上で、とるべき避難行動も理解している	21.9
2	水害リスクを把握しているが、とるべき避難行動は理解していない	29.6
3	水害リスクを把握していない	24.1
4	自宅に水害リスクはない	22.7
	（無回答）	1.7

【参考情報】ハザードマップの確認など風水害への備えについて

区公式ホームページURL： https://www.city.setagaya.lg.jp/02049/578.html

区では、災害時における「緊急情報」、「避難情報」、「避難所の開設情報」など様々な情報を確認できる「世田谷区防災ポータルサイト」を運用しています。平時においても、日頃からの備えに役立つ情報として、避難所やハザードマップの情報等を確認できます。その他にも、災害に関する情報についてまとめています。

（全員の方に）

問２７　あなたは、世田谷区防災ポータルサイトのことを知っていますか。（○は１つ）

1	知っていて、見たことがある	*17.8*	3	知らなかった	*47.8*
2	知っているが、見たことはない	*31.8*	4	その他	*1.1*
				(無回答)	*1.5*

【参考情報】世田谷区防災ポータルサイトURL： https://setagaya-bousai.my.site.com/

地域コミュニティ

区では、区民参加による区民、事業者、行政等で支えあう協働のまちづくりの実現のため、区民のみなさんの地域コミュニティへの参加促進と地域活動の活性化を推進しています。

（全員の方に）

問２８　あなたは、身近な地域の活動（※）に参加していますか。（○は１つ）

1	参加している	*17.1*	3	参加していないし、今後も参加するつもりはない	*43.1*
2	今は参加していないが、今後参加してみたい	*38.1*			
				(無回答)	*1.8*

※身近な地域の活動…町会・自治会、NPO・ボランティア、子育て支援活動、青少年健全育成活動、高齢者支援活動、お祭り・イベント、防犯・防災活動、介護予防・健康づくり活動、スポーツ活動、文化・芸術活動、環境美化・リサイクル活動、交通安全活動、コミュニティ・ビジネスなど。

町会・自治会は、同じ地域に住む人同士が、地縁に基づき自主的に組織している団体です。行事や活動を通じて顔の見えるおつきあいが広がります。犯罪の防止や子どもの健全育成、災害時における助け合いの力となるなど、町会・自治会は安全で充実した生活の支えとなっています。

（全員の方に）

問２９　あなたは、町会・自治会に入っていますか。（○は１つ）

1	入っている	*42.9*
2	入っていない	*43.2*
3	入っているかわからない	*12.4*
	(無回答)	*1.5*

問２９－１にお答えください。

▼（問２９で「２」と答えた方に）　*(n=1,070)*

問２９－１　町会・自治会に入っていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	加入することにメリットを感じない	*24.3*	9	会費がいくらなのか不明	*10.7*
2	どのような活動をしているのかわからない	*31.9*	10	会費の負担が困難	*6.4*
3	興味を持てる活動がない	*8.9*	11	自分の町会・自治会を知らない	*34.0*
4	自分のライフスタイルや価値観と合わない	*10.5*	12	加入の仕方を知らない	*23.8*
5	デジタル化が進んでいない	*5.0*	13	加入のきっかけがなかった	*26.7*
6	近所付き合いが煩わしく感じる	*10.2*	14	町会・自治会以外の地域活動に参加している	*2.2*
7	仕事や家庭の状況で時間がなく活動できない	*23.6*			
8	役員になった場合の負担が心配	*14.0*	15	その他	*12.2*
				(無回答)	*1.0*

男女共同参画

「世田谷区第二次男女共同参画プラン後期計画」では、「あらゆる分野における女性活躍推進」、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の着実な推進」、「暴力やハラスメントのない社会の構築」、「多様性を認め合い、尊厳をもって生きることができる社会の構築」という４つの目標を掲げ、男女共同参画社会の実現に向けて様々な施策に取り組んでいます。

（全員の方に）

問３０　あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方には共感しますか。（○は１つ）

1	そう思う	*1.9*	3	どちらかといえばそう思わない	*15.7*
2	どちらかといえばそう思う	*10.9*	4	そう思わない	*66.4*
			5	わからない	*4.2*
				(無回答)	*1.0*

（全員の方に）

問３１　あなたの生活の中で「仕事」、「家庭生活（家族と過ごすこと、家事、育児、介護など）」、「地域・個人の生活（地域・社会活動、学習・研修、趣味、娯楽、スポーツなど）」の優先度についておたずねします。あなたの現状に近いものはどれですか（現在学生の方は、将来の希望についてお答えください）。（○は１つ）

1	「仕事」を優先している（したい　※学生の場合（以下同じ））	*10.8*
2	「家庭生活」を優先している（したい）	*23.8*
3	「地域・個人の生活」を優先している（したい）	*4.5*
4	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（したい）	*28.9*
5	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している（したい）	*4.6*
6	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している（したい）	*8.3*
7	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している（したい）	*11.2*
8	わからない	*5.5*
	(無回答)	*2.4*

（全員の方に）

問３２　あなたは、「ドメスティック・バイオレンス（※）」について、どのようにお考えですか。（○は１つ）

1	100%加害者に責任があり、許せないものである	*49.7*
2	加害者に責任があるとしても、被害者側にも原因の一端があると思う	*25.2*
3	双方の関係の問題であり、周りがとやかく言うべきではない	*7.1*
4	その他	*3.0*
5	わからない	*13.1*
	(無回答)	*1.9*

※ドメスティック・バイオレンス…夫婦（事実上婚姻関係と同様の事情にある場合、離婚後も含む）や恋人という親しい関係で生じる暴力、人権侵害をいう。

平 和 資 料 館

せたがや未来の平和館（世田谷区立平和資料館）は、2015 年に開設され、地域の戦争資料を保存・展示する平和教育施設です。過去の戦争について学びながら、現代の紛争・平和ではない状態について考え、未来を展望することを目標としています。また区民の交流・実践の場となるように取り組んでいます。

（全員の方に）

問３３　あなたは、せたがや未来の平和館（世田谷区立平和資料館）を知っていますか。（○は１つ）

１	行ったことがある	*3.5*
２	知っているが、行ったことや、見たことはない	*13.1*
３	区民施設等で地域巡回展等を見たことがある	*0.8*
４	知らない	*81.7*
	（無回答）	*0.9*

【参考情報】せたがや未来の平和館（世田谷区立平和資料館）
住所：〒154-0001 東京都世田谷区池尻１丁目５番 27 号世田谷公園内
区公式ホームページ URL： https://www.city.setagaya.lg.jp/02422/9014.html

健　康　づくり

区は、区民一人ひとりが自身の健康に関心を持ち、主体的な健康づくりへの取り組みを推進するとともに、区民や地域団体、事業者とともに安全で安心して生活できる環境やしくみの整備を進めることで、生涯にわたり健やかでこころ豊かに暮らすことができるまちの実現を目指しています。

（全員の方に）

問３４　あなたは、１日にあわせてどのくらい歩きますか。（通学・通勤のための徒歩や室内の移動、散歩を含む）（○は１つ）

１	３０分未満	*24.6*	４	１時間以上１時間３０分未満	*14.7*
２	３０分以上４５分未満	*25.5*	５	１時間３０分以上	*12.9*
３	４５分以上１時間未満	*20.8*		*（無回答）*	*1.5*

都 市 デ ザ イ ン

区では、社会における様々なバリアをなくすにとどまらず、あらかじめ多様なニーズを想像し、年齢、性別、国籍、能力等にかかわらず、できるだけ多くの人が利用しやすいよう、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザイン（ＵＤ）の考え方のもと、まちづくりを進めています。

（全員の方に）

問３５　ユニバーサルデザイン（ＵＤ）のまちづくりを進める上で重要だと思う取り組みは何ですか。（○はいくつでも）

1	公共施設（建築物・トイレ等）の整備	64.0	7	UD設備（エレベーター・トイレ・駐車場等）の適正利用、心のバリアフリー	35.6
2	道路（歩行空間）の整備	59.2			
3	公園・緑地の整備	36.8	8	誰もが参加できるUDイベントの開催	8.9
4	公共交通（施設・車両・サービス）の整備	45.5	9	ＵＤを広げる担い手づくり	10.7
5	民間施設へのＵＤ整備支援（補助制度等）	14.9	10	その他	1.1
6	情報のＵＤ（ＵＤ整備情報の発信、窓口コミュニケーション支援等）	14.8	11	わからない	9.0
				（無回答）	2.3

区では、区民が愛着と誇りを持てる世田谷の風景を守り、育て、つくるため、届出・協議制度による風景づくりの誘導、区民主体の風景づくり活動の推進、風景づくりに関する普及啓発等に取り組んでいます。

（全員の方に）

問３６　あなたは、区内の風景（景観、景色、眺め、まちなみ等）に興味・関心がありますか。（○は１つ）

1	興味・関心がある	44.7	4	あまり興味・関心がない	5.2
2	やや興味・関心がある	34.7	5	興味・関心がない	2.4
3	どちらともいえない	11.8		（無回答）	1.2

（全員の方に）

問３７　区では、区民による風景づくり活動が活発に行われるような施策を検討しています。あなたがやってみたいと思う風景づくり活動を選択してください。（○はいくつでも）

1	世田谷の魅力的な風景を見るために出かける	47.5
2	ＳＮＳを活用し、世田谷の魅力的な風景を発信する、風景の写真のコンテスト等に投稿する	8.4
3	自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える	25.6
4	地域の風景を知ることができるスタンプラリーやまちあるきなどのイベントに参加する	10.0
5	風景づくりのセミナーや勉強会、展示会へ参加する	4.6
6	地域の美化・清掃活動に参加する	17.3
7	自宅の新築・改修を行う際に、周囲のまちなみに配慮する	16.4
8	地域の魅力的な風景を育むための自主的な風景づくり活動（地域風景資産や界わい宣言に関する活動、その他風景や環境をよりよくするための活動）へ参加する	4.8
9	お住まいの地域やお勤めの地域などでの風景づくりに関するルール作りの検討の場へ参加する	3.7
10	その他	5.5
11	風景づくり活動をやってみたいと思わない	14.1
	（無回答）	4.4

住　　ま　　い

区では、あらゆる世帯が、ライフステージの変化、自らの望むライフスタイルに応じた住まい・住環境を適切に選択し、安心・快適に暮らすために必要な、良質で多様な住まいのストックの形成、地域ごとに豊かな住環境の維持・創出を目指しています。

※住まいのストック…区内に存在するすべての住宅の総数を指す。

（全員の方に）

問３８　あなたは、近年の住宅価格の高騰や家賃の上昇など、住居費が要因で、世田谷区内で住みづらいと感じていますか。（○は１つ）

1	住みづらいと感じている	*18.2*	問３８－１にお答えください。
2	どちらかといえば住みづらいと感じている	*23.4*	
3	あまり住みづらいと感じていない	*26.5*	→ 問３８－２にお答えください。
4	住みづらいと感じていない	*19.3*	
5	わからない	*9.5*	→ 問３９にお答えください。
	（無回答）	*3.1*	

（問３８で「１～２」と答えた方に）　*(n=1,030)*

問３８－１　「住みづらいと感じている」理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	現在の住まいに係る家賃が上昇したため	*26.1*
2	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇したため	*12.5*
3	現在の住まいに係る家賃が上昇する可能性があるため	*23.4*
4	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇する可能性があるため	*9.3*
5	今後、賃貸住宅への住み替えを考えているが、区内の家賃相場が上昇しているため	*18.4*
6	今後、住宅の購入を考えているが、区内の住宅価格が上昇しているため	*19.4*
7	今後、住宅の購入を考えているが、住宅ローンの金利が上昇しているため	*10.4*
8	区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため	*26.0*
9	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため	*45.6*
10	区内の住宅の供給量が減少すると考えるため	*7.0*
11	その他	*8.5*
	（無回答）	*1.7*

（問３８で「３～４」と答えた方に）　*(n=1,136)*

問３８－２　「住みづらいと感じていない」理由は何ですか。（○はいくつでも）

1	現在の住まいが持ち家であるため	*77.8*
2	現在の住まいに係る家賃が上昇していないため	*9.5*
3	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇していないため	*2.6*
4	公営住宅に住んでいるため	*1.9*
5	社宅・官舎・寮などに住んでいるため	*1.5*
6	実家に住んでいるため	*6.4*
7	住み替えする予定がないため	*24.3*
8	資産や収入が十分にあるため	*7.3*
9	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が一時的であると考えるため	*1.4*
10	その他	*3.3*
	（無回答）	*0.8*

交　　通

区では、区民、交通事業者、区が協力・連携して総合的に「交通まちづくり」に取り組み、交通ネットワークの充実や、公共交通が不便な地域における移動環境の改善などを図ることで、様々な交通手段を活用し、誰もが快適に安全・安心な移動ができるまちを目指しています。

（全員の方に）

問３９　あなたは、区内の交通手段（移動手段）に満足していますか。（○は１つ）

1	満足している	*26.0*	3	どちらかといえば満足していない	*19.3*
2	どちらかといえば満足している	*44.9*	4	満足していない	*7.6*
				(無回答)	*2.3*

就労・起業

区では、令和６年３月に「世田谷区地域経済発展ビジョン」を策定し、起業意識の向上や就労・労働環境の充実に取り組むことで、誰もが自己の個性及び能力を発揮することができる働きやすい環境を整備し、起業の促進及び多様な働き方の実現を図ることを目指しています。

（全員の方に）

問４０　収入のある仕事を通じたキャリアアップ（※）について、興味がありますか。（○は１つ）

1	はい	*47.8*	問４０－１にお答えください。
2	いいえ	*22.5*	
3	わからない、考えたことがない	*24.9*	
	(無回答)	*4.8*	

※キャリアアップ…仕事で必要な知識やスキル・経験を積んで自身の市場価値や能力、地位を高め、より良い経歴（キャリア）を築くこと。

（問４０で「１」と答えた方に）　*(n=1,184)*

問４０－１　収入のある仕事を通じたキャリアアップについて、自身の考え方に一番近いものはどれですか。（○は１つ）

1	一つの会社等において、主に社内での研修や実務を通してキャリアアップしていきたい	*19.7*
2	一つの会社等において、主に所属会社以外の機関のセミナー、講座等を活用してキャリアアップしていきたい	*7.8*
3	一つの会社等において、兼業や副業（※１）をしながらキャリアアップしていきたい	*14.7*
4	転職等に伴う複数の会社等において、主に社内での研修や実務を通してキャリアアップしていきたい	*10.5*
5	転職等に伴う複数の会社等において、主に所属会社以外の機関のセミナー、講座等を活用してキャリアアップしていきたい	*4.7*
6	転職等に伴う複数の会社等において、兼業や副業をしながらキャリアアップしていきたい	*7.1*
7	個人事業主（※2）やフリーランス（※3）として、一つのジャンルの仕事に専念しキャリアを重ねていきたい	*10.2*
8	個人事業主やフリーランスとして、複数のジャンルの仕事に挑戦しキャリアを重ねていきたい	*11.5*
9	興味はあるが、キャリアアップについて考えていない、又はキャリアアップの意向はない	*7.6*
10	その他	*4.6*
	(無回答)	*1.6*

※１　兼業・副業…本業以外の仕事を同時に複数持つこと。

※２　個人事業主…法人を設立せずに個人で事業を営む人。

※３　フリーランス…特定の企業や団体に所属せずに、実店舗が無く自身の経験や知識、スキルを活用して個人で独立して業務委託により仕事を行う働き方の人。

（全員の方に）

問４１　収入のある仕事に就く意向がありますか。（○は１つ）

１	はい（現在働いている場合も含む）	*66.8*
２	いいえ	*19.9*
３	わからない・考えたことがない	*8.6*
	（無回答）	*4.7*

問４１－１にお答えください。

▼（問４１で「１」と答えた方に）　*（n=1,654）*

問４１－１　どのような働き方を希望しますか。（○はいくつでも）

１	オフィスへの出勤がメイン（自宅がオフィスの場合を含む）	*27.4*
２	テレワーク（※１）（在宅勤務）がメイン	*20.6*
３	テレワーク（モバイルワーク（※２））がメイン	*4.8*
４	テレワーク（サテライトオフィス（※３））がメイン	*2.5*
５	出勤とテレワークの兼用	*33.7*
６	週休３日以上	*26.7*
７	残業無し	*23.9*
８	フレックスタイム（※４）	*29.0*
９	裁量労働制（※５）	*10.0*
10	会社等の勤務のほか、兼業・副業（※６）も行う	*16.7*
11	長期で決まった時間に勤務（例：パートタイムなど）	*10.6*
12	短期～長期でシフト制などでの勤務（例：アルバイトなど）	*5.4*
13	単発や短時間での勤務（例：隙間バイトなど）	*5.8*
14	その他	*3.1*
15	好きな仕事ができれば働き方は問わない	*7.6*
	（無回答）	*0.5*

※１　テレワーク…オフィス以外の場所で情報通信技術を活用して働くこと。
※２　モバイルワーク…テレワークの一種。カフェや交通機関等で場所にとらわれず働くこと。
※３　サテライトオフィス…テレワークの一種。本拠から離れた場所に設置されたオフィスで働くこと。
※４　フレックスタイム…１日の労働時間帯を、必ず勤務すべき時間帯と、その時間帯の中であればいつ出社または退社してもよい時間帯とに分け、出社、退社の時刻を労働者の決定に委ねるもの。
※５　裁量労働制…業務の性質上その遂行方法を大幅に労働者の裁量にゆだねる必要がある業務について定められた制度。
※６　兼業・副業…本業以外の仕事を同時に複数持つこと。

（全員の方に）

問４２　起業（※１）（自営業の方は新分野へ進出）に関心はありますか。現在の職業や立場（学生・会社員・家事専業など）は問いません。なお、起業を伴う副業（※２）も含みます。（○は１つ）

１	はい	*24.8*
２	いいえ	*48.4*
３	どちらともいえない・わからない	*19.9*
	（無回答）	*6.8*

問４２－１および問４２－２にお答えください。

→Ｆ１にお答えください。

※１　起業…開業届の提出や会社の登記をして、新しく会社やビジネスを始めること。
※２　起業を伴う副業…本業の仕事に加えて、起業して別の仕事や収入源を持つこと。

（問４２で「１」と答えた方に）　*(n=615)*

問４２－１　起業に関してあなたの状況に一番近いものを教えてください。（○は１つ）

１	すでに事業を経営している（創業から５年以上）	*17.4*
２	すでに事業を経営している（創業から５年未満）	*8.0*
３	起業に向けて具体的な準備を始めており、積極的に動いている	*4.1*
４	起業に向けて情報収集や計画を考え始めている	*12.5*
５	起業に関心はあるが、まだ何も準備していない	*34.8*
６	起業に関心はあるが、起業する予定はない	*22.8*
	（無回答）	*0.5*

（問４２で「１」と答えた方に）　*(n=615)*

問４２－２　起業に関する情報や支援にどの程度興味がありますか。（○は１つ）

１	とても興味がある（支援を受けたい、相談したい）	*19.3*
２	興味がある（情報を積極的に知りたい）	*31.2*
３	少し興味がある（参考程度に知りたい）	*32.7*
４	あまり興味がない	*4.6*
５	まったく興味がない	*1.3*
６	どちらともいえない	*5.0*
	（無回答）	*5.9*

＊＊＊ 基本項目（フェイスシート）＊＊＊

（全員の方に）

Ｆ１　あなたの性別はどちらですか。（○は１つ）

1	男　性	*40.7*	2	女　性	*56.5*	3	その他　*0.6*　　*(無回答)*　*2.2*

Ｆ２　あなたの年齢はいくつですか。（○は１つ）

1	１５～１９歳	*2.9*	6	４０～４４歳	*7.3*	11	６５～６９歳	*7.8*
2	２０～２４歳	*3.0*	7	４５～４９歳	*8.4*	12	７０～７４歳	*6.4*
3	２５～２９歳	*4.2*	8	５０～５４歳	*10.1*	13	７５～７９歳	*8.6*
4	３０～３４歳	*5.9*	9	５５～５９歳	*8.9*	14	８０～８４歳	*4.7*
5	３５～３９歳	*6.2*	10	６０～６４歳	*9.2*	15	８５歳以上	*4.5*

(無回答)　*1.9*

Ｆ３　あなたのご職業は次のどれですか。（○は１つ）

1	自営業・事業主	*11.6*	4	その他就業者（家族従業者、農業従業者など）	*0.6*
2	会社員、公務員、団体職員	*36.9*	5	家事専業	*11.1*
3	パート・臨時		6	学生	*4.2*
	（非常勤、嘱託、派遣などを含む）	*13.6*	7	無職	*16.0*
			8	その他	*3.5*

(無回答)　*2.4*

Ｆ４　あなたの世帯構成（同居している方）は、次のどれにあたりますか。（○は１つ）

1	夫婦/パートナーだけ（一世代世帯）	*29.4*	4	一人暮らし	*19.2*
2	親と子ども（二世代世帯）	*40.4*	5	その他	*4.8*
3	親と子どもと孫（三世代世帯）	*3.8*		*(無回答)*	*2.5*

Ｆ５　回答者ご本人も含めて、同居している方の中に高齢者（６５歳以上の方）はいらっしゃいますか。（○は１つ）

1	い　る	*43.3*	2	いない	*54.8*	*(無回答)*	*1.9*

Ｆ６　配偶者/パートナーはいらっしゃいますか。（○は１つ）

1	な　し（離婚・死別を含む）	*35.2*	→ **Ｆ７**にお答えください。
2	あ　り	*62.0*	**Ｆ６－１**にお答えください。

(無回答)　*2.8*

（Ｆ６で「２」と答えた方に）　*(n=1,536)*

Ｆ６－１　あなたと配偶者/パートナーは、２人とも働いていますか。（○は１つ）

1	働いている	*54.0*	2	どちらかのみ働いている	*27.7*	3	２人とも働いていない　*18.0*

(無回答)　*0.3*

（全員の方に）

Ｆ７　あなたご自身は、次のどれにあたりますか。（○は１つ）

1	１５～１７歳	*1.7*
2	独　身（１８～３９歳）	*11.9*
3	独　身（４０～６４歳）	*9.5*
4	独　身（６５歳以上）	*7.0*
5	子どもがいる（一番上の子どもが小学校入学前）	*4.6*
6	子どもがいる（一番上の子どもが小・中学生）	*9.2*
7	子どもがいる（一番上の子どもが高校・大学生・大学院生・短大生・専門学生）	*8.3*
8	子どもがいる（一番上の子どもが学業修了）	*15.1*
9	夫婦/パートナーのみ（本人が１８～３９歳）	*3.5*
10	夫婦/パートナーのみ（本人が４０～６４歳）	*8.5*
11	夫婦/パートナーのみ（本人が６５歳以上）	*14.7*
12	その他	*4.5*
	（無回答）	*1.5*

Ｆ８　あなたの住居形態は次のどれにあたりますか。（○は１つ）

1	持ち家（一戸建て）	*41.5*
2	持ち家（アパート・マンション）	*23.7*
3	民営賃貸アパート・マンション	*23.5*
4	都市再生機構（旧公団）・公社・都営住宅・区営住宅	*2.6*
5	社宅・官舎・寮・間借り・住み込み	*2.7*
6	一戸建て借家	*2.8*
7	その他	*2.2*
	（無回答）	*1.0*

Ｆ９　あなたのお住まいの地域は次のどれですか。（○は１つ）

1	世田谷東部（池尻、下馬、三宿、太子堂、三軒茶屋、野沢、若林、上馬、駒沢１～２丁目）	*14.2*
2	世田谷西部（世田谷、弦巻、宮坂、桜、経堂、桜丘）	*12.4*
3	北沢東部　（北沢、代沢、大原、羽根木、代田）	*7.8*
4	北沢西部　（松原、梅丘、豪徳寺、赤堤、桜上水）	*9.1*
5	玉川北部　（駒沢公園、駒沢３～５丁目、新町、深沢、桜新町、用賀、上用賀、玉川台）	*9.7*
6	玉川南部　（奥沢、東玉川、玉川田園調布、等々力、尾山台、玉堤）	*8.7*
7	玉川西部　（中町、野毛、瀬田、上野毛、玉川）	*6.4*
8	砧北部　　（船橋、千歳台、祖師谷、砧、成城）	*12.6*
9	砧南部　　（大蔵、砧公園、岡本、鎌田、喜多見、宇奈根）	*5.2*
10	烏山　　（八幡山、南烏山、粕谷、北烏山、給田、上祖師谷、上北沢）	*13.2*
	（無回答）	*0.8*

ご協力ありがとうございました。

※ ご記入いただいた調査用紙は６月３日までに、投函してください。

調　査　結　果

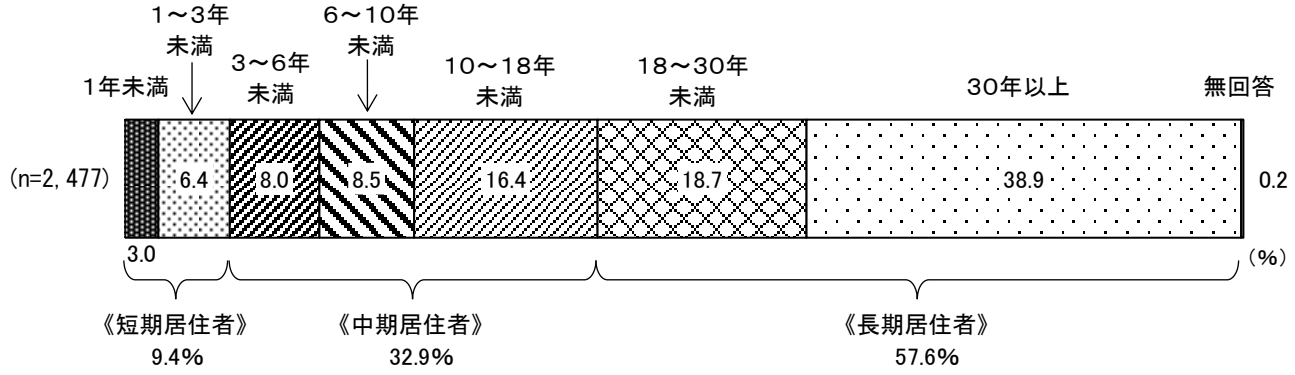
１．定住性

（１）居住年数

◎居住年数 18 年以上の《長期居住者》が６割近く

問１　あなたは、世田谷区に住んで何年くらいになりますか。（○は１つ）

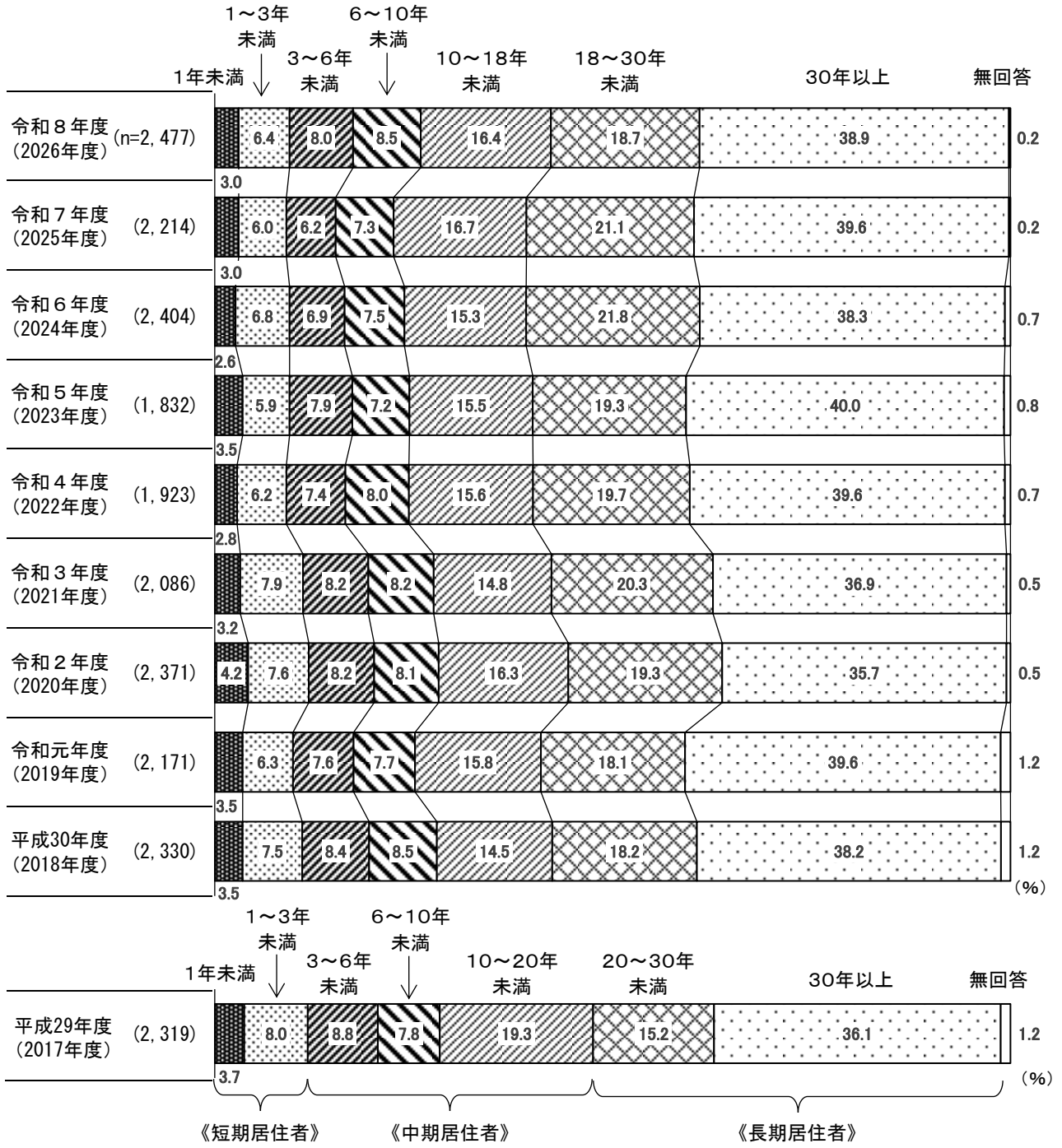
図１－１－１



世田谷区での居住年数は、「１年未満」（3.0%）と「１～３年未満」（6.4%）を合わせた《短期居住者》（9.4%）がほぼ１割、「３～６年未満」（8.0%）、「６～10 年未満」（8.5%）、「10～18 年未満」（16.4%）を合わせた《中期居住者》（32.9%）が３割を超え、「18～30 年未満」（18.7%）と「30 年以上」（38.9%）を合わせた《長期居住者》（57.6%）が６割近くとなっている。

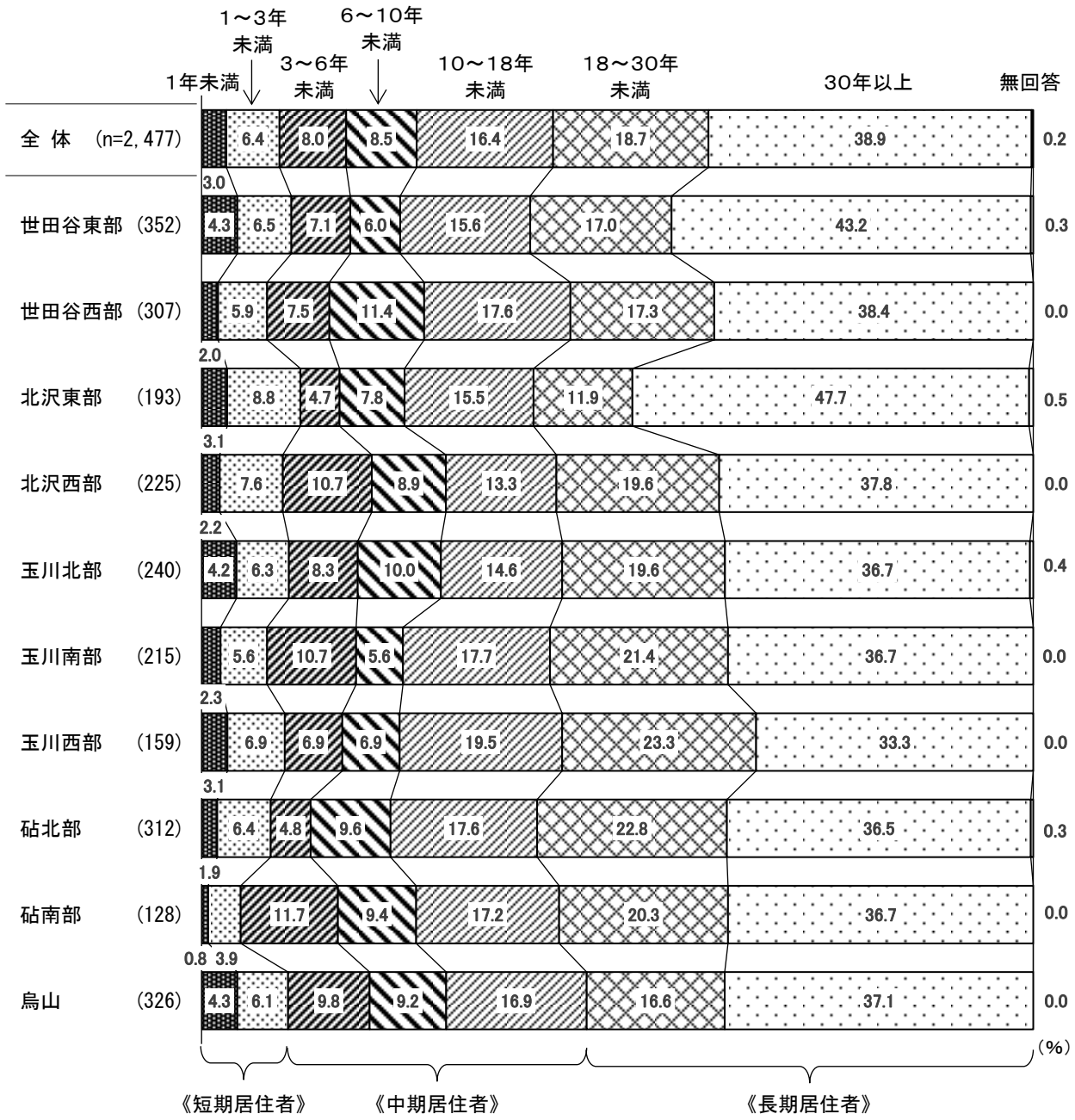
（図１－１－１）

図１－１－２　居住年数（時系列）



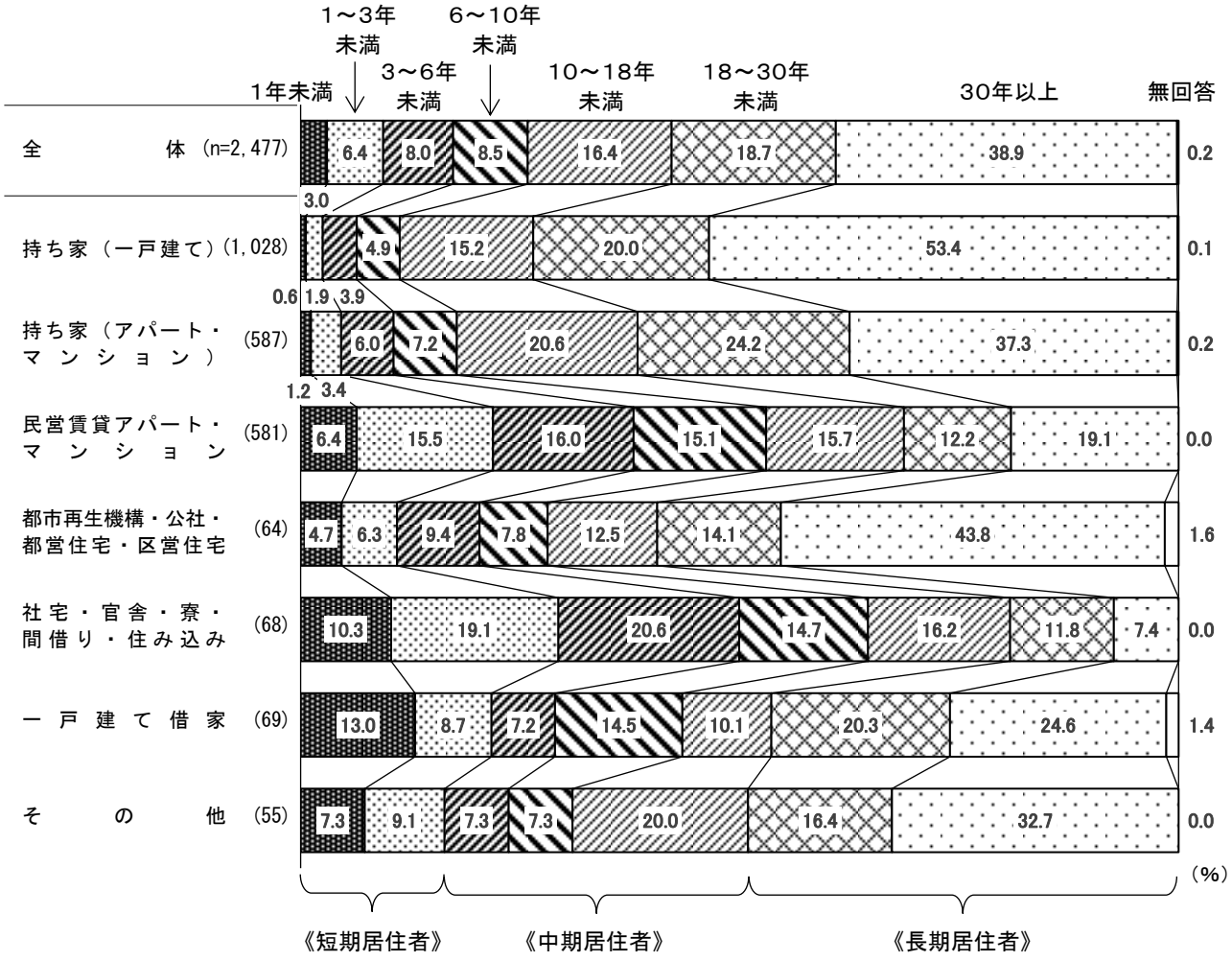
平成 30 年度（2018 年度）以降と平成 29 年度（2017 年度）では、「10～18 年未満」と「18～30 年未満」の区分が異なるが、平成 29 年度（2017 年度）からの時系列の変化をみると、《短期居住者》、《中期居住者》、《長期居住者》ともに割合に大きな変化は見られない。《長期居住者》は令和４年度（2022 年度）から令和７年度（2025 年度）は６割前後で推移し、令和８年度（2026 年度）は６割近くとなっている。（図１－１－２）

図１－１－３　居住年数（地域別）



地域別にみると、《長期居住者》は世田谷東部、北沢東部で６割、砧北部でほぼ６割となっている。《短期居住者》は北沢東部で１割を超え、世田谷東部でほぼ１割、玉川北部、烏山、玉川西部、北沢西部で１割となっている。（図１－１－３）

図１－１－４　居住年数（住居形態別）



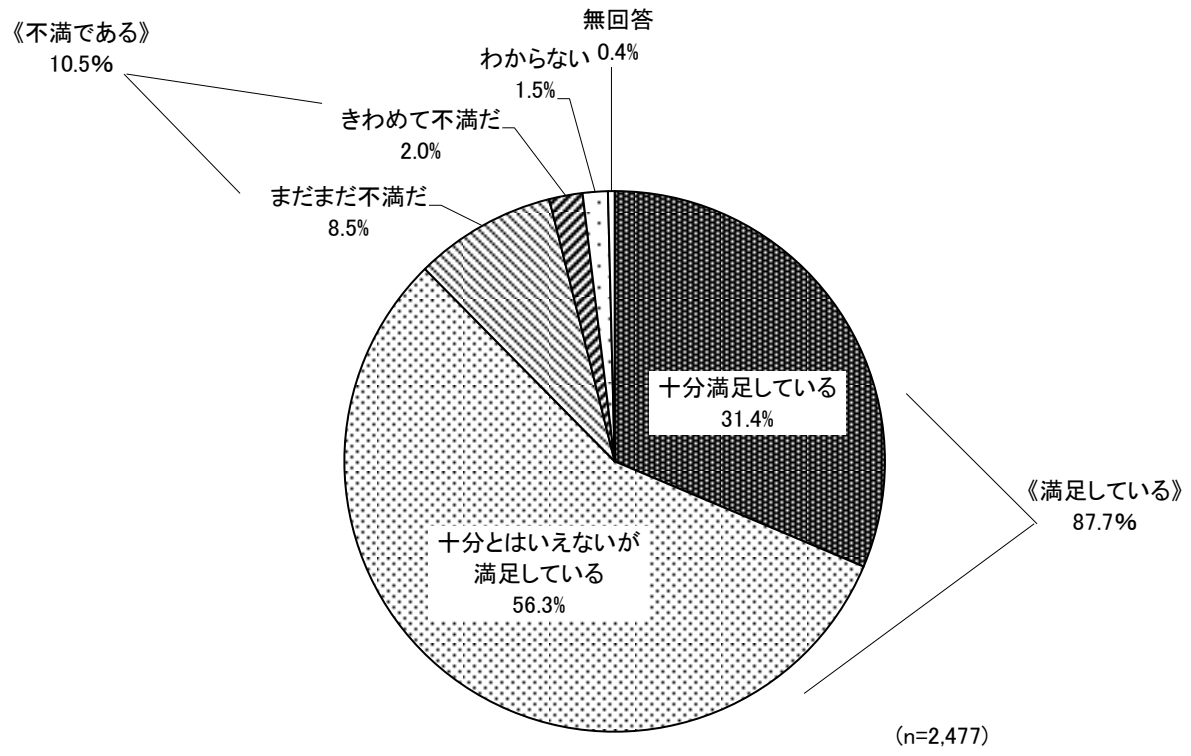
住居形態別にみると、《長期居住者》は持ち家（一戸建て）で７割を超え、持ち家（アパート・マンション）で６割を超え、都市再生機構・公社・都営住宅・区営住宅で６割近くとなっている。《短期居住者》は社宅・官舎・寮・間借り・住み込みでほぼ３割、民営賃貸アパート・マンション、一戸建て借家で２割を超えている。（図１－１－４）

（２）暮らしの満足度

◎《満足している》が９割近く

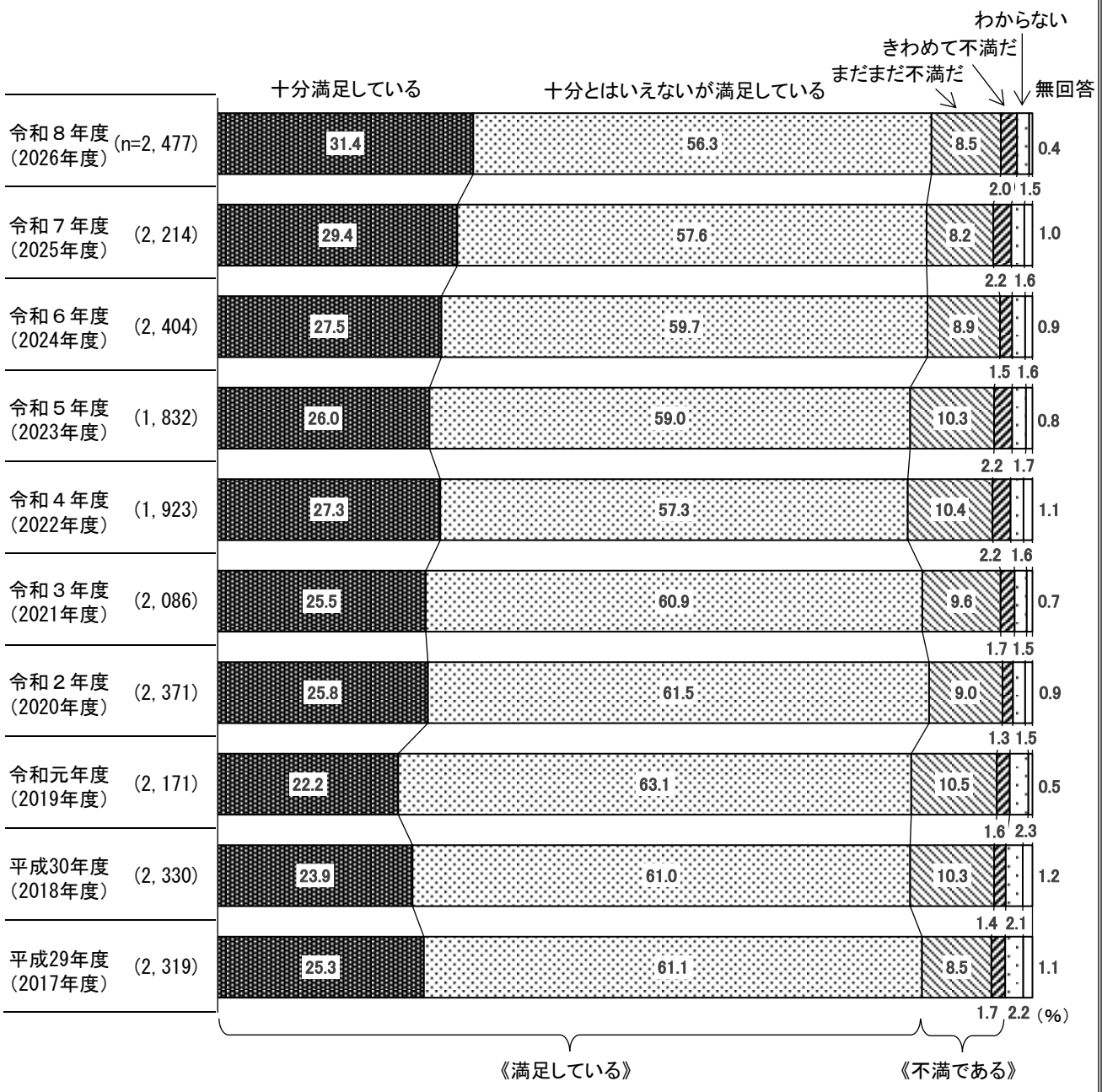
問２　あなたは、現在の暮らしについてどのように思っていますか。（○は１つ）

図１－２－１



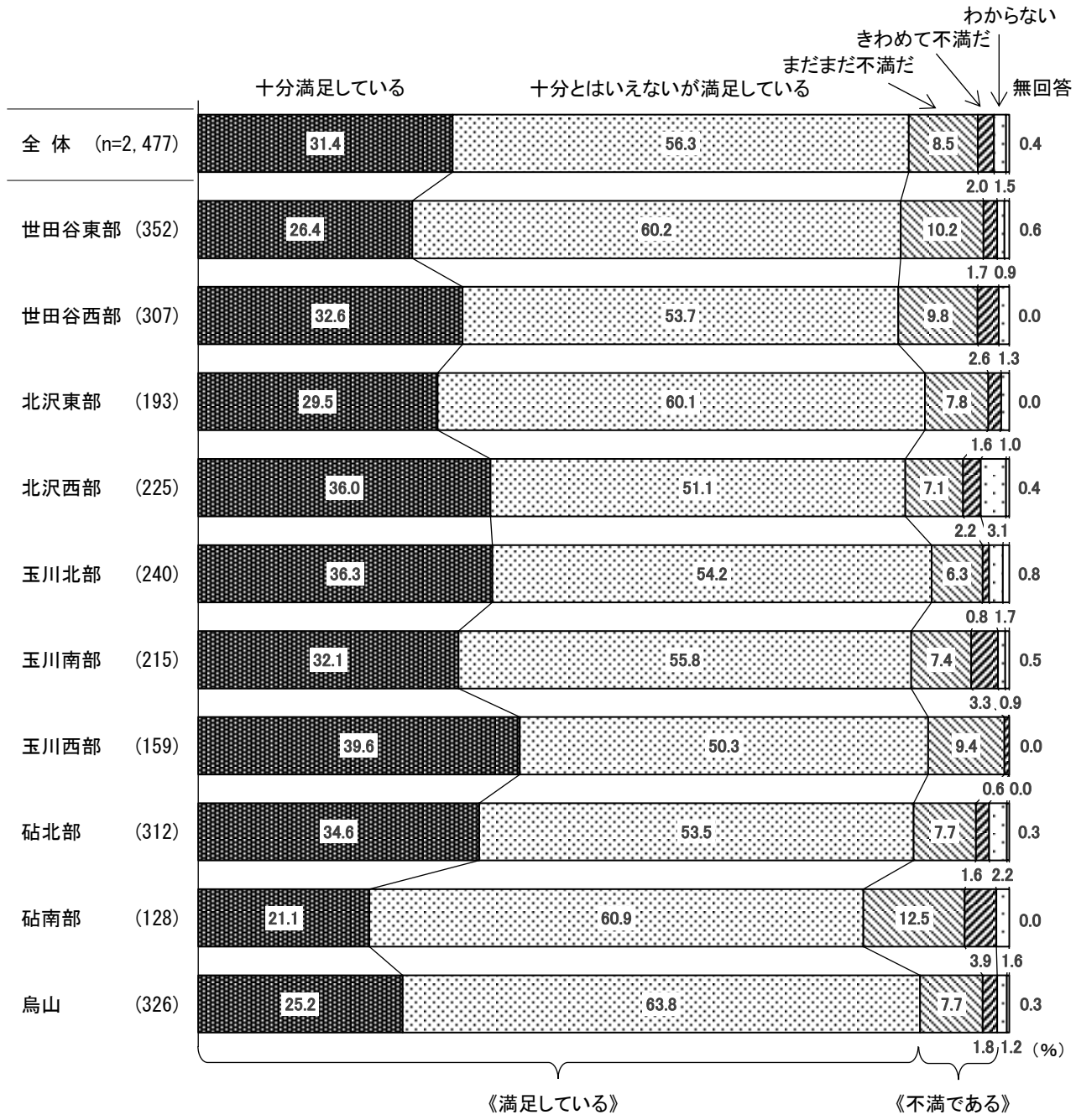
現在の暮らしについてどのように思っているか聞いたところ、「十分満足している」（31.4%）と「十分とはいえないが満足している」（56.3%）を合わせた《満足している》（87.7%）が９割近くとなり、「まだまだ不満だ」(8.5%)と「きわめて不満だ」(2.0%)を合わせた《不満である》(10.5%)を大きく上回っている。（図１－２－１）

図１－２－２　暮らしの満足度（時系列）



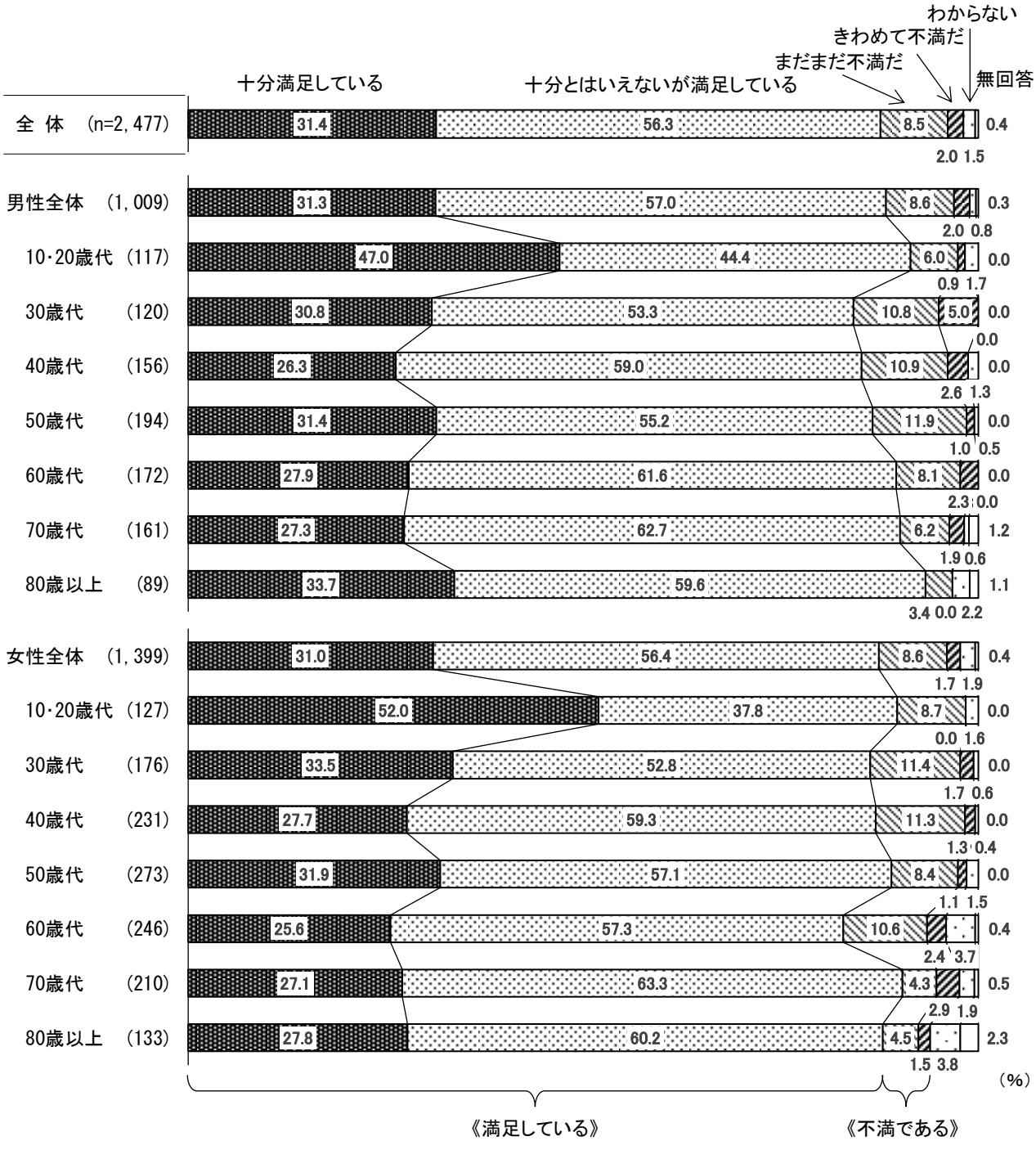
平成 29 年度（2017 年度）からの時系列の変化をみると、《満足している》が多数を占める傾向に変化はない。令和８年度（2026 年度）は「十分満足している」が３割を超え、平成 29 年度（2017 年度）以降で最も高くなっている。（図１－２－２）

図１－２－３　暮らしの満足度（地域別）



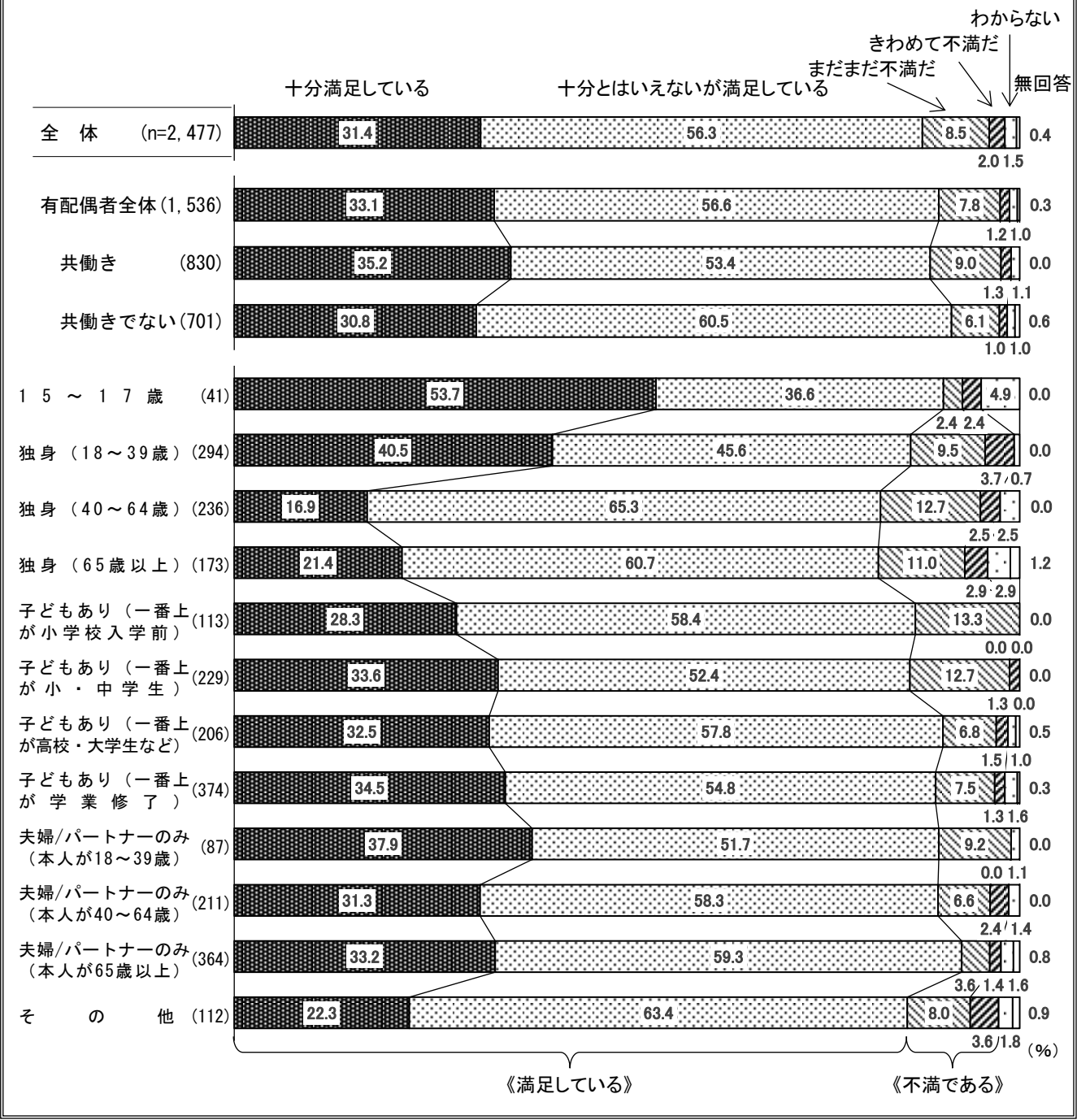
地域別にみると、いずれの地域も《満足している》が多数を占めており、「十分満足している」は玉川西部で４割、玉川北部、北沢西部、砧北部で３割半ばとなっている。一方、《不満である》は砧南部で１割半ばとなっている。（図１－２－３）

図１－２－４　暮らしの満足度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《満足している》は男性の 10・20 歳代と 80 歳以上で９割を超え、男性の 60 歳代と 70 歳代、女性の 10・20 歳代、50 歳代、70 歳代で９割前後となっている。「十分満足している」は女性の 10・20 歳代で５割を超え、男性の 10・20 歳代で５割近くとなっている。一方、《不満である》は男性の 30 歳代で１割半ばとなっている。（図１－２－４）

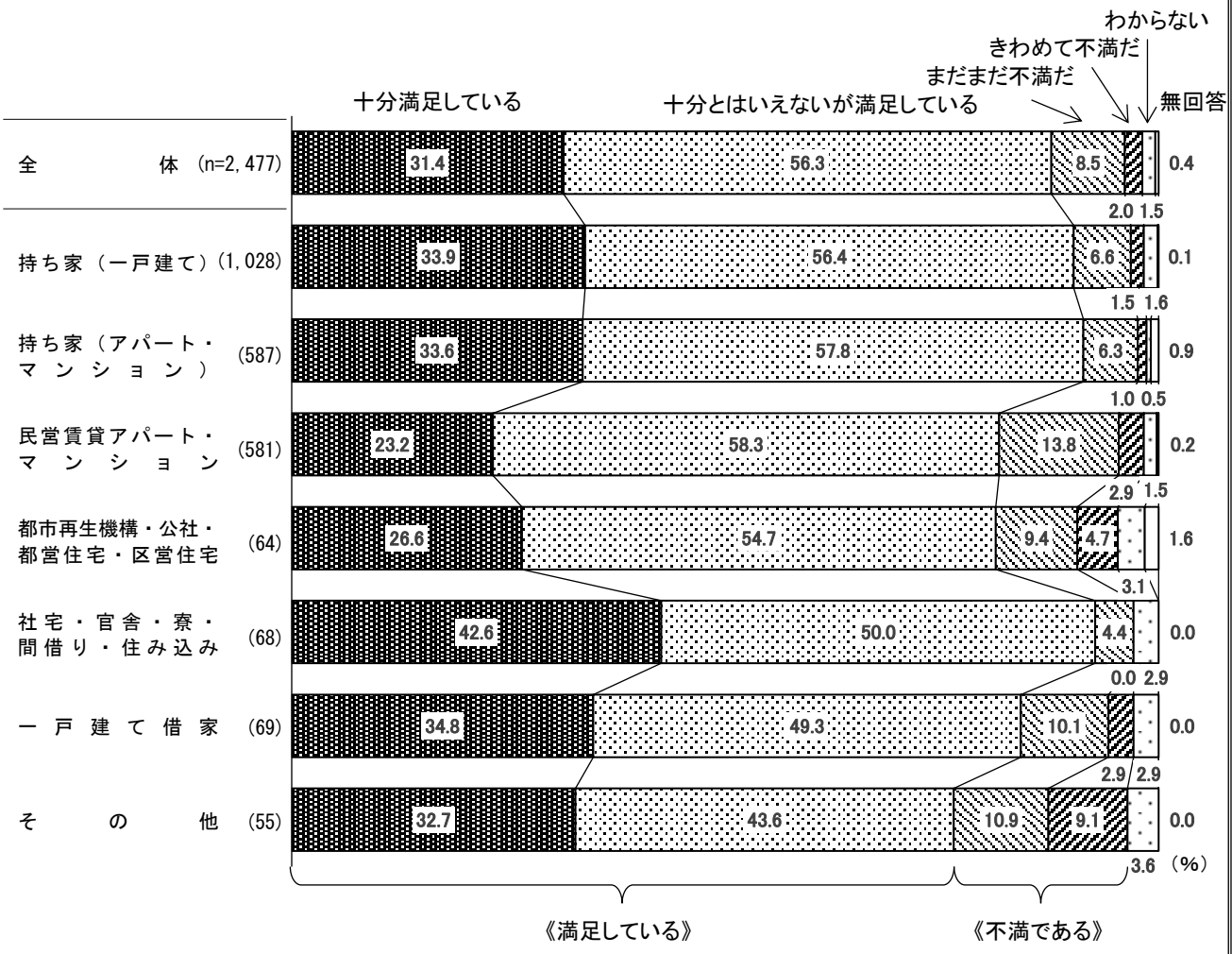
図１－２－５　暮らしの満足度（共働きの有無別・ライフスタイル別）



共働きの有無別にみると、《満足している》は共働きでない世帯で９割を超え、共働き世帯の９割近くよりやや高くなっている。

ライフスタイル別にみると、《満足している》は夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で９割を超え、15～17 歳、子どもあり（一番上が高校・大学生など）、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で９割、子どもあり（一番上が学業修了）でほぼ９割となっている。「十分満足している」は 15～17 歳で５割を超え、独身（18～39 歳）でほぼ４割となっている。一方、《不満である》は独身（40～64 歳）と子どもあり（一番上が小・中学生）で１割半ばとなっている。（図１－２－５）

図１－２－６　暮らしの満足度（住居形態別）



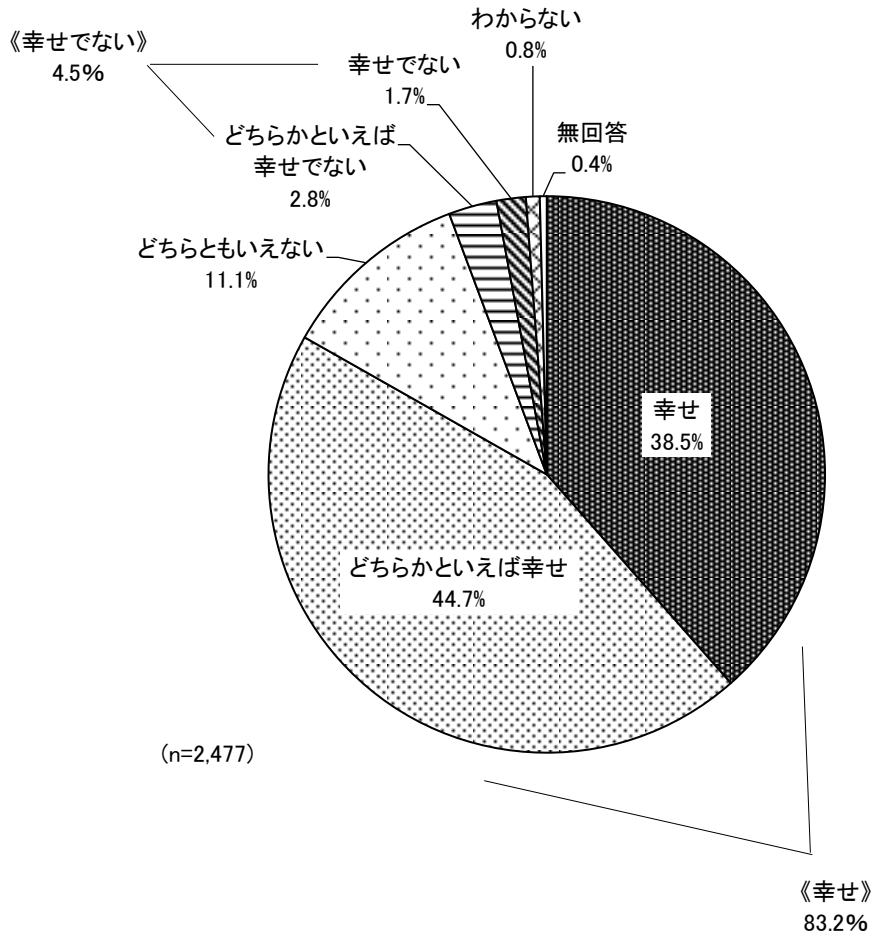
住居形態別にみると、《満足している》は社宅・官舎・寮・間借り・住み込み、持ち家（アパート・マンション）で９割を超え、持ち家（一戸建て）で９割となっている。「十分満足している」は社宅・官舎・寮・間借り・住み込みで４割を超え、一戸建て借家で３割半ばとなっている。一方、《不満である》はその他で２割、民営賃貸アパート・マンションで２割近くとなっている。（図１－２－６）

（３）幸福度

◎《幸せ》が８割を超える

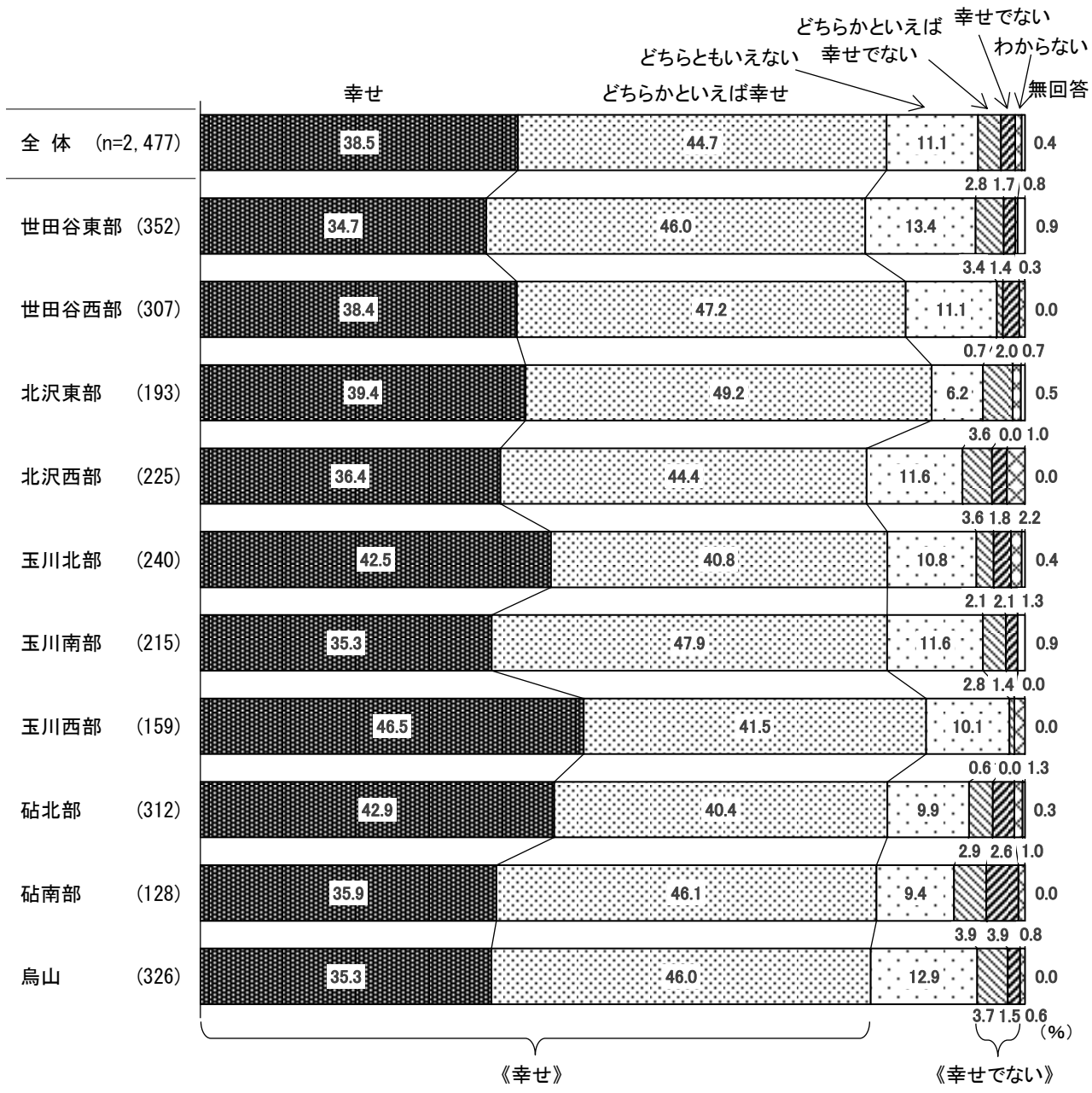
問３　あなたは、今幸せだと感じていますか。（○は１つ）

図１－３－１



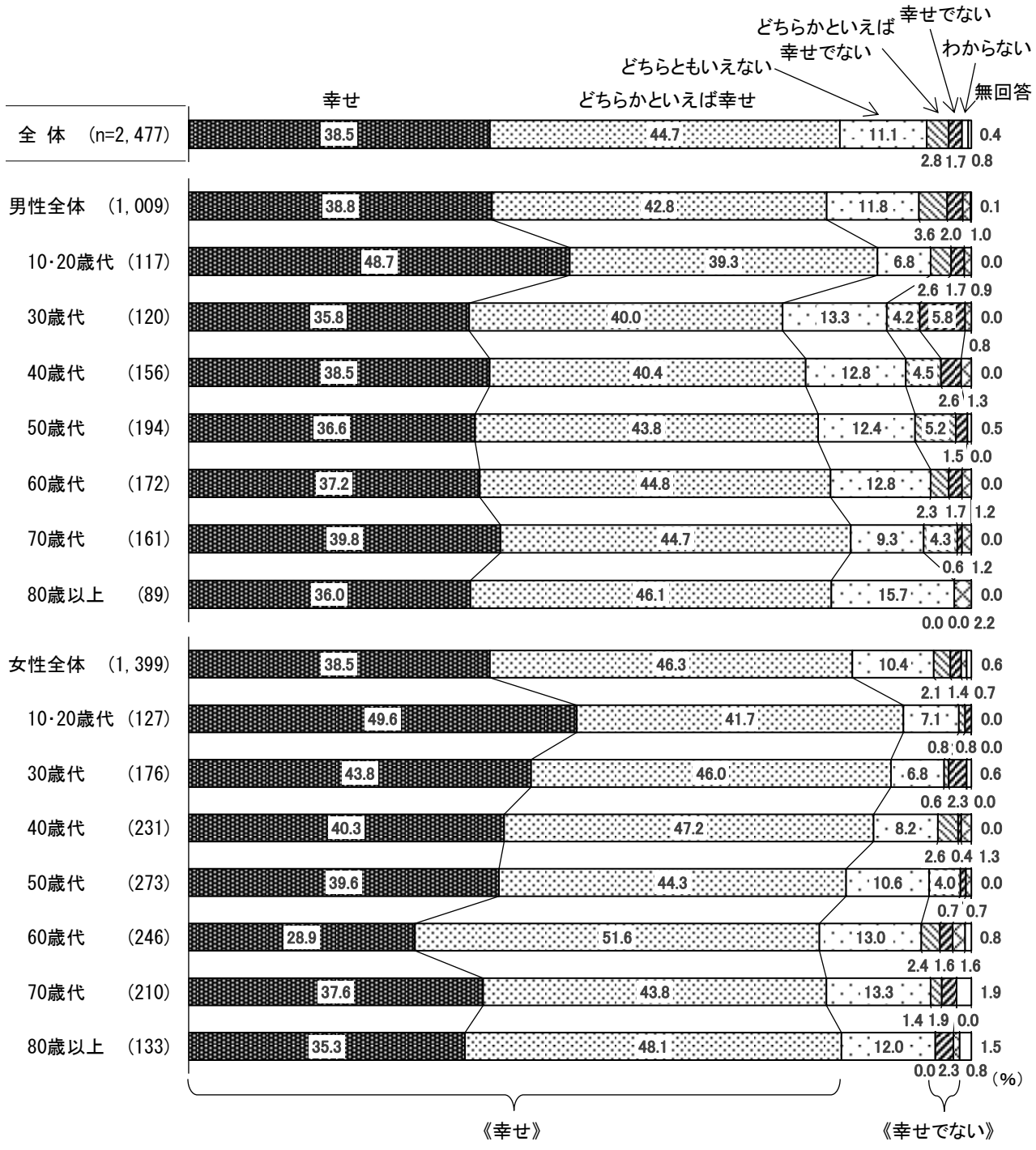
今幸せだと感じているか聞いたところ、「幸せ」（38.5%）と「どちらかといえば幸せ」（44.7%）を合わせた《幸せ》（83.2%）が８割を超え、「どちらかといえば幸せでない」（2.8%）と「幸せでない」（1.7%）を合わせた《幸せでない》（4.5%）を大きく上回っている。（図１－３－１）

図１－３－２　幸福度（地域別）



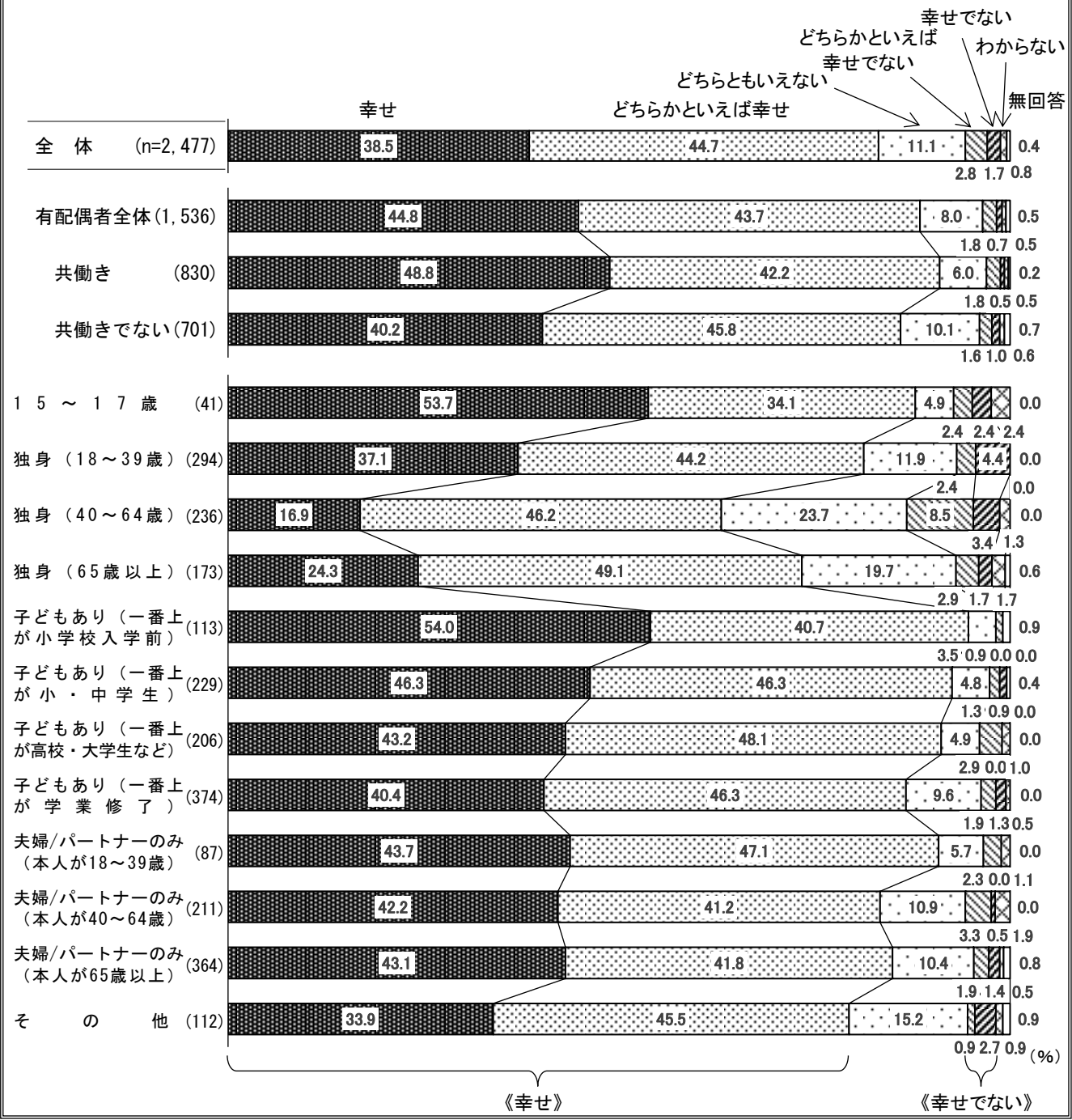
地域別にみると、いずれの地域も《幸せ》が多数を占めており、「幸せ」は玉川西部で５割近く、砧北部、玉川北部で４割を超えている。一方、《幸せでない》はいずれの地域でも１割に満たなかった。（図１－３－２）

図１－３－３　幸福度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《幸せ》は女性の 10・20 歳代で９割を超え、女性の 30 歳代で９割、男性の 10・20 歳代、女性の 40 歳代で９割近くとなっている。「幸せ」は女性の 10・20 歳代で５割、男性の 10・20 歳代で５割近く、女性の 30 歳代で４割を超えている。一方、《幸せでない》は男性の 30 歳代で１割となっている。（図１－３－３）

図１－３－４　幸福度（共働きの有無別・ライフスタイル別）



共働きの有無別にみると、《幸せ》は共働き世帯で９割を超え、共働きでない世帯の８割半ばより高くなっている。

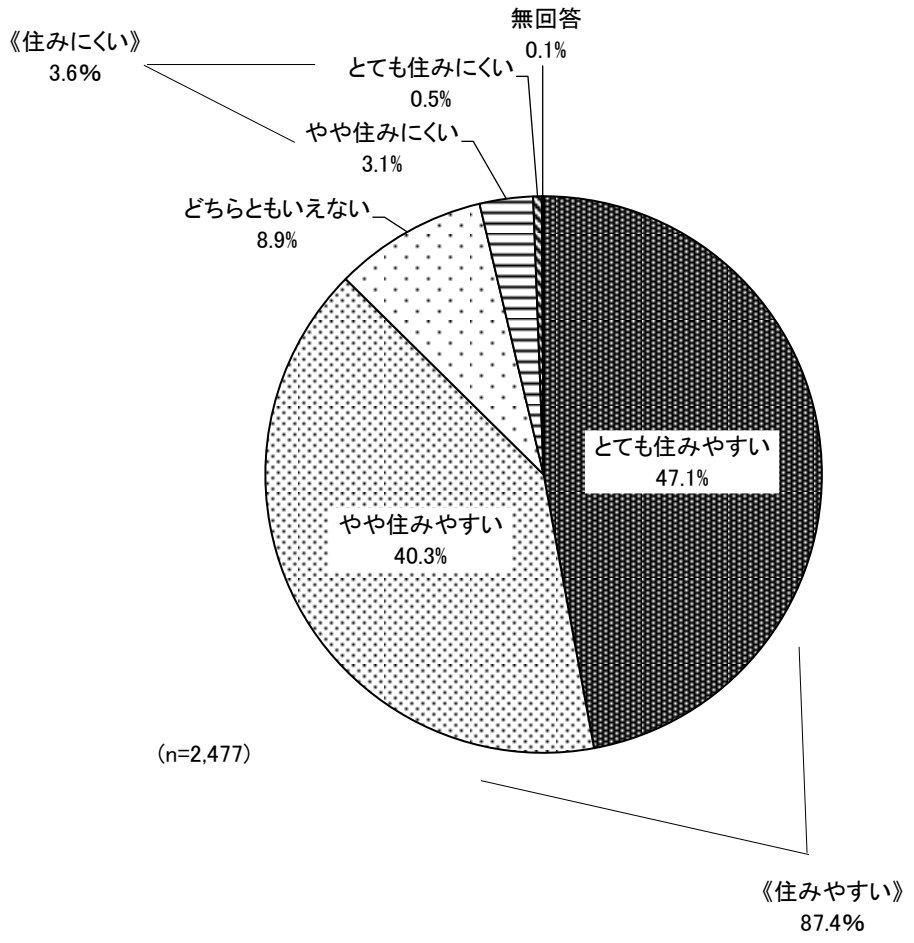
ライフスタイル別にみると、《幸せ》は子どもあり（一番上が小学校入学前）で９割半ば、子どもあり（一番上が小・中学生）、子どもあり（一番上が高校・大学生など）で９割を超え、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）でほぼ９割となっている。「幸せ」は子どもあり（一番上が小学校入学前）で５割半ば、15～17 歳で５割を超えている。一方、《幸せでない》は独身（40～64 歳）で１割を超えている。（図１－３－４）

（４）住みやすさ

◎《住みやすい》が９割近く

問４　あなたは、世田谷区は住みやすいところだと思いますか。それとも住みにくいところだと思いますか。（○は１つ）

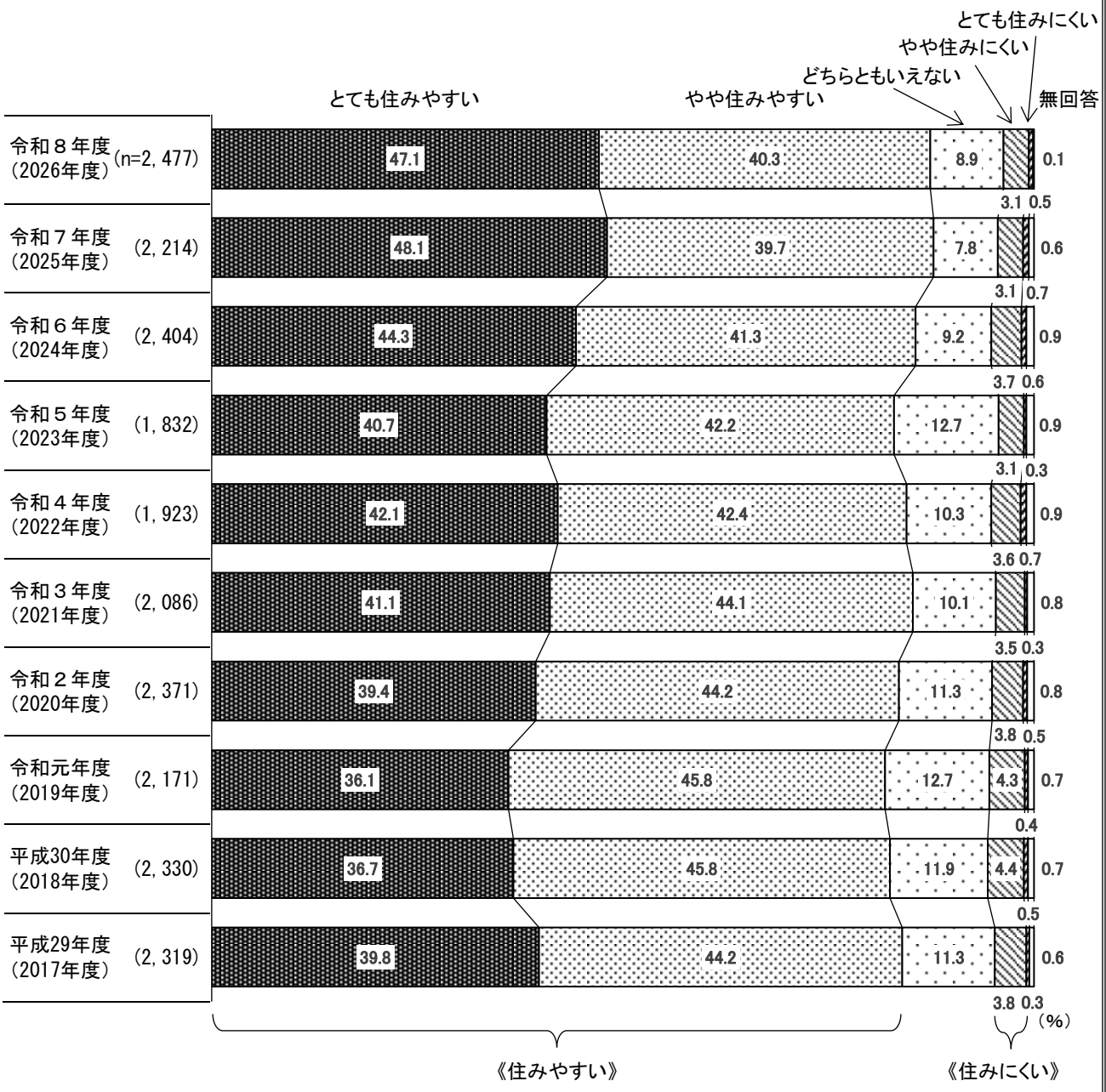
図１－４－１



世田谷区の住みやすさについて聞いたところ、「とても住みやすい」（47.1%）と「やや住みやすい」（40.3%）を合わせた《住みやすい》（87.4%）が９割近くで、「やや住みにくい」（3.1%）と「とても住みにくい」（0.5%）を合わせた《住みにくい》（3.6%）を大きく上回っている。

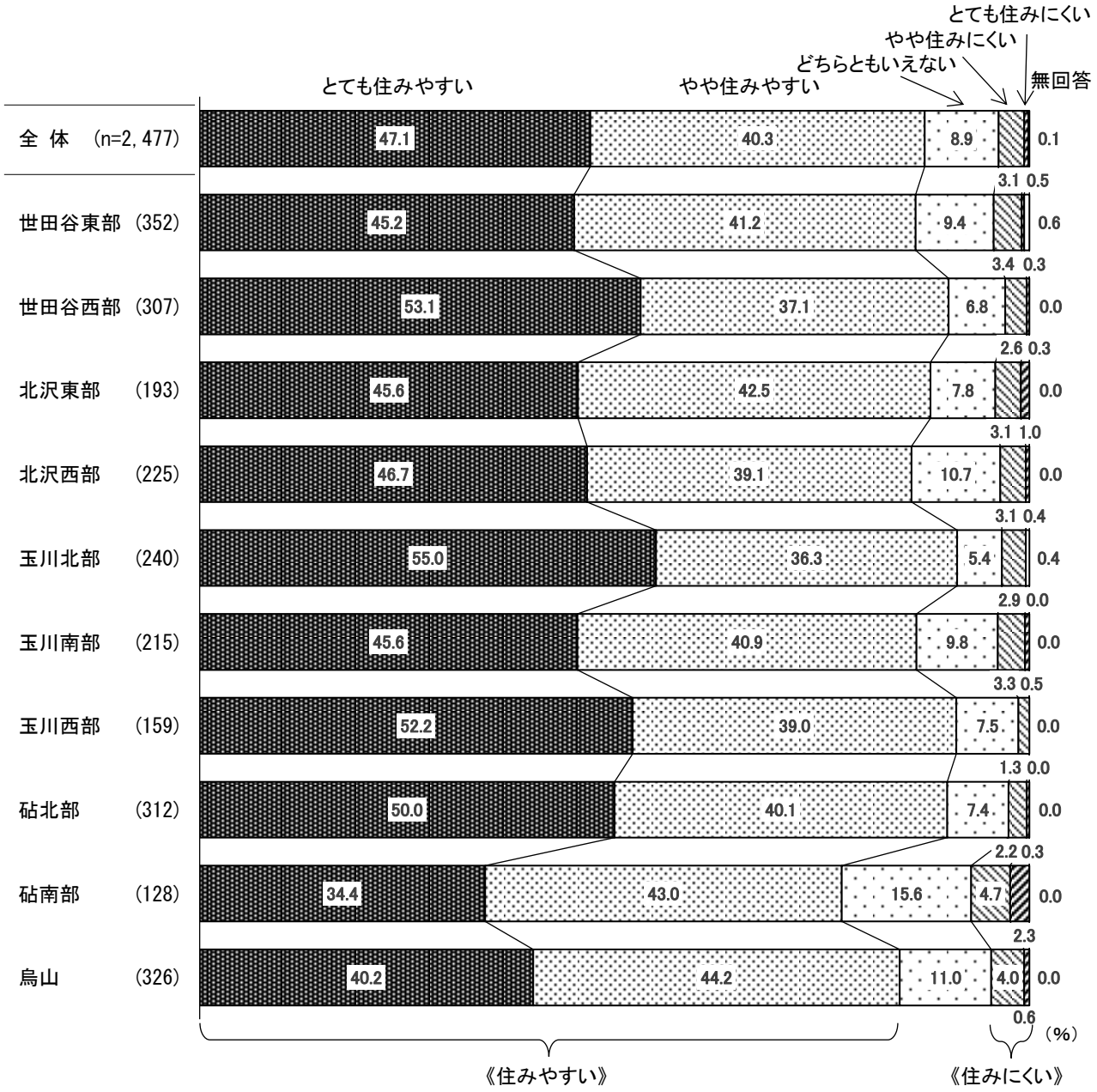
（図１－４－１）

図１－４－２　住みやすさ（時系列）



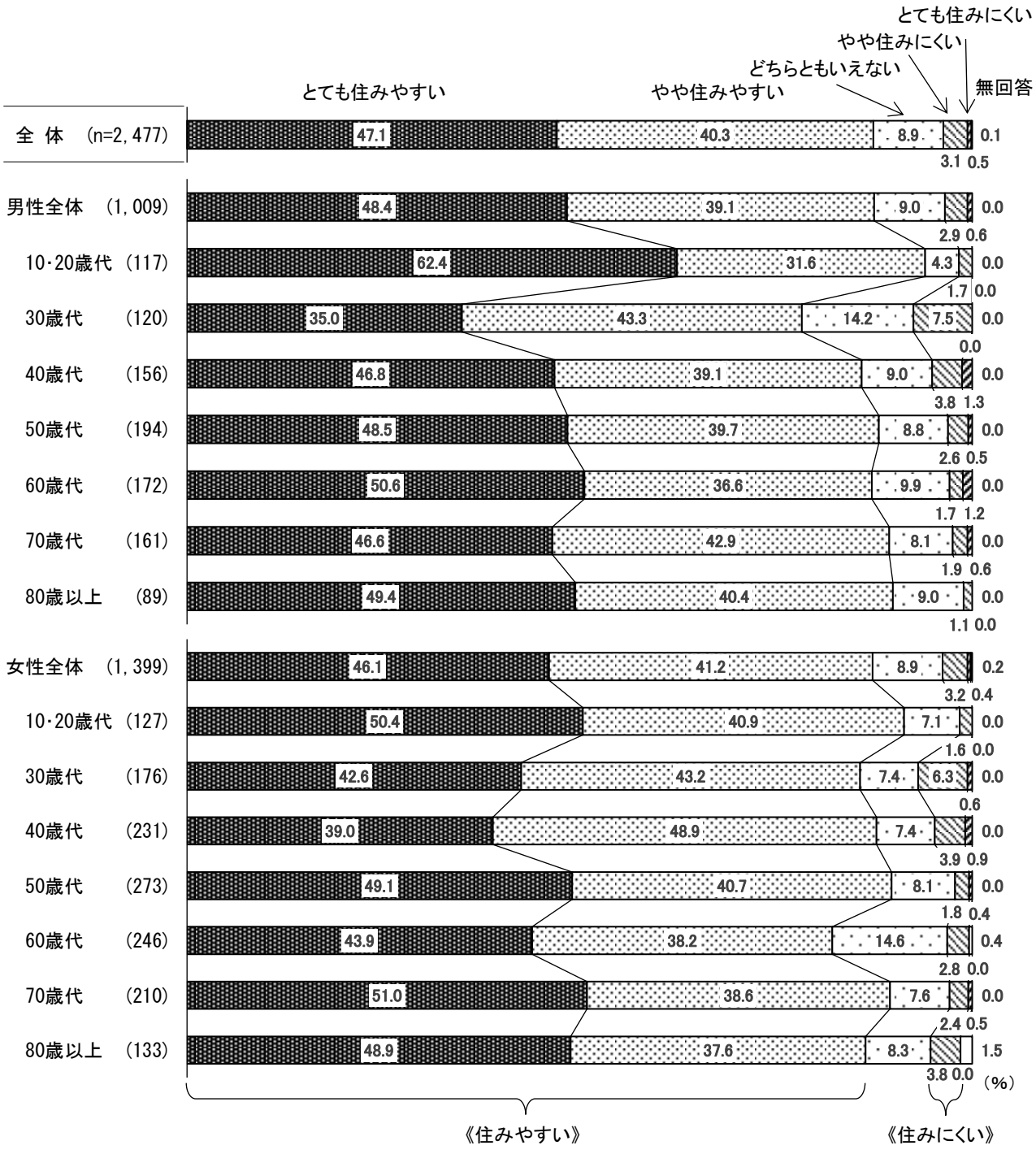
平成 29 年度（2017 年度）からの時系列の変化をみると、《住みやすい》はいずれの年も８割台で、令和７年度（2025 年度）以降は９割近くとなっている。「とても住みやすい」は令和２年度（2020 年度）までは３割台後半で推移し、令和３年度（2021 年度）から令和６年度（2024 年度）までは４割台、令和７年度（2025 年度）以降は５割近くとなっている。（図１－４－２）

図１－４－３　住みやすさ（地域別）



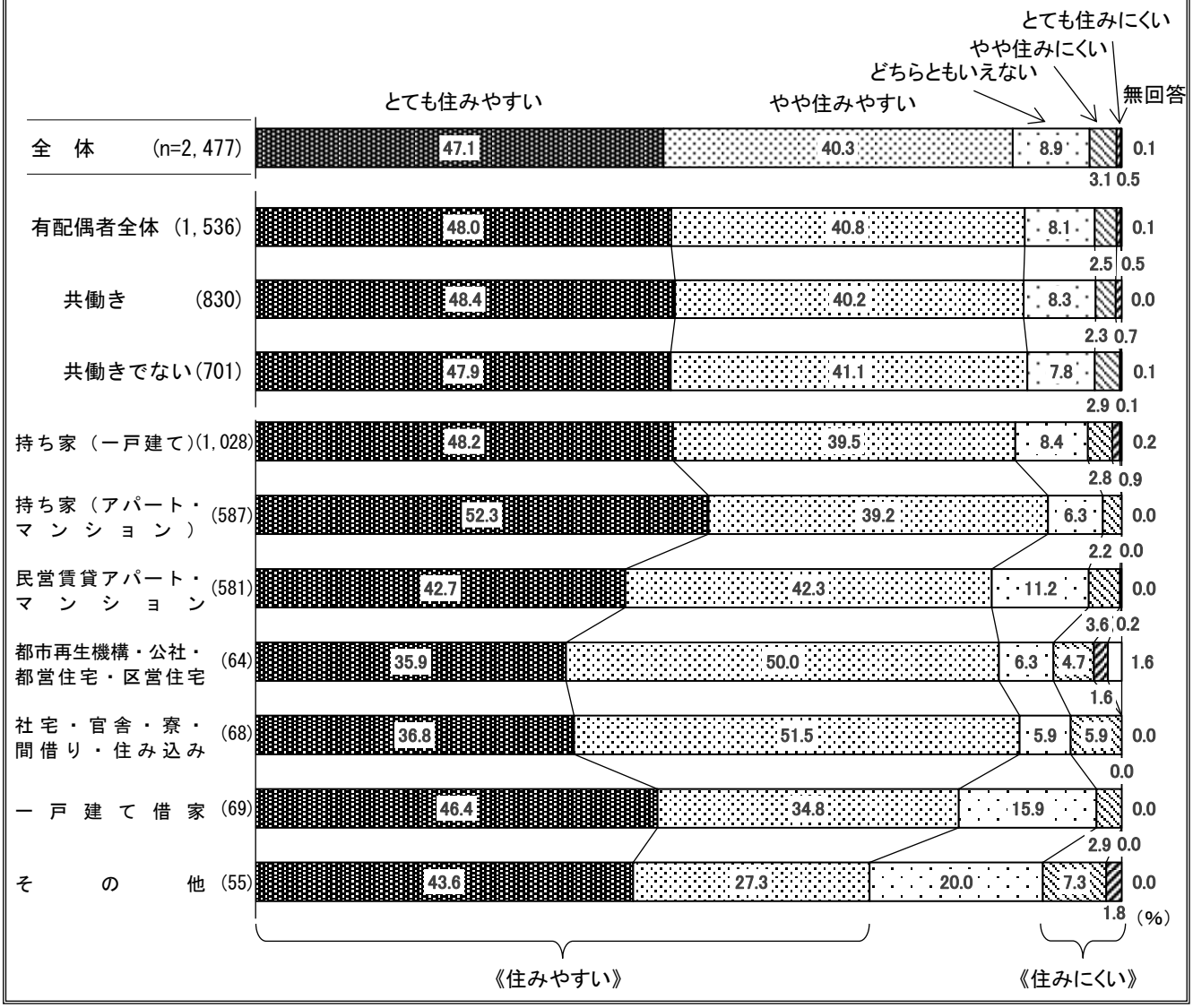
地域別にみると、いずれの地域も《住みやすい》が多数を占めており、「とても住みやすい」は玉川北部で５割半ば、世田谷西部、玉川西部で５割を超え、砧北部で５割となっている。《住みにくい》はいずれの地域でも１割に満たなかった。（図１－４－３）

図１－４－４　住みやすさ（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《住みやすい》は男性の 10・20 歳代で９割半ば、女性の 10・20 歳代で９割を超え、男性の 80 歳以上、女性の 50 歳代と 70 歳代で９割、男性の 70 歳代でほぼ９割となっている。「とても住みやすい」は男性の 10・20 歳代で６割を超え、女性の 70 歳代で５割を超えている。《住みにくい》はいずれの年代も１割に満たなかった。（図１－４－４）

図１－４－５　住みやすさ（共働きの有無別・住居形態別）



共働きの有無別にみると、共働き世帯と共働きでない世帯でほとんど差はみられない。

住居形態別にみると、《住みやすい》は、持ち家（アパート・マンション）で９割を超え、社宅・官舎・寮・間借り・住み込み、持ち家（一戸建て）で９割近くとなっている。「とても住みやすい」は持ち家（アパート・マンション）で５割を超え、持ち家（一戸建て）で５割近くとなっている。

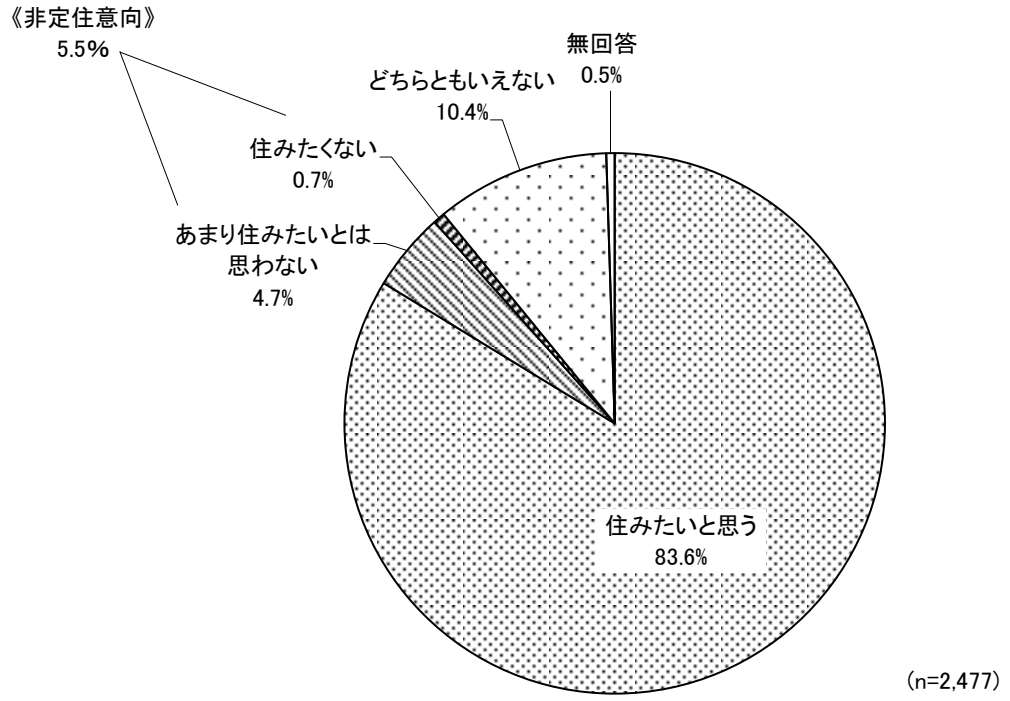
（図１－４－５）

（５）定住意向

◎「住みたいと思う」が８割を超える

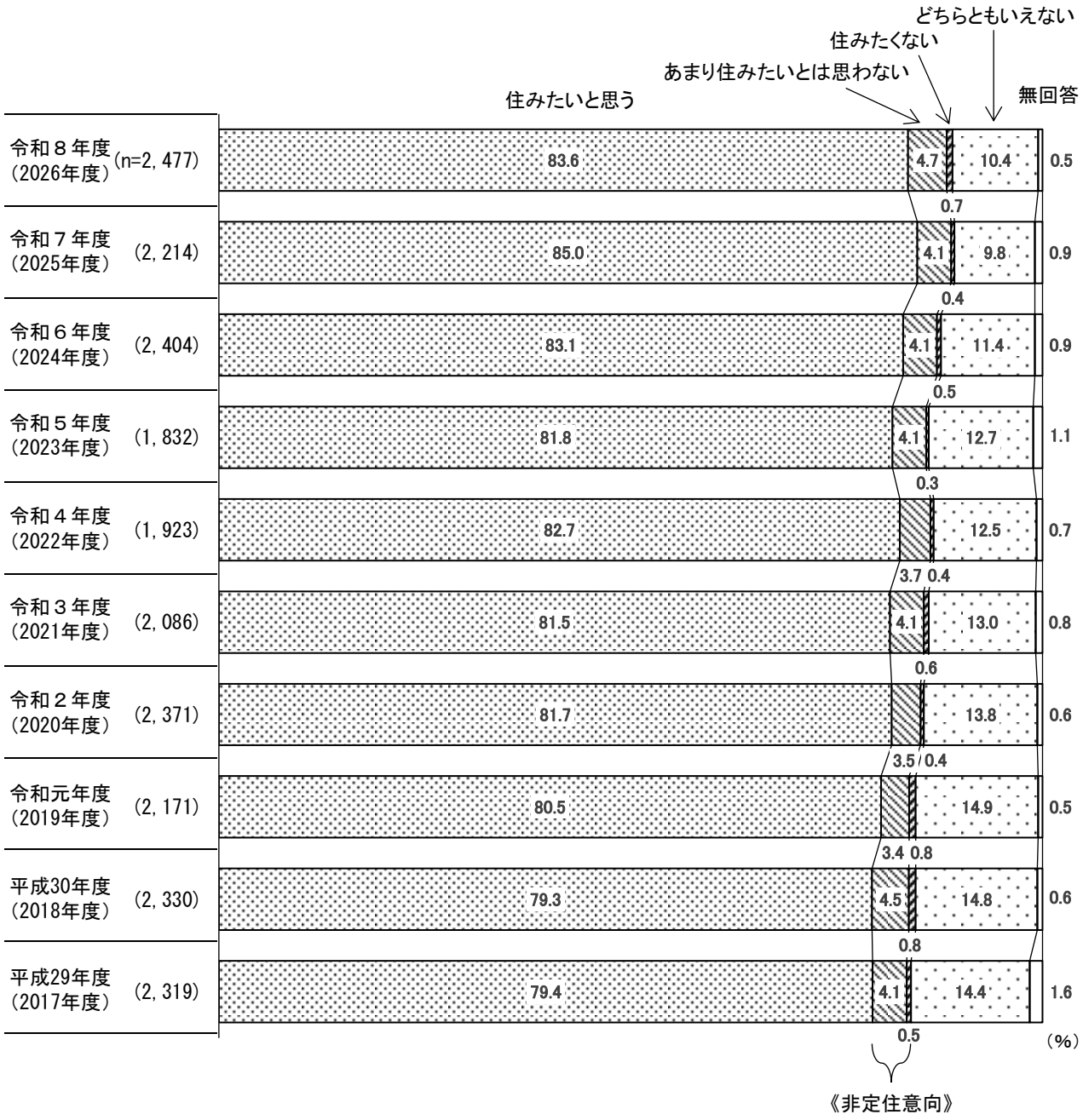
問５　あなたは、これからも世田谷区に住みたいと思いますか。（○は１つ）

図１－５－１



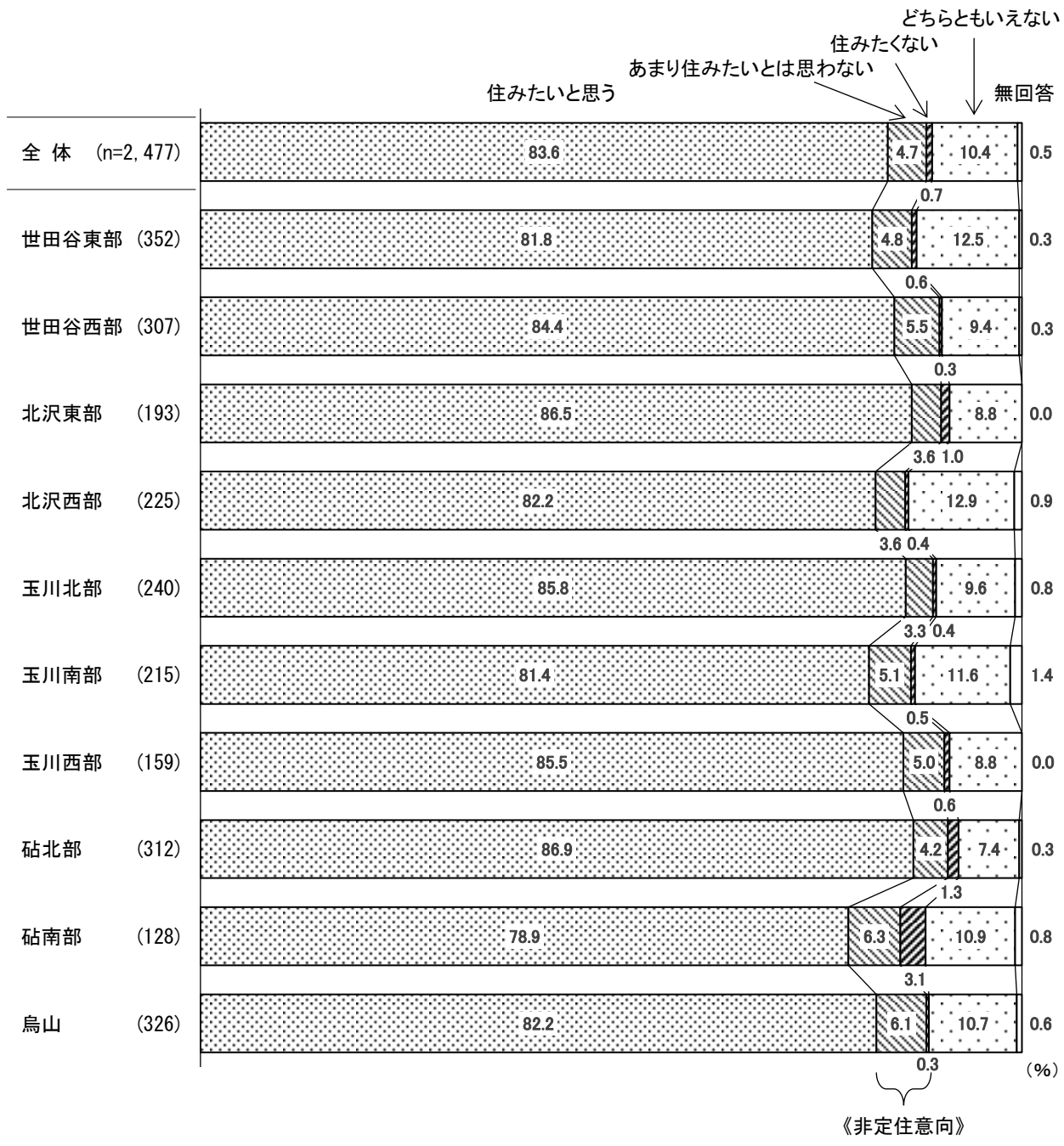
今後の世田谷区への定住意向を聞いたところ、「住みたいと思う」（83.6%）が８割を超えている。「あまり住みたいとは思わない」（4.7%）と「住みたくない」（0.7%）を合わせた《非定住意向》（5.5%）は１割に満たなかった。（図１－５－１）

図１－５－２　定住意向（時系列）



平成 29 年度（2017 年度）からの時系列の変化をみると、「住みたいと思う」は、令和元年度（2019 年度）以降は８割台で推移している。（図１－５－２）

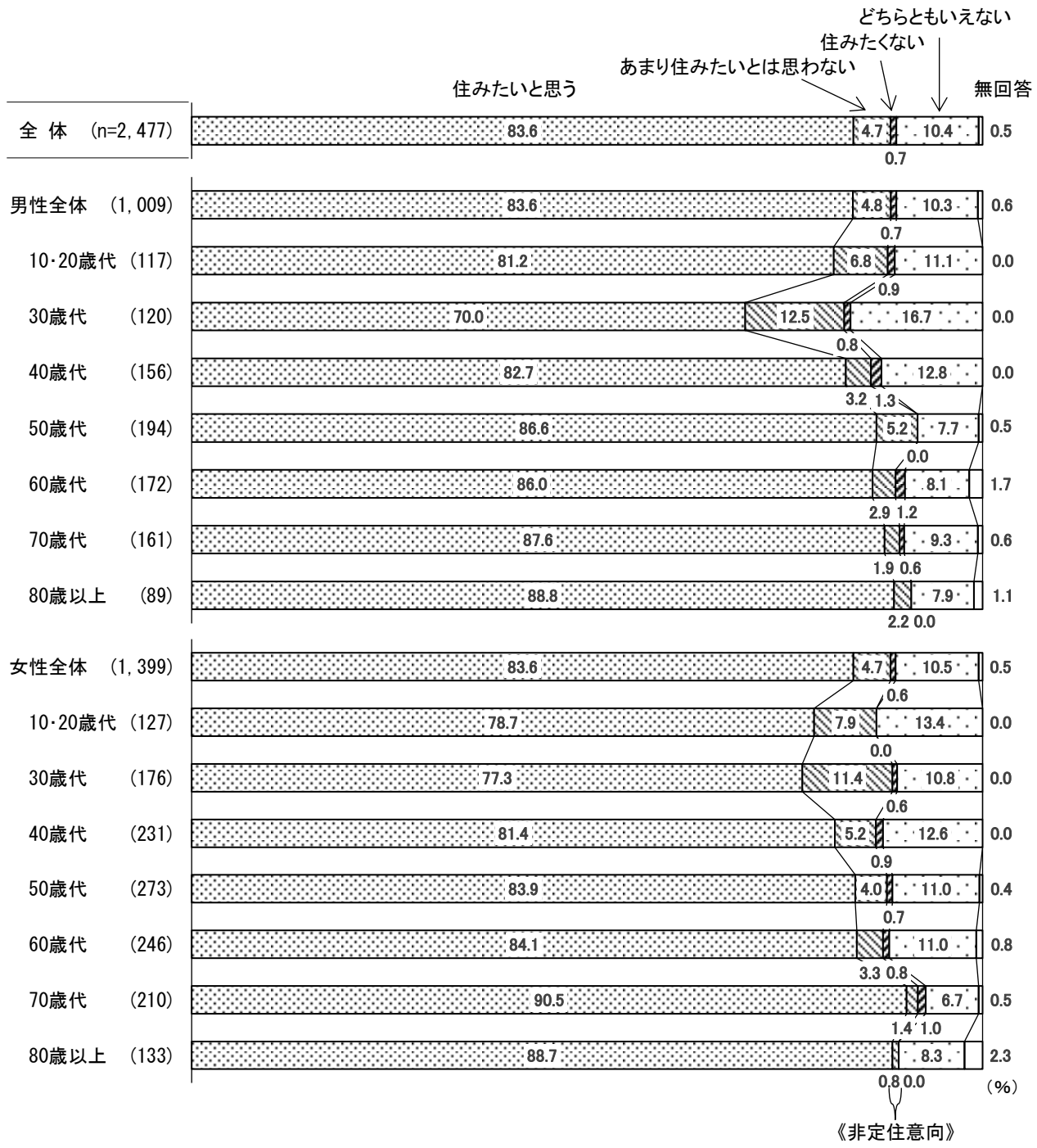
図１－５－３　定住意向（地域別）



地域別にみると、「住みたいと思う」は、砧北部、北沢東部で９割近く、玉川北部、玉川西部、世田谷西部で８割半ばとなっている。いずれの地域でも《非定住意向》は１割に満たなかった。

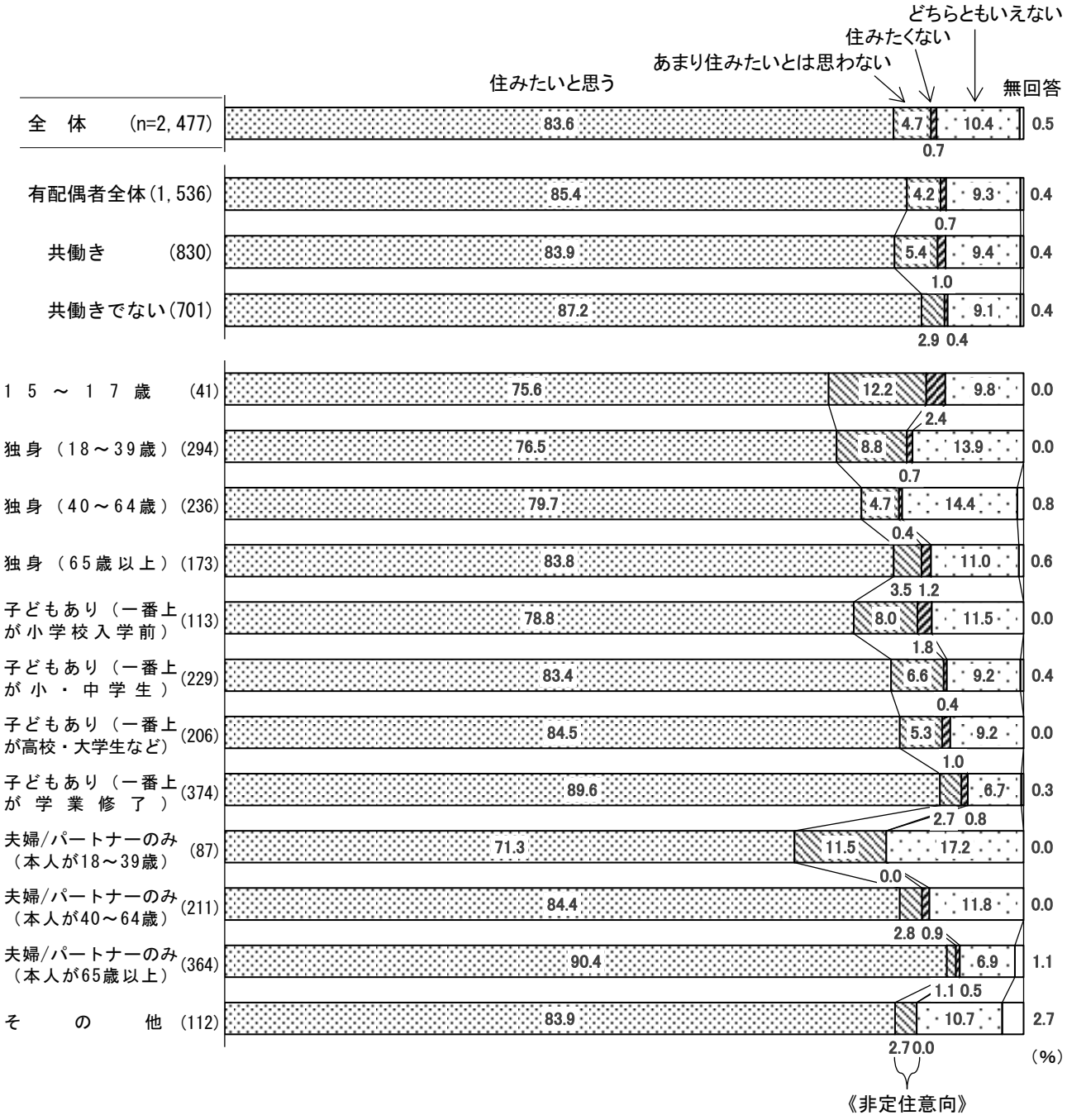
（図１－５－３）

図１－５－４　定住意向（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「住みたいと思う」は女性の 70 歳代でほぼ９割、男性の 50 歳代と 70 歳代以上、女性の 80 歳以上で９割近くとなっている。《非定住意向》は男女とも 30 歳代で１割を超えている。（図１－５－４）

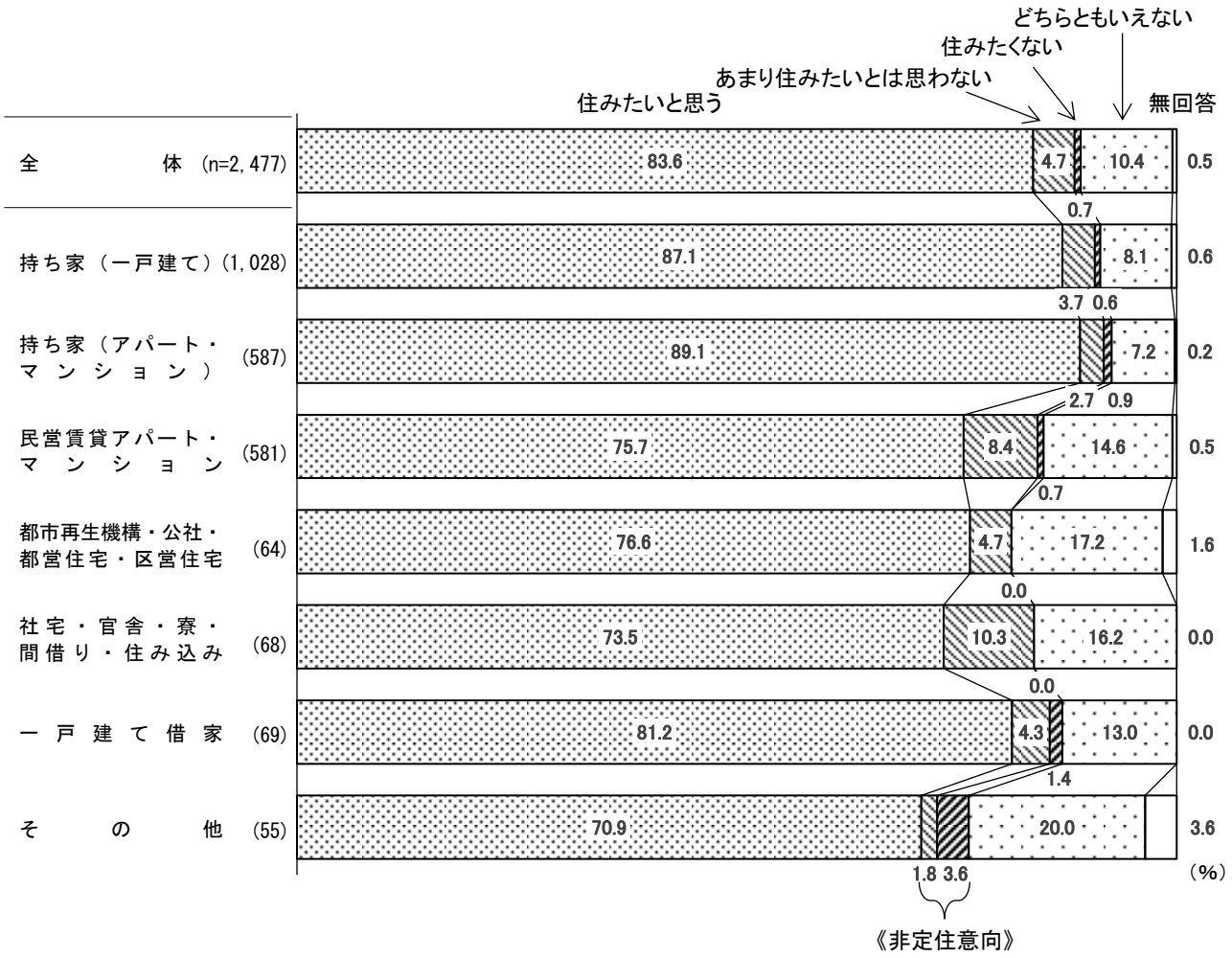
図１－５－５　定住意向（共働きの有無別・ライフスタイル別）



共働きの有無別にみると、「住みたいと思う」は共働きでない世帯で９割近く、共働き世帯で８割を超えている。《非定住意向》はいずれも１割未満となっている。

ライフスタイル別にみると、「住みたいと思う」は子どもあり（一番上が学業修了）、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で９割、子どもあり（一番上が高校・大学生など）、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で８割半ばとなっている。《非定住意向》は 15～17 歳で１割半ば、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で１割を超えている。（図１－５－５）

図１－５－６　定住意向（住居形態別）



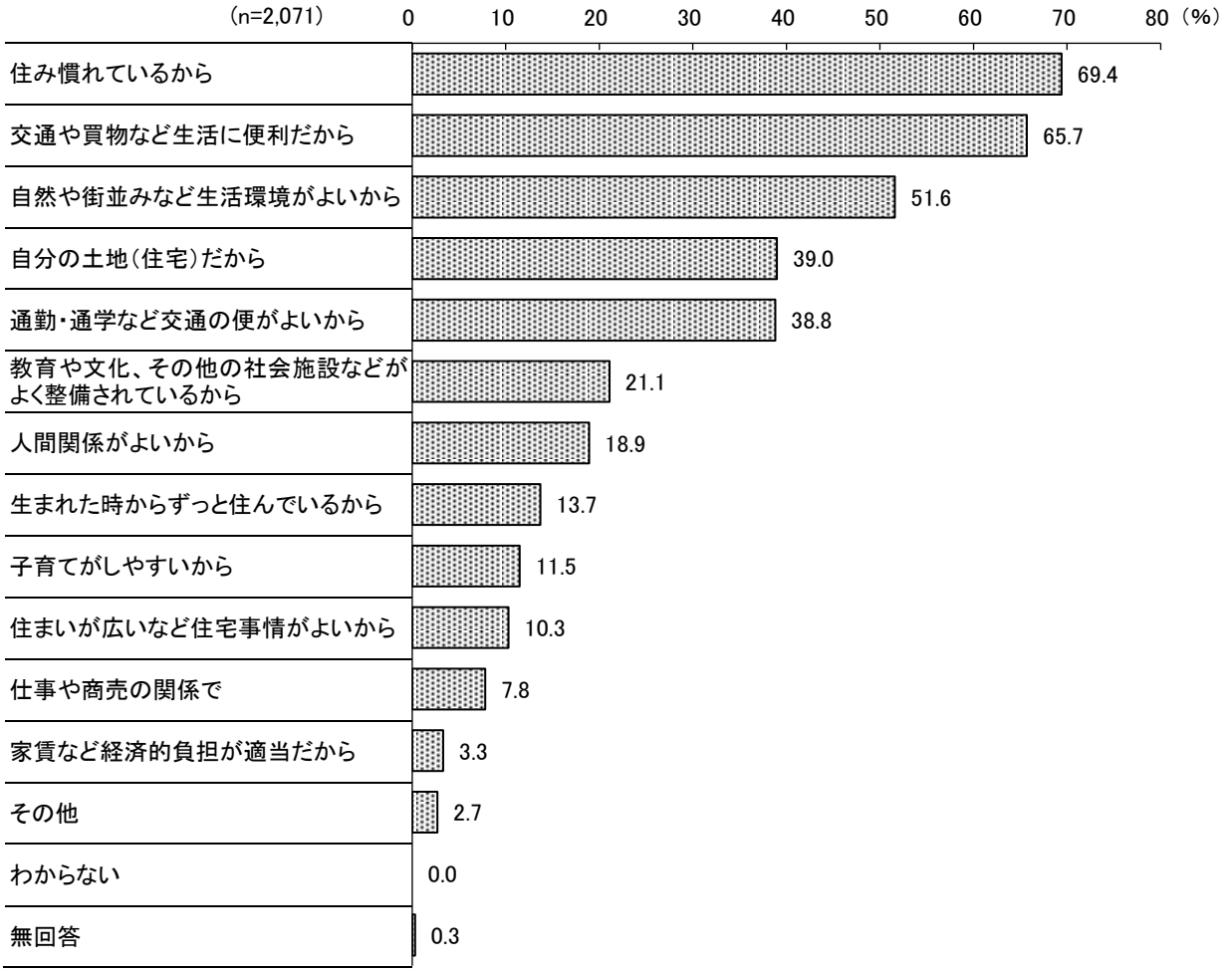
住居形態別にみると、「住みたいと思う」は持ち家（アパート・マンション）でほぼ９割、持ち家（一戸建て）で９割近くとなっている。《非定住意向》は社宅・官舎・寮・間借り・住み込みで１割、民営賃貸アパート・マンションでほぼ１割となっている。（図１－５－６）

（６）定住意向理由

◎世田谷区に住みたい理由の第１位は「住み慣れているから」

（問５で「住みたいと思う」と答えた方に）
問５－１　これからも世田谷区に住みたいと思う理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

図１－６－１



今後も世田谷区に「住みたいと思う」と答えた方（2,071 人）に、その理由を聞いたところ、「住み慣れているから」(69.4%)がほぼ７割で最も高く、以下、「交通や買物など生活に便利だから」(65.7%)、「自然や街並みなど生活環境がよいから」（51.6%）、「自分の土地（住宅）だから」（39.0%）、「通勤・通学など交通の便がよいから」（38.8%）などと続く。（図１－６－１）

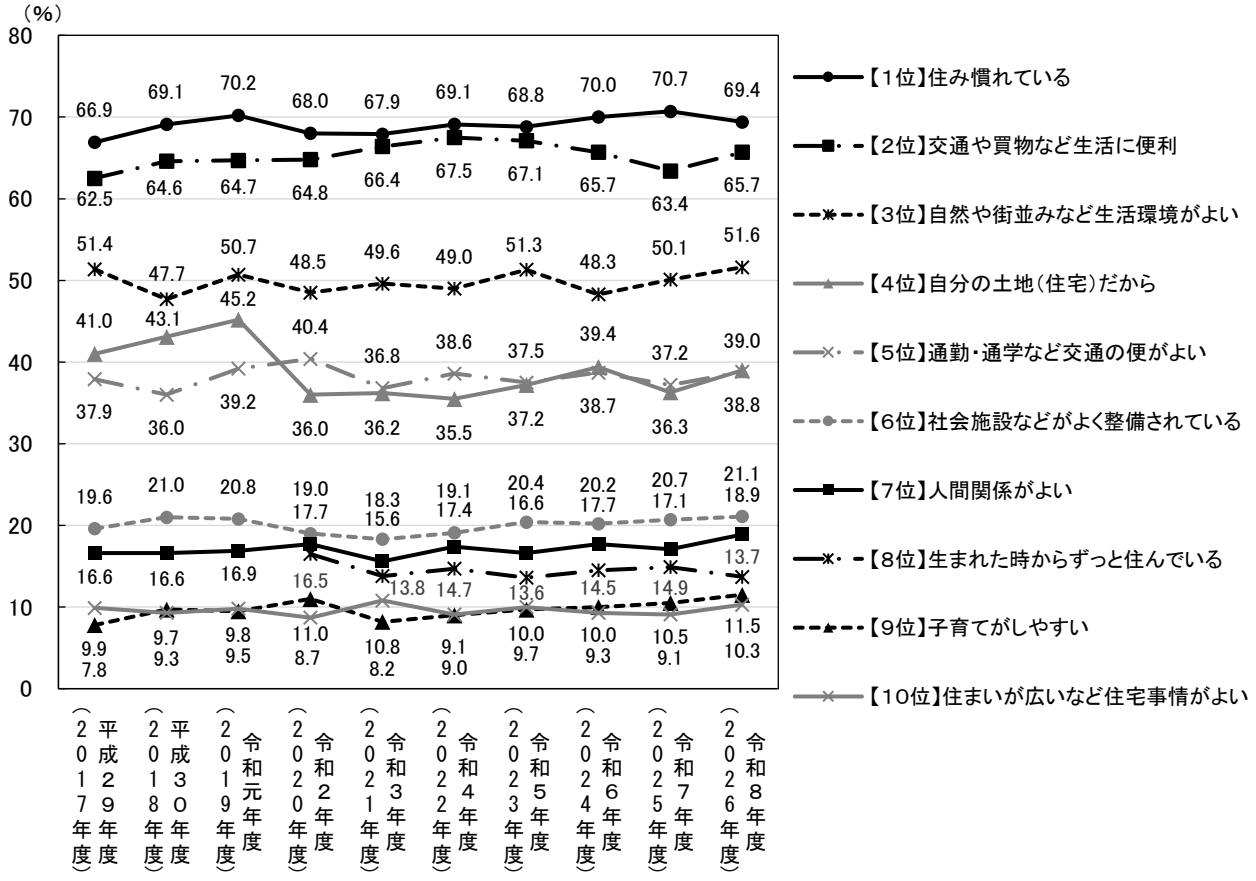
表１－６－１　定住意向理由（時系列）

（%）

理　由	平成29年度（2017年度）	平成30年度（2018年度）	令和元年度（2019年度）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
n	1,841	1,848	1,747	1,936	1,700	1,590	1,498	1,998	1,881	2,071
【1位】 住み慣れている	66.9	69.1	70.2	68.0	67.9	69.1	68.8	70.0	70.7	69.4
【2位】 交通や買物など生活に便利	62.5	64.6	64.7	64.8	66.4	67.5	67.1	65.7	63.4	65.7
【3位】 自然や街並みなど生活環境がよい	51.4	47.7	50.7	48.5	49.6	49.0	51.3	48.3	50.1	51.6
【4位】 自分の土地（住宅）だから	41.0	43.1	45.2	36.0	36.2	35.5	37.2	39.4	36.3	39.0
【5位】 通勤・通学など交通の便がよい	37.9	36.0	39.2	40.4	36.8	38.6	37.5	38.7	37.2	38.8
【6位】 社会施設などがよく整備されている	19.6	21.0	20.8	19.0	18.3	19.1	20.4	20.2	20.7	21.1
【7位】 人間関係がよい	16.6	16.6	16.9	17.7	15.6	17.4	16.6	17.7	17.1	18.9
【8位】 生まれた時からずっと住んでいる	－	－	－	16.5	13.8	14.7	13.6	14.5	14.9	13.7
【9位】 子育てがしやすい	7.8	9.7	9.5	11.0	8.2	9.0	9.7	10.0	10.5	11.5
【10位】 住まいが広いなど住宅事情がよい	9.9	9.3	9.8	8.7	10.8	9.1	10.0	9.3	9.1	10.3

注）令和8年度（2026年度）の値で順位付けを行った。

図１－６－２　定住意向理由（時系列）



平成 29 年度（2017 年度）からの時系列の変化をみると、「住み慣れているから」と「交通や買物など生活に便利だから」の２項目が６割台以上で上位に挙げられ、「自然や街並みなど生活環境がよいから」が５割前後となっている。「自分の土地（住宅）だから」は令和元年度（2019 年度）以前は４割台、令和２年度（2020 年度）以降は３割台となっている。「通勤・通学など交通の便がよいから」は４割前後で推移している。（表１－６－１、図１－６－２）

表１－６－２　定住意向理由（地域別）

（%）

	n	１ 位	２ 位	３ 位	４ 位	５ 位	６ 位	７ 位	８ 位	９ 位	１０ 位
全 体	2,071	住み慣れている 69.4	交通や買物など生活に便利 65.7	自然や街並みなど生活環境がよい 51.6	自分の土地(住宅)だから 39.0	通勤・通学など交通の便がよい 38.8	社会施設などがよく整備されている 21.1	人間関係がよい 18.9	生まれた時からずっと住んでいる 13.7	子育てがしやすい 11.5	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.3
世田谷東部	288	交通や買物など生活に便利 77.1	住み慣れている 70.1	通勤・通学など交通の便がよい 46.2	自然や街並みなど生活環境がよい 40.6	自分の土地(住宅)だから 36.1	社会施設などがよく整備されている 22.2	生まれた時からずっと住んでいる 19.4	人間関係がよい 18.1	仕事や商売の関係で 10.8	住まいが広いなど住宅事情がよい 8.7
世田谷西部	259	交通や買物など生活に便利 73.0	住み慣れている 68.0	自然や街並みなど生活環境がよい 51.0	通勤・通学など交通の便がよい 42.9	自分の土地(住宅)だから 39.4	社会施設などがよく整備されている 25.1	人間関係がよい 18.9	子育てがしやすい 15.4	生まれた時からずっと住んでいる 13.5	住まいが広いなど住宅事情がよい 8.9
北沢東部	167	住み慣れている 73.1	交通や買物など生活に便利 72.5	通勤・通学など交通の便がよい 44.3	自然や街並みなど生活環境がよい 38.9	自分の土地(住宅)だから 37.7	人間関係がよい 17.4	社会施設などがよく整備されている 16.8	住まいが広いなど住宅事情がよい 13.8	生まれた時からずっと住んでいる 9.0	子育てがしやすい 7.8
北沢西部	185	住み慣れている 70.8	交通や買物など生活に便利 62.7	自然や街並みなど生活環境がよい 44.3	通勤・通学など交通の便がよい 43.8	自分の土地(住宅)だから 43.2	社会施設などがよく整備されている 20.0	人間関係がよい 18.4	生まれた時からずっと住んでいる 13.5	子育てがしやすい 10.3	住まいが広いなど住宅事情がよい 5.9
玉川北部	206	住み慣れている 69.4	自然や街並みなど生活環境がよい 66.5	交通や買物など生活に便利 63.1	通勤・通学など交通の便がよい 36.9	自分の土地(住宅)だから 33.0	社会施設などがよく整備されている 19.9	人間関係がよい 18.9	生まれた時からずっと住んでいる／子育てがしやすい 13.6		住まいが広いなど住宅事情がよい 12.6
玉川南部	175	住み慣れている 70.9	交通や買物など生活に便利 64.6	自然や街並みなど生活環境がよい 55.4	自分の土地(住宅)だから 42.9	通勤・通学など交通の便がよい 37.7	人間関係がよい 25.1	社会施設などがよく整備されている 14.3	生まれた時からずっと住んでいる 13.7	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.9	子育てがしやすい 8.0
玉川西部	136	交通や買物など生活に便利 79.4	自然や街並みなど生活環境がよい 67.6	住み慣れている 64.7	自分の土地(住宅)だから 41.9	通勤・通学など交通の便がよい 33.1	社会施設などがよく整備されている 23.5	人間関係がよい 16.9	生まれた時からずっと住んでいる 13.2	子育てがしやすい 10.3	住まいが広いなど住宅事情がよい／仕事や商売の関係で 8.1
砧北部	271	住み慣れている 73.8	自然や街並みなど生活環境がよい 57.2	交通や買物など生活に便利 55.7	自分の土地(住宅)だから 38.7	通勤・通学など交通の便がよい 32.8	社会施設などがよく整備されている 28.0	人間関係がよい 22.5	子育てがしやすい 16.6	住まいが広いなど住宅事情がよい 12.2	生まれた時からずっと住んでいる 11.8
砧南部	101	住み慣れている 68.3	自然や街並みなど生活環境がよい 60.4	自分の土地(住宅)だから 47.5	交通や買物など生活に便利 39.6	通勤・通学など交通の便がよい 25.7	人間関係がよい 20.8	社会施設などがよく整備されている 17.8	生まれた時からずっと住んでいる 15.8	子育てがしやすい 13.9	仕事や商売の関係で 12.9
烏山	268	住み慣れている 64.9	交通や買物など生活に便利 60.1	自然や街並みなど生活環境がよい 46.6	自分の土地(住宅)だから 38.1	通勤・通学など交通の便がよい 36.9	社会施設などがよく整備されている 16.8	人間関係がよい 14.6	生まれた時からずっと住んでいる 10.8	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.4	子育てがしやすい 10.1

地域別にみると、「住み慣れているから」は玉川西部を除くすべての地域で２位以内に挙げられている。「交通や買物など生活に便利だから」は玉川北部、砧北部、砧南部を除く地域で２位以内に挙げられている。「自然や街並みなど生活環境がよいから」は玉川北部、玉川西部、砧北部、砧南部で２位、世田谷西部、北沢西部、玉川南部、烏山で３位に挙げられており、「自分の土地（住宅）だから」は砧南部で３位、「通勤・通学など交通の便がよいから」は世田谷東部、北沢東部で３位に挙げられている。（表１－６－２）

表１－６－３　定住意向理由（性・年齢別）

（%）

	n	１ 位	２ 位	３ 位	４ 位	５ 位	６ 位	７ 位	８ 位	９ 位	１０ 位
全 体	2,071	住み慣れている 69.4	交通や買物など生活に便利 65.7	自然や街並みなど生活環境がよい 51.6	自分の土地（住宅）だから 39.0	通勤・通学など交通の便がよい 38.8	社会施設などがよく整備されている 21.1	人間関係がよい 18.9	生まれた時からずっと住んでいる 13.7	子育てがしやすい 11.5	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.3
男 性 全 体	844	住み慣れている 68.1	交通や買物など生活に便利 64.9	自然や街並みなど生活環境がよい 50.0	自分の土地（住宅）だから 42.2	通勤・通学など交通の便がよい 40.5	社会施設などがよく整備されている 20.7	人間関係がよい 17.5	生まれた時からずっと住んでいる 15.2	子育てがしやすい 12.4	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.3
10・20歳代	95	交通や買物など生活に便利 62.1	住み慣れている 49.5	通勤・通学など交通の便がよい 48.4	自然や街並みなど生活環境がよい 47.4	生まれた時からずっと住んでいる 23.2	社会施設などがよく整備されている 17.9	人間関係がよい 15.8	仕事や商売の関係で 12.6	自分の土地（住宅）だから／住まいが広いなど住宅事情がよい 10.5	
30歳代	84	住み慣れている 63.1	交通や買物など生活に便利 60.7	通勤・通学など交通の便がよい 46.4	自然や街並みなど生活環境がよい 45.2	子育てがしやすい 20.2	自分の土地（住宅）だから／社会施設などがよく整備されている 16.7		生まれた時からずっと住んでいる 15.5	人間関係がよい 13.1	仕事や商売の関係で 11.9
40歳代	129	住み慣れている 62.8	交通や買物など生活に便利 55.8	自然や街並みなど生活環境がよい 54.3	通勤・通学など交通の便がよい 49.6	自分の土地（住宅）だから 38.8	子育てがしやすい 32.6	社会施設などがよく整備されている 21.7	人間関係がよい 17.8	生まれた時からずっと住んでいる／仕事や商売の関係で 9.3	
50歳代	168	住み慣れている 67.3	交通や買物など生活に便利 64.9	自然や街並みなど生活環境がよい／通勤・通学など交通の便がよい 50.0		自分の土地（住宅）だから 44.0	人間関係がよい 19.0	社会施設などがよく整備されている 18.5	子育てがしやすい 16.1	生まれた時からずっと住んでいる 11.3	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.1
60歳代	148	住み慣れている 77.0	交通や買物など生活に便利 64.9	自分の土地（住宅）だから 55.4	自然や街並みなど生活環境がよい 51.4	通勤・通学など交通の便がよい 36.5	人間関係がよい 20.3	社会施設などがよく整備されている 18.9	生まれた時からずっと住んでいる 18.2	住まいが広いなど住宅事情がよい 12.8	仕事や商売の関係で 9.5
70歳代	141	住み慣れている 75.2	交通や買物など生活に便利 74.5	自分の土地（住宅）だから 58.9	自然や街並みなど生活環境がよい 52.5	通勤・通学など交通の便がよい 28.4	社会施設などがよく整備されている 27.0	生まれた時からずっと住んでいる 15.6	人間関係がよい 14.2	住まいが広いなど住宅事情がよい 12.1	仕事や商売の関係で／家賃など経済的負担が適当／子育てがしやすい 2.8
80歳以上	79	住み慣れている 77.2	交通や買物など生活に便利 70.9	自分の土地（住宅）だから 54.4	自然や街並みなど生活環境がよい 44.3	社会施設などがよく整備されている 24.1	人間関係がよい 21.5	通勤・通学など交通の便がよい 19.0	生まれた時からずっと住んでいる 16.5	住まいが広いなど住宅事情がよい 13.9	仕事や商売の関係で 7.6
女 性 全 体	1,170	住み慣れている 70.3	交通や買物など生活に便利 66.9	自然や街並みなど生活環境がよい 53.0	通勤・通学など交通の便がよい 38.6	自分の土地（住宅）だから 36.8	社会施設などがよく整備されている 21.3	人間関係がよい 20.2	生まれた時からずっと住んでいる 12.5	子育てがしやすい 11.2	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.4
10・20歳代	100	交通や買物など生活に便利 63.0	住み慣れている 59.0	通勤・通学など交通の便がよい 57.0	自然や街並みなど生活環境がよい 51.0	生まれた時からずっと住んでいる 24.0	自分の土地（住宅）だから 10.0	人間関係がよい／社会施設などがよく整備されている 9.0		住まいが広いなど住宅事情がよい 8.0	仕事や商売の関係で 3.0
30歳代	136	自然や街並みなど生活環境がよい 57.4	交通や買物など生活に便利 55.1	住み慣れている 54.4	通勤・通学など交通の便がよい 42.6	子育てがしやすい 25.7	人間関係がよい 20.6	社会施設などがよく整備されている 19.1	自分の土地（住宅）だから 17.6	生まれた時からずっと住んでいる 11.0	住まいが広いなど住宅事情がよい／仕事や商売の関係で 7.4
40歳代	188	住み慣れている／交通や買物など生活に便利 64.4		自然や街並みなど生活環境がよい 50.0	通勤・通学など交通の便がよい 49.5	自分の土地（住宅）だから 30.9	社会施設などがよく整備されている 24.5	子育てがしやすい 23.9	人間関係がよい 20.2	生まれた時からずっと住んでいる 10.6	仕事や商売の関係で 10.1
50歳代	229	交通や買物など生活に便利 74.7	住み慣れている 70.7	自然や街並みなど生活環境がよい 59.8	通勤・通学など交通の便がよい 50.2	自分の土地（住宅）だから 41.0	社会施設などがよく整備されている 21.8	人間関係がよい 18.3	子育てがしやすい 14.4	生まれた時からずっと住んでいる 10.9	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.0
60歳代	207	住み慣れている 79.7	交通や買物など生活に便利 68.6	自然や街並みなど生活環境がよい 51.7	自分の土地（住宅）だから 42.5	通勤・通学など交通の便がよい 33.8	社会施設などがよく整備されている 19.8	人間関係がよい 16.9	生まれた時からずっと住んでいる 15.9	住まいが広いなど住宅事情がよい／仕事や商売の関係で 8.7	
70歳代	190	住み慣れている 77.9	交通や買物など生活に便利 72.6	自然や街並みなど生活環境がよい 52.6	自分の土地（住宅）だから 48.9	人間関係がよい 27.4	社会施設などがよく整備されている 22.6	通勤・通学など交通の便がよい 20.5	住まいが広いなど住宅事情がよい 13.7	生まれた時からずっと住んでいる 11.6	仕事や商売の関係で 5.3
80歳以上	118	住み慣れている 78.0	交通や買物など生活に便利 61.0	自分の土地（住宅）だから 53.4	自然や街並みなど生活環境がよい 44.9	社会施設などがよく整備されている 28.0	人間関係がよい 27.1	通勤・通学など交通の便がよい 16.9	住まいが広いなど住宅事情がよい 16.1	仕事や商売の関係で 6.8	生まれた時からずっと住んでいる 5.9

性・年齢別にみると、女性の 30 歳代以外は各年代とも「住み慣れているから」、「交通や買物など生活に便利だから」が２位以内に挙げられている。女性の 30 歳代は「自然や街並みなど生活環境がよいから」が１位、「交通や買物など生活に便利だから」が２位となっている。（表１－６－３）

表１－６－４　定住意向理由（共働きの有無別・ライフスタイル別）

（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,071	住み慣れている 69.4	交通や買物など生活に便利 65.7	自然や街並みなど生活環境がよい 51.6	自分の土地(住宅)だから 39.0	通勤・通学など交通の便がよい 38.8	社会施設などがよく整備されている 21.1	人間関係がよい 18.9	生まれた時からずっと住んでいる 13.7	子育てがしやすい 11.5	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.3
有配偶者全体	1,311	住み慣れている 68.4	交通や買物など生活に便利 66.1	自然や街並みなど生活環境がよい 54.4	自分の土地(住宅)だから 44.9	通勤・通学など交通の便がよい 39.1	社会施設などがよく整備されている 23.0	人間関係がよい 20.1	子育てがしやすい 16.7	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.8	生まれた時からずっと住んでいる 10.5
共働き	696	住み慣れている 64.8	交通や買物など生活に便利 63.2	自然や街並みなど生活環境がよい 55.9	通勤・通学など交通の便がよい 49.9	自分の土地(住宅)だから 40.2	子育てがしやすい 24.6	社会施設などがよく整備されている 22.7	人間関係がよい 20.4	仕事や商売の関係で 11.4	住まいが広いなど住宅事情がよい 10.6
共働きでない	611	住み慣れている 72.5	交通や買物など生活に便利 69.2	自然や街並みなど生活環境がよい 52.5	自分の土地(住宅)だから 50.6	通勤・通学など交通の便がよい 27.0	社会施設などがよく整備されている 23.6	人間関係がよい 19.8	生まれた時からずっと住んでいる 11.1	住まいが広いなど住宅事情がよい 11.0	子育てがしやすい 7.9
15～17歳	31	住み慣れている 77.4	通勤・通学など交通の便がよい 48.4	交通や買物など生活に便利 45.2	生まれた時からずっと住んでいる／自然や街並みなど生活環境がよい 41.9		社会施設などがよく整備されている 16.1	人間関係がよい 12.9	自分の土地(住宅)だから 9.7	住まいが広いなど住宅事情がよい／子育てがしやすい 6.5	
独身（18～39歳）	225	交通や買物など生活に便利 67.6	住み慣れている 57.8	通勤・通学など交通の便がよい 53.3	自然や街並みなど生活環境がよい 49.8	生まれた時からずっと住んでいる 20.4	社会施設などがよく整備されている 13.3	人間関係がよい 12.0	自分の土地(住宅)だから 10.7	仕事や商売の関係で 9.8	住まいが広いなど住宅事情がよい 8.9
独身（40～64歳）	188	住み慣れている 76.6	交通や買物など生活に便利 70.2	自然や街並みなど生活環境がよい 45.7	通勤・通学など交通の便がよい 44.7	自分の土地(住宅)だから 23.4	生まれた時からずっと住んでいる 21.3	社会施設などがよく整備されている 17.6	人間関係がよい 10.6	仕事や商売の関係で 8.5	住まいが広いなど住宅事情がよい 5.3
独身（65歳以上）	145	住み慣れている 73.8	交通や買物など生活に便利 63.4	自然や街並みなど生活環境がよい 45.5	自分の土地(住宅)だから 35.2	通勤・通学など交通の便がよい／人間関係がよい 22.1		社会施設などがよく整備されている 21.4	生まれた時からずっと住んでいる 13.8	住まいが広いなど住宅事情がよい 11.7	家賃など経済的負担が適当 6.9
子どもあり（一番上が小学校入学前）	89	自然や街並みなど生活環境がよい 53.9	住み慣れている 52.8	交通や買物など生活に便利 51.7	子育てがしやすい 50.6	通勤・通学など交通の便がよい 44.9	自分の土地(住宅)だから 29.2	社会施設などがよく整備されている 21.3	人間関係がよい 20.2	仕事や商売の関係で 10.1	生まれた時からずっと住んでいる／住まいが広いなど住宅事情がよい 7.9
子どもあり（一番上が小・中学生）	191	住み慣れている／自然や街並みなど生活環境がよい 58.6		交通や買物など生活に便利 53.4	子育てがしやすい 47.1	通勤・通学など交通の便がよい 40.3	自分の土地(住宅)だから 39.3	社会施設などがよく整備されている 27.7	人間関係がよい 26.7	生まれた時からずっと住んでいる 8.9	仕事や商売の関係で 7.9
子どもあり（一番上が高校・大学生など）	174	住み慣れている 71.3	交通や買物など生活に便利 65.5	通勤・通学など交通の便がよい 55.7	自然や街並みなど生活環境がよい 54.0	自分の土地(住宅)だから 45.4	人間関係がよい 25.3	子育てがしやすい 24.7	社会施設などがよく整備されている 20.7	住まいが広いなど住宅事情がよい 12.1	仕事や商売の関係で 10.3
子どもあり（一番上が学業修了）	335	住み慣れている 77.3	交通や買物など生活に便利 69.9	自分の土地(住宅)だから 53.7	自然や街並みなど生活環境がよい 52.8	通勤・通学など交通の便がよい 40.6	社会施設などがよく整備されている 23.9	人間関係がよい 20.6	住まいが広いなど住宅事情がよい 12.8	生まれた時からずっと住んでいる 11.6	仕事や商売の関係で 11.0
夫婦/パートナーのみ（本人が18～39歳）	62	自然や街並みなど生活環境がよい 62.9	交通や買物など生活に便利 59.7	住み慣れている 40.3	通勤・通学など交通の便がよい 38.7	社会施設などがよく整備されている 19.4	人間関係がよい 9.7	生まれた時からずっと住んでいる／自分の土地(住宅)だから／子育てがしやすい 6.5			住まいが広いなど住宅事情がよい／仕事や商売の関係で／家賃など経済的負担が適当 4.8
夫婦/パートナーのみ（本人が40～64歳）	178	交通や買物など生活に便利 67.4	住み慣れている 64.0	自然や街並みなど生活環境がよい 57.9	通勤・通学など交通の便がよい 44.9	自分の土地(住宅)だから 38.8	社会施設などがよく整備されている 19.1	人間関係がよい 12.9	住まいが広いなど住宅事情がよい 9.6	生まれた時からずっと住んでいる 9.0	家賃など経済的負担が適当 7.3
夫婦/パートナーのみ（本人が65歳以上）	329	住み慣れている 78.1	交通や買物など生活に便利 70.2	自分の土地(住宅)だから 58.7	自然や街並みなど生活環境がよい 49.8	通勤・通学など交通の便がよい 23.1	社会施設などがよく整備されている 22.5	人間関係がよい 21.3	生まれた時からずっと住んでいる 13.4	住まいが広いなど住宅事情がよい 11.2	仕事や商売の関係で 5.2
その他	94	住み慣れている 79.8	交通や買物など生活に便利 74.5	自分の土地(住宅)だから 56.4	自然や街並みなど生活環境がよい 47.9	社会施設などがよく整備されている 24.5	人間関係がよい 19.1	通勤・通学など交通の便がよい 18.1	生まれた時からずっと住んでいる 17.0	住まいが広いなど住宅事情がよい 16.0	子育てがしやすい 5.3

共働きの有無別にみると、１位から３位まではいずれも「住み慣れているから」、「交通や買物など生活に便利だから」、「自然や街並みなど生活環境がよいから」の順序となっている。

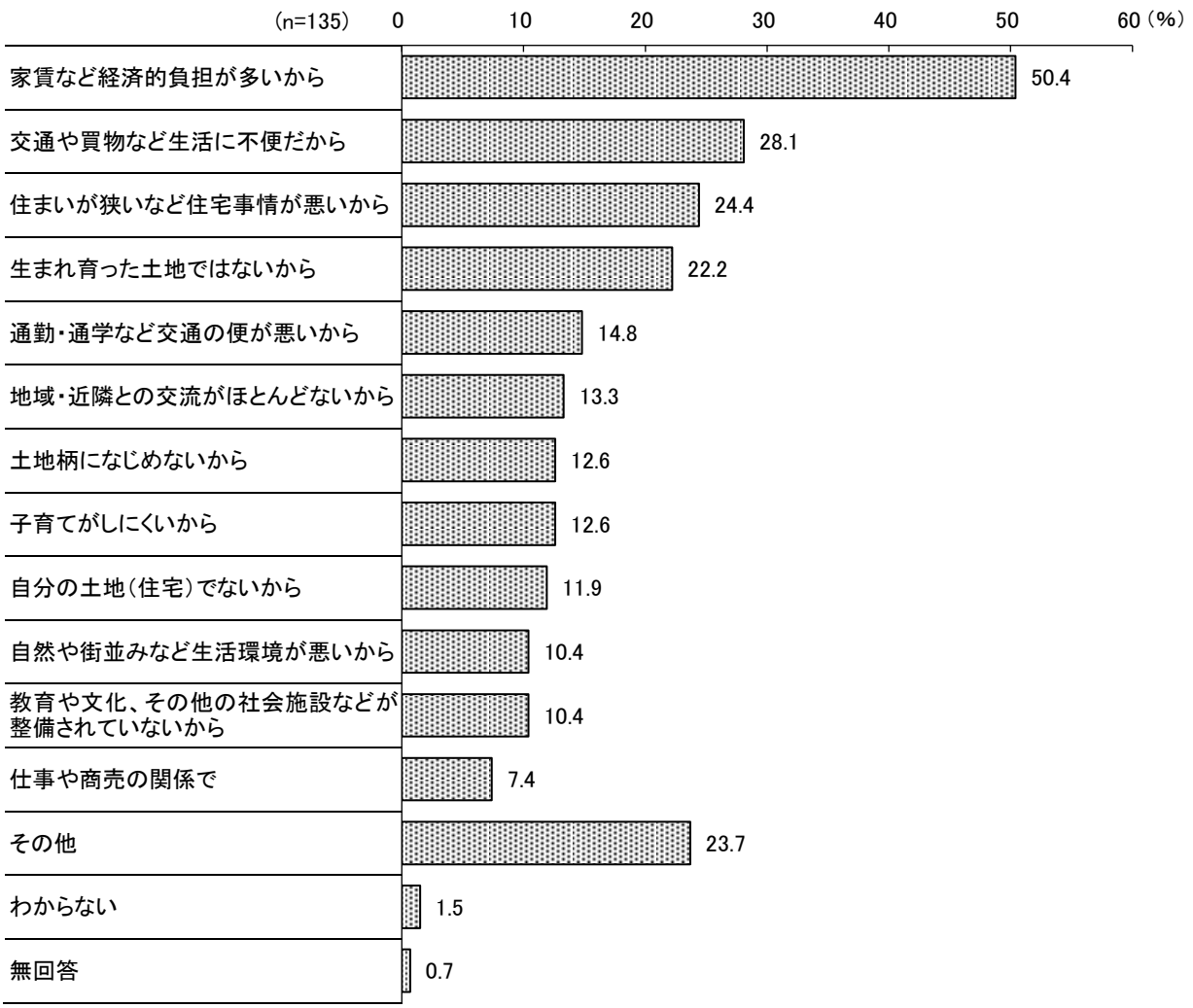
ライフスタイル別にみると、「住み慣れているから」は夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）を除くすべてのライフスタイルで２位以内に挙げられている。「交通や買物など生活に便利だから」は独身（18～39 歳）、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で１位、「自然や街並みなど生活環境がよいから」は子どもあり（一番上が小学校入学前）、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で１位、子どもあり（一番上が小・中学生）も同率１位に挙げられている。（表１－６－４）

（７）非定住意向理由

◎世田谷区に住みたくない理由の第１位は「家賃など経済的負担が多いから」

（問５で「あまり住みたいとは思わない」または「住みたくない」と答えた方に）
問５－２　世田谷区に住みたくない理由はどんなことですか。（○はいくつでも）

図１－７－１



今後は世田谷区に「あまり住みたいとは思わない」または「住みたくない」と答え、《非定住意向》を示した方（135 人）に、その理由を聞いたところ、「家賃など経済的負担が多いから」（50.4%）が５割で最も高い。以下、「交通や買物など生活に不便だから」（28.1%）、「住まいが狭いなど住宅事情が悪いから」（24.4%）、「生まれ育った土地ではないから」（22.2%）などと続く。

（図１－７－１）

※今年度は問 38 で「住居費要因による住みづらさ」を質問している。問 38 の調査結果は p183 参照。

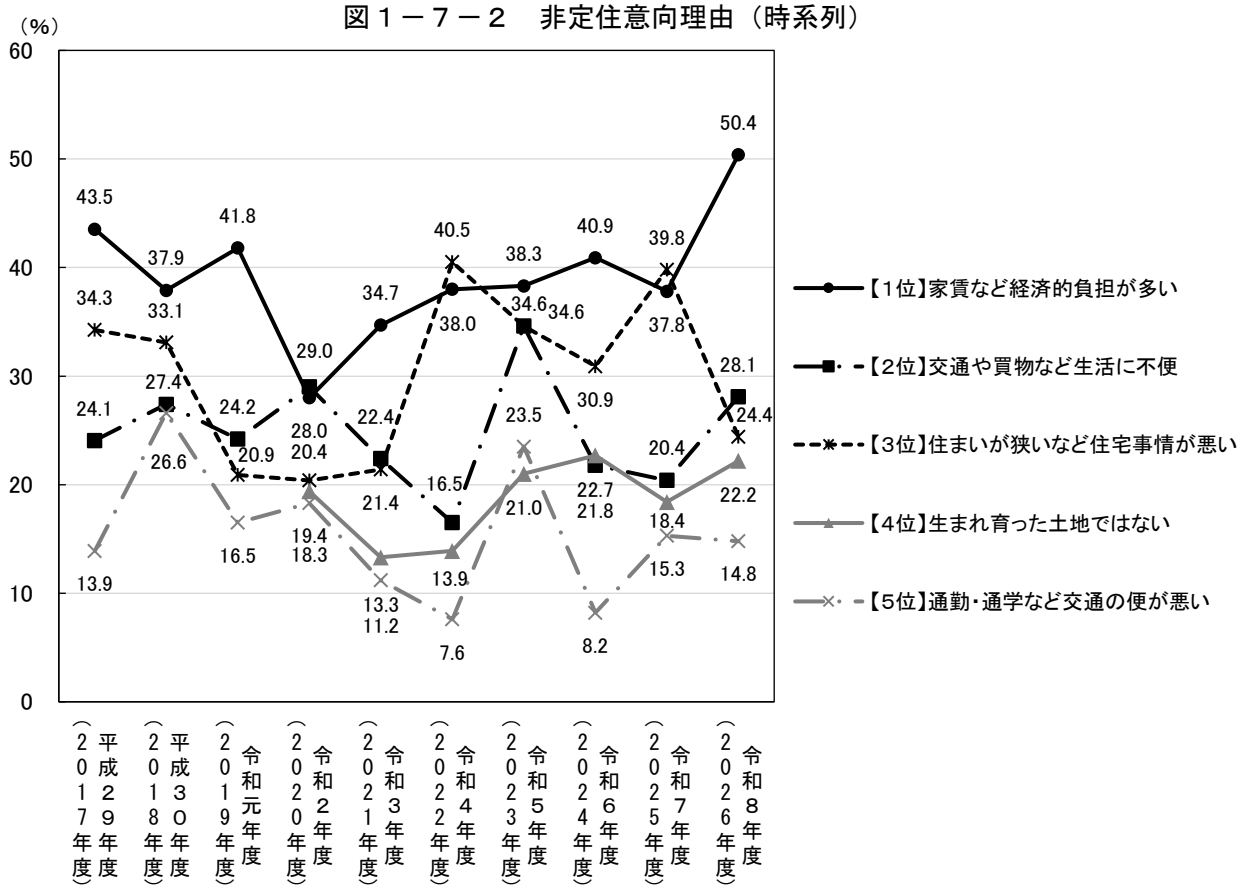
表１－７－１　非定住意向理由（時系列）

（%）

理　由	平成29年度（2017年度）	平成30年度（2018年度）	令和元年度（2019年度）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
n	108	124	91	93	98	79	81	110	98	135
【1位】家賃など経済的負担が多い	43.5	37.9	41.8	28.0	34.7	38.0	38.3	40.9	37.8	50.4
【2位】交通や買物など生活に不便	24.1	27.4	24.2	29.0	22.4	16.5	34.6	21.8	20.4	28.1
【3位】住まいが狭いなど住宅事情が悪い	34.3	33.1	20.9	20.4	21.4	40.5	34.6	30.9	39.8	24.4
【4位】生まれ育った土地ではない	－	－	－	19.4	13.3	13.9	21.0	22.7	18.4	22.2
【5位】通勤・通学など交通の便が悪い	13.9	26.6	16.5	18.3	11.2	7.6	23.5	8.2	15.3	14.8
【6位】地域・近隣との交流がほとんどない	13.9	15.3	11.0	12.9	9.2	19.0	14.8	10.9	10.2	13.3
【7位】土地柄になじめない	13.0	12.1	15.4	10.8	12.2	7.6	13.6	13.6	12.2	12.6
【7位】子育てがしにくい	13.9	21.8	16.5	9.7	17.3	16.5	14.8	13.6	11.2	12.6
【9位】自分の土地（住宅）でない	24.1	19.4	24.2	17.2	12.2	11.4	13.6	9.1	10.2	11.9
【10位】自然や街並みなど生活環境が悪い	14.8	15.3	12.1	15.1	21.4	24.1	12.3	21.8	22.4	10.4
【10位】社会施設などが整備されていない	14.8	16.9	15.4	11.8	11.2	16.5	22.2	20.9	11.2	10.4

注）令和8年度（2026年度）の値で順位付けを行った。

図１－７－２　非定住意向理由（時系列）



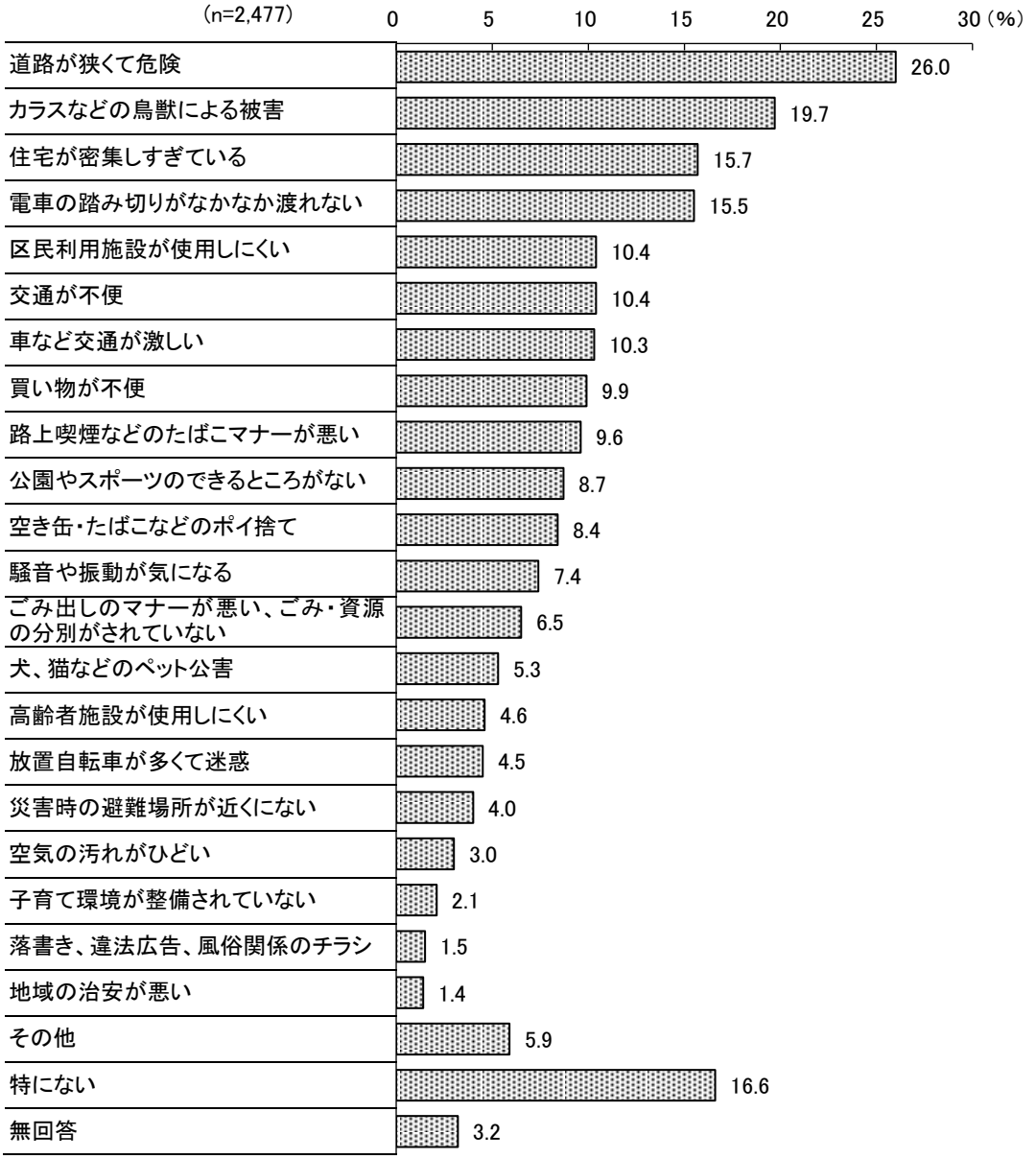
平成 29 年度（2017 年度）からの時系列の変化をみると、「家賃など経済的負担が多いから」はいずれの年も２位以内に挙げられている。（表１－７－１、図１－７－２）

（８）地域における日常生活での困りごと

◎「道路が狭くて危険」が２割半ば

問６　あなたは、普段生活している地域でどんなことにお困りですか。（○は３つまで）

図１－８－１



地域内での日常生活で困っていることを聞いたところ、「道路が狭くて危険」（26.0%）が２割半ばで最も高く、以下、「カラスなどの鳥獣による被害」(19.7%)、「住宅が密集しすぎている」(15.7%)、「電車の踏み切りがなかなか渡れない」（15.5%）などと続く。（図１－８－１）

表１－８－１　地域における日常生活での困りごと（時系列）

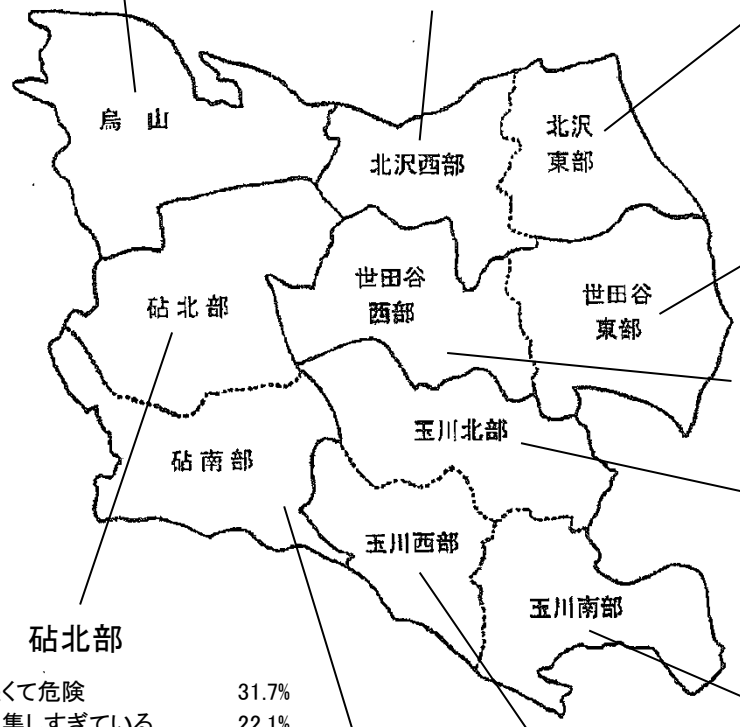
（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
令和8年度（2026年度）	2,477	道路が狭くて危険 26.0	カラスなどの鳥獣による被害 19.7	住宅が密集しすぎている 15.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.5	区民利用施設が使用しにくい／交通が不便 10.4		車など交通が激しい 10.3	買い物が不便 9.9	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 9.6	公園やスポーツのできるところがない 8.7
令和7年度（2025年度）	2,214	道路が狭くて危険 25.6	カラスなどの鳥獣による被害 20.3	住宅が密集しすぎている 15.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.2	区民利用施設が使用しにくい 10.8	車など交通が激しい 10.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.6	交通が不便 10.3	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.8	買い物が不便 9.3
令和6年度（2024年度）	2,404	道路が狭くて危険 25.0	カラスなどの鳥獣による被害 20.9	住宅が密集しすぎている 16.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない 14.9	区民利用施設が使用しにくい／車など交通が激しい 11.4		路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.4	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.6	騒音や振動が気になる 9.4	買い物が不便 9.2
令和5年度（2023年度）	1,832	道路が狭くて危険 26.3	カラスなどの鳥獣による被害 20.2	住宅が密集しすぎている 16.1	電車の踏み切りがなかなか渡れない 14.1	区民利用施設が使用しにくい 12.9	車など交通が激しい 12.3	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.5	公園やスポーツのできるところがない 10.3	空き缶・たばこなどのポイ捨て 10.2	買い物が不便／交通が不便 9.2
令和4年度（2022年度）	1,923	道路が狭くて危険 25.1	住宅が密集しすぎている 16.6	カラスなどの鳥獣による被害 15.8	電車の踏み切りがなかなか渡れない 12.4	車など交通が激しい 9.9	公園やスポーツのできるところがない 9.5	区民利用施設が使用しにくい 9.3	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 8.4	空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.0	交通が不便 7.6
令和3年度（2021年度）	2,086	道路が狭くて危険 24.4	住宅が密集しすぎている 17.2	カラスなどの鳥獣による被害 14.1	電車の踏み切りがなかなか渡れない 11.7	車など交通が激しい 10.7	区民利用施設が使用しにくい 10.5	公園やスポーツのできるところがない 10.4	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 9.1	空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.3	買い物が不便 7.6
令和2年度（2020年度）	2,371	道路が狭くて危険 28.2	住宅が密集しすぎている 19.3	カラスなどの鳥獣による被害 18.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.6	区民利用施設が使用しにくい 13.3	車など交通が激しい 12.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.9	公園やスポーツのできるところがない 10.0	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.7	騒音や振動が気になる 9.0
令和元年度（2019年度）	2,171	道路が狭くて危険 26.7	カラスなどの鳥獣による被害 19.2	住宅が密集しすぎている 17.0	車など交通が激しい 13.8	区民利用施設が使用しにくい／電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.7		空き缶・たばこなどのポイ捨て 12.4	騒音や振動が気になる 9.7	公園やスポーツのできるところがない 9.5	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 8.8
平成29年度（2017年度）	2,319	道路が狭くて危険 26.0	車など交通が激しい 16.1	住宅が密集しすぎている 15.9	カラスなどの鳥獣による被害 15.3	電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.4	区民利用施設が使用しにくい 10.1	交通が不便 9.1	騒音や振動が気になる 8.8	買い物が不便 8.6	公園やスポーツのできるところがない／空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.1
平成28年度（2016年度）	2,355	道路が狭くて危険 23.4	住宅が密集しすぎている 15.1	カラスなどの鳥獣による被害 14.6	電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.6	車など交通が激しい 13.2	区民利用施設が使用しにくい 10.2	公園やスポーツのできるところがない／交通が不便 8.0		買い物が不便 7.6	犬、猫などのペット公害 7.3

注）平成30年度（2018年度）は質問項目がなかった。

平成 28 年度（2016 年度）からの時系列の変化をみると、「道路が狭くて危険」はいずれの年も１位で、２割半ば前後で推移している。「カラスなどの鳥獣による被害」は平成 29 年度（2017 年度）の４位を除くと常に３位以内に挙げられ、「住宅が密集しすぎている」も常に３位以内に挙げられている。（表１－８－１）

図１－８－２　地域における日常生活での困りごと－地域別（上位３項目）



烏　山

1位：電車の踏み切りがなかなか渡れない　50.6%
2位：道路が狭くて危険　30.7%
3位：カラスなどの鳥獣による被害　14.4%

北沢西部

1位：電車の踏み切りがなかなか渡れない　37.3%
2位：道路が狭くて危険　35.1%
3位：住宅が密集しすぎている　18.2%

北沢東部

1位：道路が狭くて危険　29.0%
2位：住宅が密集しすぎている　19.2%
3位：空き缶・たばこなどのポイ捨て　16.6%

世田谷東部

1位：カラスなどの鳥獣による被害　28.7%
2位：道路が狭くて危険　21.9%
3位：住宅が密集しすぎている　17.3%

世田谷西部

1位：道路が狭くて危険　31.6%
2位：カラスなどの鳥獣による被害　19.9%
3位：住宅が密集しすぎている　18.6%

玉川北部

1位：カラスなどの鳥獣による被害　25.0%
2位：交通が不便　13.8%
3位：道路が狭くて危険　12.9%

玉川南部

1位：電車の踏み切りがなかなか渡れない　24.7%
2位：道路が狭くて危険　19.5%
3位：カラスなどの鳥獣による被害　16.3%

玉川西部

1位：カラスなどの鳥獣による被害　20.8%
2位：区民利用施設が使用しにくい　14.5%
3位：道路が狭くて危険　12.6%

砧南部

1位：道路が狭くて危険　32.8%
2位：交通が不便　29.7%
3位：買い物が不便　26.6%

砧北部

1位：道路が狭くて危険　31.7%
2位：住宅が密集しすぎている　22.1%
3位：カラスなどの鳥獣による被害　17.9%

表１－８－２　地域における日常生活での困りごと（地域別）

（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,477	道路が狭くて危険 26.0	カラスなどの鳥獣による被害 19.7	住宅が密集しすぎている 15.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.5	区民利用施設が使用しにくい／交通が不便 10.4		車など交通が激しい 10.3	買い物が不便 9.9	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 9.6	公園やスポーツのできるところがない 8.7
世田谷東部	352	カラスなどの鳥獣による被害 28.7	道路が狭くて危険 21.9	住宅が密集しすぎている 17.3	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 14.5	車など交通が激しい 14.2	空き缶・たばこなどのポイ捨て 11.9	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 10.5	騒音や振動が気になる 9.7	区民利用施設が使用しにくい 9.4	交通が不便 8.5
世田谷西部	307	道路が狭くて危険 31.6	カラスなどの鳥獣による被害 19.9	住宅が密集しすぎている 18.6	公園やスポーツのできるところがない 12.4	車など交通が激しい／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.1		交通が不便／騒音や振動が気になる 9.4		区民利用施設が使用しにくい 7.8	空き缶・たばこなどのポイ捨て 7.5
北沢東部	193	道路が狭くて危険 29.0	住宅が密集しすぎている 19.2	空き缶・たばこなどのポイ捨て 16.6	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 16.1	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 15.0	区民利用施設が使用しにくい／カラスなどの鳥獣による被害 14.5		電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.5	公園やスポーツのできるところがない 11.9	買い物が不便 11.4
北沢西部	225	電車の踏み切りがなかなか渡れない 37.3	道路が狭くて危険 35.1	住宅が密集しすぎている 18.2	カラスなどの鳥獣による被害 15.1	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 12.9	空き缶・たばこなどのポイ捨て 12.4	公園やスポーツのできるところがない／買い物が不便 12.0		区民利用施設が使用しにくい 9.3	車など交通が激しい 8.0
玉川北部	240	カラスなどの鳥獣による被害 25.0	交通が不便 13.8	道路が狭くて危険 12.9	車など交通が激しい 12.5	住宅が密集しすぎている 12.1	区民利用施設が使用しにくい 11.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.4	買い物が不便 10.0	騒音や振動が気になる 9.6	ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 7.9
玉川南部	215	電車の踏み切りがなかなか渡れない 24.7	道路が狭くて危険 19.5	カラスなどの鳥獣による被害 16.3	区民利用施設が使用しにくい 15.8	公園やスポーツのできるところがない 15.3	買い物が不便 14.0	住宅が密集しすぎている 10.7	交通が不便 9.3	空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.8	車など交通が激しい 8.4
玉川西部	159	カラスなどの鳥獣による被害 20.8	区民利用施設が使用しにくい 14.5	道路が狭くて危険 12.6	車など交通が激しい 11.9	住宅が密集しすぎている／交通が不便 6.9		高齢者施設が使用しにくい／ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 6.3		騒音や振動が気になる 5.7	買い物が不便 5.0
砧北部	312	道路が狭くて危険 31.7	住宅が密集しすぎている 22.1	カラスなどの鳥獣による被害 17.9	交通が不便 13.8	車など交通が激しい 13.1	買い物が不便 8.7	区民利用施設が使用しにくい 7.1	公園やスポーツのできるところがない 6.7	犬、猫などのペット公害 6.4	電車の踏み切りがなかなか渡れない 6.1
砧南部	128	道路が狭くて危険 32.8	交通が不便 29.7	買い物が不便 26.6	カラスなどの鳥獣による被害 22.7	住宅が密集しすぎている 12.5	犬、猫などのペット公害 11.7	車など交通が激しい 10.2	区民利用施設が使用しにくい 9.4	空き缶・たばこなどのポイ捨て 6.3	騒音や振動が気になる 5.5
烏山	326	電車の踏み切りがなかなか渡れない 50.6	道路が狭くて危険 30.7	カラスなどの鳥獣による被害 14.4	住宅が密集しすぎている 12.6	放置自転車が多くて迷惑 10.7	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.1	交通が不便 9.8	区民利用施設が使用しにくい 9.2	買い物が不便 8.6	公園やスポーツのできるところがない 8.0

地域別にみると、「道路が狭くて危険」は世田谷西部、北沢東部、砧北部、砧南部の４つの地域で１位となっている。「カラスなどの鳥獣による被害」は世田谷東部、玉川北部、玉川西部の３つの地域で、「電車の踏み切りがなかなか渡れない」は北沢西部、玉川南部、烏山の３つの地域で１位となっている。「住宅が密集しすぎている」は世田谷東部、世田谷西部、北沢東部、北沢西部、砧北部で３位以内に挙げられている。（表１－８－２）

表１－８－３　地域における日常生活での困りごと（性・年齢別）

（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,477	道路が狭くて危険 26.0	カラスなどの鳥獣による被害 19.7	住宅が密集しすぎている 15.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.5	区民利用施設が使用しにくい／交通が不便 10.4		車など交通が激しい 10.3	買い物が不便 9.9	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 9.6	公園やスポーツのできるところがない 8.7
男 性 全 体	1,009	道路が狭くて危険 24.7	カラスなどの鳥獣による被害 20.2	住宅が密集しすぎている 17.6	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.5	車など交通が激しい 11.0	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 10.1	公園やスポーツのできるところがない 9.7	買い物が不便／交通が不便 9.2		区民利用施設が使用しにくい 9.1
10・20歳代	117	公園やスポーツのできるところがない 22.2	道路が狭くて危険 19.7	住宅が密集しすぎている 18.8	交通が不便 14.5	電車の踏み切りがなかなか渡れない 13.7	車など交通が激しい 12.0	カラスなどの鳥獣による被害 10.3	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 8.5	買い物が不便 6.8	騒音や振動が気になる 6.0
30歳代	120	道路が狭くて危険 31.7	住宅が密集しすぎている 20.8	騒音や振動が気になる 18.3	買い物が不便／カラスなどの鳥獣による被害 15.8		電車の踏み切りがなかなか渡れない／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 13.3		車など交通が激しい 11.7	公園やスポーツのできるところがない 10.8	交通が不便／空き缶・たばこなどのポイ捨て 10.0
40歳代	156	道路が狭くて危険 30.1	カラスなどの鳥獣による被害 25.0	住宅が密集しすぎている 23.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 19.9	車など交通が激しい 17.9	公園やスポーツのできるところがない／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 14.1		区民利用施設が使用しにくい／交通が不便 10.9		買い物が不便 9.6
50歳代	194	道路が狭くて危険 26.3	住宅が密集しすぎている 20.6	カラスなどの鳥獣による被害 19.6	電車の踏み切りがなかなか渡れない 19.1	車など交通が激しい 11.9	交通が不便 8.8	空き缶・たばこなどのポイ捨て／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 8.2		公園やスポーツのできるところがない／区民利用施設が使用しにくい／ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない／犬、猫などのペット公害 7.7	
60歳代	172	カラスなどの鳥獣による被害 23.3	道路が狭くて危険 22.1	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.1	住宅が密集しすぎている／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 13.4		区民利用施設が使用しにくい／空き缶・たばこなどのポイ捨て／ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 9.9			放置自転車が多くて迷惑／買い物が不便 9.3	
70歳代	161	カラスなどの鳥獣による被害 23.6	道路が狭くて危険 22.4	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.5	住宅が密集しすぎている 13.0	区民利用施設が使用しにくい 11.8	高齢者施設が使用しにくい 11.2	空き缶・たばこなどのポイ捨て 10.6	車など交通が激しい 9.9	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 7.5	放置自転車が多くて迷惑／買い物が不便／ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない／犬、猫などのペット公害 6.8
80歳以上	89	カラスなどの鳥獣による被害 20.2	道路が狭くて危険 18.0	高齢者施設が使用しにくい 14.6	買い物が不便 12.4	住宅が密集しすぎている 11.2	区民利用施設が使用しにくい 10.1	災害時の避難場所が近くにない／ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 7.9		公園やスポーツのできるところがない／交通が不便 6.7	
女 性 全 体	1,399	道路が狭くて危険 27.5	カラスなどの鳥獣による被害 19.4	電車の踏み切りがなかなか渡れない 15.7	住宅が密集しすぎている 14.4	交通が不便 11.4	区民利用施設が使用しにくい 11.3	買い物が不便 10.5	車など交通が激しい 10.0	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 9.4	空き缶・たばこなどのポイ捨て 8.6
10・20歳代	127	電車の踏み切りがなかなか渡れない 24.4	道路が狭くて危険 21.3	カラスなどの鳥獣による被害 15.0	公園やスポーツのできるところがない 14.2	交通が不便 12.6	空き缶・たばこなどのポイ捨て 10.2	買い物が不便 9.4	住宅が密集しすぎている 8.7	車など交通が激しい 7.1	騒音や振動が気になる 6.3
30歳代	176	道路が狭くて危険 36.4	電車の踏み切りがなかなか渡れない 19.3	住宅が密集しすぎている 18.8	カラスなどの鳥獣による被害 17.0	交通が不便 15.9	買い物が不便 14.8	車など交通が激しい 13.6	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.9	騒音や振動が気になる 10.8	公園やスポーツのできるところがない 8.0
40歳代	231	道路が狭くて危険 36.4	カラスなどの鳥獣による被害 20.8	住宅が密集しすぎている 19.5	電車の踏み切りがなかなか渡れない 17.7	買い物が不便／交通が不便／車など交通が激しい 12.6			路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.7	公園やスポーツのできるところがない 10.8	区民利用施設が使用しにくい 9.1
50歳代	273	道路が狭くて危険 35.2	カラスなどの鳥獣による被害 22.7	住宅が密集しすぎている 15.0	区民利用施設が使用しにくい 14.3	交通が不便／電車の踏み切りがなかなか渡れない 12.8		車など交通が激しい 12.1	路上喫煙などのたばこマナーが悪い 11.0	買い物が不便 8.8	公園やスポーツのできるところがない 7.0
60歳代	246	カラスなどの鳥獣による被害 22.0	道路が狭くて危険 20.7	電車の踏み切りがなかなか渡れない 17.5	住宅が密集しすぎている 16.7	区民利用施設が使用しにくい 13.8	空き缶・たばこなどのポイ捨て 11.0	買い物が不便 10.6	交通が不便 9.8	車など交通が激しい 9.3	路上喫煙などのたばこマナーが悪い／ごみ出しのマナーが悪い、ごみ・資源の分別がされていない 8.1
70歳代	210	道路が狭くて危険／カラスなどの鳥獣による被害 17.1		区民利用施設が使用しにくい 15.2	高齢者施設が使用しにくい 12.9	災害時の避難場所が近くにない 11.9	電車の踏み切りがなかなか渡れない 11.4	住宅が密集しすぎている 9.5	空き缶・たばこなどのポイ捨て 9.0	交通が不便／路上喫煙などのたばこマナーが悪い 8.6	
80歳以上	133	道路が狭くて危険 19.5	カラスなどの鳥獣による被害 16.5	高齢者施設が使用しにくい 13.5	区民利用施設が使用しにくい／買い物が不便／空き缶・たばこなどのポイ捨て 11.3			災害時の避難場所が近くにない／電車の踏み切りがなかなか渡れない 9.0		公園やスポーツのできるところがない／車など交通が激しい 7.5	

性・年齢別にみると、「道路が狭くて危険」はすべての年代で２位以内に挙げられている。「カラスなどの鳥獣による被害」は男性の 60 歳代以上、女性の 60 歳代で１位、女性の 70 歳代も同率１位となっている。男性の 10・20 歳代は「公園やスポーツのできるところがない」が１位、女性の 10・20 歳代は「電車の踏み切りがなかなか渡れない」が１位となっている。（表１－８－３）

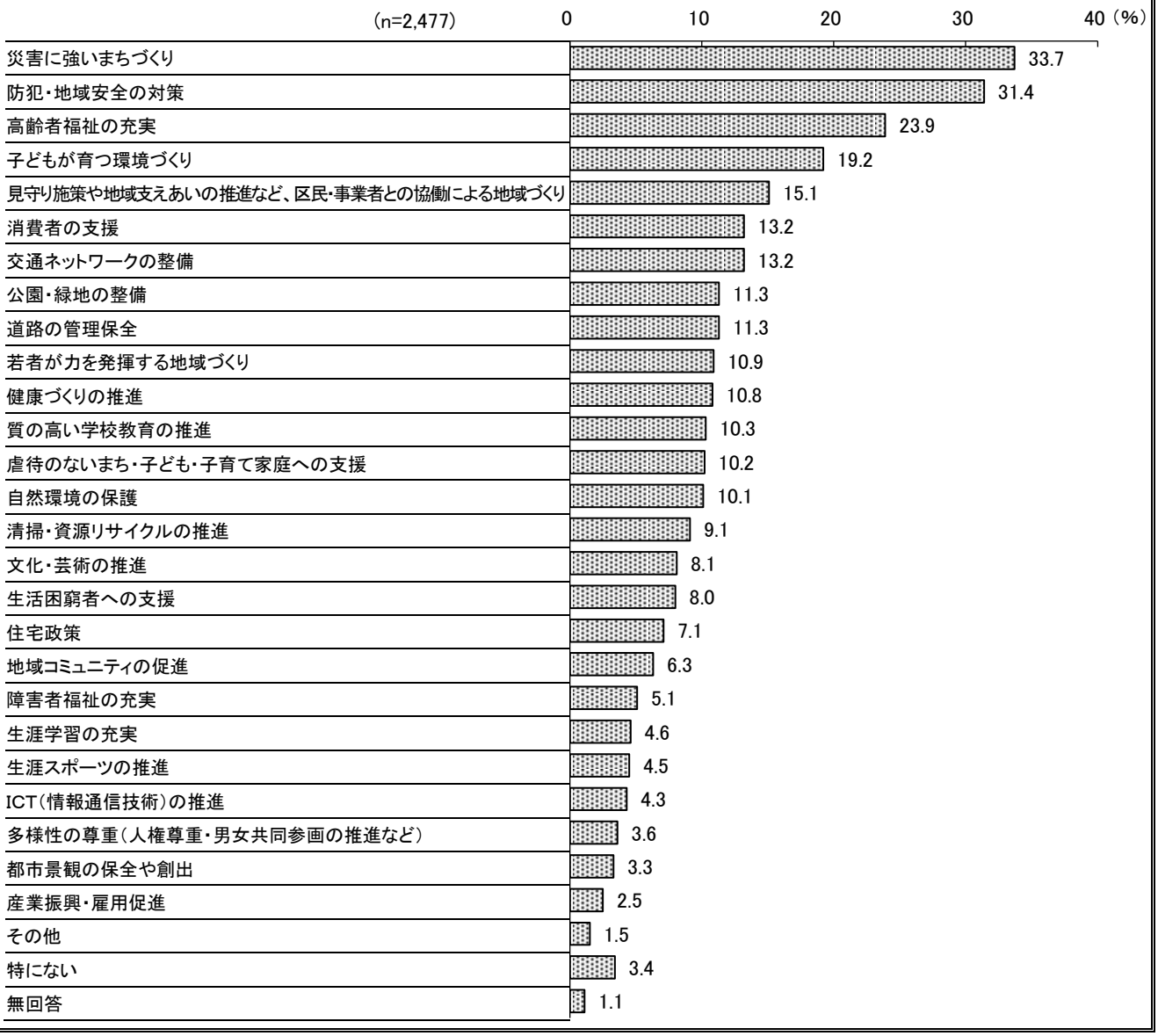
２．区政

（１）区が積極的に取り組むべき事業

◎「災害に強いまちづくり」が第１位、「防犯・地域安全の対策」が第２位、「高齢者福祉の充実」が第３位

問７　あなたは、今後世田谷区が積極的に取り組む事業として、どれが必要だと思いますか。（○は３つまで）

図２－１－１



今後区が積極的に取り組むべき事業について聞いたところ、「災害に強いまちづくり」（33.7%）が３割を超えて最も高く、以下、「防犯・地域安全の対策」（31.4%）、「高齢者福祉の充実」（23.9%）、「子どもが育つ環境づくり」（19.2%）などと続く。（図２－１－１）

表２－１－１　区が積極的に取り組むべき事業（時系列）

（%）

	n	１ 位	２ 位	３ 位	４ 位	５ 位	６ 位	７ 位	８ 位	９ 位	１０ 位
令和8年度（2026年度）	2,477	災害に強いまちづくり 33.7	防犯・地域安全の対策 31.4	高齢者福祉の充実 23.9	子どもが育つ環境づくり 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 15.1	消費者の支援／交通ネットワークの整備 13.2		公園・緑地の整備／道路の管理保全 11.3		若者が力を発揮する地域づくり 10.9
令和7年度（2025年度）	2,214	災害に強いまちづくり 35.9	防犯・地域安全の対策 29.0	高齢者福祉の充実 23.1	子どもが育つ環境づくり 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 13.6	道路の管理保全 12.4	消費者の支援 12.3	交通ネットワークの整備 12.2	健康づくりの推進 11.2	若者が力を発揮する地域づくり 10.8
令和6年度（2024年度）	2,404	災害に強いまちづくり 33.5	高齢者福祉の充実 24.8	防犯・地域安全の対策 24.5	子どもが育つ環境づくり 19.8	区民・事業者との協働による地域づくり 14.0	質の高い学校教育の推進 13.0	若者が力を発揮する地域づくり 12.3	健康づくりの推進 12.1	公園・緑地の整備／交通ネットワークの整備 11.7	
令和5年度（2023年度）	1,832	災害に強いまちづくり 31.5	防犯・地域安全の対策 28.5	高齢者福祉の充実 25.4	子どもが育つ環境づくり 20.8	区民・事業者との協働による地域づくり 14.7	若者が力を発揮する地域づくり 13.0	質の高い学校教育の推進／公園・緑地の整備 12.4		自然環境の保護 12.2	健康づくりの推進 12.0
令和4年度（2022年度）	1,923	災害に強いまちづくり 28.1	高齢者福祉の充実 21.1	防犯・地域安全の対策 18.7	子どもが育つ環境づくり 16.5	区民・事業者との協働による地域づくり 11.2	若者が力を発揮する地域づくり 10.5	質の高い学校教育の推進 10.1	健康づくりの推進 9.4	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／交通ネットワークの整備 9.0	
令和3年度（2021年度）	2,086	災害に強いまちづくり 29.8	防犯・地域安全の対策 21.3	高齢者福祉の充実 19.4	子どもが育つ環境づくり 16.9	区民・事業者との協働による地域づくり 9.8	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／交通ネットワークの整備 9.4		健康づくりの推進 9.3	質の高い学校教育の推進 9.0	ICT（情報通信技術）の推進 8.7
令和2年度（2020年度）	2,371	災害に強いまちづくり 42.9	防犯・地域安全の対策 26.9	高齢者福祉の充実 25.3	子どもが育つ環境づくり 18.6	ICT（情報通信技術）の推進 13.6	健康づくりの推進 13.1	自然環境の保護 12.4	区民・事業者との協働による地域づくり 12.2	質の高い学校教育の推進／交通ネットワークの整備 12.1	
令和元年度（2019年度）	2,171	災害に強いまちづくり 32.8	高齢者福祉の充実 31.3	防犯・地域安全の対策 31.2	子どもが育つ環境づくり 21.1	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 15.3	区民・事業者との協働による地域づくり 13.4	質の高い学校教育の推進 12.2	健康づくりの推進 11.7	交通ネットワークの整備 11.3	公園・緑地の整備／自然環境の保護 10.6
平成30年度（2018年度）	2,330	防犯・地域安全の対策 35.7	高齢者福祉の充実 35.2	災害に強いまちづくり 34.6	子どもが育つ環境づくり 27.8	健康づくりの推進／区民・事業者との協働による地域づくり 16.1		自然環境の保護 13.6	交通ネットワークの整備 13.4	質の高い学校教育の推進 13.0	公園・緑地の整備 12.7
平成28年度（2016年度）	2,355	災害に強いまちづくり 32.0	高齢者福祉の充実 31.3	防犯・地域安全の対策 26.2	子どもが育つ環境づくり 22.9	区民・事業者との協働による地域づくり 13.0	健康づくりの推進 11.6	質の高い学校教育の推進 9.9	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 9.3	交通ネットワークの整備 8.8	若者が力を発揮する地域づくり 8.3

注）平成29年度（2017年度）は質問項目がなかった。

平成 28 年度（2016 年度）からの時系列の変化をみると、「災害に強いまちづくり」は平成 30 年度（2018 年度）を除くすべての年度で１位となっている。「防犯・地域安全の対策」、「高齢者福祉の充実」は常に３位以内に挙げられ、「子どもが育つ環境づくり」はすべての年度で４位となっている。

（表２－１－１）

表２－１－２　区が積極的に取り組むべき事業（地域別）

（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,477	災害に強いまちづくり 33.7	防犯・地域安全の対策 31.4	高齢者福祉の充実 23.9	子どもが育つ環境づくり 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 15.1	消費者の支援／交通ネットワークの整備 13.2		公園・緑地の整備／道路の管理保全 11.3		若者が力を発揮する地域づくり 10.9
世田谷東部	352	災害に強いまちづくり 36.4	防犯・地域安全の対策 33.2	高齢者福祉の充実 25.3	子どもが育つ環境づくり 18.8	区民・事業者との協働による地域づくり／消費者の支援 15.6		道路の管理保全 11.9	清掃・資源リサイクルの推進 11.4	健康づくりの推進／若者が力を発揮する地域づくり 11.1	
世田谷西部	307	防犯・地域安全の対策 34.5	災害に強いまちづくり 30.6	高齢者福祉の充実 21.2	子どもが育つ環境づくり 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 17.3	道路の管理保全 13.7	消費者の支援／清掃・資源リサイクルの推進 11.7		文化・芸術の推進／交通ネットワークの整備 11.4	
北沢東部	193	災害に強いまちづくり 35.8	防犯・地域安全の対策 30.6	高齢者福祉の充実 24.4	子どもが育つ環境づくり 21.8	区民・事業者との協働による地域づくり 17.6	公園・緑地の整備 15.0	生活困窮者への支援 14.0	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 12.4	若者が力を発揮する地域づくり／清掃・資源リサイクルの推進 11.9	
北沢西部	225	災害に強いまちづくり 38.7	防犯・地域安全の対策 30.2	高齢者福祉の充実 26.7	区民・事業者との協働による地域づくり 19.1	子どもが育つ環境づくり 16.0	交通ネットワークの整備 13.3	道路の管理保全 12.9	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／消費者の支援 12.4		健康づくりの推進／若者が力を発揮する地域づくり 11.6
玉川北部	240	災害に強いまちづくり 33.3	防犯・地域安全の対策 32.9	子どもが育つ環境づくり 20.0	高齢者福祉の充実 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 15.0	質の高い学校教育の推進 13.8	消費者の支援／公園・緑地の整備 13.3		健康づくりの推進 12.5	若者が力を発揮する地域づくり 10.8
玉川南部	215	災害に強いまちづくり 34.4	防犯・地域安全の対策 29.8	高齢者福祉の充実 26.5	子どもが育つ環境づくり 18.1	道路の管理保全 15.8	自然環境の保護 15.3	健康づくりの推進／消費者の支援／公園・緑地の整備 12.6			交通ネットワークの整備 12.1
玉川西部	159	災害に強いまちづくり 35.8	防犯・地域安全の対策 28.9	高齢者福祉の充実 22.0	子どもが育つ環境づくり 20.1	区民・事業者との協働による地域づくり 17.0	消費者の支援 12.6	健康づくりの推進／自然環境の保護 11.9		若者が力を発揮する地域づくり 10.1	公園・緑地の整備 9.4
砧北部	312	防犯・地域安全の対策 35.6	災害に強いまちづくり 30.4	高齢者福祉の充実 26.9	子どもが育つ環境づくり 20.5	交通ネットワークの整備 16.7	区民・事業者との協働による地域づくり 14.7	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 14.1	若者が力を発揮する地域づくり 13.5	質の高い学校教育の推進／公園・緑地の整備 11.5	
砧南部	128	災害に強いまちづくり 37.5	交通ネットワークの整備 28.1	防犯・地域安全の対策 25.0	高齢者福祉の充実 21.9	消費者の支援 20.3	子どもが育つ環境づくり 18.8	若者が力を発揮する地域づくり 15.6	自然環境の保護／道路の管理保全 14.8		質の高い学校教育の推進 13.3
烏山	326	災害に強いまちづくり 29.8	防犯・地域安全の対策 27.6	高齢者福祉の充実 23.0	交通ネットワークの整備 19.9	子どもが育つ環境づくり 19.0	消費者の支援 14.7	区民・事業者との協働による地域づくり 12.3	公園・緑地の整備 12.0	自然環境の保護 10.7	道路の管理保全 10.1

地域別にみると、すべての地域で「災害に強いまちづくり」が２位以内に挙げられている。「防犯・地域安全の対策」は砧南部を除くすべての地域で２位以内、「高齢者福祉の充実」は玉川北部、砧南部を除くすべての地域で３位に挙げられ、砧南部は「交通ネットワークの整備」が２位、玉川北部は「子どもが育つ環境づくり」が３位に挙げられている。（表２－１－２）

表２－１－３　区が積極的に取り組むべき事業（性・年齢別）

（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,477	災害に強いまちづくり 33.7	防犯・地域安全の対策 31.4	高齢者福祉の充実 23.9	子どもが育つ環境づくり 19.2	区民・事業者との協働による地域づくり 15.1	消費者の支援／交通ネットワークの整備 13.2		公園・緑地の整備／道路の管理保全 11.3		若者が力を発揮する地域づくり 10.9
男 性 全 体	1,009	災害に強いまちづくり 31.1	防犯・地域安全の対策 30.3	高齢者福祉の充実 22.8	子どもが育つ環境づくり 19.5	区民・事業者との協働による地域づくり 14.6	公園・緑地の整備 13.7	交通ネットワークの整備 12.9	若者が力を発揮する地域づくり 12.2	消費者の支援 12.0	健康づくりの推進 10.6
10・20歳代	117	災害に強いまちづくり 24.8	若者が力を発揮する地域づくり 23.1	交通ネットワークの整備 17.9	健康づくりの推進／子どもが育つ環境づくり／防犯・地域安全の対策 16.2			質の高い学校教育の推進 15.4	公園・緑地の整備 12.8	道路の管理保全 11.1	区民・事業者との協働による地域づくり／消費者の支援 10.3
30歳代	120	子どもが育つ環境づくり 35.8	消費者の支援 24.2	災害に強いまちづくり 21.7	公園・緑地の整備 20.0	防犯・地域安全の対策 17.5	質の高い学校教育の推進 15.0	若者が力を発揮する地域づくり／交通ネットワークの整備 14.2		虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／住宅政策 11.7	
40歳代	156	防犯・地域安全の対策 37.2	子どもが育つ環境づくり 33.3	災害に強いまちづくり 25.0	質の高い学校教育の推進 19.2	若者が力を発揮する地域づくり／公園・緑地の整備 16.7		交通ネットワークの整備 14.7	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 12.8	消費者の支援／道路の管理保全 12.2	
50歳代	194	防犯・地域安全の対策 37.1	災害に強いまちづくり 32.5	交通ネットワークの整備 18.6	高齢者福祉の充実 18.0	区民・事業者との協働による地域づくり 16.5	子どもが育つ環境づくり／公園・緑地の整備 13.9		健康づくりの推進／自然環境の保護 10.8		消費者の支援 10.3
60歳代	172	災害に強いまちづくり 35.5	高齢者福祉の充実 33.7	防犯・地域安全の対策 32.0	区民・事業者との協働による地域づくり 19.2	子どもが育つ環境づくり 15.7	健康づくりの推進／消費者の支援／交通ネットワークの整備 10.5			虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 9.9	自然環境の保護／道路の管理保全 9.3
70歳代	161	高齢者福祉の充実／災害に強いまちづくり 39.1		防犯・地域安全の対策 32.3	区民・事業者との協働による地域づくり 19.9	道路の管理保全 12.4	子どもが育つ環境づくり／公園・緑地の整備 11.8		多様性の尊重（人権尊重・男女共同参画の推進など）／文化・芸術の推進／自然環境の保護 11.2		
80歳以上	89	高齢者福祉の充実 46.1	災害に強いまちづくり 37.1	防犯・地域安全の対策 32.6	区民・事業者との協働による地域づくり 18.0	公園・緑地の整備／自然環境の保護 14.6		健康づくりの推進 13.5	地域コミュニティの促進 12.4	生活困窮者への支援／子どもが育つ環境づくり／虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／消費者の支援 11.2	
女 性 全 体	1,399	災害に強いまちづくり 36.2	防犯・地域安全の対策 32.3	高齢者福祉の充実 24.4	子どもが育つ環境づくり 19.3	区民・事業者との協働による地域づくり 15.7	消費者の支援 14.2	交通ネットワークの整備 13.7	道路の管理保全 12.2	健康づくりの推進 10.9	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 10.7
10・20歳代	127	防犯・地域安全の対策 29.9	災害に強いまちづくり 27.6	子どもが育つ環境づくり 22.8	消費者の支援 15.7	公園・緑地の整備 14.2	若者が力を発揮する地域づくり／文化・芸術の推進／交通ネットワークの整備 12.6			区民・事業者との協働による地域づくり／質の高い学校教育の推進／虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援／道路の管理保全 11.0	
30歳代	176	子どもが育つ環境づくり 43.2	防犯・地域安全の対策 26.1	災害に強いまちづくり 25.6	消費者の支援／公園・緑地の整備／交通ネットワークの整備 18.2			質の高い学校教育の推進 16.5	虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 15.3	住宅政策 13.1	若者が力を発揮する地域づくり／道路の管理保全 12.5
40歳代	231	災害に強いまちづくり 38.1	防犯・地域安全の対策 32.9	子どもが育つ環境づくり 24.2	交通ネットワークの整備 21.2	質の高い学校教育の推進 17.7	消費者の支援 16.0	高齢者福祉の充実 15.6	区民・事業者との協働による地域づくり／虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 14.3		道路の管理保全 13.0
50歳代	273	災害に強いまちづくり 41.4	防犯・地域安全の対策 34.8	高齢者福祉の充実 26.4	消費者の支援 15.8	交通ネットワークの整備 15.4	道路の管理保全 15.0	健康づくりの推進／区民・事業者との協働による地域づくり 13.2		自然環境の保護 11.4	若者が力を発揮する地域づくり 10.6
60歳代	246	災害に強いまちづくり 44.7	高齢者福祉の充実 34.1	防犯・地域安全の対策 32.1	区民・事業者との協働による地域づくり 17.9	清掃・資源リサイクルの推進 13.8	子どもが育つ環境づくり 13.4	健康づくりの推進 13.0	消費者の支援 11.8	道路の管理保全 11.0	生活困窮者への支援 10.6
70歳代	210	災害に強いまちづくり 36.7	高齢者福祉の充実 36.2	防犯・地域安全の対策 33.3	区民・事業者との協働による地域づくり 21.0	子どもが育つ環境づくり 15.2	健康づくりの推進／自然環境の保護 13.8		消費者の支援 12.9	交通ネットワークの整備 11.9	清掃・資源リサイクルの推進 11.0
80歳以上	133	高齢者福祉の充実 46.6	防犯・地域安全の対策 34.6	災害に強いまちづくり 28.6	区民・事業者との協働による地域づくり 24.8	自然環境の保護 15.8	子どもが育つ環境づくり／道路の管理保全 12.8		健康づくりの推進 11.3	清掃・資源リサイクルの推進 10.5	生活困窮者への支援／若者が力を発揮する地域づくり／虐待のないまち・子ども・子育て家庭への支援 9.8

性・年齢別にみると、「災害に強いまちづくり」はすべての年代で３位以内に挙げられ、「防犯・地域安全の対策」は男性の 10・20 歳代と 30 歳代を除くすべての年代で３位以内に挙げられている。「子どもが育つ環境づくり」は男女とも 30 歳代で１位、「高齢者福祉の充実」は男女とも 80 歳以上で１位、男性の 70 歳代も同率１位となっている。男性の 10・20 歳代は「若者が力を発揮する地域づくり」が２位に挙げられている。（表２－１－３）

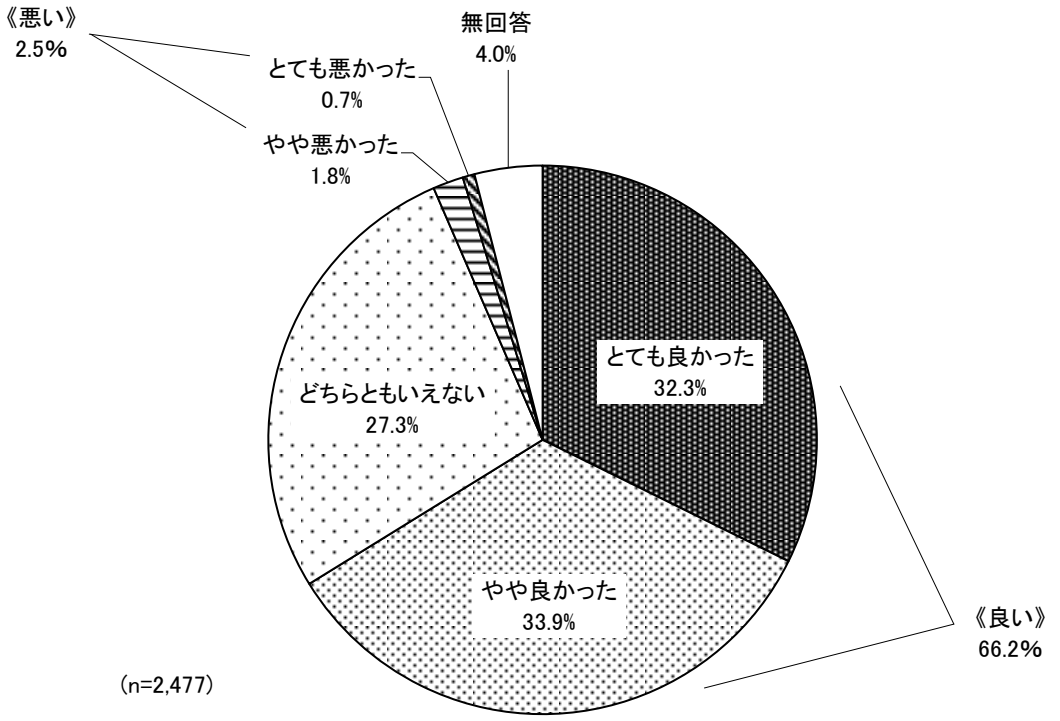
３．職員応対

（１）窓口応対

◎窓口応対が《良い》と感じている人が６割半ば

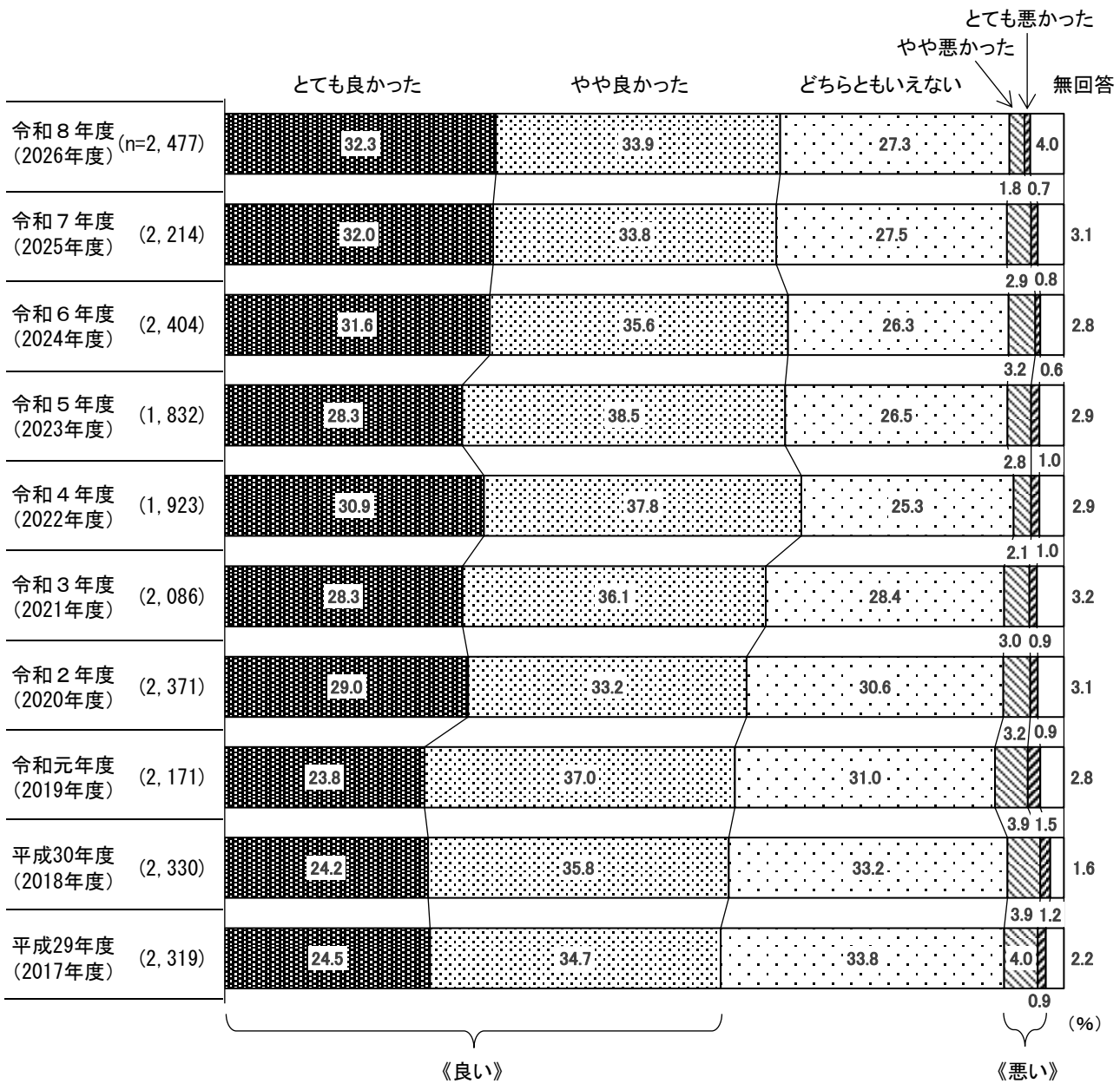
問８　区役所の窓口や区職員の応対について印象はいかがでしたか。（○は１つ）

図３－１－１



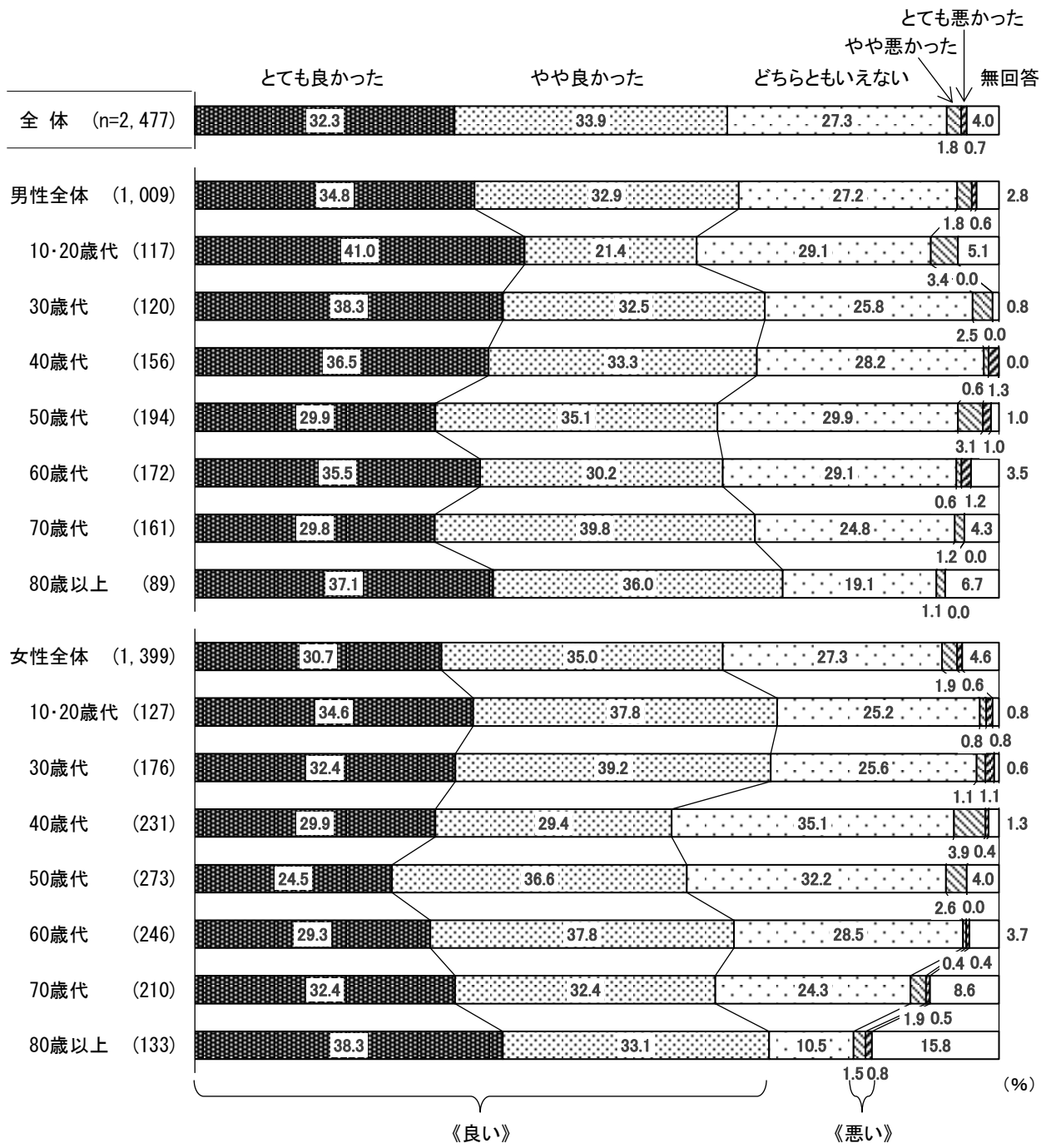
区役所の窓口や区職員の応対についての印象を聞いたところ、「とても良かった」（32.3%）と「やや良かった」（33.9%）を合わせた《良い》（66.2%）が６割半ばとなっている。「どちらともいえない」（27.3%）は３割近く、「やや悪かった」（1.8%）と「とても悪かった」（0.7%）を合わせた《悪い》（2.5%）は１割に満たない。（図３－１－１）

図３－１－２　窓口応対（時系列）



平成 29 年度（2017 年度）からの時系列の変化をみると、《良い》は令和４年度（2022 年度）までは年々増加し、令和４年度（2022 年度）以降はやや減少しているものの、令和３年度（2021 年度）以前より高い割合で推移している。《悪い》は、いずれの年度も１割に満たない。（図３－１－２）

図３－１－３　窓口応対（性・年齢別）



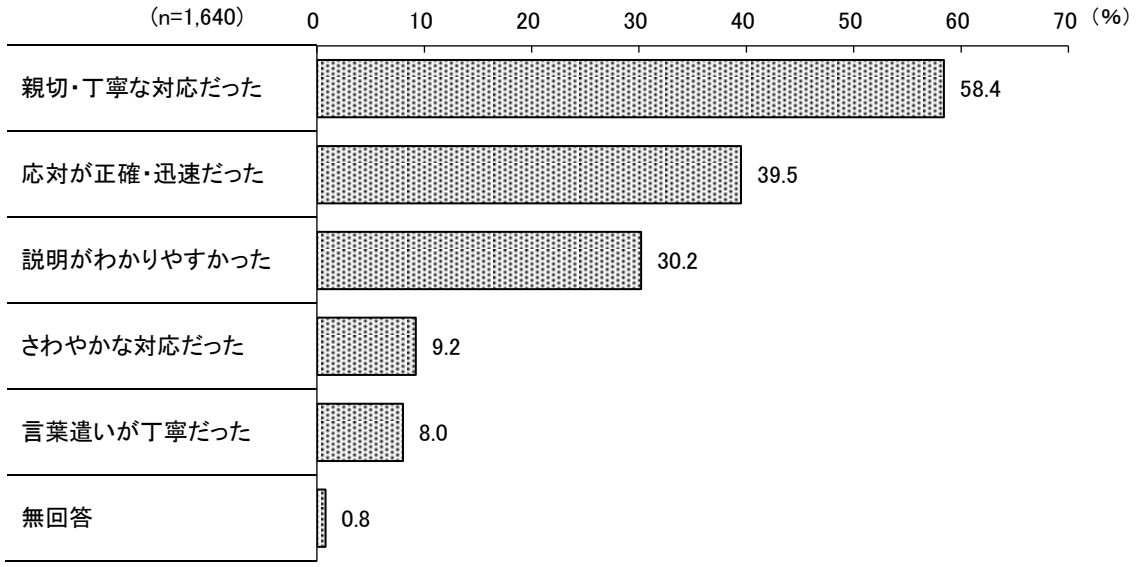
性・年齢別にみると、《良い》は男性の 80 歳以上、女性の 10・20 歳代、30 歳代、80 歳以上で７割を超えている。「とても良かった」は男性の 10・20 歳代で４割を超え、男性の 30 歳代、40 歳代、80 歳以上、女性の 80 歳以上で４割近くとなっている。（図３－１－３）

（２）印象が良かった点

◎印象が良かった点としては「親切・丁寧な対応だった」が６割近く

（問８で「とても良かった」または「やや良かった」と答えた方に）
問８－１　印象が良かった点はどれですか。（○は２つまで）

図３－２－１



区役所の窓口や区職員の応対について「とても良かった」または「やや良かった」と答えた方（1,640人）に、印象が良かった点を聞いたところ、「親切・丁寧な対応だった」（58.4%）が６割近くで最も高い。以下、「応対が正確・迅速だった」（39.5%）、「説明がわかりやすかった」（30.2%）、「さわやかな対応だった」（9.2%）、「言葉遣いが丁寧だった」（8.0%）と続く。（図３－２－１）

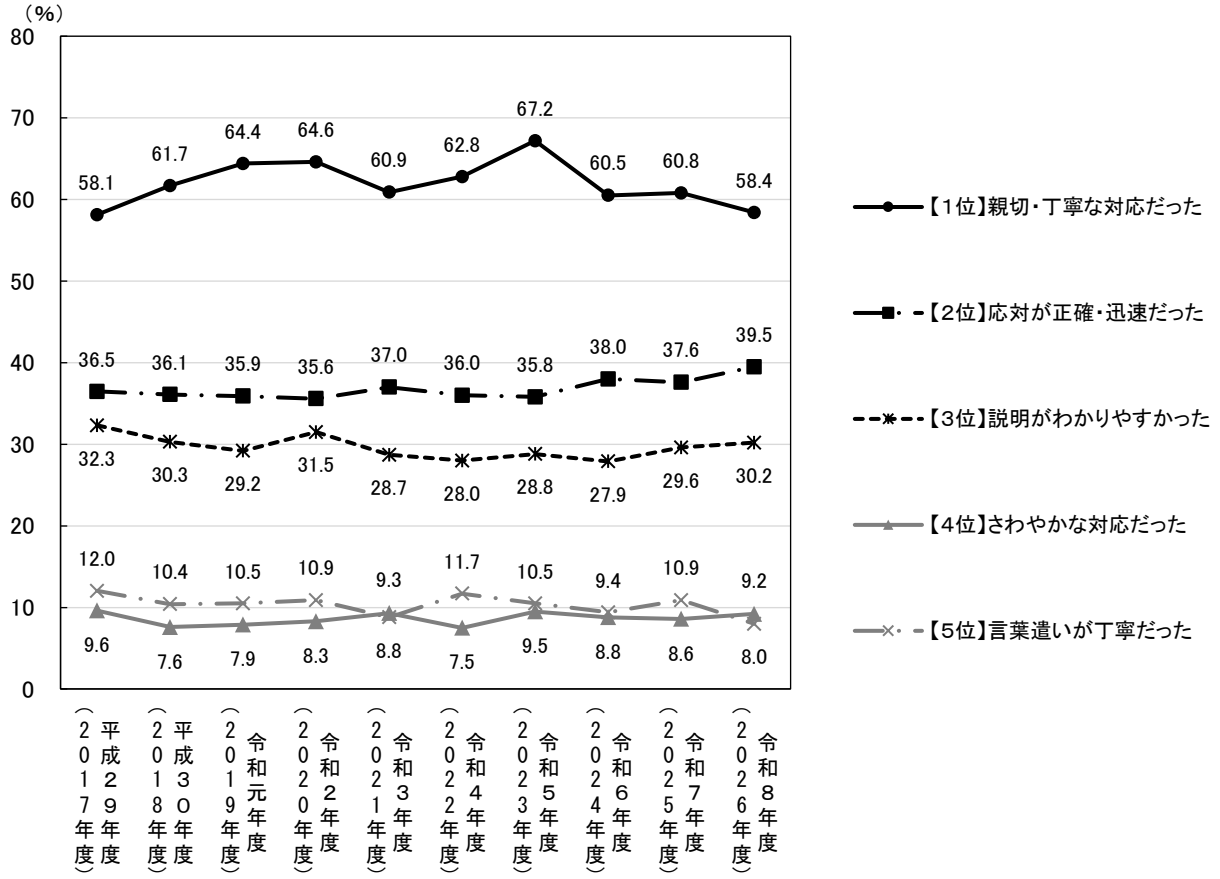
表３－２－１　印象が良かった点（時系列）

（%）

理　由	平成29年度（2017年度）	平成30年度（2018年度）	令和元年度（2019年度）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
n	1,371	1,399	1,319	1,473	1,344	1,320	1,224	1,614	1,456	1,640
【1位】親切・丁寧な対応だった	58.1	61.7	64.4	64.6	60.9	62.8	67.2	60.5	60.8	58.4
【2位】応対が正確・迅速だった	36.5	36.1	35.9	35.6	37.0	36.0	35.8	38.0	37.6	39.5
【3位】説明がわかりやすかった	32.3	30.3	29.2	31.5	28.7	28.0	28.8	27.9	29.6	30.2
【4位】さわやかな対応だった	9.6	7.6	7.9	8.3	9.3	7.5	9.5	8.8	8.6	9.2
【5位】言葉遣いが丁寧だった	12.0	10.4	10.5	10.9	8.8	11.7	10.5	9.4	10.9	8.0

注）令和8年度（2026年度）の値で順位付けを行った。

図３－２－２　印象が良かった点（時系列）



平成 29 年度（2017 年度）からの時系列での変化をみると、「親切・丁寧な対応だった」がいずれの年度も１位となっている。以下、３位まではすべて同じ順位で、「さわやかな対応だった」は令和３年度（2021 年度）と令和８年度（2026 年度）が４位、その他の年度は５位となっている。

（表３－２－１、図３－２－２）

表３－２－２　印象が良かった点（性・年齢別）

（%）

		n	親切・丁寧な対応だった	応対が正確・迅速だった	説明がわかりやすかった	さわやかな対応だった	言葉遣いが丁寧だった	無回答
全　　体		1,640	58.4	39.5	30.2	9.2	8.0	0.8
性・年齢別	男性全体	683	61.2	41.4	27.7	9.2	9.2	0.9
	10･20歳代	73	47.9	50.7	31.5	8.2	8.2	－
	30歳代	85	47.1	43.5	36.5	8.2	9.4	1.2
	40歳代	109	61.5	37.6	27.5	10.1	11.9	1.8
	50歳代	126	60.3	45.2	23.8	7.1	11.1	1.6
	60歳代	113	64.6	42.5	22.1	13.3	8.0	－
	70歳代	112	69.6	35.7	29.5	10.7	7.1	0.9
	80歳以上	65	75.4	35.4	26.2	4.6	7.7	－
	女性全体	919	56.7	38.1	32.1	8.9	7.1	0.8
	10･20歳代	92	46.7	37.0	22.8	16.3	6.5	－
	30歳代	126	47.6	43.7	31.7	8.7	7.9	2.4
	40歳代	137	58.4	40.9	27.0	10.9	6.6	－
	50歳代	167	57.5	40.7	28.1	6.0	10.2	－
	60歳代	165	58.2	36.4	35.8	8.5	7.9	0.6
	70歳代	136	63.2	33.8	36.0	5.1	5.1	1.5
	80歳以上	95	63.2	31.6	43.2	10.5	3.2	1.1

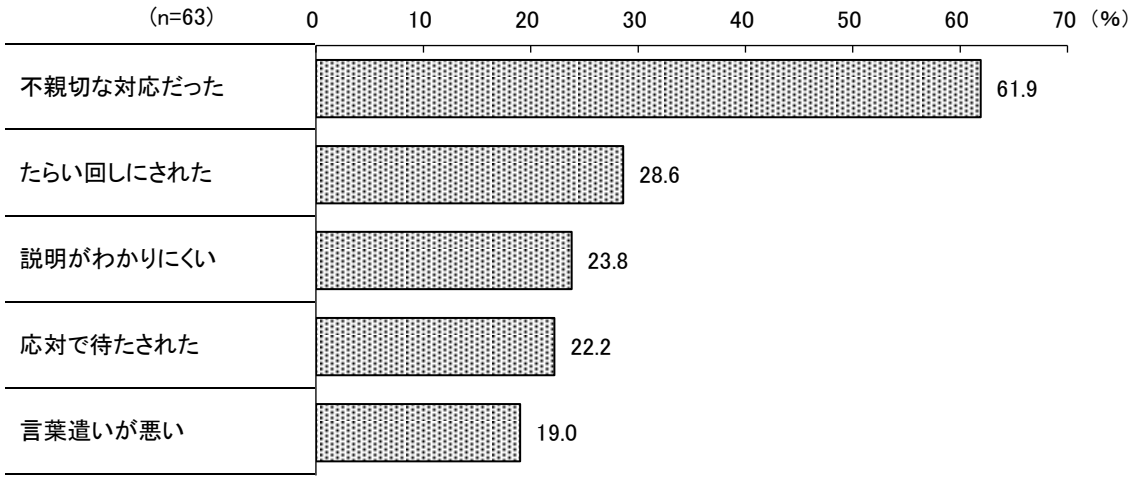
性・年齢別にみると、「親切・丁寧な対応だった」は男性の 80 歳以上で７割半ば、男性の 70 歳代で７割、男性の 60 歳代で６割半ばとなっている。「応対が正確・迅速だった」は男性の 10・20 歳代でほぼ５割、男性の 50 歳代で４割半ば、「説明がわかりやすかった」は女性の 80 歳以上で４割を超えている。（表３－２－２）

（３）印象が悪かった点

◎印象が悪かった点としては「不親切な対応だった」が６割を超える

（問８で「やや悪かった」または「とても悪かった」と答えた方に）
問８－２　印象が悪かった点はどれですか。（○は２つまで）

図３－３－１



区役所の窓口や区職員の応対について「やや悪かった」または「とても悪かった」と答えた方（63人）に、印象が悪かった点を聞いたところ、「不親切な対応だった」（61.9％）が６割を超えて最も高い。以下、「たらい回しにされた」（28.6％）、「説明がわかりにくい」（23.8％）、「応対で待たされた」（22.2％）、「言葉遣いが悪い」（19.0％）と続く。（図３－３－１）

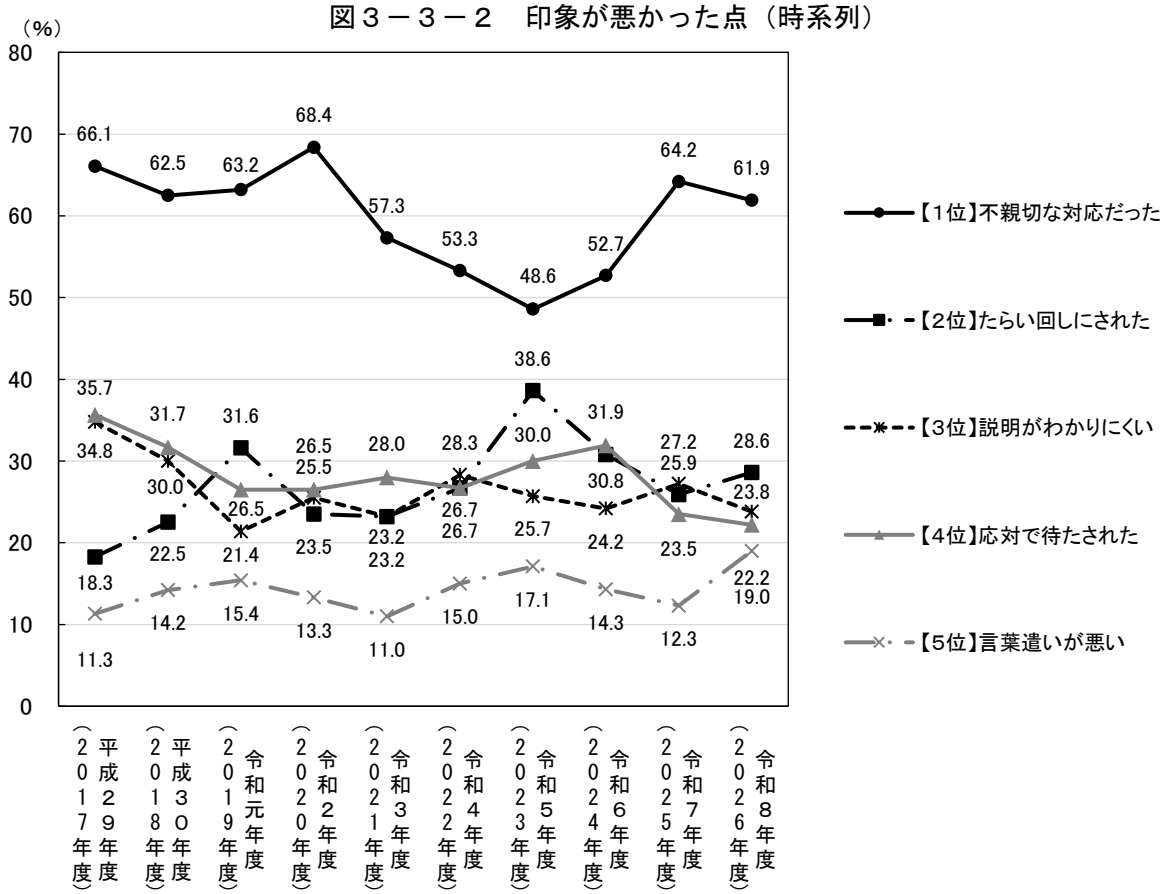
表３－３－１　印象が悪かった点（時系列）

（%）

理　由	平成29年度（2017年度）	平成30年度（2018年度）	令和元年度（2019年度）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
n	115	120	117	98	82	60	70	91	81	63
【1位】 不親切な対応だった	66.1	62.5	63.2	68.4	57.3	53.3	48.6	52.7	64.2	61.9
【2位】 たらい回しにされた	18.3	22.5	31.6	23.5	23.2	26.7	38.6	30.8	25.9	28.6
【3位】 説明がわかりにくい	34.8	30.0	21.4	25.5	23.2	28.3	25.7	24.2	27.2	23.8
【4位】 応対で待たされた	35.7	31.7	26.5	26.5	28.0	26.7	30.0	31.9	23.5	22.2
【5位】 言葉遣いが悪い	11.3	14.2	15.4	13.3	11.0	15.0	17.1	14.3	12.3	19.0

注）令和8年度（2026年度）の値で順位付けを行った。

図３－３－２　印象が悪かった点（時系列）



平成 29 年度（2017 年度）からの時系列での変化をみると、「不親切な対応だった」がいずれの年度も１位となっており、令和２年度（2020 年度）までは６割台で推移し、令和３年度（2021 年度）～令和６年度（2024 年度）は４～５割台に低下したが、令和７年度（2025 年度）以降は再び６割台となっている。「たらい回しにされた」は平成 30 年度（2018 年度）以降は２割台から３割台で推移し、「説明がわかりにくい」は平成 30 年度（2018 年度）以前の３割台から令和元年度（2019 年度）以降は２割台に低下している。「応対で待たされた」は令和５年度（2023 年度）と令和６年度（2024 年度）は３割台であったが、令和７年度（2025 年度）以降は２割台に低下している。

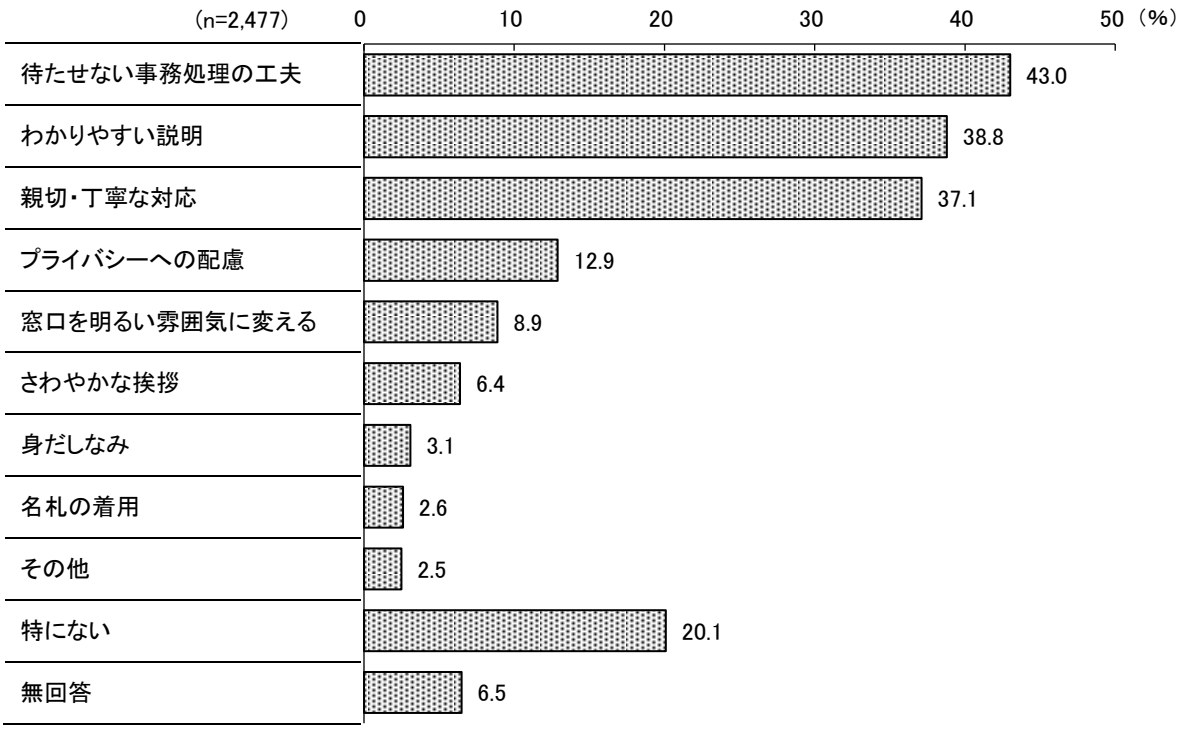
（表３－３－１、図３－３－２）

（４）職員応対での注意点

◎「待たせない事務処理の工夫」「わかりやすい説明」「親切･丁寧な対応」の３点が高い

問９　今後、職員応対について、どのような点に注意すべきだと思いますか。（○は３つまで）

図３－４－１



今後の職員応対で注意すべき点を聞いたところ、「待たせない事務処理の工夫」（43.0%）が４割を超え、「わかりやすい説明」（38.8%）と「親切・丁寧な対応」（37.1%）が４割近くとなっている。以下、「プライバシーへの配慮」（12.9%）、「窓口を明るい雰囲気に変える」（8.9%）、「さわやかな挨拶」（6.4%）などと続く。「特にない」（20.1%）は２割となっている。

（図３－４－１）

表３－４－１　職員応対での注意点（時系列）

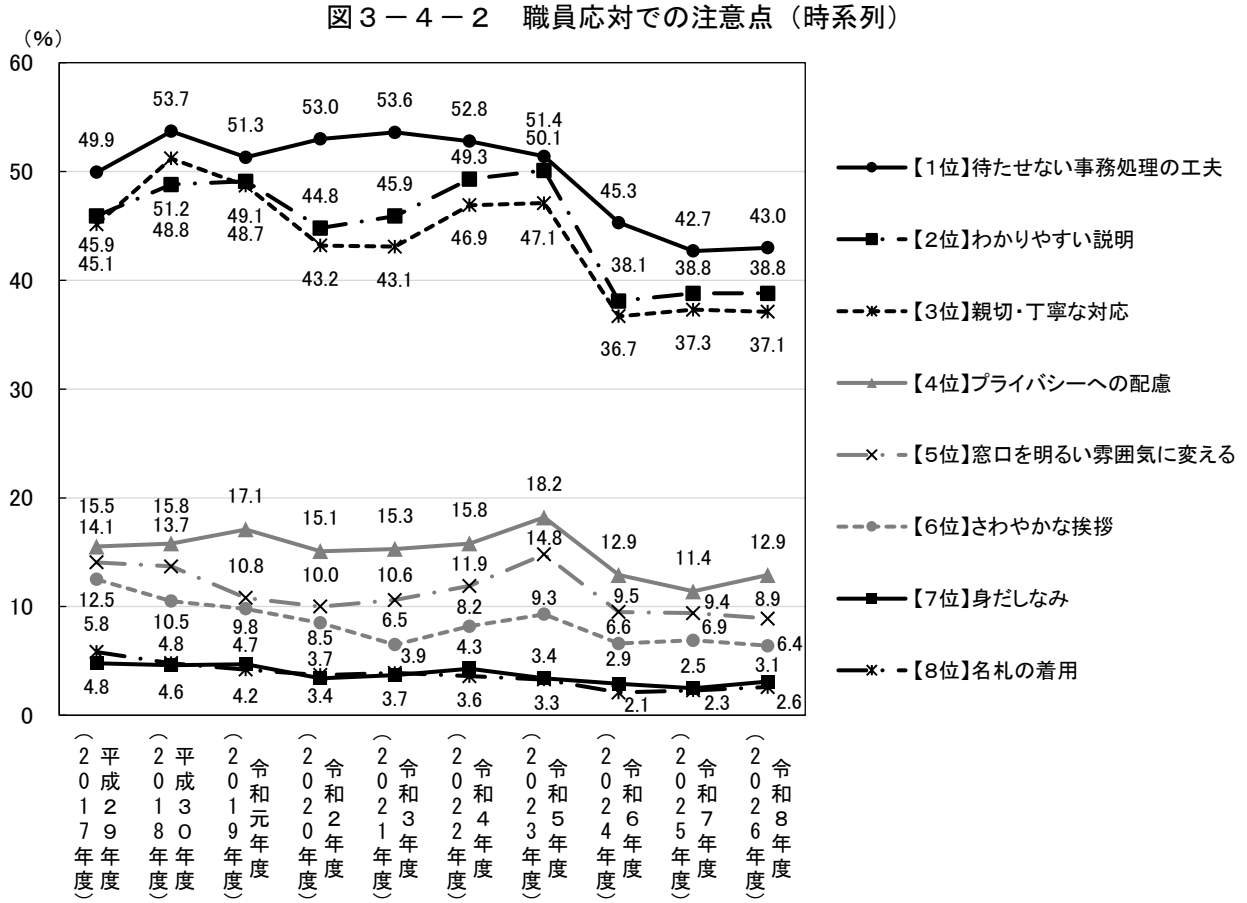
（%）

理　由	平成29年度（2017年度）	平成30年度（2018年度）	令和元年度（2019年度）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）
n	2,319	2,330	2,171	2,371	2,086	1,923	1,832	2,404	2,214	2,477
【1位】 待たせない事務処理の工夫	49.9	53.7	51.3	53.0	53.6	52.8	51.4	45.3	42.7	43.0
【2位】 わかりやすい説明	45.9	48.8	49.1	44.8	45.9	49.3	50.1	38.1	38.8	38.8
【3位】 親切・丁寧な対応	45.1	51.2	48.7	43.2	43.1	46.9	47.1	36.7	37.3	37.1
【4位】 プライバシーへの配慮	15.5	15.8	17.1	15.1	15.3	15.8	18.2	12.9	11.4	12.9
【5位】 窓口を明るい雰囲気に変える	14.1	13.7	10.8	10.0	10.6	11.9	14.8	9.5	9.4	8.9
【6位】 さわやかな挨拶	12.5	10.5	9.8	8.5	6.5	8.2	9.3	6.6	6.9	6.4
【7位】 身だしなみ	4.8	4.6	4.7	3.4	3.7	4.3	3.4	2.9	2.5	3.1
【8位】 名札の着用	5.8	4.8	4.2	3.7	3.9	3.6	3.3	2.1	2.3	2.6

注）令和8年度（2026年度）の値で順位付けを行った。

注）令和6年度（2024年度）以降、選択肢に「その他」と「特にない」が追加。

図３－４－２　職員応対での注意点（時系列）



注）令和6年度（2024 年度）以降、選択肢に「その他」と「特にない」が追加。

平成 29 年度（2017 年度）からの時系列での変化をみると、「待たせない事務処理の工夫」、「わかりやすい説明」、「親切・丁寧な対応」の３項目がいずれの年度でも上位３位に挙げられている。

（表３－４－１、図３－４－２）

表３－４－２　職員応対での注意点（性・年齢別）

（%）

		n	待たせない事務処理の工夫	わかりやすい説明	親切・丁寧な対応	プライバシーへの配慮	窓口を明るい雰囲気に変える	さわやかな挨拶	身だしなみ	名札の着用	その他	特にない	無回答
全　　体		2,477	43.0	38.8	37.1	12.9	8.9	6.4	3.1	2.6	2.5	20.1	6.5
性・年齢別	男性全体	1,009	44.7	35.8	36.4	9.9	9.8	7.1	3.5	3.3	2.7	22.9	4.7
	10･20歳代	117	26.5	23.9	18.8	6.0	6.0	7.7	5.1	1.7	2.6	50.4	4.3
	30歳代	120	42.5	30.0	27.5	10.0	7.5	14.2	3.3	0.8	5.0	27.5	5.0
	40歳代	156	50.6	38.5	42.3	9.0	10.9	8.3	1.9	1.9	3.2	21.2	1.9
	50歳代	194	47.4	33.5	34.5	10.8	12.4	6.2	4.1	2.1	3.6	17.5	3.6
	60歳代	172	48.3	44.2	45.3	12.8	8.1	5.8	2.3	4.1	2.3	17.4	3.5
	70歳代	161	47.2	38.5	44.1	11.2	13.0	5.0	3.7	4.3	1.2	16.8	5.6
	80歳以上	89	43.8	38.2	33.7	6.7	7.9	3.4	4.5	10.1	－	16.9	12.4
	女性全体	1,399	42.5	41.6	37.7	15.0	8.3	5.7	2.9	2.3	2.3	18.2	7.3
	10･20歳代	127	26.0	22.8	20.5	8.7	6.3	7.9	1.6	0.8	0.8	40.9	6.3
	30歳代	176	37.5	26.1	26.7	13.1	10.2	7.4	1.7	1.1	4.0	29.5	5.1
	40歳代	231	41.6	35.9	32.0	15.2	13.4	6.5	2.2	－	3.0	23.4	4.8
	50歳代	273	46.5	50.5	48.0	19.4	8.4	5.1	3.7	1.8	2.2	11.4	5.9
	60歳代	246	50.8	56.1	47.2	18.3	6.5	5.7	3.7	4.5	2.0	6.5	7.7
	70歳代	210	46.7	43.3	39.0	12.9	6.2	4.3	2.9	3.3	1.9	14.8	11.4
	80歳以上	133	36.1	41.4	36.1	12.0	5.3	3.8	3.8	4.5	1.5	13.5	11.3

性・年齢別にみると、「待たせない事務処理の工夫」は男性の 40 歳代、女性の 60 歳代でほぼ５割、男性の 50 歳代～70 歳代、女性の 50 歳代と 70 歳代で５割近くとなっている。「わかりやすい説明」は女性の 60 歳代で５割半ば、女性の 50 歳代でほぼ５割、「親切・丁寧な対応」は女性の 50 歳代と 60 歳代で５割近くとなっている。（表３－４－２）

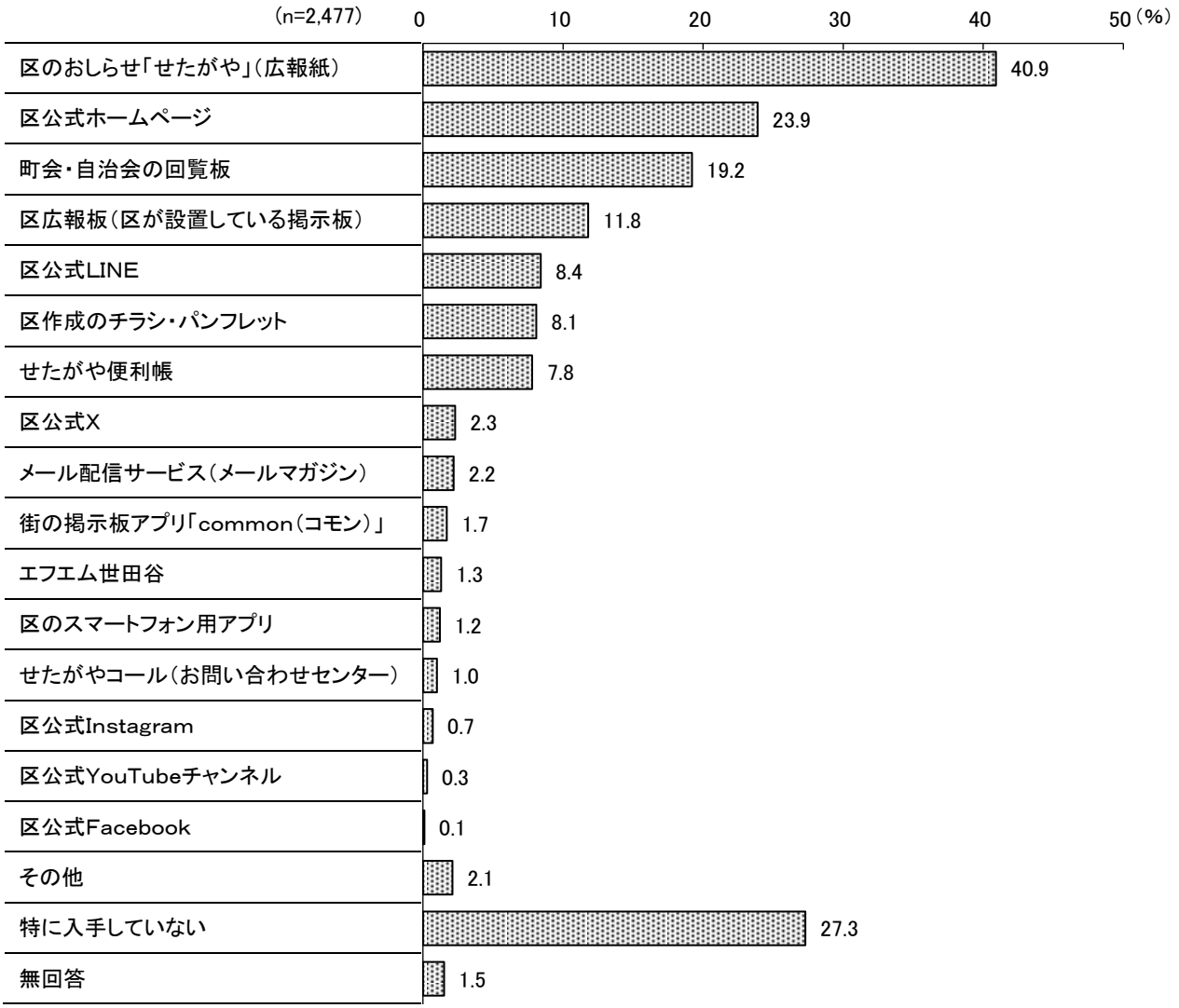
４．広報

（１）区の取り組みや地域の情報の入手経路

◎「区のおしらせ「せたがや」（広報紙）」がほぼ４割

問１０　あなたは、区の取り組みや地域の身近な情報をどこから得ていますか。（○はいくつでも）

図４－１－１



区の取り組みや地域の情報の入手経路を聞いたところ、「区のおしらせ「せたがや」（広報紙）」（40.9%）がほぼ４割で最も高く、以下、「区公式ホームページ」（23.9%）、「町会・自治会の回覧板」（19.2%）、「区広報板（区が設置している掲示板）」（11.8%）などと続く。一方、「特に入手していない」（27.3%）は３割近くとなっている。（図４－１－１）

表４－１－１　区の取り組みや地域の情報の入手経路（性・年齢別）

（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,477	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 40.9	区公式ホームページ 23.9	町会・自治会の回覧板 19.2	区広報板（区が設置している掲示板） 11.8	区公式LINE 8.4	区作成のチラシ・パンフレット 8.1	せたがや便利帳 7.8	区公式X 2.3	メール配信サービス（メールマガジン） 2.2	街の掲示板アプリ「common」 1.7
男性全体	1,009	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 39.2	区公式ホームページ 25.1	町会・自治会の回覧板 17.6	区広報板（区が設置している掲示板） 9.4	区作成のチラシ・パンフレット 7.9	せたがや便利帳 7.3	区公式LINE 7.1	メール配信サービス（メールマガジン） 2.4	区公式X 2.3	エフエム世田谷／街の掲示板アプリ「common」 1.8
10・20歳代	117	区公式ホームページ 14.5	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 9.4	区公式LINE 6.0	町会・自治会の回覧板 5.1	区広報板（区が設置している掲示板） 4.3	区公式Instagram／区作成のチラシ・パンフレット 3.4		区公式X／メール配信サービス（メールマガジン） 2.6		区のスマートフォン用アプリ 0.9
30歳代	120	区公式ホームページ 20.8	区公式LINE 19.2	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 12.5	町会・自治会の回覧板 6.7	区広報板（区が設置している掲示板）／区作成のチラシ・パンフレット 5.8		街の掲示板アプリ「common」 3.3	区公式X／エフエム世田谷／せたがや便利帳 1.7		
40歳代	156	区公式ホームページ 26.9	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 21.2	区公式LINE 12.8	町会・自治会の回覧板 11.5	区広報板（区が設置している掲示板） 9.6	区作成のチラシ・パンフレット 7.1	区公式X／メール配信サービス（メールマガジン）／せたがやコール（お問い合わせセンター） 2.6			街の掲示板アプリ「common」 1.9
50歳代	194	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 40.7	区公式ホームページ 30.4	町会・自治会の回覧板 14.4	区広報板（区が設置している掲示板） 9.3	区作成のチラシ・パンフレット 8.2	区公式LINE 5.7	メール配信サービス（メールマガジン） 4.6	区公式X 4.1	せたがや便利帳 2.6	区のスマートフォン用アプリ／街の掲示板アプリ「common」 2.1
60歳代	172	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 47.1	区公式ホームページ 34.9	町会・自治会の回覧板 19.8	区作成のチラシ・パンフレット 9.3	区広報板（区が設置している掲示板） 8.1	せたがや便利帳 7.6	区公式LINE 3.5	区公式X／メール配信サービス（メールマガジン） 2.9		エフエム世田谷 2.3
70歳代	161	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 72.0	町会・自治会の回覧板 32.9	区公式ホームページ 26.1	せたがや便利帳 19.3	区広報板（区が設置している掲示板） 13.0	区作成のチラシ・パンフレット 9.9	エフエム世田谷 4.3	せたがやコール（お問い合わせセンター）／街の掲示板アプリ「common」 2.5		区のスマートフォン用アプリ 1.9
80歳以上	89	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 68.5	町会・自治会の回覧板 34.8	せたがや便利帳 24.7	区広報板（区が設置している掲示板） 16.9	区作成のチラシ・パンフレット 11.2	区公式ホームページ 9.0	区公式LINE 3.4	メール配信サービス（メールマガジン） 2.2	区公式Instagram／エフエム世田谷／せたがやコール（お問い合わせセンター） 1.1	
女性全体	1,399	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 42.0	区公式ホームページ 23.4	町会・自治会の回覧板 19.9	区広報板（区が設置している掲示板） 13.7	区公式LINE 9.6	区作成のチラシ・パンフレット 8.1	せたがや便利帳 7.9	区公式X 2.2	メール配信サービス（メールマガジン） 2.1	街の掲示板アプリ「common」 1.7
10・20歳代	127	区公式ホームページ 18.1	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 12.6	区公式LINE 9.4	区作成のチラシ・パンフレット／町会・自治会の回覧板 6.3		エフエム世田谷 2.4	区公式X／区公式Instagram／区広報板（区が設置している掲示板） 1.6			区公式YouTubeチャンネル／区公式Facebook／メール配信サービス（メールマガジン） 0.8
30歳代	176	区公式LINE 31.8	区公式ホームページ 18.8	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 11.4	区広報板（区が設置している掲示板） 9.7	区公式X／町会・自治会の回覧板 3.4		区作成のチラシ・パンフレット 2.8	区のスマートフォン用アプリ／街の掲示板アプリ「common」 1.1		区公式Instagram／エフエム世田谷 0.6
40歳代	231	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 26.0	区公式ホームページ 24.7	区公式LINE／町会・自治会の回覧板 13.0		区広報板（区が設置している掲示板） 12.6	区作成のチラシ・パンフレット 5.6	区公式X／メール配信サービス（メールマガジン） 4.3		せたがや便利帳 3.5	区公式Instagram 1.3
50歳代	273	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 41.8	区公式ホームページ 35.5	町会・自治会の回覧板 15.8	区広報板（区が設置している掲示板） 9.9	区作成のチラシ・パンフレット 7.3	区公式LINE 6.6	メール配信サービス（メールマガジン）／せたがや便利帳 4.8		区公式X 2.9	区公式Instagram／区のスマートフォン用アプリ 1.5
60歳代	246	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 53.7	区公式ホームページ 30.1	町会・自治会の回覧板 27.2	区広報板（区が設置している掲示板） 15.9	せたがや便利帳 9.3	区作成のチラシ・パンフレット 6.5	区公式LINE 4.1	街の掲示板アプリ「common」 2.8	区公式X／エフエム世田谷 2.0	
70歳代	210	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 73.8	町会・自治会の回覧板 35.2	区広報板（区が設置している掲示板） 24.3	せたがや便利帳／区作成のチラシ・パンフレット 18.1		区公式ホームページ 16.7	区公式LINE 3.3	区のスマートフォン用アプリ 2.9	せたがやコール（お問い合わせセンター）／街の掲示板アプリ「common」 2.4	
80歳以上	133	区のおしらせ「せたがや」（広報紙） 66.9	町会・自治会の回覧板 37.6	せたがや便利帳 21.1	区広報板（区が設置している掲示板） 18.8	区作成のチラシ・パンフレット 10.5	区公式ホームページ 5.3	街の掲示板アプリ「common」 4.5	せたがやコール（お問い合わせセン 2.3	区公式LINE／区のスマートフォン用アプリ 0.8	

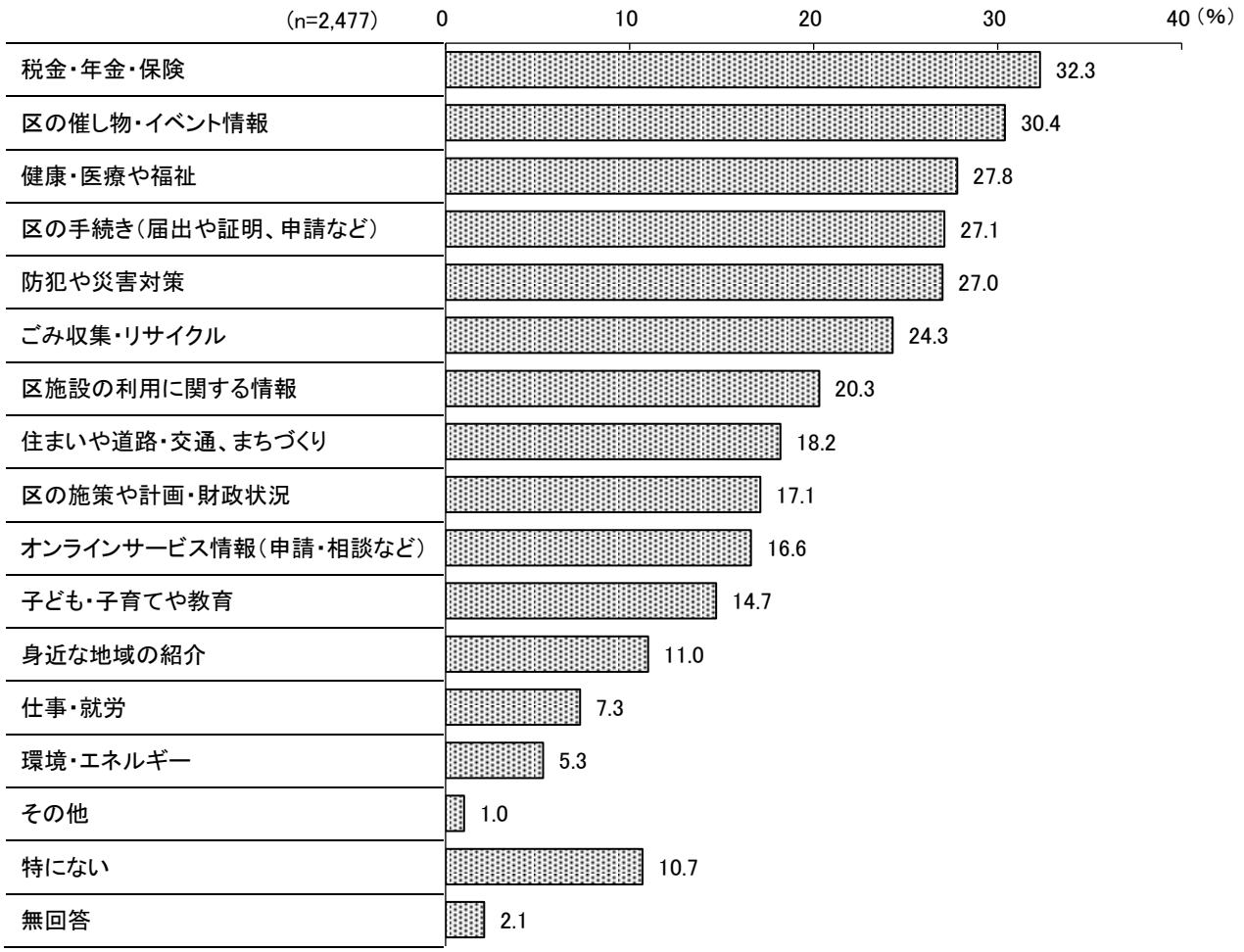
性・年齢別にみると、「区のおしらせ「せたがや」（広報紙）」は男性の 50 歳代以上、女性の 40 歳代以上で１位となっている。「区公式ホームページ」は男女とも 60 歳代以下で２位以内に挙げられ、「町会・自治会の回覧板」は男女とも 70 歳代以上で２位となっている。「区公式ＬＩＮＥ」は女性の 30 歳代で１位となっている。（表４－１－１）

（２）発信してほしい区の取り組みや情報

◎「税金・年金・保険」が３割を超える

問１１　区が発信する取り組みや情報の中で、もっと知らせてほしいと思うものはどれですか。（〇はいくつでも）

図４－２－１



発信してほしい区の取り組みや情報を聞いたところ、「税金・年金・保険」（32.3%）が３割を超えて最も高く、以下、「区の催し物・イベント情報」（30.4%）、「健康・医療や福祉」（27.8%）、「区の手続き（届出や証明、申請など）」（27.1%）、「防犯や災害対策」（27.0%）などと続く。（図４－２－１）

表４－２－１　発信してほしい区の取り組みや情報（性・年齢別）

（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,477	税金・年金・保険 32.3	区の催し物・イベント情報 30.4	健康・医療や福祉 27.8	区の手続き（届出や証明、申請など） 27.1	防犯や災害対策 27.0	ごみ収集・リサイクル 24.3	区施設の利用に関する情報 20.3	住まいや道路・交通、まちづくり 18.2	区の施策や計画・財政状況 17.1	オンラインサービス情報（申請・相談など） 16.6
男 性 全 体	1,009	税金・年金・保険 34.9	区の催し物・イベント情報 28.4	区の手続き（届出や証明、申請など） 26.2	健康・医療や福祉 24.3	防犯や災害対策 23.7	ごみ収集・リサイクル 22.1	区の施策や計画・財政状況 20.5	住まいや道路・交通、まちづくり 20.1	区施設の利用に関する情報 19.5	オンラインサービス情報（申請・相談など） 16.3
10・20歳代	117	税金・年金・保険 35.9	区の手続き（届出や証明、申請など） 27.4	区の催し物・イベント情報 23.9	区の施策や計画・財政状況 23.1	防犯や災害対策 17.9	区施設の利用に関する情報 15.4	健康・医療や福祉 14.5	子ども・子育てや教育 12.8	ごみ収集・リサイクル 11.1	住まいや道路・交通、まちづくり 9.4
30歳代	120	区の催し物・イベント情報 40.0	税金・年金・保険 35.0	子ども・子育てや教育 28.3	区の施策や計画・財政状況／区の手続き（届出や証明、申請など） 25.8		住まいや道路・交通、まちづくり 18.3	防犯や災害対策／区施設の利用に関する情報／オンラインサービス情報（申請・相談など） 17.5			身近な地域の紹介 14.2
40歳代	156	子ども・子育てや教育 36.5	区の催し物・イベント情報 34.6	税金・年金・保険 32.7	住まいや道路・交通、まちづくり 26.9	区の手続き（届出や証明、申請など） 24.4	区の施策や計画・財政状況 23.7	防犯や災害対策 23.1	ごみ収集・リサイクル 21.8	健康・医療や福祉 19.9	オンラインサービス情報（申請・相談など） 17.3
50歳代	194	区の手続き（届出や証明、申請など） 29.4	税金・年金・保険 28.4	区の催し物・イベント情報 27.3	区の施策や計画・財政状況／防犯や災害対策 24.2		健康・医療や福祉／ごみ収集・リサイクル 22.7		住まいや道路・交通、まちづくり／オンラインサービス情報（申請・相談など） 20.6		区施設の利用に関する情報 18.0
60歳代	172	税金・年金・保険 45.9	健康・医療や福祉 33.1	ごみ収集・リサイクル 29.7	防犯や災害対策 26.7	区の手続き（届出や証明、申請など）／区の催し物・イベント情報 25.0		オンラインサービス情報（申請・相談など） 23.3	住まいや道路・交通、まちづくり 22.1	区施設の利用に関する情報 21.5	区の施策や計画・財政状況 16.9
70歳代	161	税金・年金・保険 38.5	健康・医療や福祉 31.7	ごみ収集・リサイクル 29.2	区の手続き（届出や証明、申請など） 28.0	区施設の利用に関する情報 26.7	防犯や災害対策 26.1	区の催し物・イベント情報 25.5	住まいや道路・交通、まちづくり 22.4	区の施策や計画・財政状況／オンラインサービス情報（申請・相談など） 14.3	
80歳以上	89	健康・医療や福祉 39.3	防犯や災害対策 29.2	税金・年金・保険 23.6	ごみ収集・リサイクル／区施設の利用に関する情報／区の催し物・イベント情報 22.5			区の手続き（届出や証明、申請など） 20.2	住まいや道路・交通、まちづくり 15.7	区の施策や計画・財政状況 14.6	身近な地域の紹介 10.1
女 性 全 体	1,399	区の催し物・イベント情報 32.4	税金・年金・保険 30.8	健康・医療や福祉 30.5	防犯や災害対策 29.9	区の手続き（届出や証明、申請など） 28.0	ごみ収集・リサイクル 26.1	区施設の利用に関する情報 21.4	オンラインサービス情報（申請・相談など） 17.4	住まいや道路・交通、まちづくり 17.1	子ども・子育てや教育 15.7
10・20歳代	127	税金・年金・保険 31.5	区の手続き（届出や証明、申請など） 24.4	区の催し物・イベント情報 22.8	防犯や災害対策 18.9	ごみ収集・リサイクル／オンラインサービス情報（申請・相談など） 18.1		区の施策や計画・財政状況／子ども・子育てや教育 17.3		住まいや道路・交通、まちづくり 14.2	区施設の利用に関する情報 11.8
30歳代	176	子ども・子育てや教育 42.6	区の催し物・イベント情報 38.1	区の手続き（届出や証明、申請など） 29.0	税金・年金・保険 28.4	防犯や災害対策 19.3	オンラインサービス情報（申請・相談など） 18.2	ごみ収集・リサイクル 17.6	区の施策や計画・財政状況 17.0	健康・医療や福祉／住まいや道路・交通、まちづくり 15.9	
40歳代	231	区の催し物・イベント情報 38.1	防犯や災害対策 35.1	子ども・子育てや教育 32.9	区の手続き（届出や証明、申請など） 28.1	税金・年金・保険 27.3	オンラインサービス情報（申請・相談など） 25.1	ごみ収集・リサイクル 23.4	区施設の利用に関する情報 19.5	健康・医療や福祉 19.0	住まいや道路・交通、まちづくり 18.2
50歳代	273	健康・医療や福祉 39.6	税金・年金・保険 36.3	防犯や災害対策 35.2	ごみ収集・リサイクル 31.5	区の催し物・イベント情報 30.4	区の手続き（届出や証明、申請など） 29.3	オンラインサービス情報（申請・相談など） 24.2	区施設の利用に関する情報 21.6	住まいや道路・交通、まちづくり 19.8	区の施策や計画・財政状況 13.6
60歳代	246	健康・医療や福祉 40.7	税金・年金・保険 37.0	防犯や災害対策 33.7	区の催し物・イベント情報 32.5	区の手続き（届出や証明、申請など） 28.5	ごみ収集・リサイクル 27.6	区施設の利用に関する情報 22.4	住まいや道路・交通、まちづくり 19.9	オンラインサービス情報（申請・相談など） 19.5	身近な地域の紹介 14.6
70歳代	210	健康・医療や福祉 39.5	区の催し物・イベント情報 34.8	区施設の利用に関する情報 29.5	ごみ収集・リサイクル 29.0	区の手続き（届出や証明、申請など） 28.6	防犯や災害対策 27.6	税金・年金・保険 26.2	住まいや道路・交通、まちづくり 15.7	区の施策や計画・財政状況 13.8	身近な地域の紹介 13.3
80歳以上	133	健康・医療や福祉 37.6	区施設の利用に関する情報 31.6	防犯や災害対策／ごみ収集・リサイクル 30.1		区の手続き（届出や証明、申請など） 25.6	税金・年金・保険／区の催し物・イベント情報 23.3		住まいや道路・交通、まちづくり 11.3	区の施策や計画・財政状況／身近な地域の紹介 10.5	

性・年齢別にみると、「税金・年金・保険」は男性のすべての年代、女性の 10・20 歳代、50 歳代、60 歳代で３位以内に挙げられ、「健康・医療や福祉」は男性の 60 歳代以上、女性の 50 歳代以上で２位以内に挙げられている。「区の催し物・イベント情報」は男性の 30 歳代、女性の 40 歳代で１位、「子ども・子育てや教育」は男性の 40 歳代、女性の 30 歳代で１位となっている。（表４－２－１）

表４－２－２　発信してほしい区の取り組みや情報（ライフスタイル別）

（%）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	2,477	税金・年金・保険 32.3	区の催し物・イベント情報 30.4	健康・医療や福祉 27.8	区の手続き（届出や証明、申請など） 27.1	防犯や災害対策 27.0	ごみ収集・リサイクル 24.3	区施設の利用に関する情報 20.3	住まいや道路・交通、まちづくり 18.2	区の施策や計画・財政状況 17.1	オンラインサービス情報（申請・相談など） 16.6
15～17歳	41	税金・年金・保険／区の催し物・イベント情報 26.8		ごみ収集・リサイクル／区施設の利用に関する情報／身近な地域の紹介 17.1			区の施策や計画・財政状況 14.6	防犯や災害対策 12.2	住まいや道路・交通、まちづくり 9.8	区の手続き（届出や証明、申請など）／子ども・子育てや教育／環境・エネルギー 7.3	
独身（18～39歳）	294	税金・年金・保険 38.8	区の手続き（届出や証明、申請など） 28.6	区の催し物・イベント情報 27.6	区の施策や計画・財政状況 23.5	防犯や災害対策 21.1	ごみ収集・リサイクル 18.0	オンラインサービス情報（申請・相談など） 17.3	区施設の利用に関する情報 15.3	健康・医療や福祉／住まいや道路・交通、まちづくり 14.3	
独身（40～64歳）	236	税金・年金・保険 42.4	ごみ収集・リサイクル 33.9	区の手続き（届出や証明、申請など） 33.1	健康・医療や福祉 31.8	区の催し物・イベント情報 29.2	防犯や災害対策 27.5	オンラインサービス情報（申請・相談など） 24.6	区の施策や計画・財政状況 19.9	区施設の利用に関する情報 18.2	住まいや道路・交通、まちづくり 17.4
独身（65歳以上）	173	健康・医療や福祉 33.5	区の手続き（届出や証明、申請など） 28.9	区の催し物・イベント情報 28.3	ごみ収集・リサイクル 27.7	税金・年金・保険 27.2	区施設の利用に関する情報 23.7	防犯や災害対策 22.5	住まいや道路・交通、まちづくり 13.9	区の施策や計画・財政状況 10.4	オンラインサービス情報（申請・相談など） 9.8
子どもあり（一番上が小学校入学前）	113	子ども・子育てや教育 75.2	区の催し物・イベント情報 45.1	区の手続き（届出や証明、申請など） 20.4	税金・年金・保険 19.5	防犯や災害対策 16.8	区の施策や計画・財政状況 15.9	住まいや道路・交通、まちづくり 14.2	オンラインサービス情報（申請・相談など） 12.4	区施設の利用に関する情報 10.6	仕事・就労／身近な地域の紹介 9.7
子どもあり（一番上が小・中学生）	229	子ども・子育てや教育 57.6	区の催し物・イベント情報 38.4	防犯や災害対策 28.8	区の手続き（届出や証明、申請など）／住まいや道路・交通、まちづくり 23.6		税金・年金・保険 22.7	健康・医療や福祉 21.8	区の施策や計画・財政状況／ごみ収集・リサイクル 19.2		オンラインサービス情報（申請・相談など） 17.9
子どもあり（一番上が高校・大学生など）	206	防犯や災害対策 32.0	税金・年金・保険 31.1	区の催し物・イベント情報 30.1	区の手続き（届出や証明、申請など） 28.6	健康・医療や福祉 25.2	住まいや道路・交通、まちづくり 22.8	ごみ収集・リサイクル 21.8	区の施策や計画・財政状況 20.9	区施設の利用に関する情報 19.9	オンラインサービス情報（申請・相談など） 18.9
子どもあり（一番上が学業修了）	374	健康・医療や福祉 35.3	税金・年金・保険 34.2	防犯や災害対策 33.4	区の手続き（届出や証明、申請など） 31.6	区の催し物・イベント情報 29.7	ごみ収集・リサイクル 28.9	区施設の利用に関する情報 24.6	住まいや道路・交通、まちづくり 19.3	オンラインサービス情報（申請・相談など） 17.6	区の施策や計画・財政状況 14.2
夫婦/パートナーのみ（本人が18～39歳）	87	区の手続き（届出や証明、申請など） 39.1	区の催し物・イベント情報 33.3	子ども・子育てや教育 31.0	税金・年金・保険 28.7	オンラインサービス情報（申請・相談など） 24.1	ごみ収集・リサイクル 17.2	区の施策や計画・財政状況 16.1	住まいや道路・交通、まちづくり 14.9	健康・医療や福祉 13.8	防犯や災害対策／区施設の利用に関する情報 12.6
夫婦/パートナーのみ（本人が40～64歳）	211	区の催し物・イベント情報 35.5	税金・年金・保険 35.1	健康・医療や福祉 31.3	防犯や災害対策 30.3	ごみ収集・リサイクル 27.5	オンラインサービス情報（申請・相談など） 23.7	住まいや道路・交通、まちづくり 22.3	区の手続き（届出や証明、申請など） 21.3	区施設の利用に関する情報 19.4	区の施策や計画・財政状況 17.5
夫婦/パートナーのみ（本人が65歳以上）	364	健康・医療や福祉 39.3	税金・年金・保険 32.1	ごみ収集・リサイクル 29.4	防犯や災害対策 28.8	区施設の利用に関する情報 28.3	区の催し物・イベント情報 26.6	区の手続き（届出や証明、申請など） 23.6	住まいや道路・交通、まちづくり 19.8	区の施策や計画・財政状況 15.1	身近な地域の紹介 12.9
その他	112	健康・医療や福祉 33.9	税金・年金・保険 31.3	区の手続き（届出や証明、申請など）／防犯や災害対策／区施設の利用に関する情報 26.8			ごみ収集・リサイクル 24.1	区の催し物・イベント情報 22.3	住まいや道路・交通、まちづくり／身近な地域の紹介 14.3		区の施策や計画・財政状況 12.5

ライフスタイル別にみると、子どもあり（一番上が小学校入学前）と子どもあり（一番上が小・中学生）で「子ども・子育てや教育」が１位、「区の催し物・イベント情報」が２位に挙げられている。「健康・医療や福祉」は独身（65 歳以上）、子どもあり（一番上が学業修了）、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）、その他で１位、「税金・年金・保険」は独身（18～39 歳）、独身（40～64 歳）で１位となっている。15～17 歳は「税金・年金・保険」と「区の催し物・イベント情報」が同率で１位となっている。（表４－２－２）

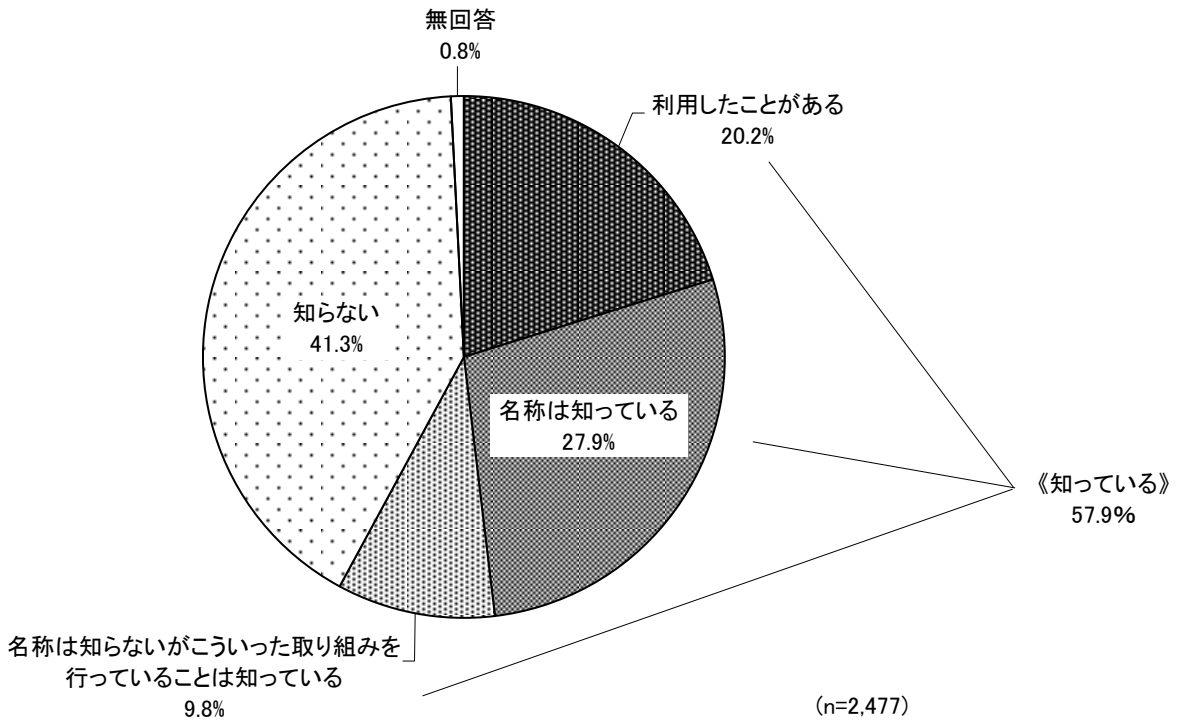
５．福祉と医療

（１）「福祉の相談窓口」の認知度

◎《知っている》が６割近く、「利用したことがある」は２割

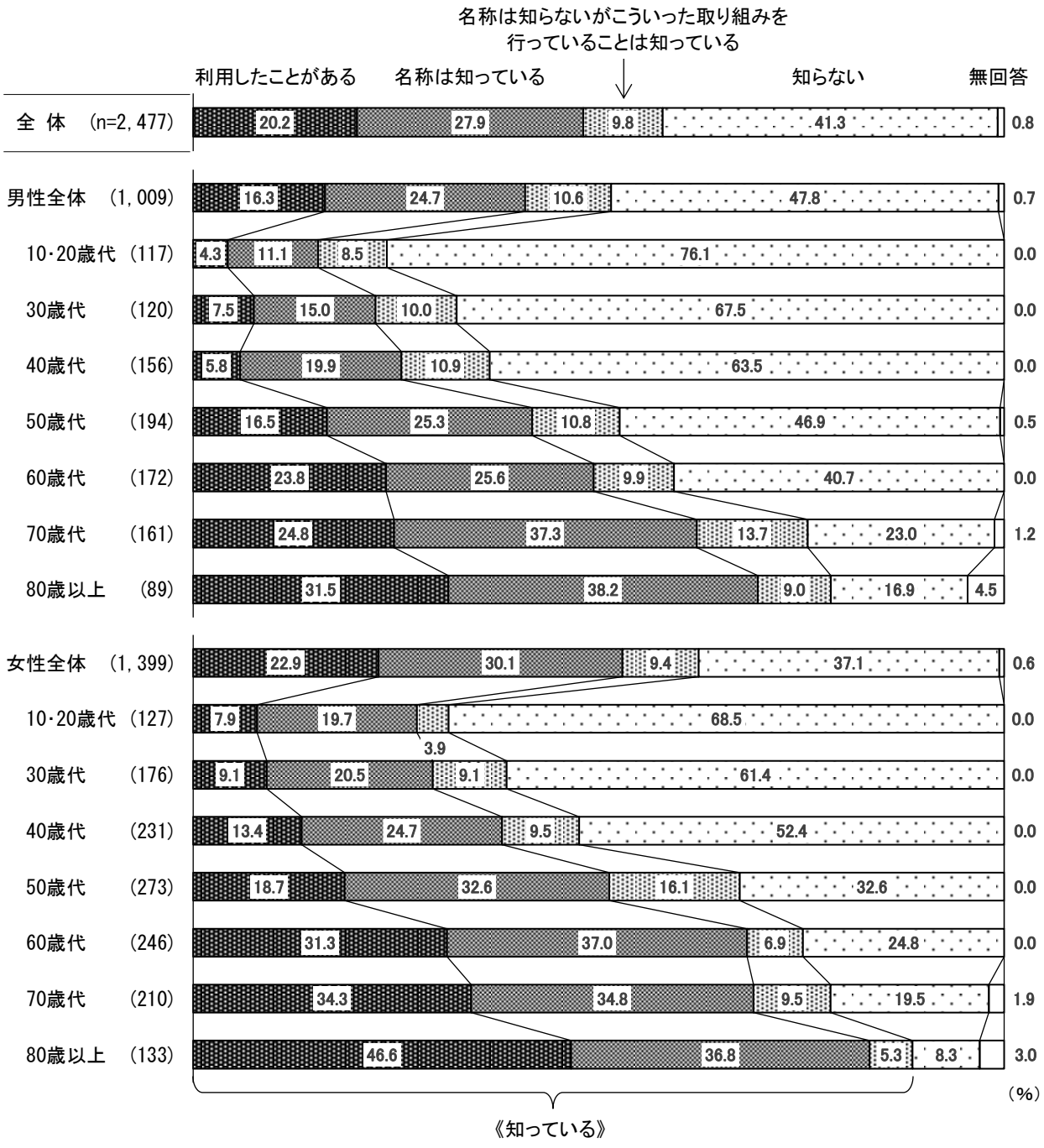
問１２　あなたは、区内２８地区で実施しているまちづくりセンター、あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）、社会福祉協議会が連携して様々な福祉の相談を受ける「福祉の相談窓口」を知っていますか。（○は１つ）

図５－１－１



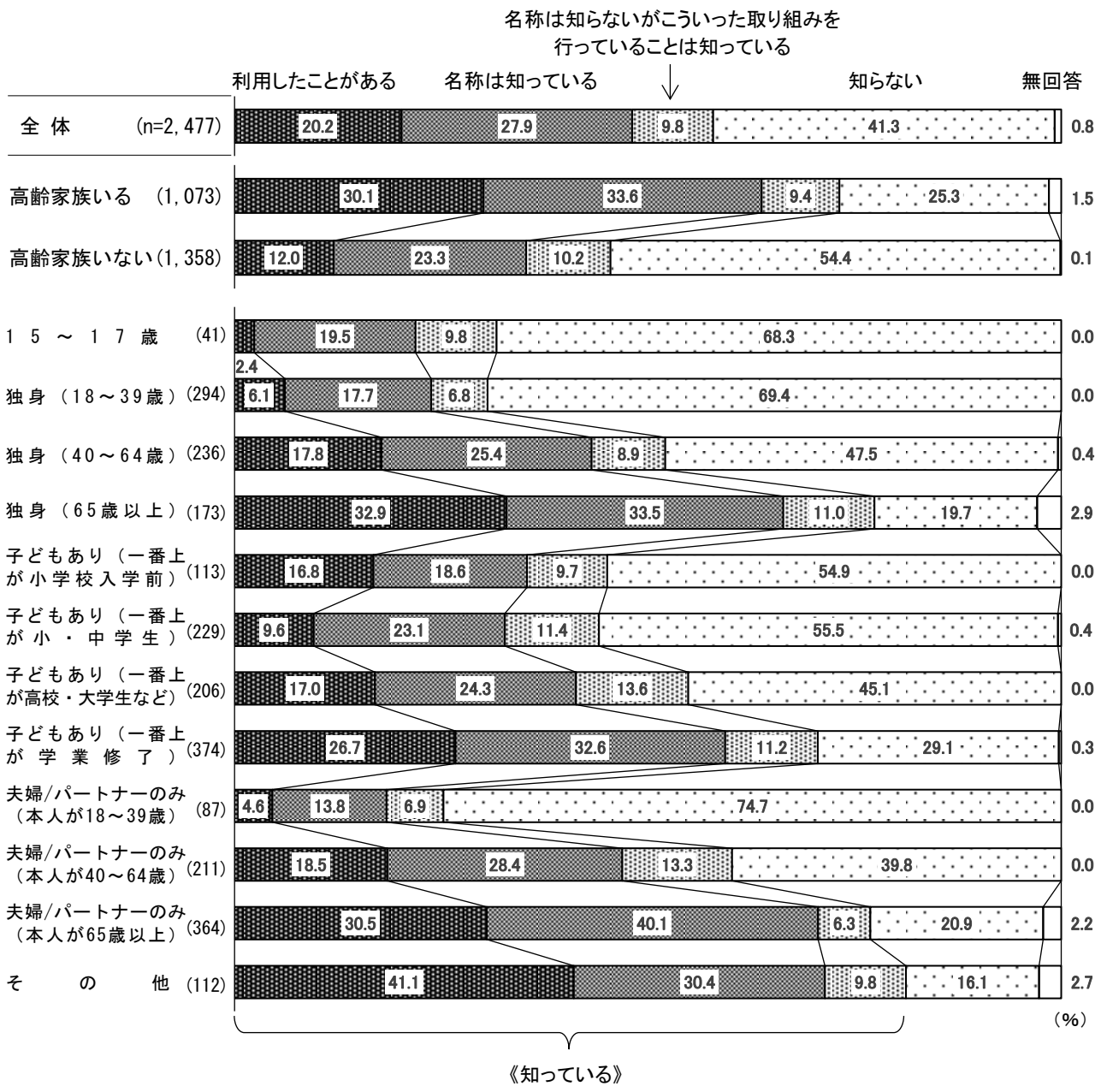
「福祉の相談窓口」の認知度を聞いたところ、「名称は知っている」（27.9%）、「利用したことがある」(20.2%)、「名称は知らないがこういった取り組みを行っていることは知っている」(9.8%)を合わせた《知っている》（57.9%）が６割近く、「知らない」（41.3%）が４割を超えている。（図５－１－１）

図５－１－２　「福祉の相談窓口」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知っている》は男女ともに年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、女性の 80 歳以上で９割近く、男性の 80 歳以上、女性の 70 歳代で８割近くとなっている。「利用したことがある」は女性の 80 歳以上で５割近く、女性の 70 歳代で３割半ば、男性の 80 歳以上、女性の 60 歳代で３割を超えている。（図５－１－２）

図５－１－３　「福祉の相談窓口」の認知度（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は「利用したことがある」が３割、「名称は知っている」が３割を超え、高齢家族がいない世帯より高い。

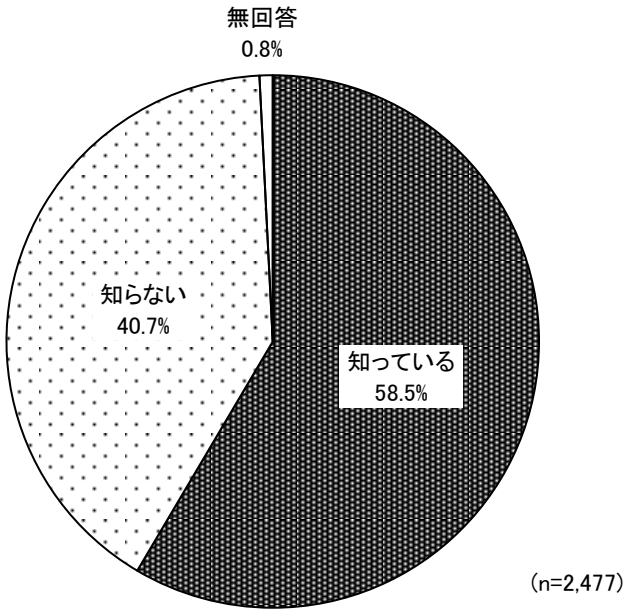
ライフスタイル別にみると、「利用したことがある」はその他で４割を超え、独身（65 歳以上）で３割を超え、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）でほぼ３割となっている。《知っている》はその他で８割を超え、独身（65 歳以上）と夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で８割近く、子どもあり（一番上が学業修了）でほぼ７割となっている。（図５－１－３）

（２）「在宅医療」の認知度

◎「知っている」が６割近く

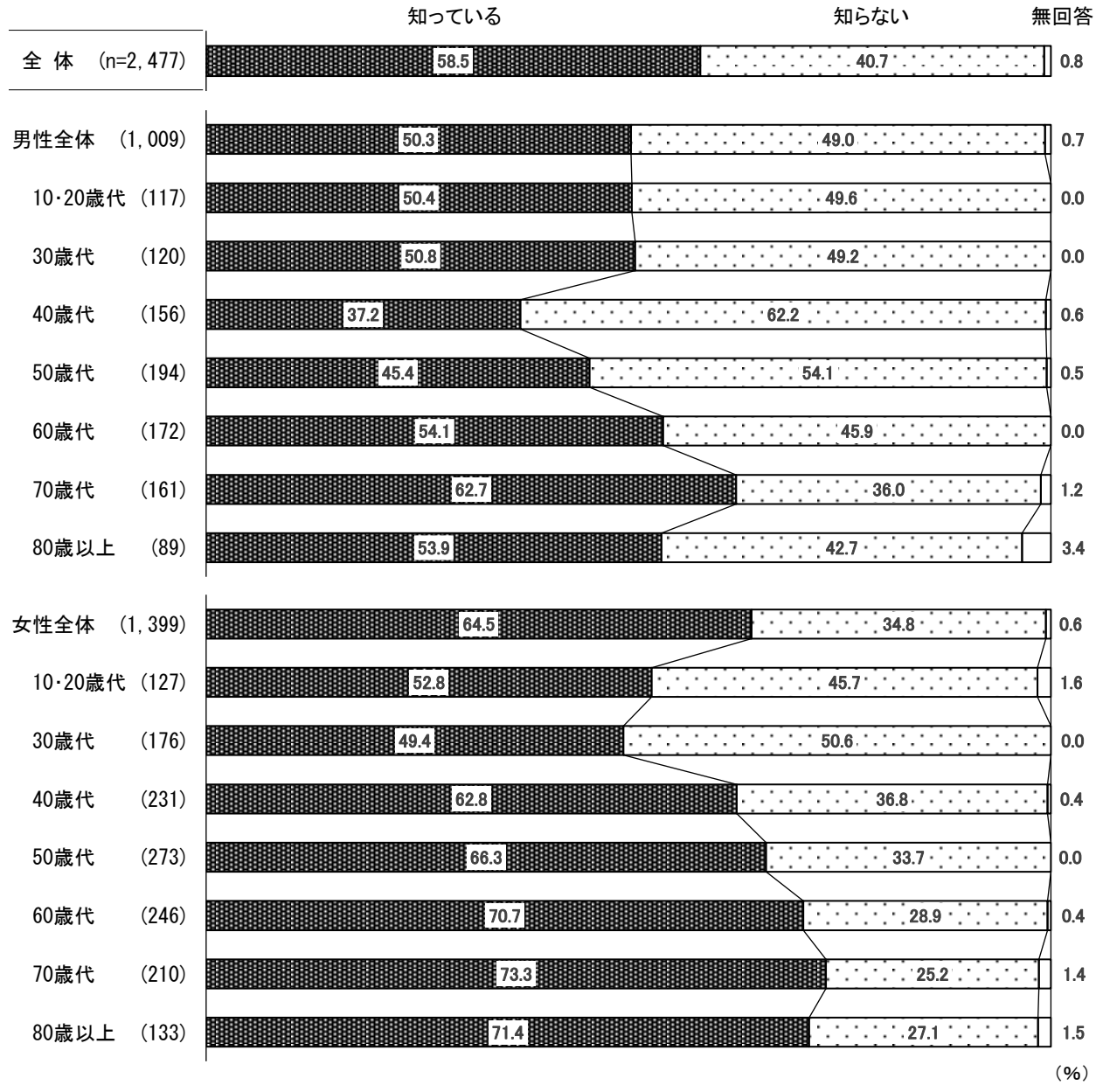
問１３　あなたは、医療機関への通院ができなくなったときなどに、医師や看護師などの医療関係者が訪問することで、自宅等でも医療を受けられる「在宅医療」を知っていますか。（○は１つ）

図５－２－１



「在宅医療」の認知度を聞いたところ、「知っている」（58.5%）が６割近く、「知らない」（40.7%）がほぼ４割となっている。（図５－２－１）

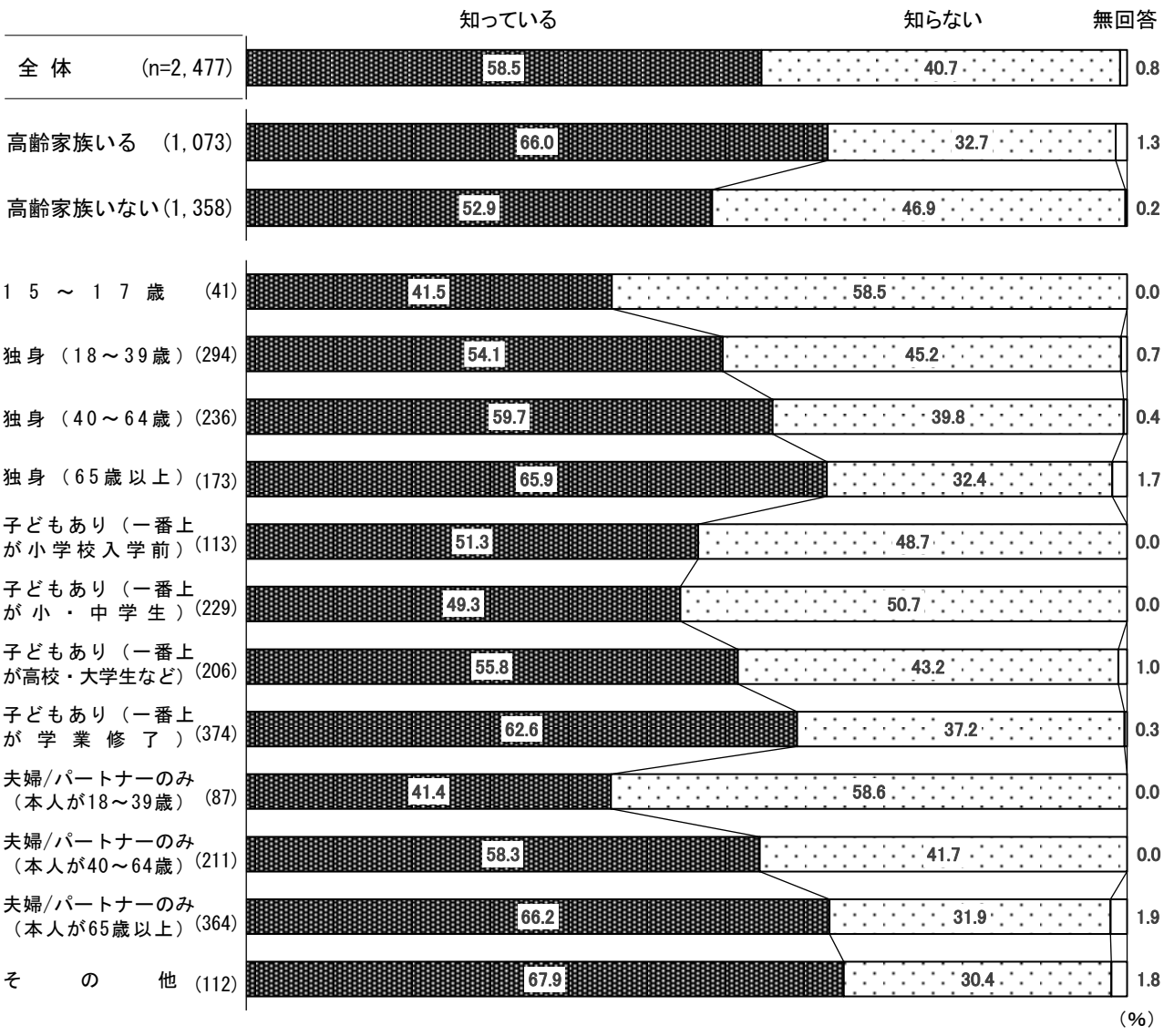
図５－２－２　「在宅医療」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「知っている」は男性より女性の方が高い傾向にあり、女性は 40 歳代以上で６割台～７割台となっており、男性で６割を超えているのは 70 歳代のみとなっている。

（図５－２－２）

図５－２－３　「在宅医療」の認知度（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、「知っている」は高齢家族がいる世帯が６割半ば、高齢家族がいない世帯は５割を超えている。

ライフスタイル別にみると、「知っている」はその他で７割近く、独身（65 歳以上）と夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で６割半ば、子どもあり（一番上が学業修了）で６割を超えている。「知らない」は 15～17 歳と夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）とで６割近くとなっている。

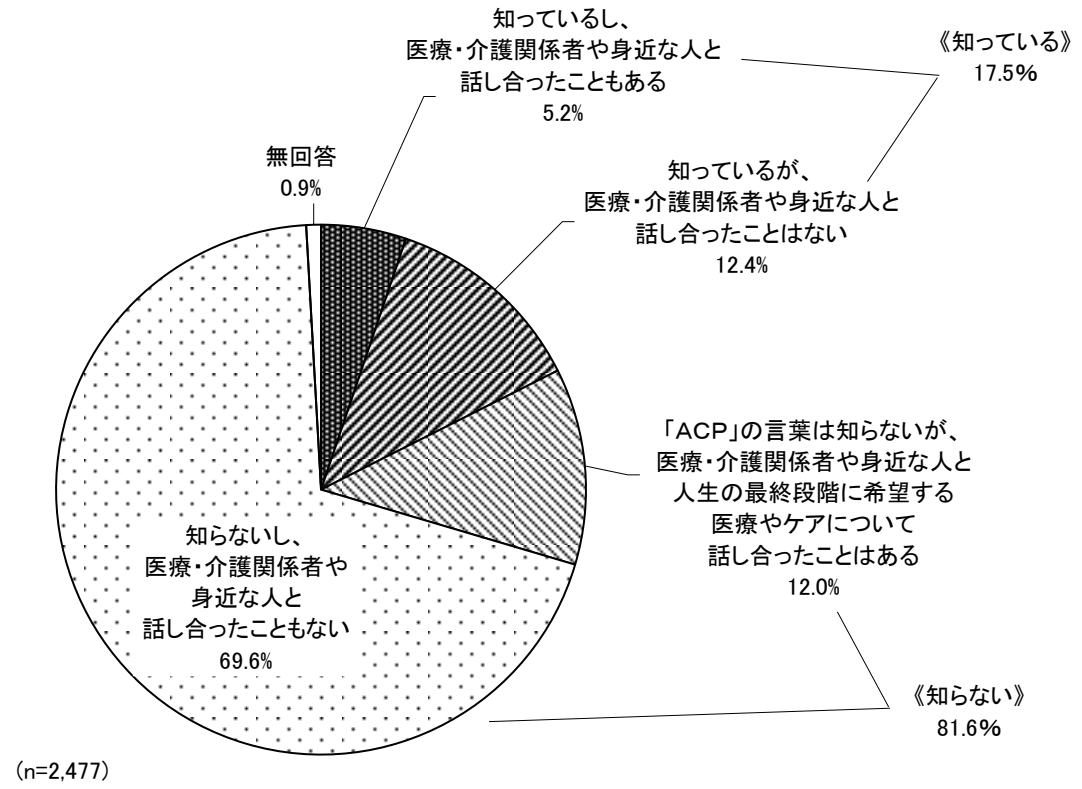
（図５－２－３）

（３）「ＡＣＰ」（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知度

◎《知らない》が８割を超え、《知っている》は２割近く

問１４　あなたは、「ＡＣＰ（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）」を知っていますか。（○は１つ）

図５－３－１

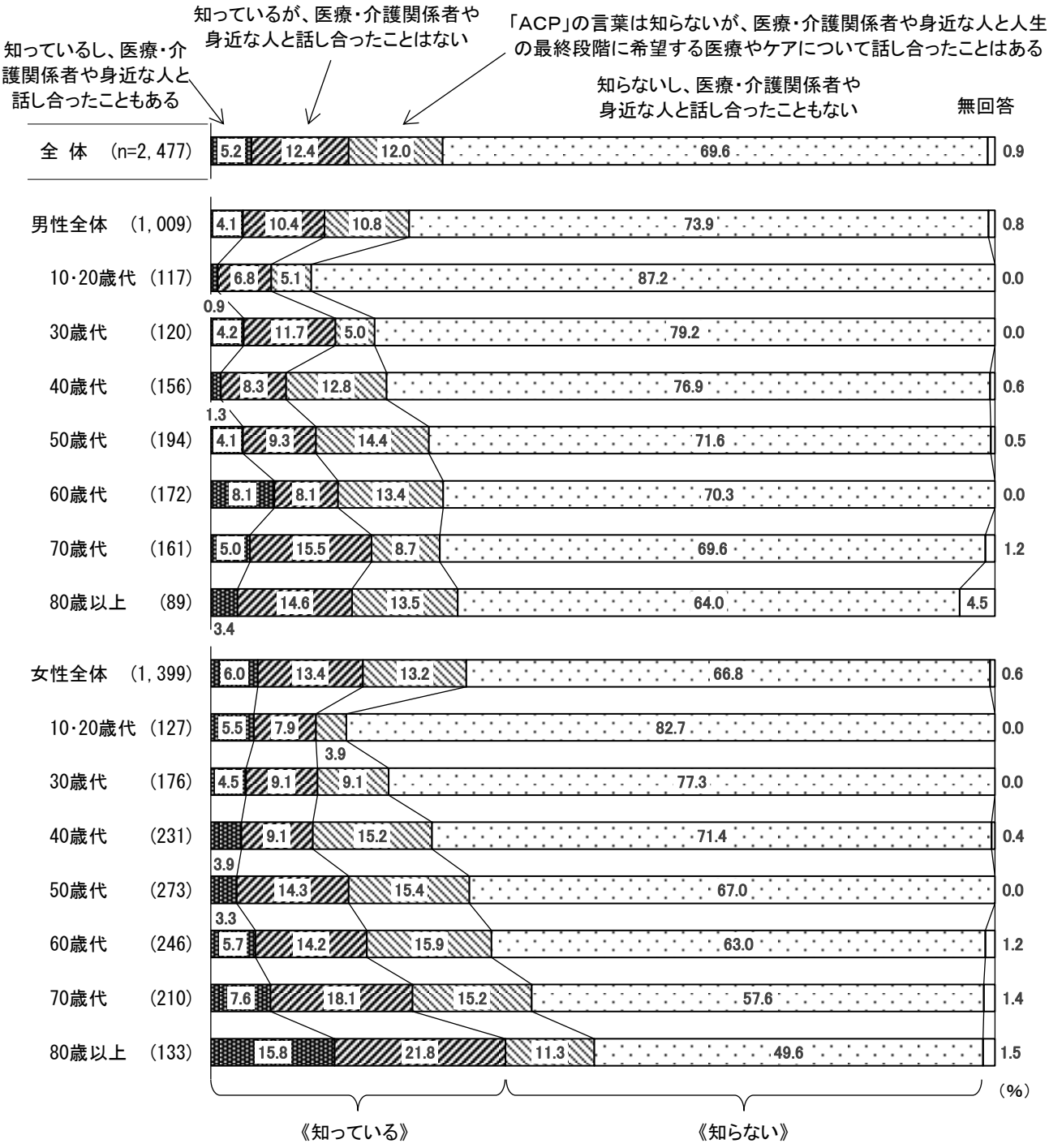


「ＡＣＰ」の認知度を聞いたところ、「知らないし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともない」（69.6%）が７割で最も高く、「「ＡＣＰ」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と人生の最終段階に希望する医療やケアについて話し合ったことはある」（12.0%）を合わせた《知らない》（81.6%）は８割を超えている。「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」（5.2%）と「知っているが、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったことはない」（12.4%）を合わせた《知っている》（17.5%）は２割近くとなっている。

「知っているし、医療・介護関係者や身近な人と話し合ったこともある」と「「ＡＣＰ」の言葉は知らないが、医療・介護関係者や身近な人と人生の最終段階に希望する医療やケアについて話し合ったことはある」を合わせた《話し合ったことがある》（17.2%）は２割近くとなっている。

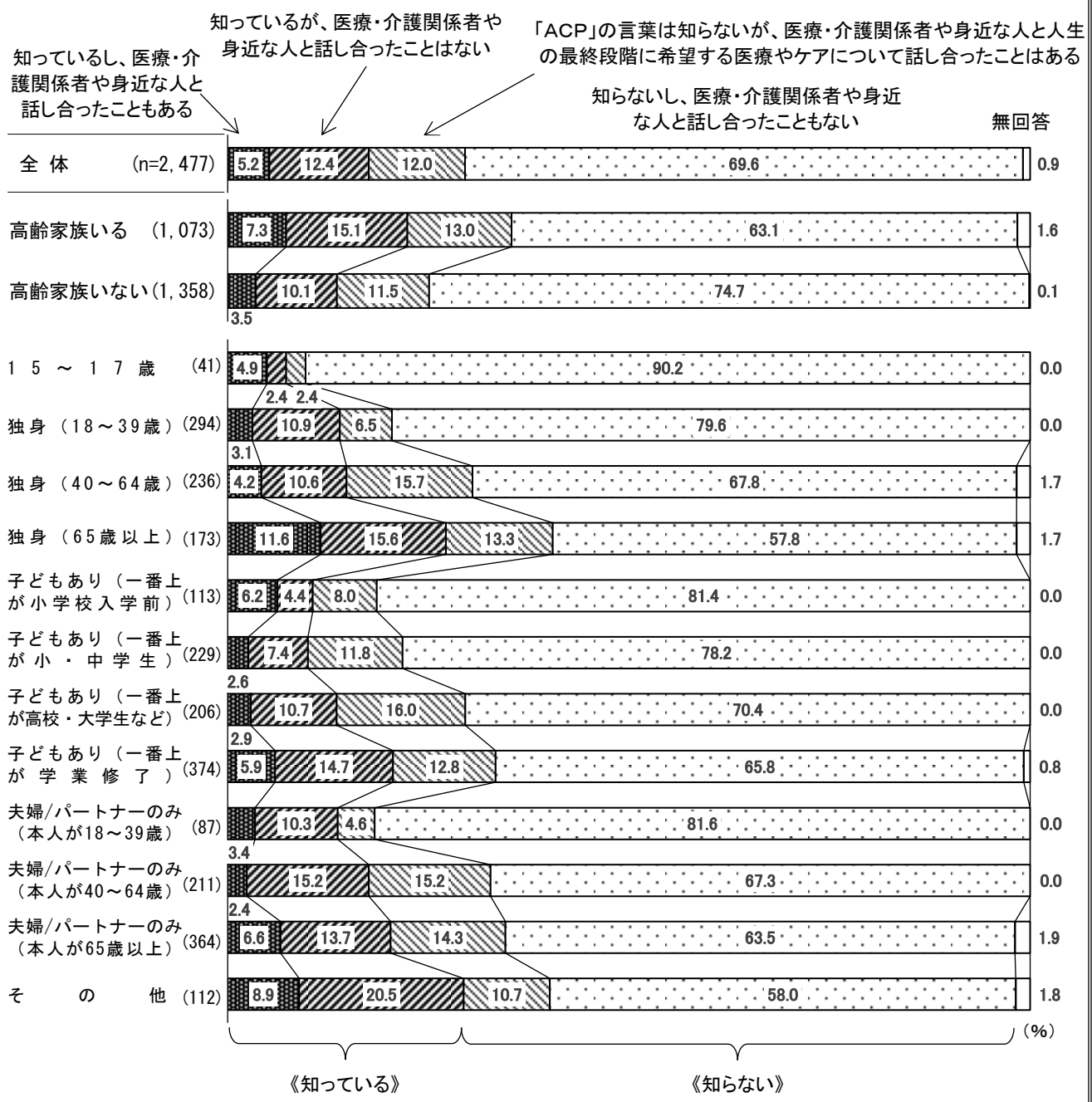
（図５－３－１）

図５－３－２　「ＡＣＰ」の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知らない》は男性の 10・20 歳代で９割を超え、男性の 40 歳代で９割、女性の 10・20 歳代と 40 歳代で９割近く、男性の 30 歳代と 50 歳代、女性の 30 歳代で８割半ばとなっている。《知っている》は女性の 80 歳以上で４割近く、女性の 70 歳代で２割半ば、男性の 70 歳代でほぼ２割、女性の 60 歳代で２割となっている。《話し合ったことがある》は女性の 80 歳以上で３割近く、男性の 60 歳代、女性の 60 歳代と 70 歳代で２割を超えている。（図５－３－２）

図５－３－３　「ＡＣＰ」の認知度（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は《知っている》が２割を超え、《話し合ったことがある》が２割で、高齢家族がいない世帯より高い。

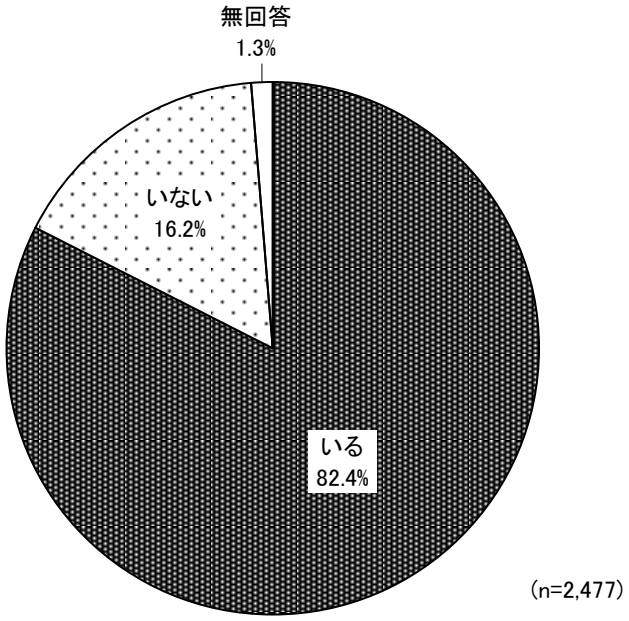
ライフスタイル別にみると、《知らない》は 15～17 歳で９割を超え、子どもあり（一番上が小・中学生）で９割、子どもあり（一番上が小学校入学前）でほぼ９割となっている。《知っている》はその他で３割、独身（65 歳以上）で３割近くとなっている。《話し合ったことがある》は独身（65 歳以上）で２割半ば、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）でほぼ２割、独身（40～64 歳）とその他で２割となっている。（図５－３－３）

（４）身近な相談相手の有無

◎「いる」が８割を超える

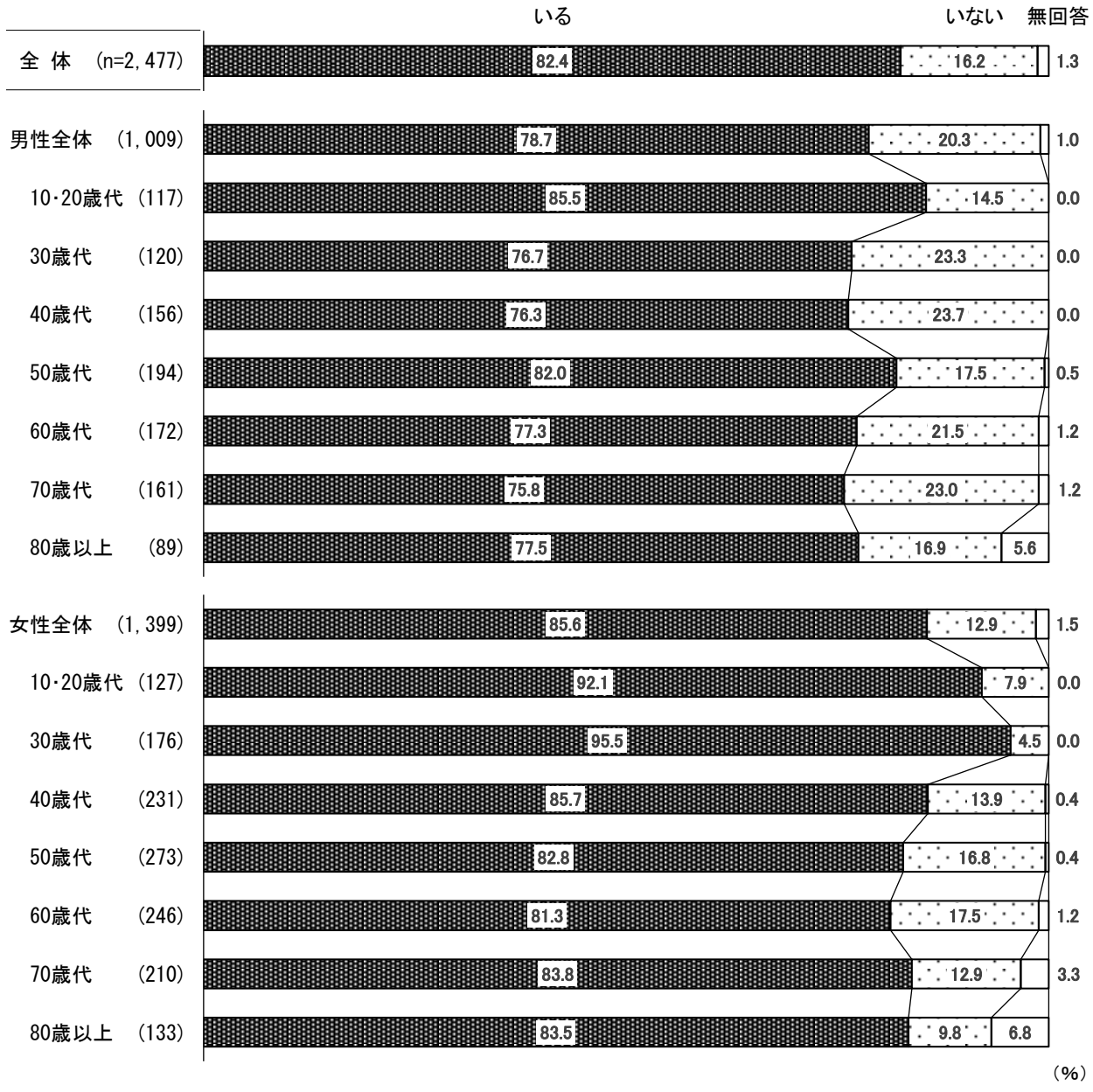
問１５　あなたは、あなたに不安や悩みが生じた場合、身近に相談相手はいますか。（○は１つ）

図５－４－１



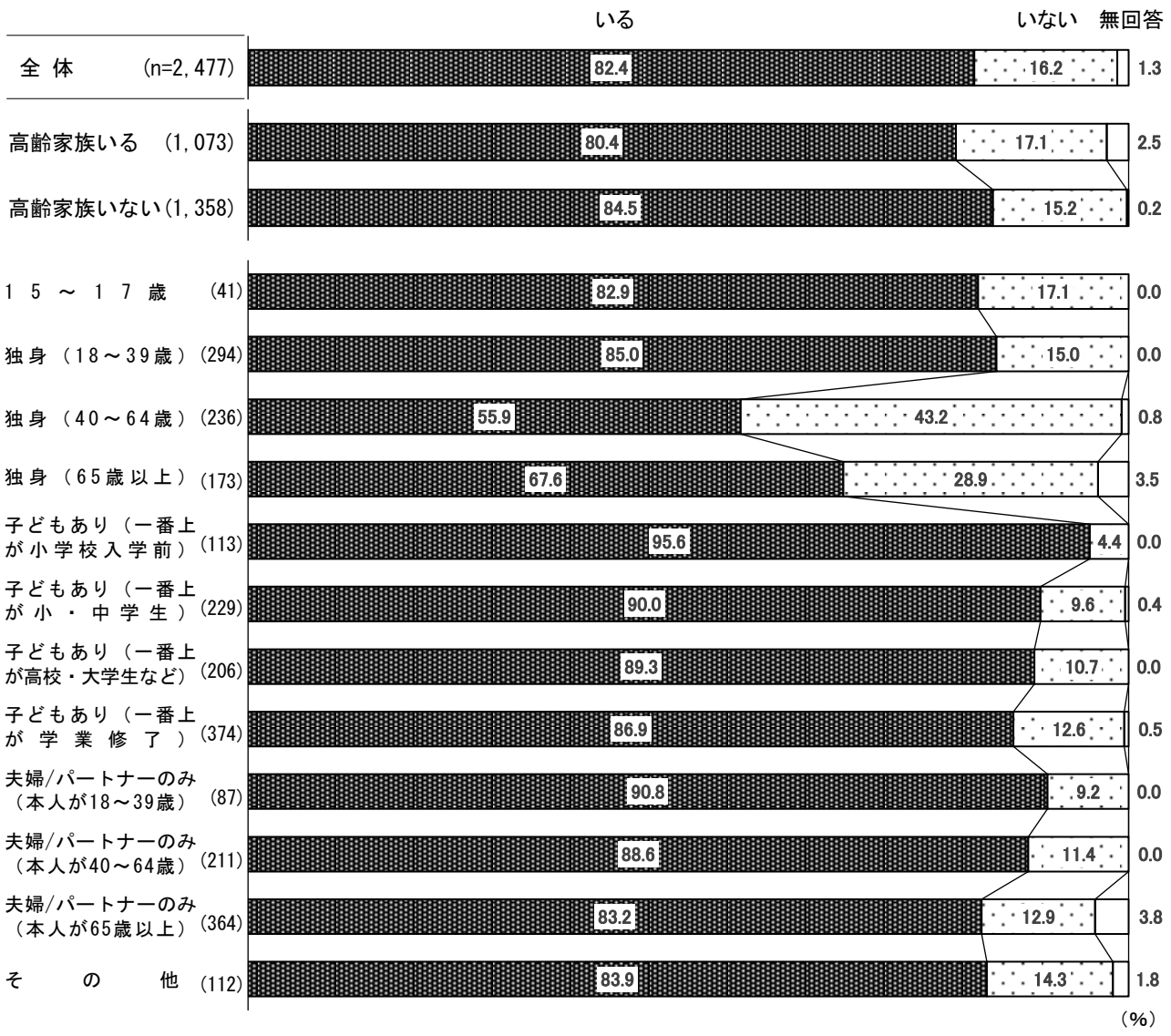
不安や悩みが生じた場合、身近に相談相手がいるかを聞いたところ、「いる」（82.4%）が８割を超え、「いない」（16.2%）が１割半ばとなっている。（図５－４－１）

図５－４－２　身近な相談相手の有無（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「いる」は男性より女性の方が高く、女性の 30 歳代で９割半ば、女性の 10・20 歳代で９割を超えている。「いない」は男性の 30 歳代、40 歳代、60 歳代、70 歳代で２割を超えている。（図５－４－２）

図５－４－３　身近な相談相手の有無（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、「いる」は高齢家族がいない世帯が８割半ば、高齢家族がいる世帯は８割となっている。

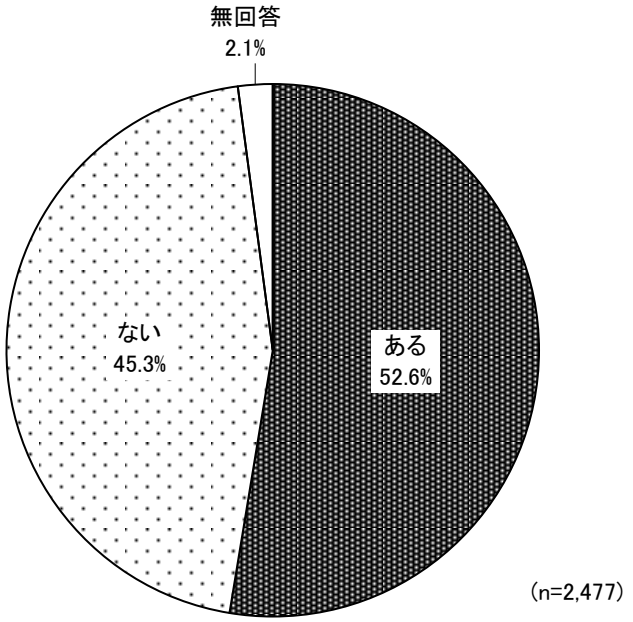
ライフスタイル別にみると、「いる」は子どもあり（一番上が小学校入学前）で９割半ば、子どもあり（一番上が小・中学生）、子どもあり（一番上が高校・大学生など）、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で９割前後となっている。一方、「いない」は独身（40～64 歳）が４割を超え、独身（65 歳以上）が３割近くとなっている。（図５－４－３）

（５）日常生活の不安や悩みの有無

◎「ある」が５割を超える

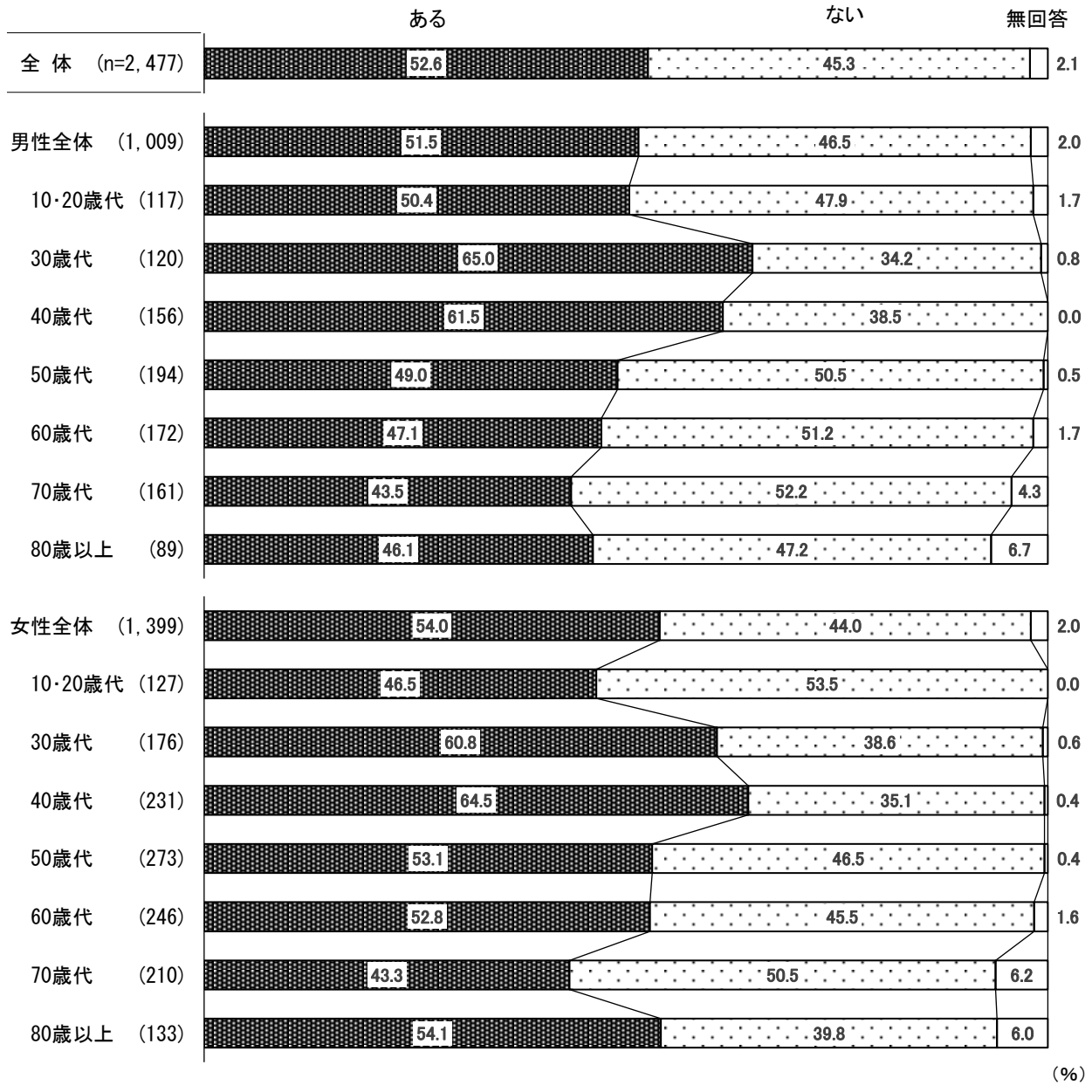
問１６　あなたは現在日常生活において不安や悩みを感じることはありますか。（○は１つ）

図５－５－１



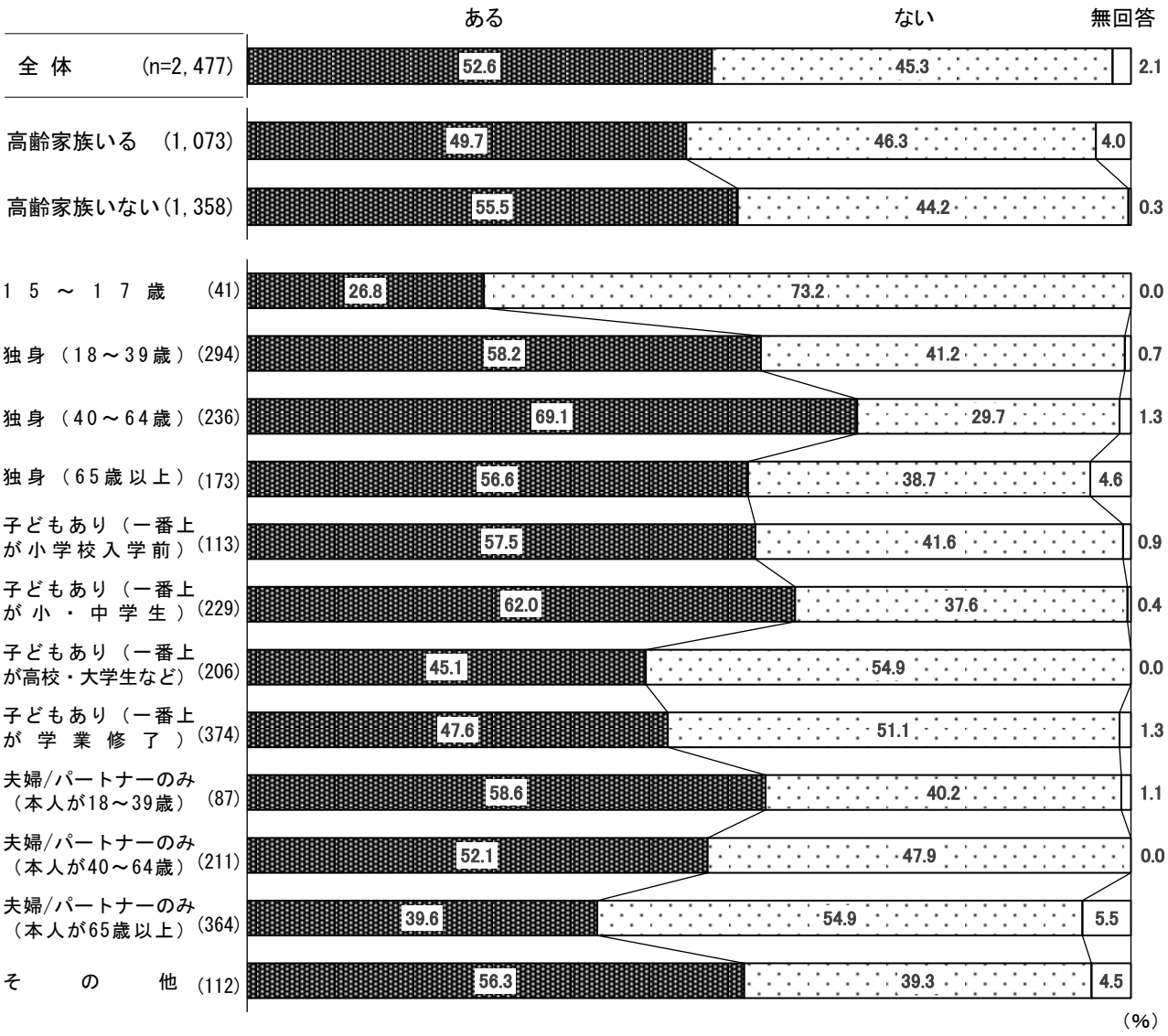
現在、日常生活において不安や悩みを感じることがあるかを聞いたところ、「ある」（52.6%）が５割を超え、「ない」（45.3%）が４割半ばとなっている。（図５－５－１）

図５－５－２　日常生活の不安や悩みの有無（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「ある」は男性の 30 歳代、女性の 40 歳代で６割半ば、男性の 40 歳代で６割を超え、女性の 30 歳代でほぼ６割となっている。「ない」は男性の 60 歳代と 70 歳代、女性の 10・20 歳代で５割を超えている。（図５－５－２）

図５－５－３　日常生活の不安や悩みの有無（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、「ある」は高齢家族がいない世帯が５割半ばで、高齢家族がいる世帯の５割より高い。

ライフスタイル別にみると、「ある」は独身（40～64 歳）でほぼ７割、子どもあり（一番上が小・中学生）で６割を超え、独身（18～39 歳）、独身（65 歳以上）、子どもあり（一番上が小学校入学前）、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で６割近くとなっている。「ない」は 15～17 歳で７割を超えている。（図５－５－３）

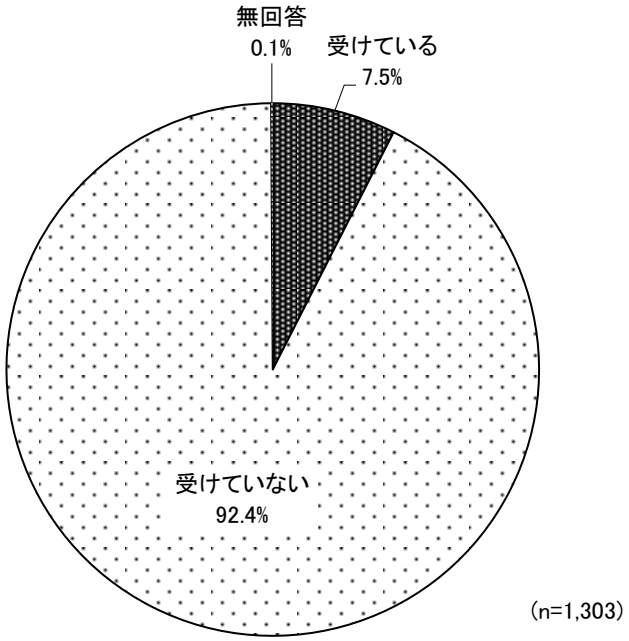
（６）行政機関や民間団体からの支援

◎「受けていない」が９割を超える

（問１６で「ある」と答えた方に）

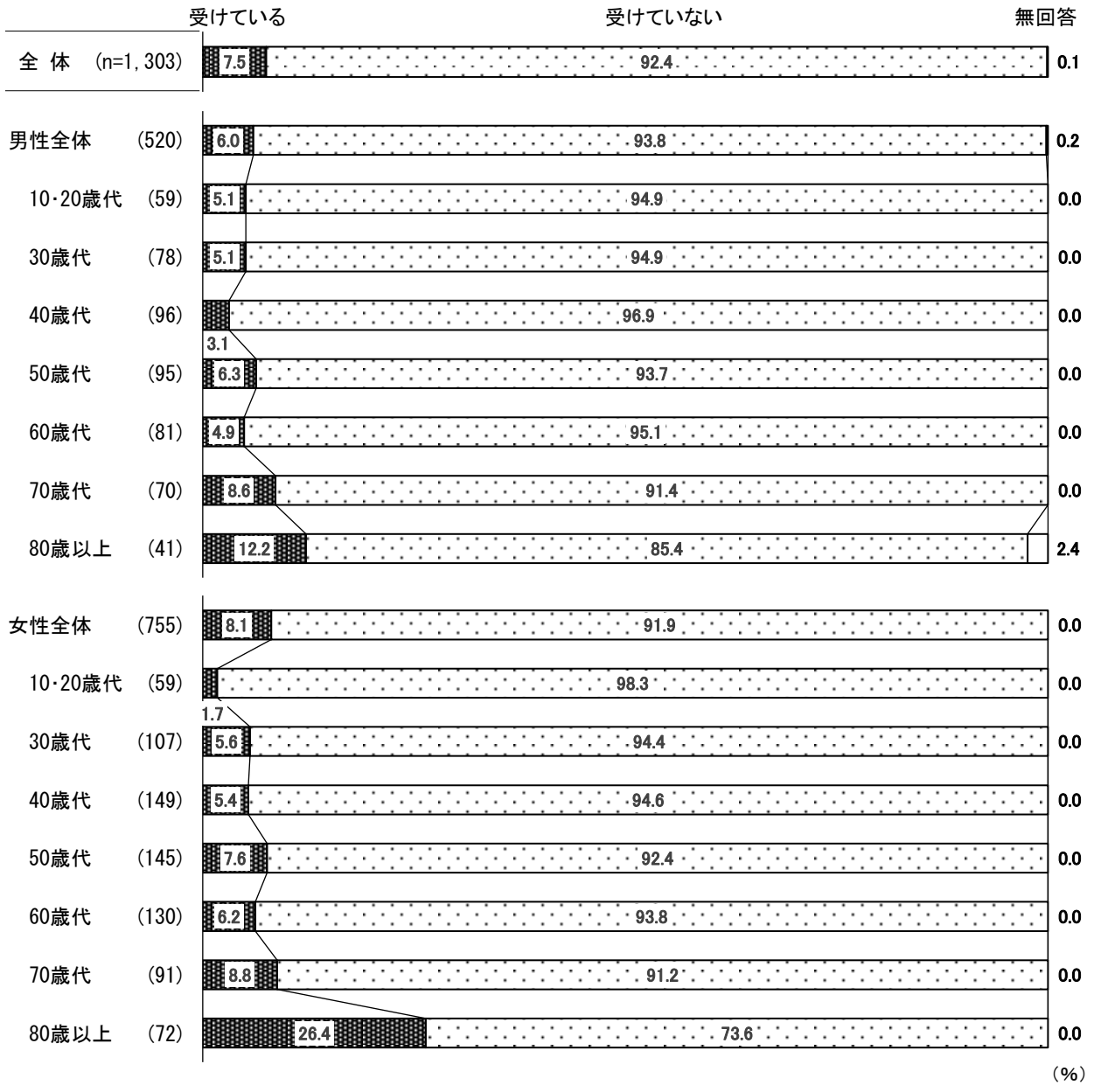
問１６－１　あなたは日常生活における不安や悩みについて、行政機関やＮＰＯなどの民間団体から支援を受けていますか。（○は１つ）

図５－６－１



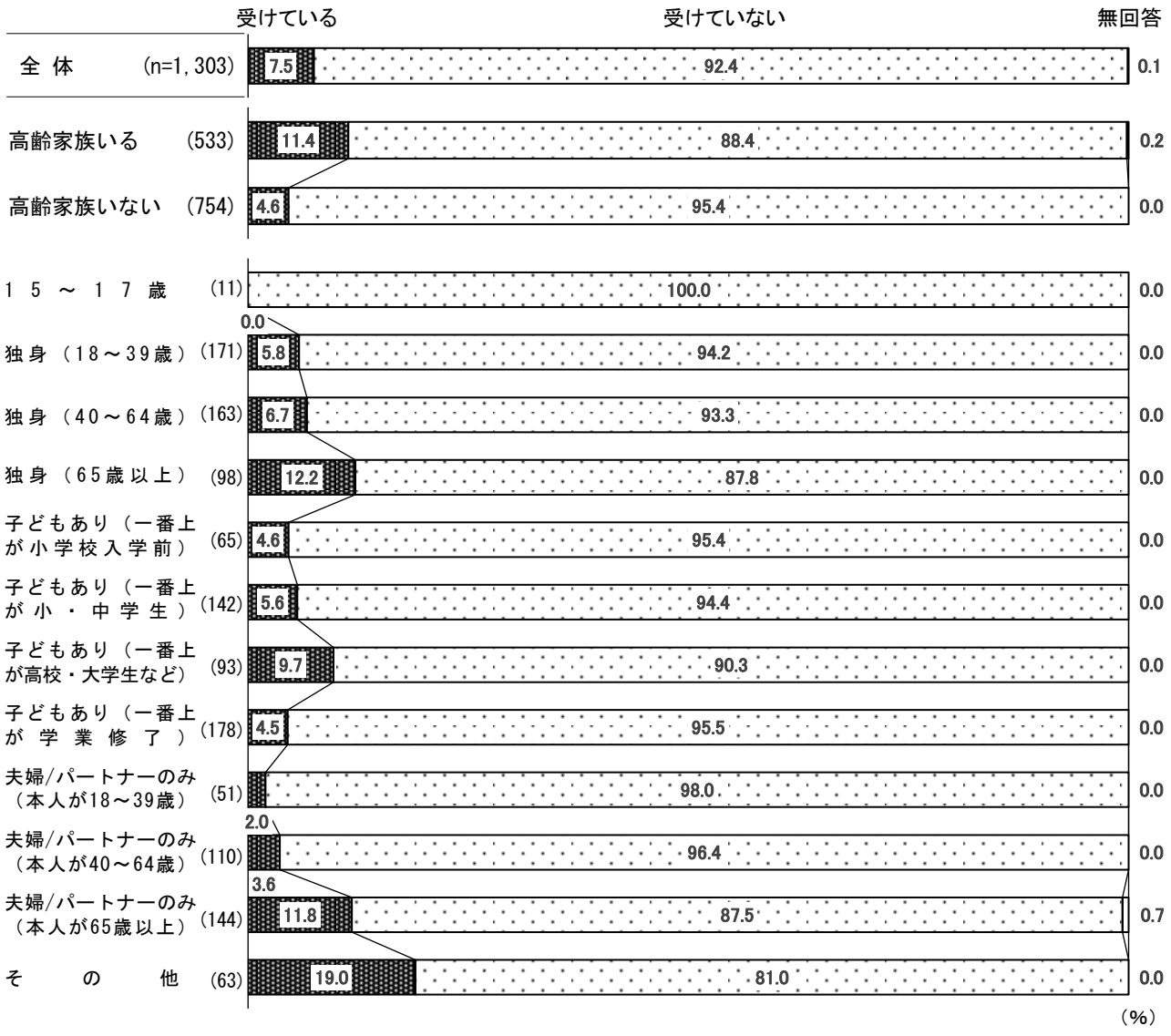
日常生活の不安や悩みが「ある」と答えた方（1,303 人）に、日常生活の不安や悩みについて行政機関や民間団体からの支援を受けているか聞いたところ、「受けていない」（92.4%）が９割を超え、「受けている」（7.5%）は１割未満となっている。（図５－６－１）

図５－６－２　行政機関や民間団体からの支援（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「受けている」は女性の 80 歳以上で２割半ば、男性の 80 歳以上で１割を超えている。70 歳代以下は男女とも１割未満となっている。（図５－６－２）

図５－６－３　行政機関や民間団体からの支援（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は「受けている」が１割を超え、高齢家族がいない世帯より高い。

ライフスタイル別にみると、「受けている」はその他でほぼ２割、独身（65 歳以上）と夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で１割を超え、子どもあり（一番上が高校・大学生など）で１割となっている。（図５－６－３）

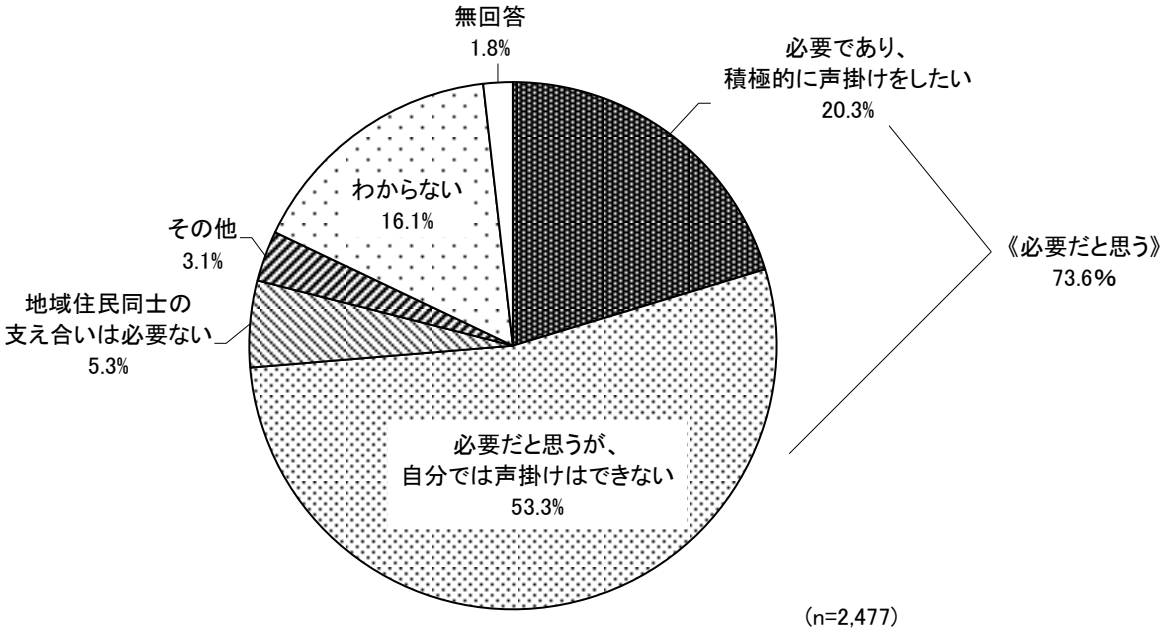
なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

（７）地域住民同士の支え合いについて

◎「必要だと思うが、自分では声掛けはできない」が５割を超える

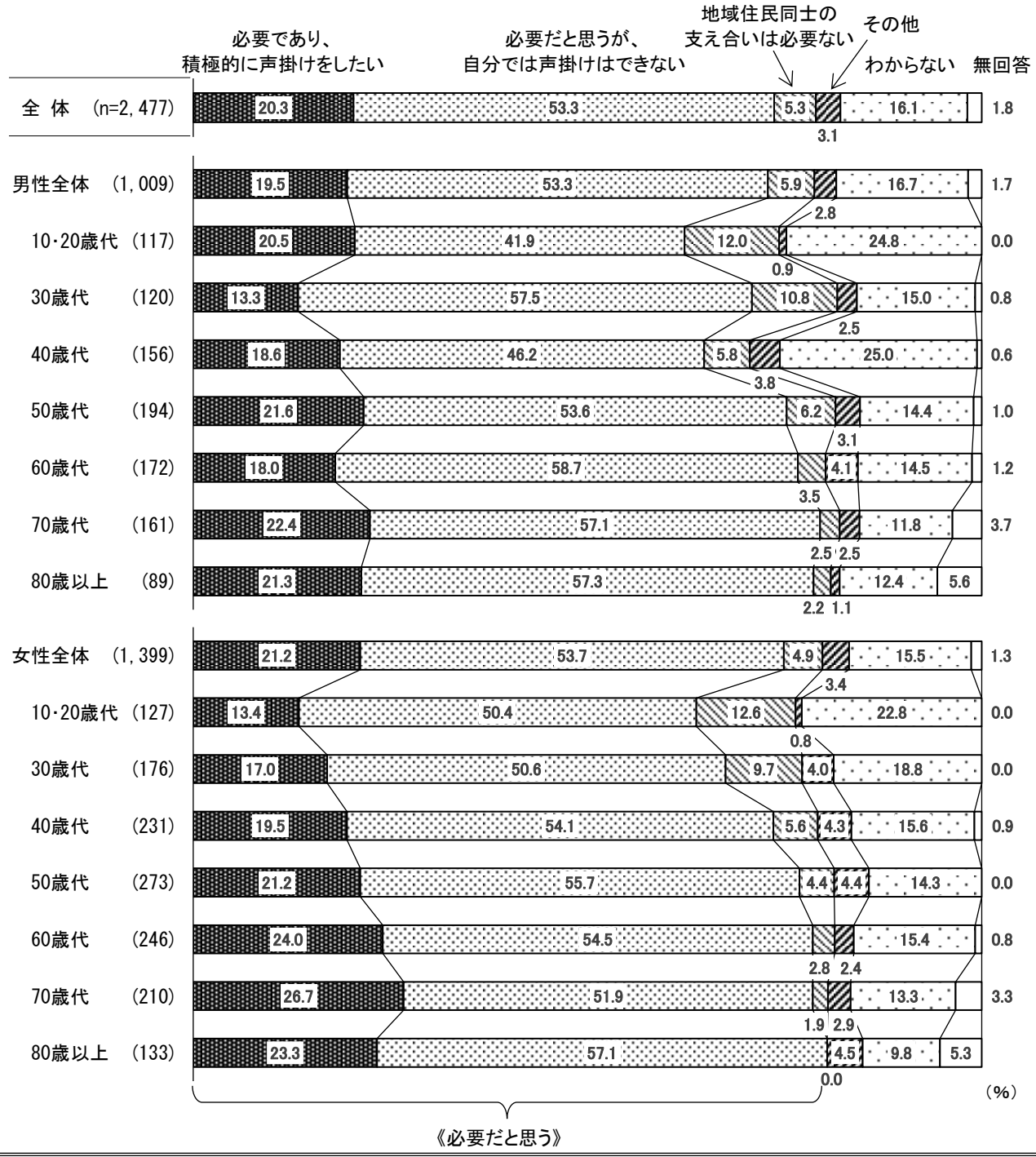
問１７　不安や悩みを抱えている周りの人へ声掛けをするなどの地域住民同士の支え合いについて、最も近い考え方はどれですか。（○は１つ）

図５－７－１



地域住民同士の支え合いについて聞いたところ、「必要だと思うが、自分では声掛けはできない」（53.3%）が５割を超えて最も高く、次いで「必要であり、積極的に声掛けをしたい」（20.3%）が続く。「必要だと思うが、自分では声掛けはできない」と「必要であり、積極的に声掛けをしたい」を合わせた《必要だと思う》（73.6%）は７割を超える。（図５－７－１）

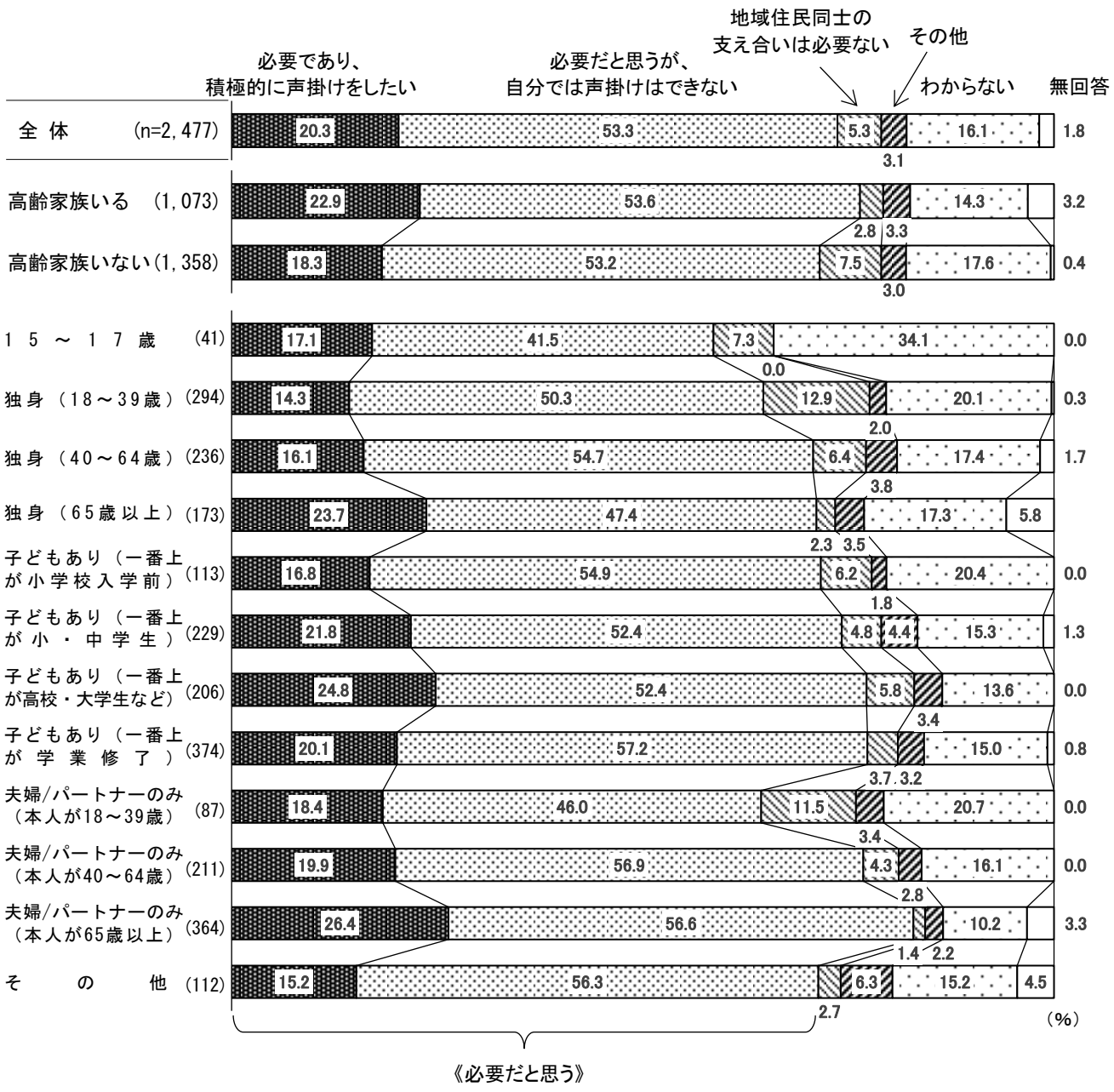
図５－７－２　地域住民同士の支え合いについて（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《必要だと思う》は女性の 80 歳以上でほぼ８割、男性の 70 歳代で８割となっている。「必要であり、積極的に声掛けをしたい」は女性の 70 歳代で３割近く、「必要だと思うが、自分では声掛けはできない」は男性の 30 歳代と 60 歳代以上、女性の 80 歳以上で６割近くとなっている。一方、「地域住民同士の支え合いは必要ない」は男女とも 10・20 歳代で１割を超えている。

（図５－７－２）

図５－７－３　地域住民同士の支え合いについて（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）



高齢家族の有無別にみると、《必要だと思う》は高齢家族がいる世帯が８割近くで、高齢家族がいない世帯より高い。

ライフスタイル別にみると、「必要であり、積極的に声掛けをしたい」は子どもあり（一番上が高校・大学生など）と夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で２割半ばとなっている。「必要だと思うが、自分では声掛けはできない」は子どもあり（一番上が学業修了）、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で６割近くとなっている。

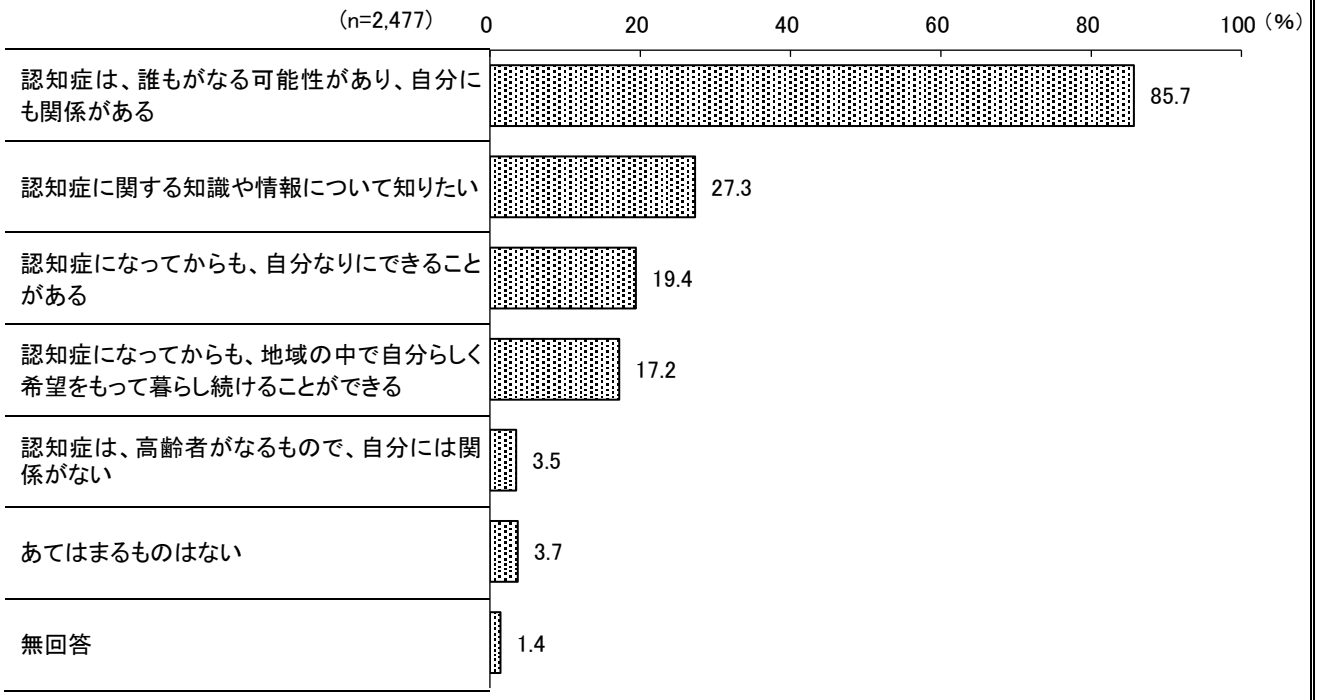
（図５－７－３）

（８）認知症についての印象

◎「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」と考えている方が８割半ば

問１８　認知症についてどのような印象・考えをお持ちですか。（○はいくつでも）

図５－８－１



認知症についての印象・考えを聞いたところ、「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」（85.7%）が８割半ばで最も高く、以下、「認知症に関する知識や情報について知りたい」（27.3%）、「認知症になってからも、自分なりにできることがある」（19.4%）、「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」（17.2%）などと続く。（図５－８－１）

表５－８－１　認知症についての印象（性・年齢別）

（%）

		n	認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある	認知症に関する知識や情報について知りたい	認知症になってからも、自分なりにできることがある	認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる	認知症は、高齢者がなるもので、自分には関係がない	あてはまるものはない	無回答
全　体		2,477	85.7	27.3	19.4	17.2	3.5	3.7	1.4
性・年齢別	男性全体	1,009	84.2	23.4	16.4	14.5	5.0	4.7	0.9
	10･20歳代	117	59.0	21.4	8.5	9.4	19.7	12.0	0.9
	30歳代	120	82.5	14.2	7.5	11.7	7.5	7.5	－
	40歳代	156	85.3	23.1	10.9	12.8	5.8	5.1	－
	50歳代	194	87.1	23.2	16.5	12.9	3.6	2.6	1.0
	60歳代	172	91.9	20.3	22.1	16.9	0.6	3.5	0.6
	70歳代	161	90.1	29.8	22.4	19.3	0.6	1.9	1.2
	80歳以上	89	86.5	33.7	25.8	18.0	－	2.2	3.4
	女性全体	1,399	86.9	30.6	21.6	19.3	2.2	2.9	1.7
	10･20歳代	127	71.7	20.5	7.9	9.4	10.2	7.1	0.8
	30歳代	176	79.5	22.7	6.3	7.4	4.5	8.0	－
	40歳代	231	87.0	30.3	15.6	11.7	2.2	2.2	2.6
	50歳代	273	91.9	36.3	24.2	20.1	1.1	1.5	0.7
	60歳代	246	93.9	31.3	27.6	23.2	0.4	0.4	0.8
	70歳代	210	90.5	31.9	34.8	29.5	－	1.4	2.4
	80歳以上	133	82.0	36.1	27.1	31.6	0.8	3.0	6.0

性・年齢別にみると、「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」は男性 10・20 歳代を除くすべての年代で７割台～９割台と高い。「認知症に関する知識や情報について知りたい」は女性の 50 歳代と 80 歳以上で３割半ば、男性の 80 歳以上、女性の 60 歳代と 70 歳代で３割を超えている。「認知症になってからも、自分なりにできることがある」は女性の 70 歳代で３割半ば、「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」は女性の 80 歳以上で３割を超え、女性の 70 歳代で３割となっている。（表５－８－１）

表５－８－２　認知症についての印象（高齢家族の有無別・ライフスタイル別）

（%）

		n	認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある	認知症に関する知識や情報について知りたい	認知症になってからも、自分なりにできることがある	認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる	認知症は、高齢者がなるもので、自分には関係がない	あてはまるものはない	無回答
全　体		2,477	85.7	27.3	19.4	17.2	3.5	3.7	1.4
高齢家族別	いる	1,073	88.7	29.4	24.5	21.3	1.4	2.4	2.1
	いない	1,358	83.5	26.0	15.2	13.8	5.2	4.6	0.7
ライフスタイル別	15～17歳	41	58.5	29.3	9.8	7.3	22.0	7.3	－
	独身（18～39歳）	294	73.5	19.7	7.8	10.2	9.2	9.2	0.7
	独身（40～64歳）	236	88.1	29.2	16.1	14.4	2.1	4.2	1.3
	独身（65歳以上）	173	87.9	24.9	22.0	19.1	0.6	1.2	5.2
	子どもあり（一番上が小学校入学前）	113	76.1	22.1	10.6	14.2	4.4	10.6	－
	子どもあり（一番上が小・中学生）	229	83.8	26.6	14.8	12.2	4.8	3.1	1.7
	子どもあり（一番上が高校・大学生など）	206	88.8	28.6	16.5	16.0	2.9	1.0	－
	子どもあり（一番上が学業修了）	374	91.7	27.3	25.1	19.5	1.1	1.1	0.8
	夫婦/パートナーのみ（本人が18～39歳）	87	80.5	13.8	4.6	8.0	14.9	4.6	－
	夫婦/パートナーのみ（本人が40～64歳）	211	89.6	29.9	26.5	19.4	1.9	2.4	0.9
	夫婦/パートナーのみ（本人が65歳以上）	364	93.4	34.3	29.7	27.7	0.3	1.1	1.6
	その他	112	83.0	36.6	25.9	18.8	－	6.3	1.8

高齢家族の有無別にみると、高齢家族がいる世帯は「認知症になってからも、自分なりにできることがある」が２割半ば、「認知症になってからも、地域の中で自分らしく希望をもって暮らし続けることができる」が２割を超え、いずれも高齢家族がいない世帯に比べ高い。

ライフスタイル別にみると、「認知症は、誰もがなる可能性があり、自分にも関係がある」は子どもあり（一番上が学業修了）と夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で９割を超え、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で９割となっている。「認知症に関する知識や情報について知りたい」はその他で４割近く、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で３割半ばとなっている。「認知症になってからも、自分なりにできることがある」は夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で３割となっている。（表５－８－２）

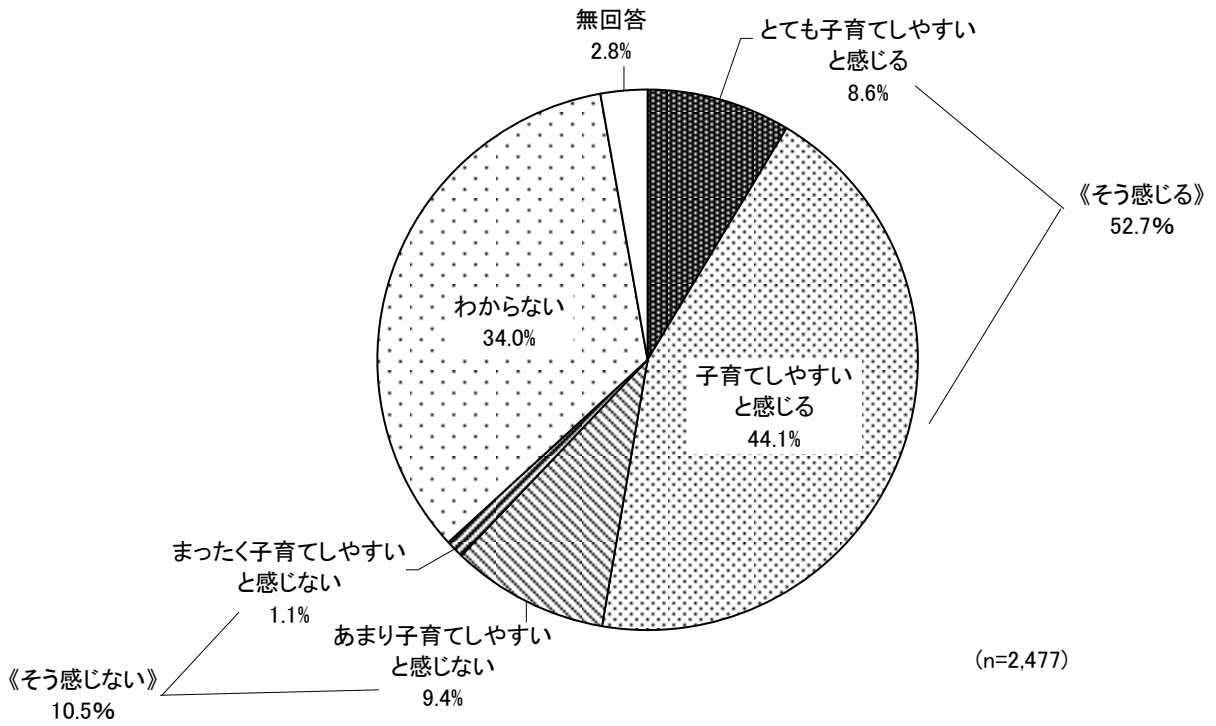
６．子育て

（１）区の子育て環境

◎「とても子育てしやすいと感じる」と「子育てしやすいと感じる」を合わせると５割を超える

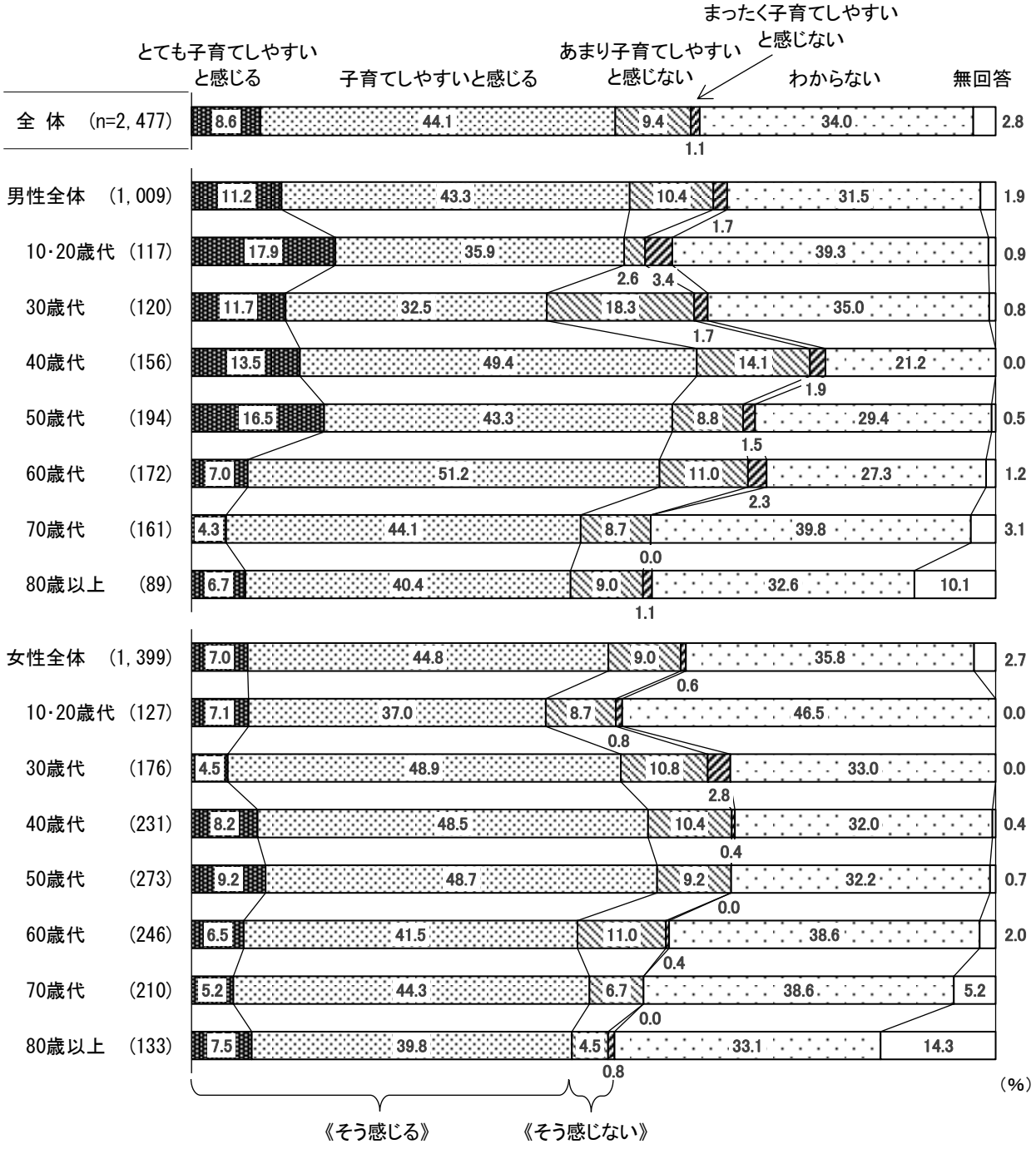
問１９　あなたは、世田谷区は子育てをしやすいまちだと感じますか。（○は１つ）

図６－１－１



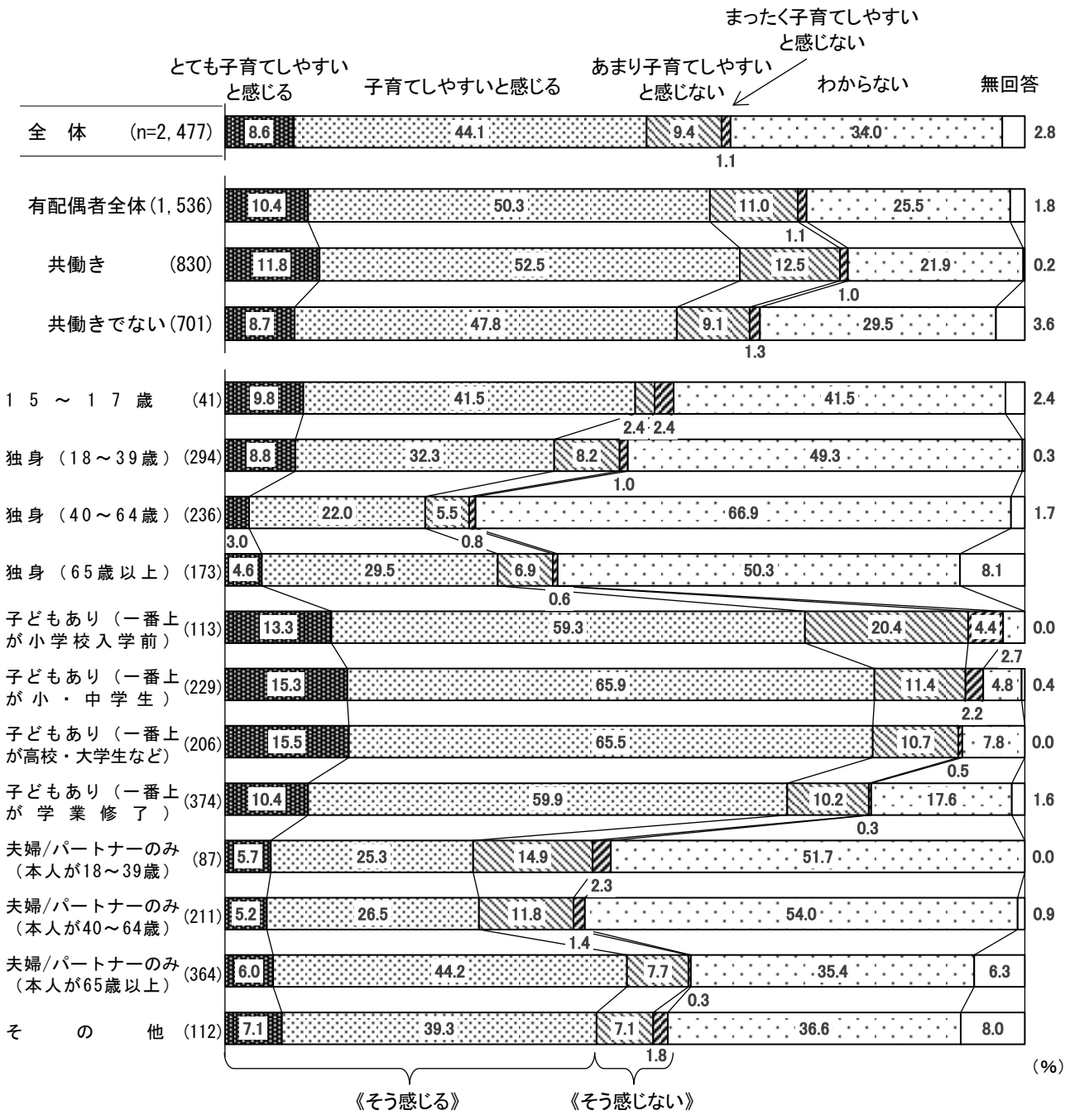
世田谷区の子育て環境について聞いたところ、「子育てしやすいと感じる」（44.1%）が４割半ばで、「とても子育てしやすいと感じる」（8.6%）と合わせた《そう感じる》（52.7%）が５割を超えている。「あまり子育てしやすいと感じない」（9.4%）と「まったく子育てしやすいと感じない」（1.1%）を合わせた《そう感じない》（10.5%）はほぼ１割となっている。（図６－１－１）

図６－１－２　区の子育て環境（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《そう感じる》は男性の 40 歳代で６割を超え、男性の 50 歳代で６割、男性の 60 歳代、女性の 40 歳代と 50 歳代で６割近くとなっている。《そう感じない》は男性の 30 歳代で２割、男性の 40 歳代で１割半ばとなっている。（図６－１－２）

図６－１－３　区の子育て環境（共働きの有無別・ライフスタイル別）



共働きの有無別にみると、《そう感じる》は共働き世帯が６割半ばで、共働きでない世帯の６割近くより高い。

ライフスタイル別にみると、《そう感じる》は子どもあり（一番上が小・中学生）と子どもあり（一番上が高校・大学生など）で８割を超え、子どもあり（一番上が小学校入学前）で７割を超え、子どもあり（一番上が学業修了）で７割となっている。一方、《そう感じない》は子どもあり（一番上が小学校入学前）で２割半ば、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で２割近くとなっている。

（図６－１－３）

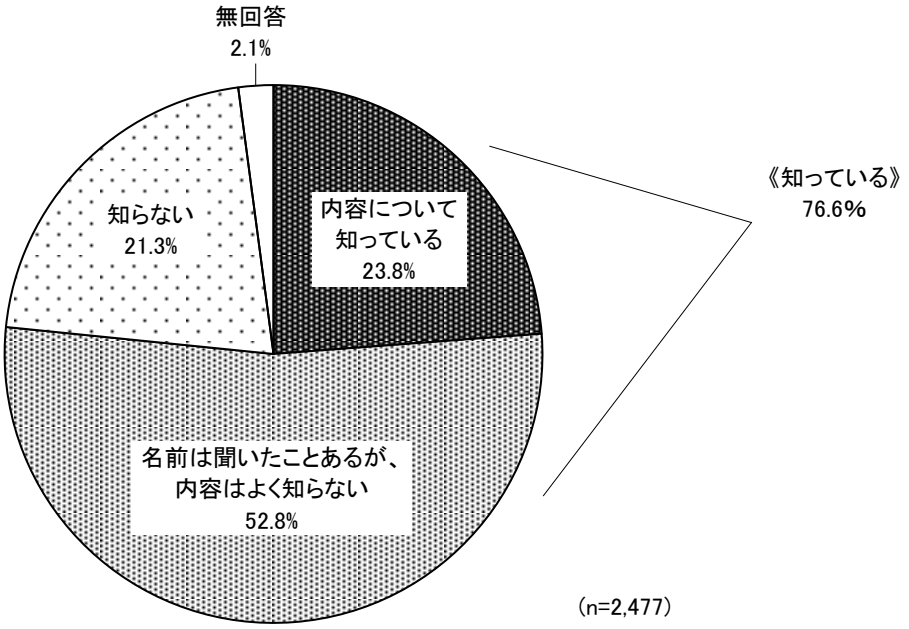
７．里親制度

（１）里親制度の認知度

◎「名前は聞いたことあるが、内容はよく知らない」が５割を超える

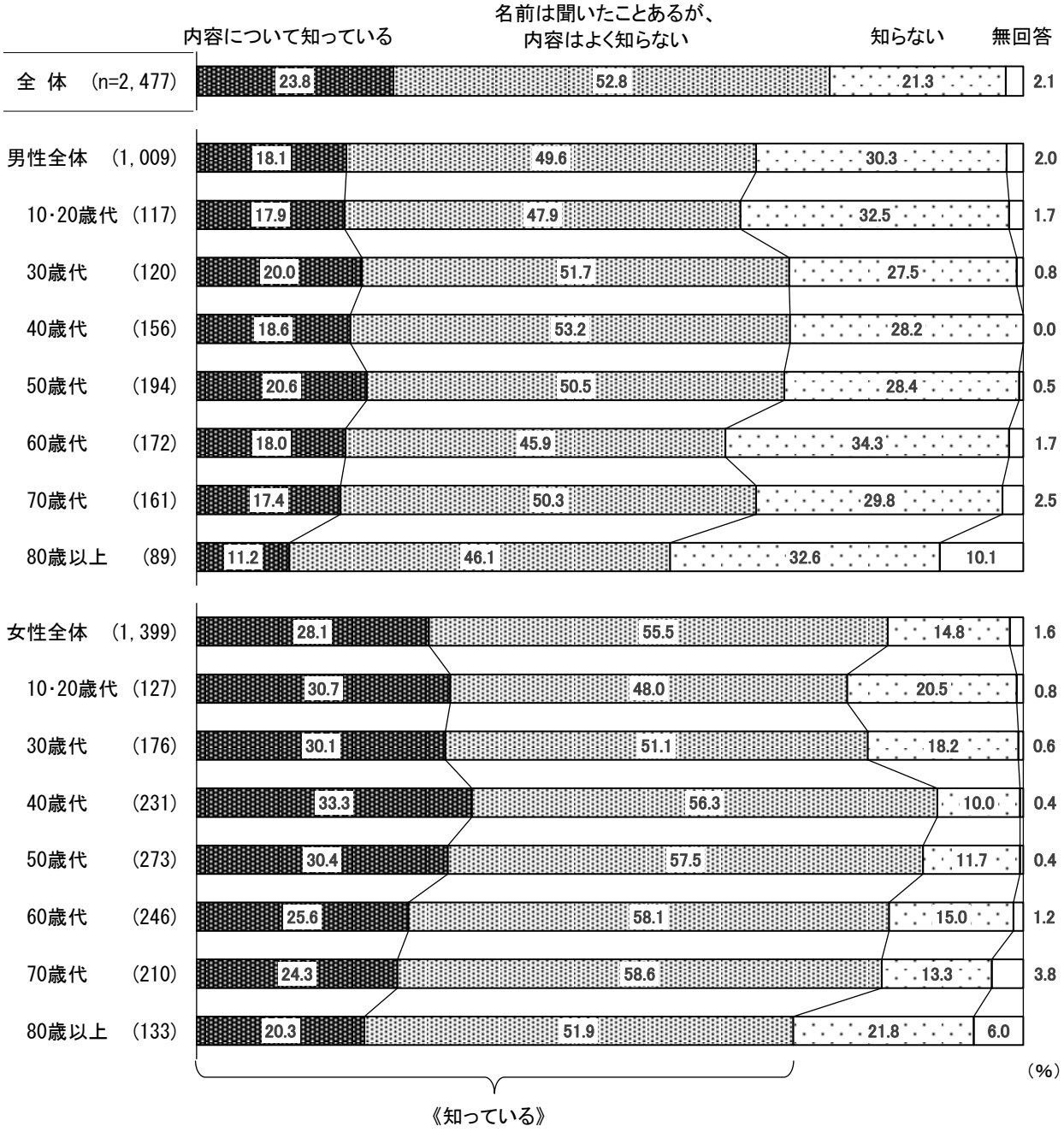
問２０　あなたは「里親制度」を知っていますか。（○は１つ）

図７－１－１



里親制度の認知度を聞いたところ、「名前は聞いたことあるが、内容はよく知らない」（52.8%）が５割を超え、「内容について知っている」（23.8%）と合わせた《知っている》（76.6%）が８割近く、「知らない」（21.3%）が２割を超えている。（図７－１－１）

図７－１－２　里親制度の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知っている》はすべての年代で男性より女性の方が高く、女性の 40 歳代で９割、女性の 50 歳代で９割近くとなっている。「内容について知っている」は女性の 40 歳代で３割を超え、女性の 10・20 歳代でほぼ３割、女性の 30 歳代と 50 歳代で３割となっている。

（図７－１－２）

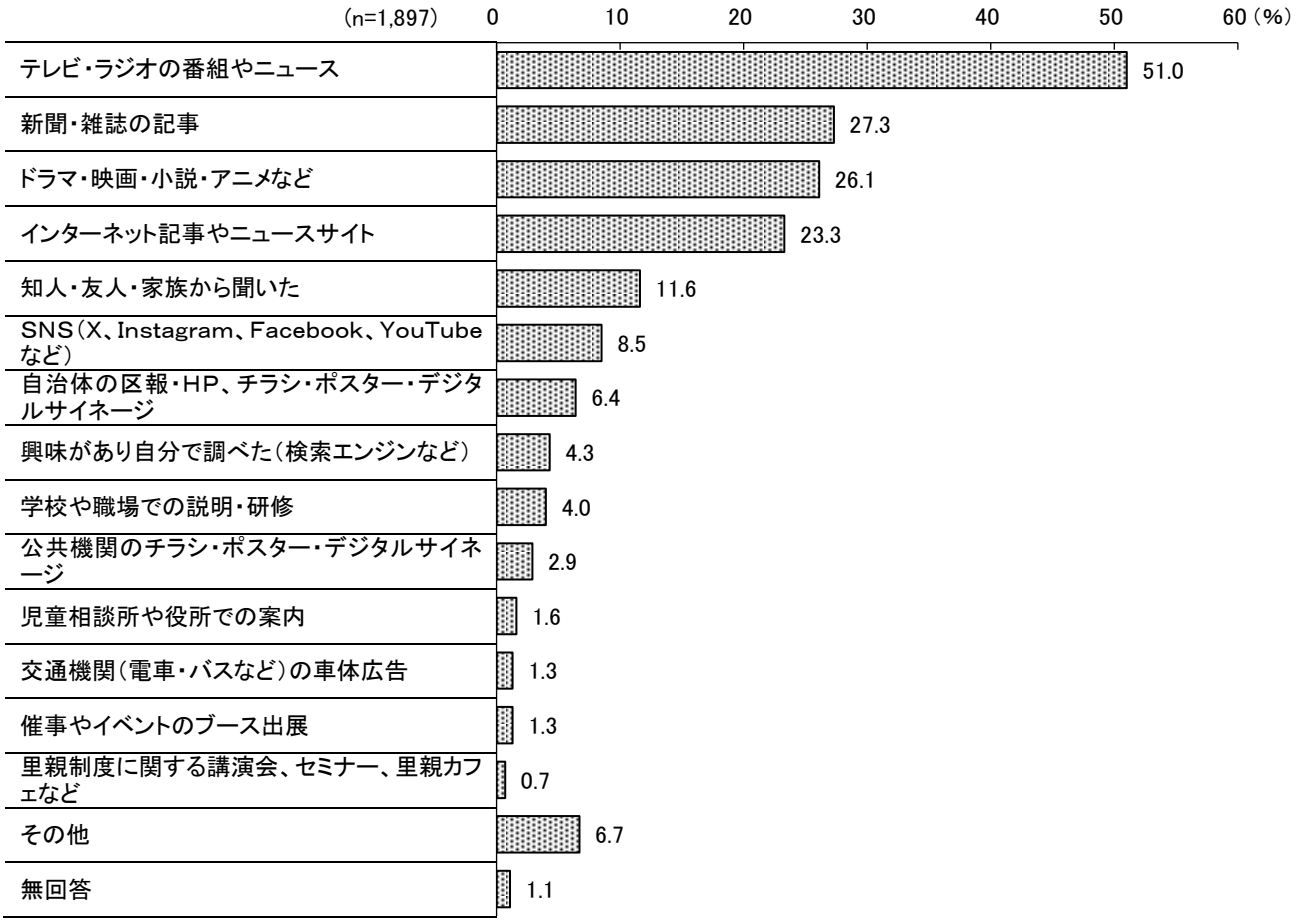
（２）里親制度の認知経路

◎「テレビ・ラジオの番組やニュース」が５割を超える

（問２０で「内容について知っている」または「名前は聞いたことあるが、内容はよく知らない」と答えた方に）

問２０－１　里親制度のことをなにで知りましたか。（〇はいくつでも）

図７－２－１



里親制度について「内容について知っている」または「名前は聞いたことあるが、内容はよく知らない」と答えた方（1,897 人）に、里親制度の認知経路を聞いたところ、「テレビ・ラジオの番組やニュース」（51.0%）が５割を超えて最も高く、以下、「新聞・雑誌の記事」（27.3%）、「ドラマ・映画・小説・アニメなど」（26.1%）、「インターネット記事やニュースサイト」（23.3%）などと続く。（図７－２－１）

表７－２－１　里親制度の認知経路（性・年齢別）

（%）

		n	テレビ・ラジオの番組やニュース	新聞・雑誌の記事	ドラマ・映画・小説・アニメなど	インターネット記事やニュースサイト	知人・友人・家族から聞いた	SNS（X、Instagram、Facebook、YouTubeなど）	自治体の区報・HP、チラシ・ポスター・デジタルサイネージ	興味があり自分で調べた（検索エンジンなど）	学校や職場での説明・研修	公共機関のチラシ・ポスター・デジタルサイネージ	児童相談所や役所での案内	交通機関（電車・バスなど）の車体広告	催事やイベントのブース出展	里親制度に関する講演会、セミナー、里親カフェなど	その他	無回答
全　体		1,897	51.0	27.3	26.1	23.3	11.6	8.5	6.4	4.3	4.0	2.9	1.6	1.3	1.3	0.7	6.7	1.1
性・年齢別	男性全体	683	49.3	26.9	17.9	24.5	11.0	7.0	7.0	3.7	3.2	2.6	1.5	1.0	1.2	0.6	8.2	1.8
	10･20歳代	77	36.4	7.8	28.6	22.1	13.0	26.0	1.3	2.6	10.4	2.6	－	1.3	1.3	1.3	11.7	2.6
	30歳代	86	43.0	12.8	22.1	33.7	4.7	14.0	4.7	3.5	4.7	4.7	－	－	－	－	15.1	2.3
	40歳代	112	41.1	18.8	14.3	36.6	10.7	4.5	8.9	3.6	－	2.7	0.9	1.8	1.8	0.9	7.1	1.8
	50歳代	138	54.3	24.6	18.1	25.4	15.2	4.3	4.3	4.3	2.2	－	2.2	1.4	0.7	0.7	6.5	1.4
	60歳代	110	55.5	30.9	17.3	21.8	11.8	3.6	7.3	6.4	4.5	4.5	3.6	0.9	0.9	－	5.5	－
	70歳代	109	57.8	41.3	16.5	15.6	9.2	0.9	10.1	0.9	1.8	0.9	1.8	0.9	1.8	－	6.4	0.9
	80歳以上	51	52.9	64.7	5.9	7.8	9.8	－	15.7	3.9	－	5.9	－	－	2.0	2.0	7.8	5.9
	女性全体	1,169	51.7	27.2	31.1	22.4	12.2	9.5	6.2	4.8	4.5	3.0	1.6	1.5	1.4	0.8	6.0	0.8
	10･20歳代	100	44.0	8.0	40.0	25.0	11.0	20.0	－	2.0	16.0	4.0	1.0	3.0	－	2.0	4.0	－
	30歳代	143	40.6	7.0	30.1	35.7	8.4	25.9	6.3	7.0	7.0	0.7	1.4	2.1	3.5	0.7	7.7	0.7
	40歳代	207	45.4	12.6	31.4	27.5	11.1	16.9	5.8	8.7	5.3	3.4	2.4	1.0	1.4	0.5	8.2	1.0
	50歳代	240	53.3	26.7	33.3	27.9	17.1	4.2	6.3	5.8	3.3	4.6	1.3	2.1	2.1	0.4	6.3	0.8
	60歳代	206	55.3	37.4	35.9	20.4	13.1	3.4	7.3	2.4	2.9	2.4	1.5	0.5	1.0	0.5	3.9	1.0
	70歳代	174	58.6	50.6	24.7	10.3	9.8	1.1	6.9	2.9	0.6	2.9	1.7	0.6	0.6	1.7	4.6	－
	80歳以上	96	63.5	46.9	18.8	2.1	12.5	－	9.4	2.1	1.0	2.1	2.1	2.1	－	－	7.3	2.1

性・年齢別にみると、「テレビ・ラジオの番組やニュース」は女性の 80 歳以上で６割を超え、男女とも 70 歳代で６割近く、男性の 50 歳代と 60 歳代、女性の 60 歳代で５割半ばとなっている。「新聞・雑誌の記事」は男性の 80 歳以上で６割半ば、女性の 70 歳代でほぼ５割、「ドラマ・映画・小説・アニメなど」は女性の 10・20 歳代で４割、女性の 30～60 歳代で３割台となっている。（表７－２－１）

８．災害時の備え

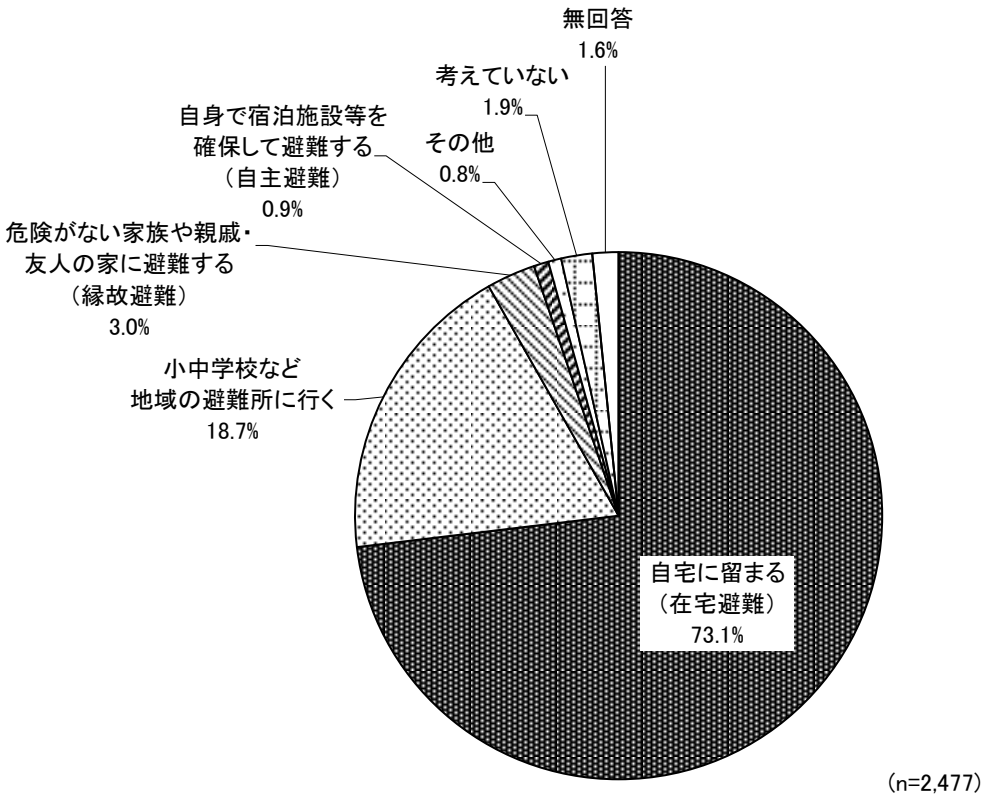
（１）大地震の際の避難行動

◎「自宅に留まる（在宅避難）」が７割を超える

問２１　あなたは震度６強（※）の大きな地震が発生し、自宅が無事で危険がない場合、どのような避難行動をとると思いますか。（○は１つ）

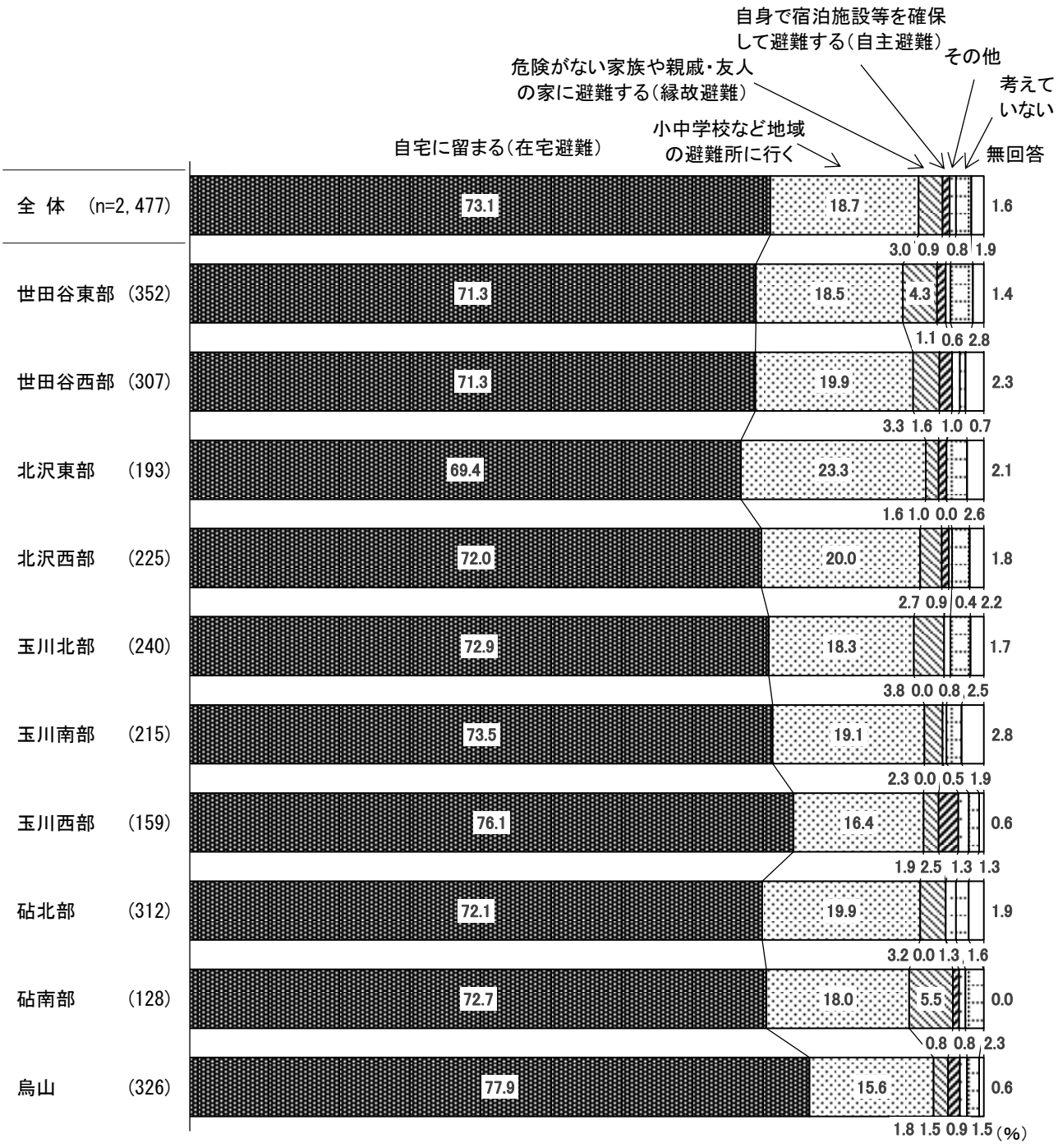
※首都直下地震では世田谷区の約７割の面積で震度６強が観測されると想定されている。

図８－１－１



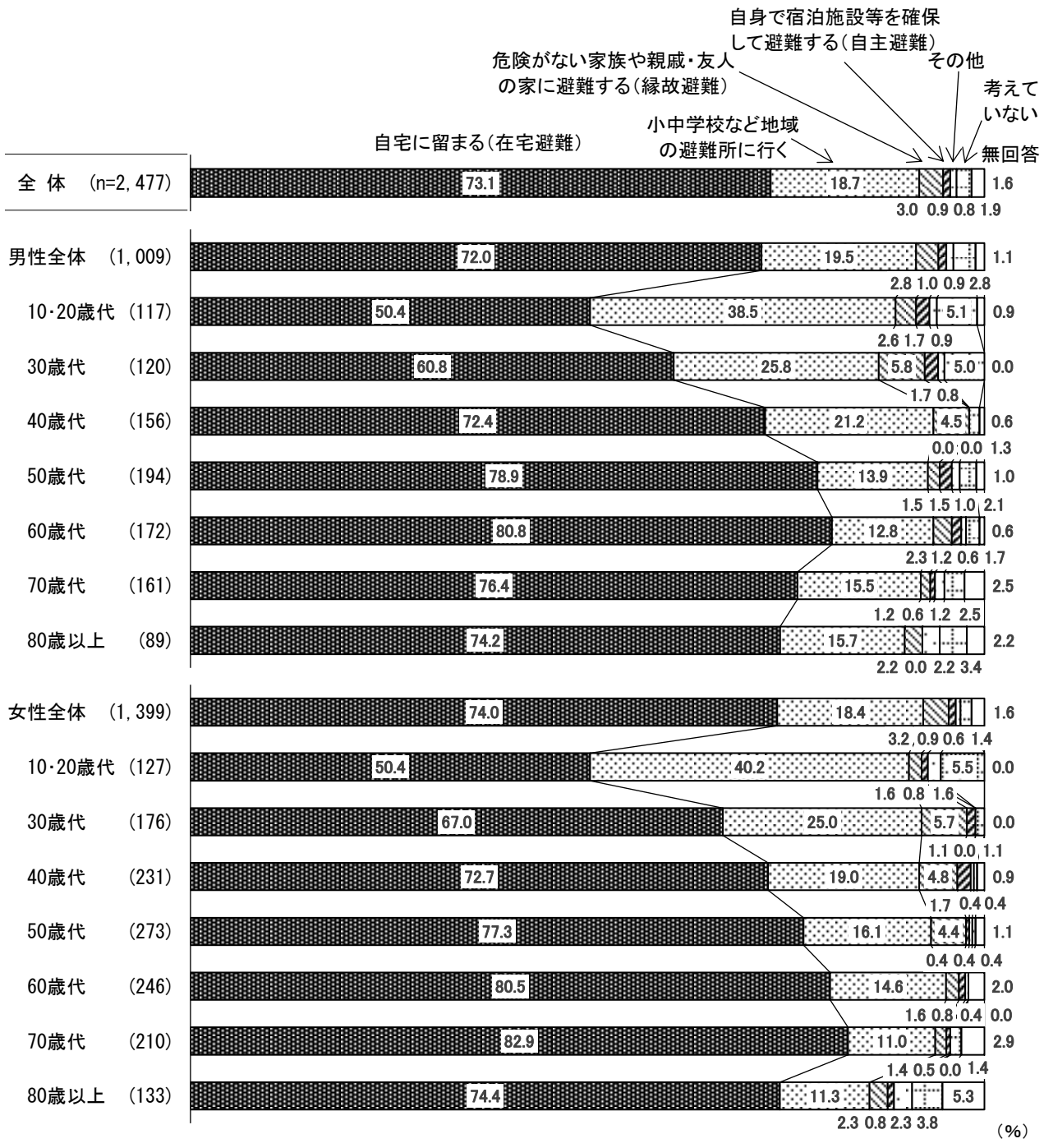
大地震の際に自宅が無事で危険がない場合の避難行動を聞いたところ、「自宅に留まる（在宅避難）」（73.1%）が７割を超えて最も高く、以下、「小中学校など地域の避難所に行く」（18.7%）、「危険がない家族や親戚・友人の家に避難する（縁故避難）」（3.0%）などと続く。（図８－１－１）

図８－１－２　大地震の際の避難行動（地域別）



地域別にみると、「自宅に留まる（在宅避難）」は烏山で８割近く、玉川西部で７割半ば、その他の地域も７割前後となっている。「小中学校など地域の避難所に行く」は北沢東部で２割を超えている。（図８－１－２）

図８－１－３　大地震の際の避難行動（性・年齢別）



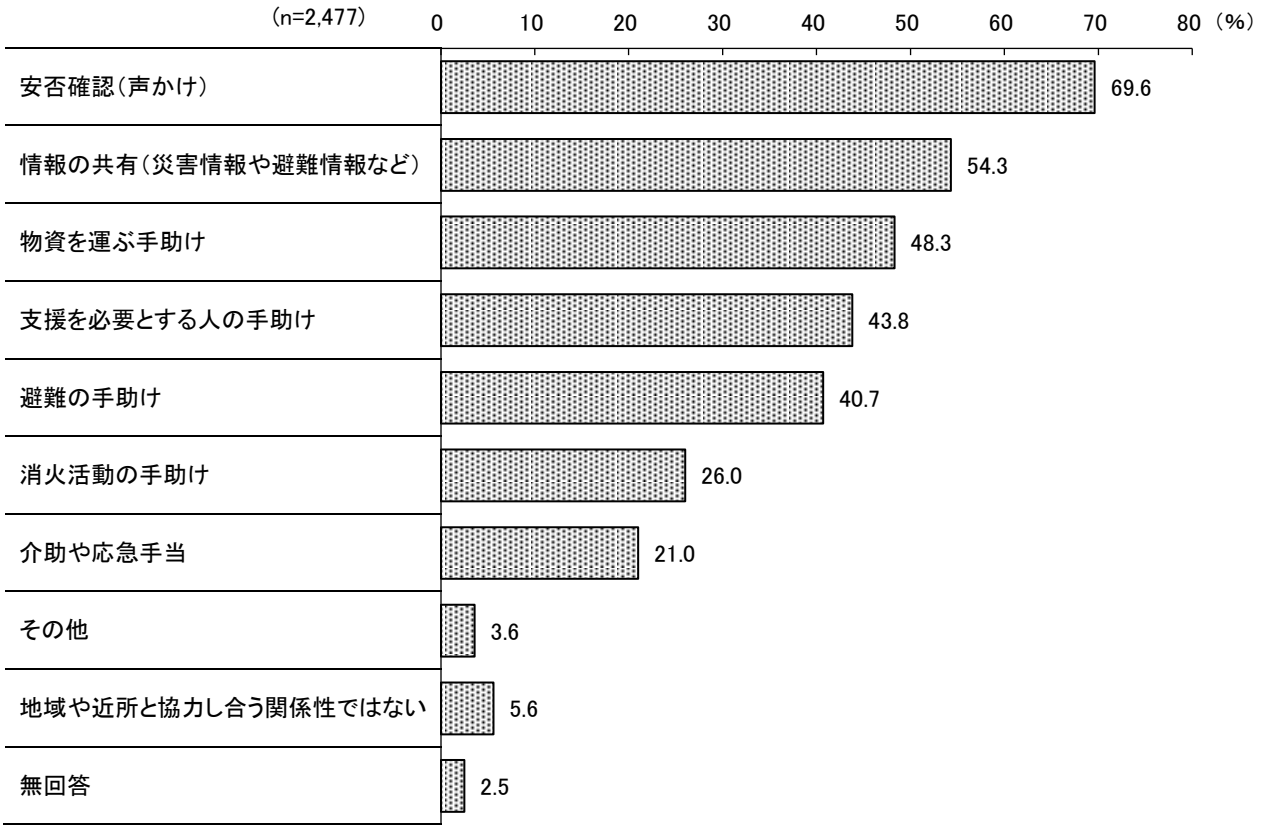
性・年齢別にみると、「自宅に留まる（在宅避難）」は女性の 70 歳代で８割を超え、男女とも 60 歳代でほぼ８割となっている。「小中学校など地域の避難所に行く」は女性の 10・20 歳代で４割、男性の 10・20 歳代で４割近くとなっている。（図８－１－３）

（２）災害時にできる住民同士の助け合い

◎「安否確認（声かけ）」が７割

問２２　あなたは、災害時に地域や近所の住民同士でどのような手助けができると思いますか。自分ができること、やりたいと思うことをお答えください。（○はいくつでも）

図８－２－１



災害時に住民同士でどのような手助けができるか聞いたところ、「安否確認（声かけ）」（69.6%）が７割で最も高く、以下、「情報の共有（災害情報や避難情報など）」（54.3%）、「物資を運ぶ手助け」（48.3%）、「支援を必要とする人の手助け」（43.8%）、「避難の手助け」（40.7%）などと続く。（図８－２－１）

表８－２－１　災害時にできる住民同士の助け合い（地域別）

（%）

		n	安否確認（声かけ）	情報の共有（災害情報や避難情報など）	物資を運ぶ手助け	支援を必要とする人の手助け	避難の手助け	消火活動の手助け	介助や応急手当	その他	地域や近所と協力し合う関係性ではない	無回答
全　体		2,477	69.6	54.3	48.3	43.8	40.7	26.0	21.0	3.6	5.6	2.5
地域別	世田谷東部	352	68.2	52.8	42.0	43.8	37.8	24.1	20.5	3.1	6.5	2.6
	世田谷西部	307	69.7	53.1	51.8	41.0	40.1	25.1	17.3	4.6	7.2	1.3
	北沢東部	193	68.9	46.6	50.8	46.1	43.0	23.8	18.1	4.7	4.1	3.6
	北沢西部	225	68.4	52.0	42.2	40.0	37.8	21.3	19.6	4.9	5.8	3.1
	玉川北部	240	72.1	62.9	50.4	51.3	45.8	25.8	20.0	3.8	2.9	2.1
	玉川南部	215	68.8	55.8	50.2	47.0	41.4	28.8	20.5	2.8	4.7	1.9
	玉川西部	159	72.3	57.9	55.3	39.6	43.4	27.7	20.8	2.5	5.7	2.5
	砧北部	312	72.1	57.1	47.1	45.2	41.7	25.6	24.4	2.6	5.1	3.2
	砧南部	128	75.8	57.0	46.9	45.3	42.2	34.4	28.9	4.7	4.7	2.3
	烏山	326	66.6	51.8	51.8	41.7	39.9	28.8	23.3	2.8	6.4	0.9

地域別にみると、「安否確認（声かけ）」は砧南部で７割半ば、玉川西部、玉川北部、砧北部で７割を超えている。「情報の共有（災害情報や避難情報など）」は玉川北部で６割を超え、玉川西部、砧北部、砧南部で６割近くとなっている。「物資を運ぶ手助け」は玉川西部で５割半ば、世田谷西部、烏山で５割を超え、「支援を必要とする人の手助け」は玉川北部で５割を超えている。

（表８－２－１）

表８－２－２　災害時にできる住民同士の助け合い（性・年齢別）

（%）

		n	安否確認（声かけ）	情報の共有（災害情報や避難情報など）	物資を運ぶ手助け	支援を必要とする人の手助け	避難の手助け	消火活動の手助け	介助や応急手当	その他	地域や近所と協力し合う関係性ではない	無回答
全　　体		2,477	69.6	54.3	48.3	43.8	40.7	26.0	21.0	3.6	5.6	2.5
性・年齢別	男性全体	1,009	65.6	51.7	54.0	44.5	45.2	34.5	21.5	4.3	5.6	1.9
	10･20歳代	117	52.1	43.6	63.2	34.2	40.2	20.5	21.4	3.4	12.0	0.9
	30歳代	120	58.3	38.3	58.3	38.3	49.2	33.3	20.8	5.8	8.3	2.5
	40歳代	156	62.2	57.7	68.6	44.9	55.1	44.2	24.4	7.7	2.6	0.6
	50歳代	194	71.1	60.3	63.9	51.5	52.1	46.9	28.4	2.6	6.7	－
	60歳代	172	68.0	57.0	54.7	52.3	45.3	42.4	23.3	2.9	4.7	1.2
	70歳代	161	73.3	49.7	36.0	44.1	41.0	23.0	14.9	5.0	4.3	0.6
	80歳以上	89	68.5	44.9	20.2	36.0	21.3	15.7	11.2	2.2	1.1	12.4
	女性全体	1,399	73.1	56.8	45.4	43.7	38.4	20.4	21.1	3.1	5.4	2.4
	10･20歳代	127	63.8	52.0	51.2	36.2	41.7	16.5	25.2	1.6	5.5	1.6
	30歳代	176	71.6	52.8	52.3	42.0	46.0	21.6	21.6	1.1	9.1	1.7
	40歳代	231	74.9	62.3	60.6	47.6	42.4	30.3	26.8	0.9	7.4	－
	50歳代	273	76.2	67.0	57.1	50.9	46.5	26.0	25.6	2.9	6.2	1.1
	60歳代	246	73.2	65.4	49.6	48.8	40.7	22.4	21.1	2.4	2.0	2.0
	70歳代	210	77.1	51.0	21.4	42.4	27.6	11.4	15.2	4.3	3.3	2.9
	80歳以上	133	68.4	30.1	9.8	25.6	14.3	4.5	6.8	11.3	4.5	9.8

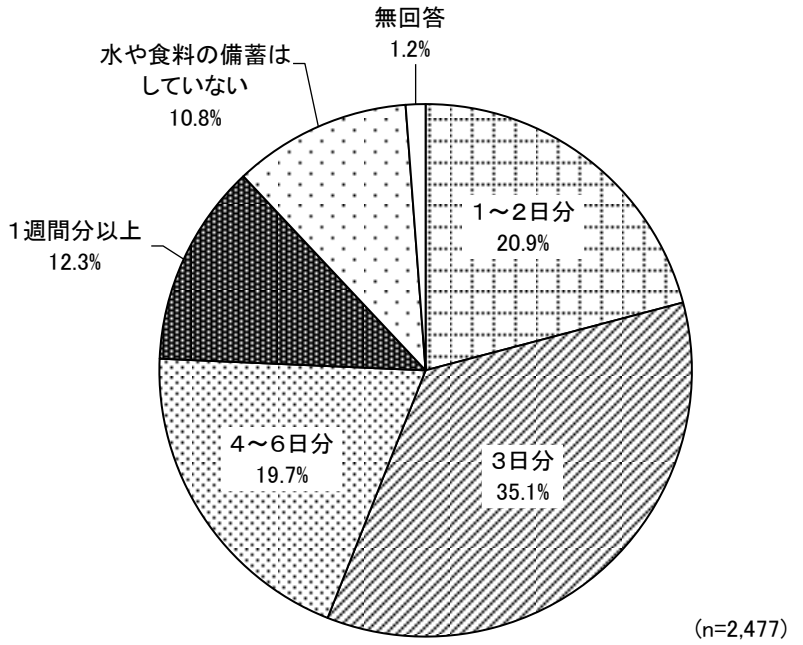
性・年齢別にみると、男性は「物資を運ぶ手助け」、「避難の手助け」、「消火活動の手助け」が女性より高く、女性は「安否確認（声かけ）」、「情報の共有（災害情報や避難情報など）」が男性より高い傾向にある。一方、「地域や近所と協力し合う関係性ではない」は男性の 10・20 歳代で１割を超え、女性の 30 歳代でほぼ１割となっている。（表８－２－２）

（３）水や食料の備蓄について

◎水や食料の備蓄は「３日分」が３割半ば

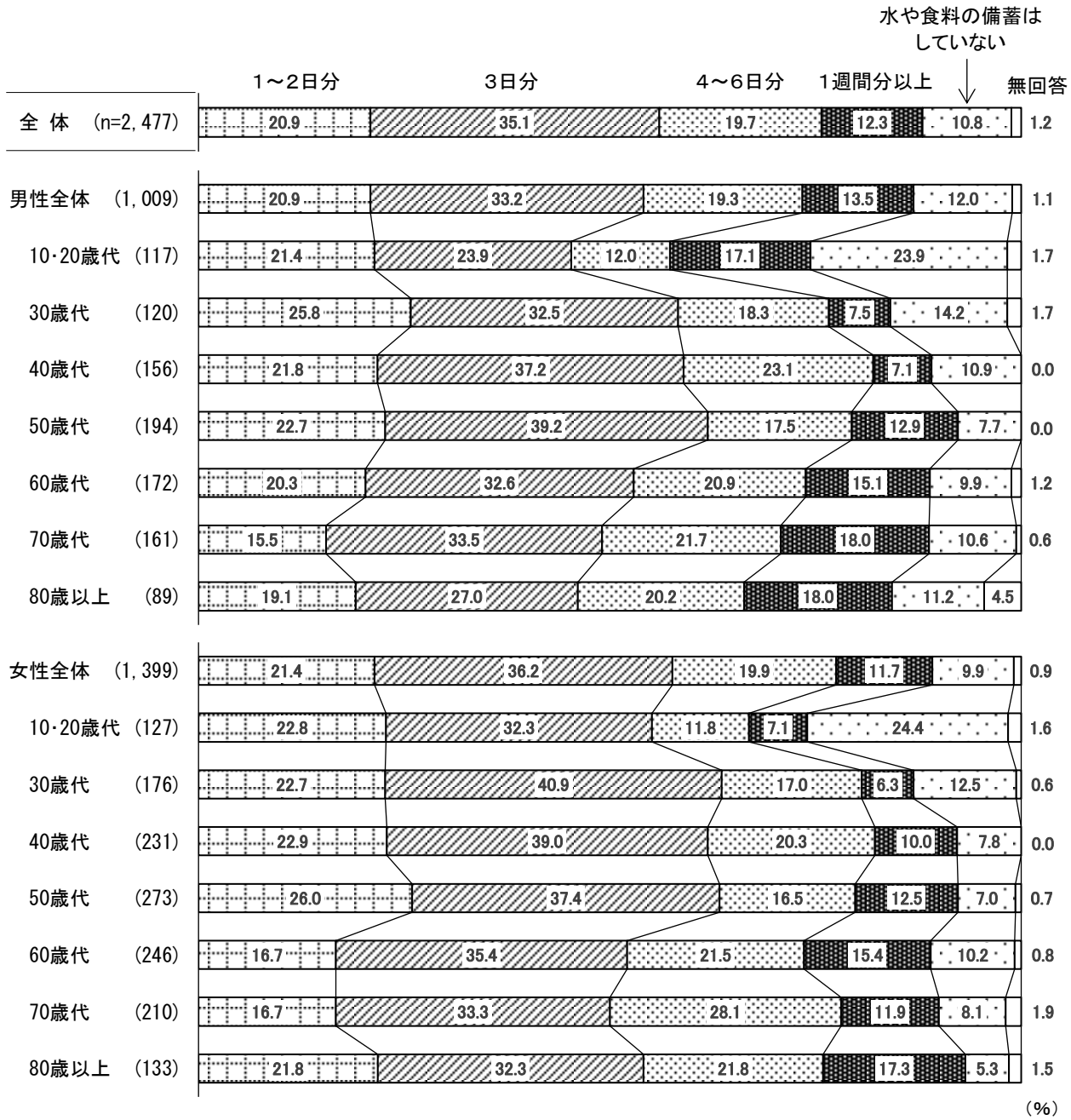
問２３　あなたのご家庭では、災害に備えて水や食料は何日分備蓄していますか。（○は１つ）

図８－３－１



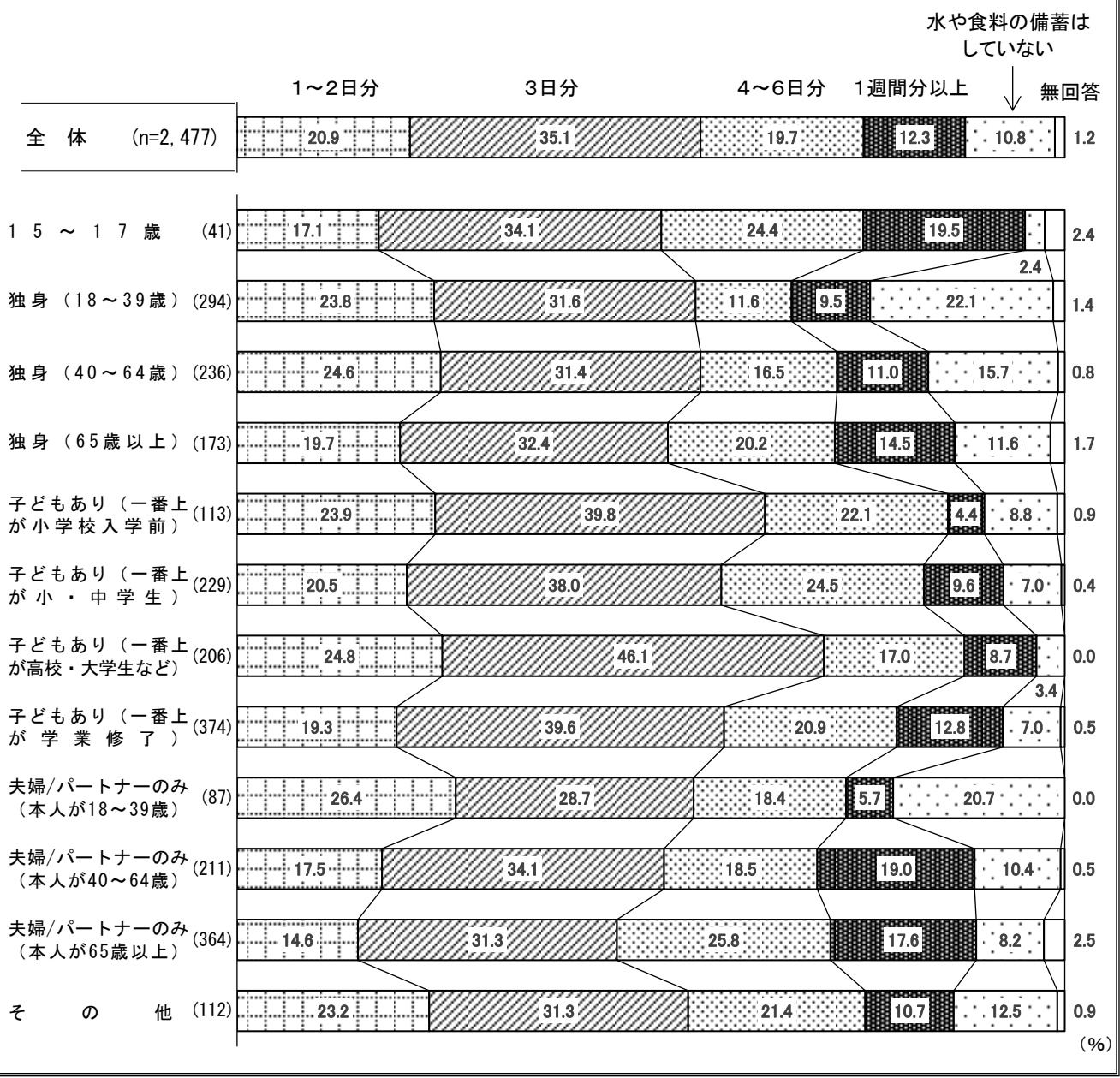
災害に備えて水や食料を何日分備蓄しているか聞いたところ、「３日分」（35.1%）が３割半ばで最も高く、以下、「１～２日分」（20.9%）、「４～６日分」（19.7%）などと続く。「水や食料の備蓄はしていない」（10.8%）はほぼ１割となっている。（図８－３－１）

図８－３－２　水や食料の備蓄について（性・年齢別）



性・年齢別にみると、３日分以上（「３日分」＋「４～６日分」＋「１週間分以上」）の水や食料を備蓄している割合は、すべての年代で５割を超えており、男性の 70 歳代、女性の 60 歳代以上で７割を超えている。「水や食料の備蓄はしていない」は女性の 10・20 歳代で２割半ば、男性の 10・20 歳代で２割を超えている。（図８－３－２）

図８－３－３　水や食料の備蓄について（ライフスタイル別）



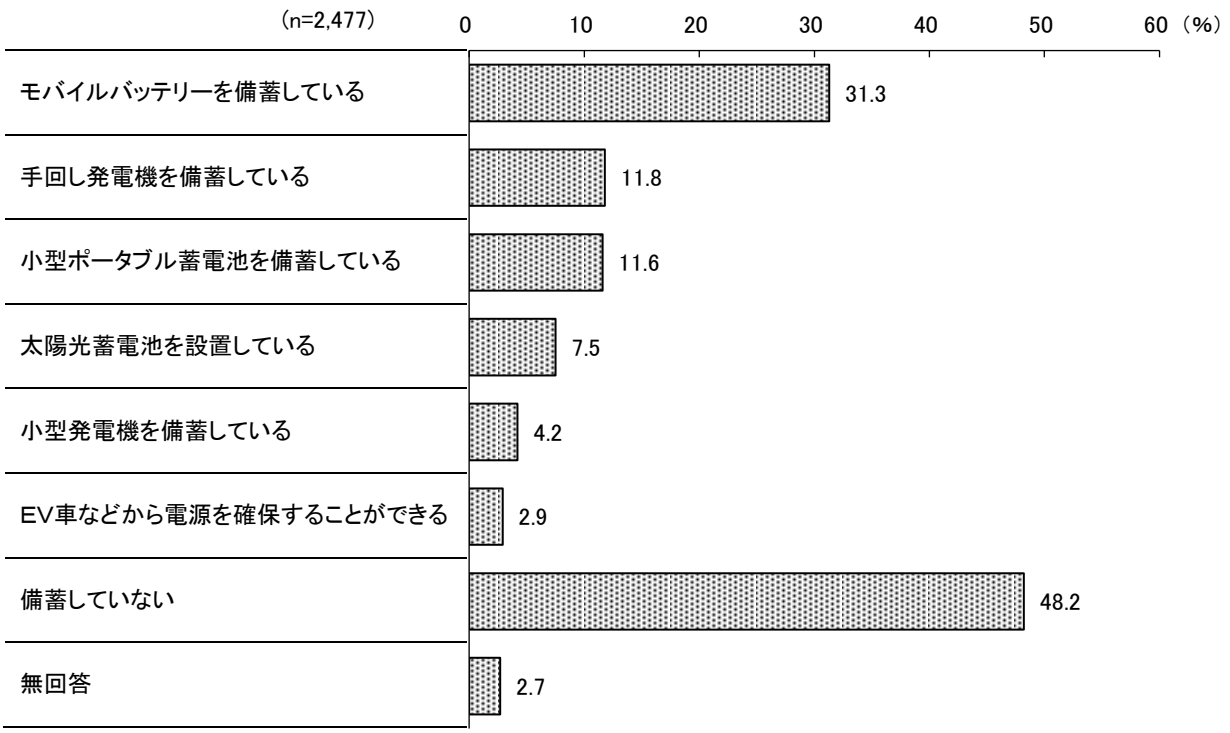
ライフスタイル別にみると、３日分以上（「３日分」＋「４～６日分」＋「１週間分以上」）の水や食料を備蓄している割合は、15～17 歳で８割近く、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で７割半ば、子どもあり（一番上が小・中学生）、子どもあり（一番上が高校・大学生など）、子どもあり（一番上が学業修了）、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で７割を超えている。「水や食料の備蓄はしていない」は独身（18～39 歳）で２割を超え、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）でほぼ２割となっている。（図８－３－３）

（４）非常用電力の備蓄について

◎非常用電力は「備蓄していない」が５割近く

問２４　あなたのご家庭では、災害に備えて非常用電力の備蓄をしていますか。（○はいくつでも）

図８－４－１



災害時に備えた非常用電力を備蓄しているか聞いたところ、「備蓄していない」（48.2%）が５割近くで最も高い。備蓄している中では、「モバイルバッテリーを備蓄している」（31.3%）が３割を超えて最も高く、以下、「手回し発電機を備蓄している」（11.8%）、「小型ポータブル蓄電池を備蓄している」（11.6%）などと続く。（図８－４－１）

表８－４－１　非常用電力の備蓄について（性・年齢別）

（%）

		n	モバイルバッテリーを備蓄している	手回し発電機を備蓄している	小型ポータブル蓄電池を備蓄している	太陽光蓄電池を設置している	小型発電機を備蓄している	ＥＶ車などから電源を確保することができる	備蓄していない	無回答
全　体		2,477	31.3	11.8	11.6	7.5	4.2	2.9	48.2	2.7
性・年齢別	男性全体	1,009	29.0	10.7	12.3	8.4	3.4	3.3	50.4	1.8
	10･20歳代	117	32.5	14.5	9.4	8.5	8.5	5.1	50.4	2.6
	30歳代	120	37.5	10.0	9.2	5.0	4.2	1.7	43.3	2.5
	40歳代	156	38.5	11.5	12.8	11.5	3.2	1.3	39.7	1.3
	50歳代	194	34.0	9.3	18.6	7.7	3.1	3.1	46.9	1.0
	60歳代	172	29.1	15.7	14.0	7.0	1.2	4.1	50.6	1.2
	70歳代	161	17.4	6.8	9.3	11.8	1.9	5.0	60.2	0.6
	80歳以上	89	6.7	5.6	7.9	5.6	3.4	2.2	68.5	5.6
	女性全体	1,399	33.4	12.9	11.3	6.9	4.8	2.7	46.7	2.9
	10･20歳代	127	46.5	16.5	4.7	4.7	7.1	1.6	38.6	0.8
	30歳代	176	46.0	18.2	8.0	4.5	2.8	1.1	40.3	1.1
	40歳代	231	47.6	15.6	18.6	10.4	5.6	3.9	30.7	0.9
	50歳代	273	42.9	12.8	15.8	9.9	4.8	4.0	39.9	1.8
	60歳代	246	25.6	12.2	10.6	6.5	4.9	2.8	52.4	3.3
	70歳代	210	12.9	9.5	8.6	5.2	3.8	2.4	62.4	4.3
	80歳以上	133	7.5	5.3	6.0	3.0	5.3	1.5	67.7	10.5

性・年齢別にみると、「備蓄していない」は男女とも 70 歳代以上で６割台となっている。「モバイルバッテリーを備蓄している」は女性の 10・20 歳代と 40 歳代で５割近く、女性の 30 歳代で４割半ばとなっている。「手回し発電機を備蓄している」は女性の 10・20 歳代と 30 歳代で２割近く、「小型ポータブル蓄電池を備蓄している」は男性の 50 歳代、女性の 40 歳代で２割近くとなっている。

（表８－４－１）

表８－４－２　非常用電力の備蓄について（ライフスタイル別）

（%）

		n	モバイルバッテリーを備蓄している	手回し発電機を備蓄している	小型ポータブル蓄電池を備蓄している	太陽光蓄電池を設置している	小型発電機を備蓄している	EV車などから電源を確保することができる	備蓄していない	無回答
全　体		2,477	31.3	11.8	11.6	7.5	4.2	2.9	48.2	2.7
ライフスタイル別	15～17歳	41	53.7	19.5	7.3	17.1	9.8	7.3	24.4	4.9
	独身（18～39歳）	294	38.4	15.0	7.1	4.8	6.1	1.4	46.9	1.4
	独身（40～64歳）	236	32.2	8.9	11.0	4.7	1.3	1.3	52.1	1.7
	独身（65歳以上）	173	12.1	5.8	4.0	4.0	1.7	1.2	69.4	5.8
	子どもあり（一番上が小学校入学前）	113	40.7	11.5	12.4	7.1	3.5	2.7	38.9	1.8
	子どもあり（一番上が小・中学生）	229	50.2	15.7	16.2	10.9	4.8	2.2	33.2	0.4
	子どもあり（一番上が高校・大学生など）	206	43.2	12.6	18.0	14.1	2.4	6.8	35.9	1.0
	子どもあり（一番上が学業修了）	374	27.3	13.4	14.7	9.1	5.9	2.9	47.6	3.7
	夫婦/パートナーのみ（本人が18～39歳）	87	39.1	12.6	4.6	2.3	4.6	2.3	47.1	－
	夫婦/パートナーのみ（本人が40～64歳）	211	37.0	13.7	17.1	6.2	5.7	2.8	39.8	1.9
	夫婦/パートナーのみ（本人が65歳以上）	364	16.8	8.2	10.4	8.0	3.3	3.8	59.1	4.1
	その他	112	12.5	8.9	7.1	3.6	4.5	5.4	62.5	5.4

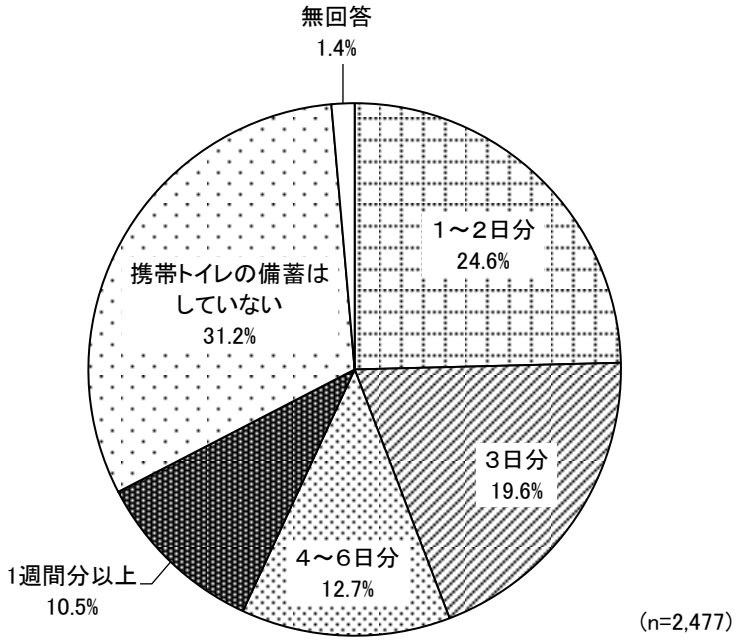
ライフスタイル別にみると、「備蓄していない」は独身（65 歳以上）でほぼ７割、その他で６割を超え、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）でほぼ６割となっている。「モバイルバッテリーを備蓄している」は 15～17 歳で５割を超え、子どもあり（一番上が小・中学生）で５割となっている。「手回し発電機を備蓄している」は 15～17 歳で２割、「小型ポータブル蓄電池を備蓄している」は子どもあり（一番上が高校・大学生など）と夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で２割近くとなっている。（表８－４－２）

（５）携帯トイレの備蓄について

◎「携帯トイレの備蓄はしていない」が３割を超える

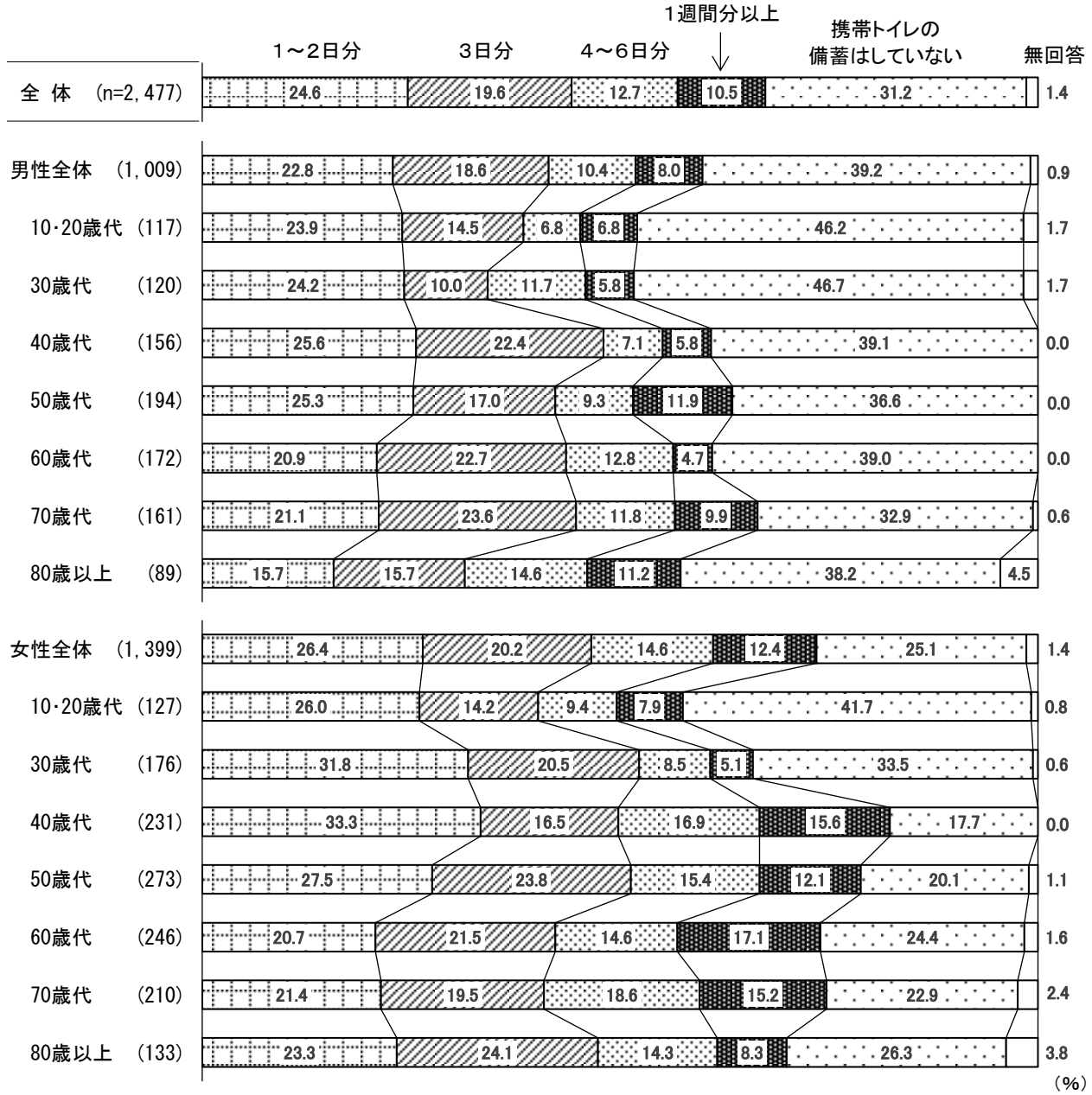
問２５　あなたのご家庭では、携帯トイレを何日分備蓄していますか。（○は１つ）
※備蓄の目安：１人１日約５回×家族分

図８－５－１



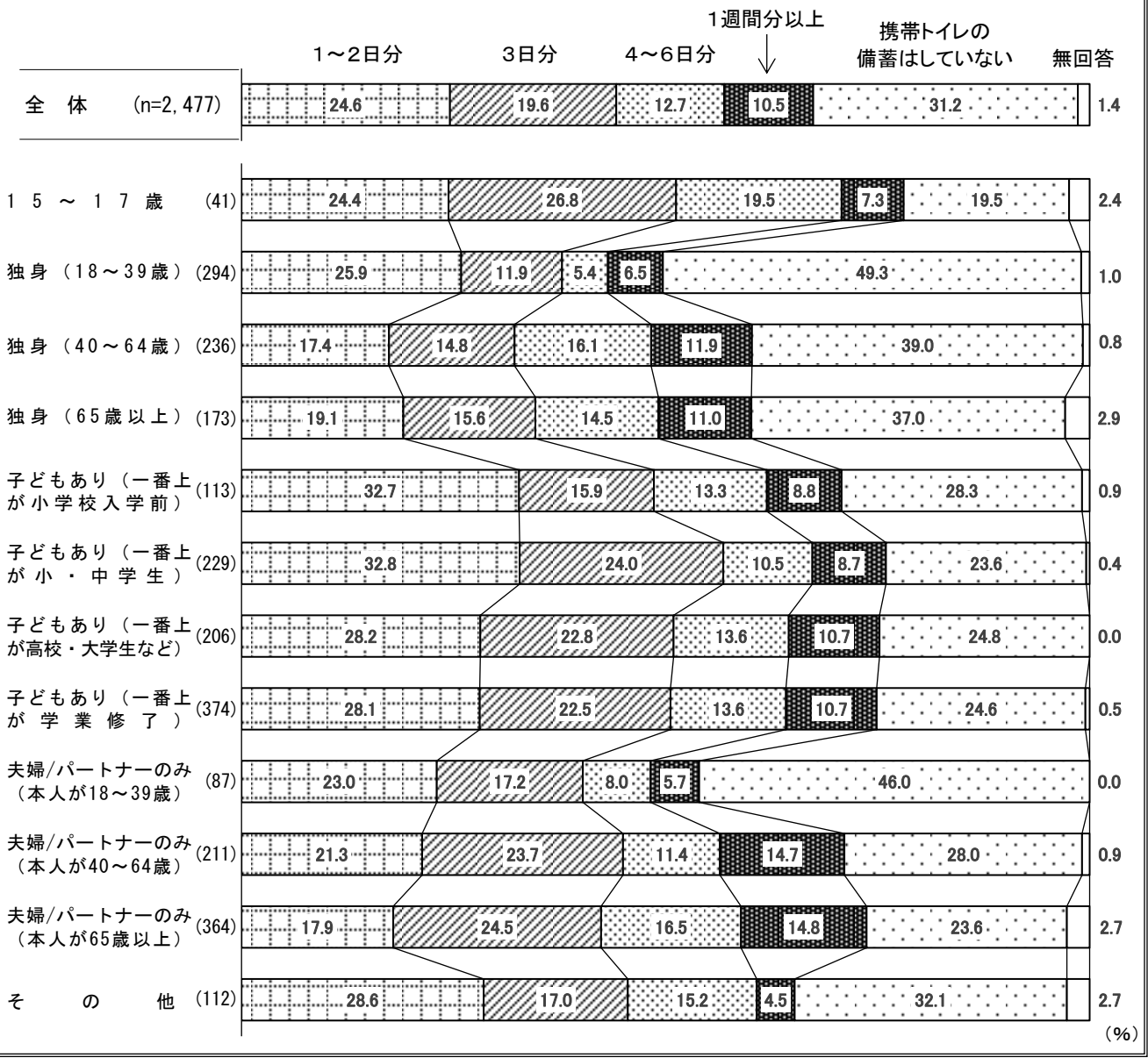
災害に備えて携帯トイレを何日分備蓄しているか聞いたところ、「携帯トイレの備蓄はしていない」（31.2%）が３割を超えて最も高い。備蓄している中では、「１～２日分」（24.6%）、「３日分」（19.6%）、「４～６日分」（12.7%）、「１週間分以上」（10.5%）と続く。（図８－５－１）

図８－５－２　携帯トイレの備蓄について（性・年齢別）



性・年齢別にみると、３日分以上（「３日分」＋「４～６日分」＋「１週間分以上」）の携帯トイレを備蓄している割合は、女性の 50 歳代～70 歳代で５割を超え、女性の 40 歳代と 80 歳以上で５割近くとなっている。「携帯トイレの備蓄はしていない」は男性の 30 歳代で５割近く、男性の 10・20 歳代で４割半ば、女性の 10・20 歳代で４割を超えている。（図８－５－２）

図８－５－３　携帯トイレの備蓄について（ライフスタイル別）



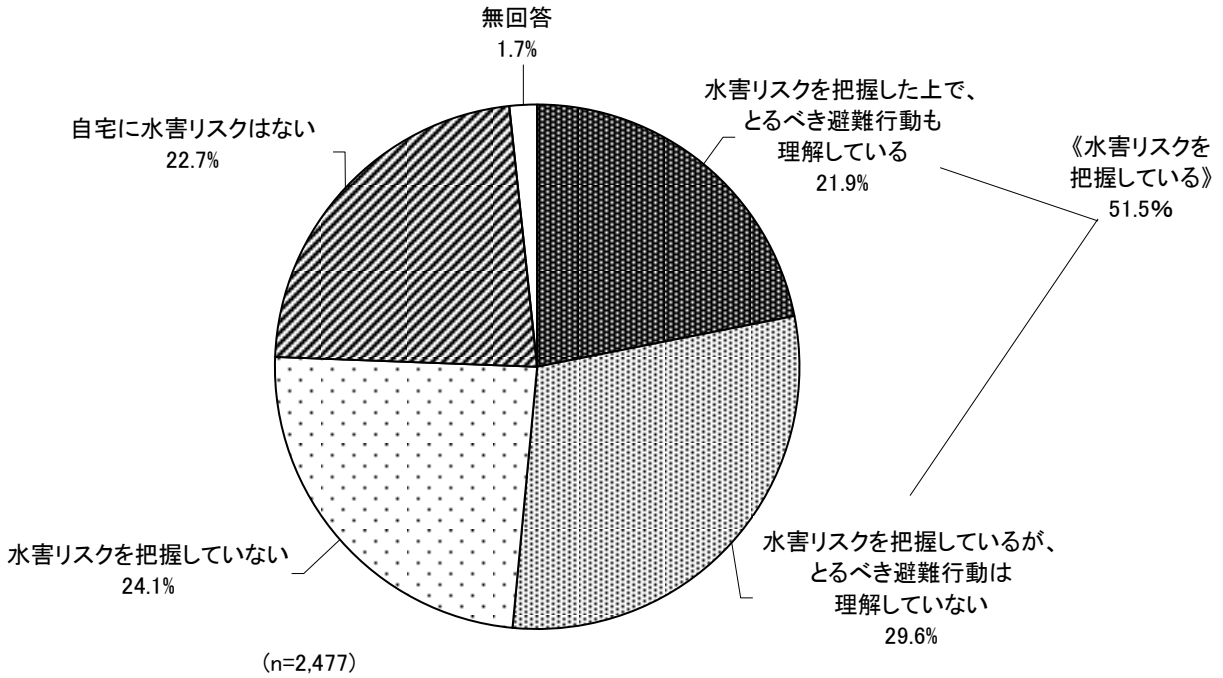
ライフスタイル別にみると、３日分以上（「３日分」＋「４～６日分」＋「１週間分以上」）の携帯トイレを備蓄している割合は、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で５割半ば、15～17 歳で５割を超え、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で５割となっている。「１～２日分」は子どもあり（一番上が小学校入学前）、子どもあり（一番上が小・中学生）で３割を超え、「携帯トイレの備蓄はしていない」は独身（18～39 歳）でほぼ５割、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で４割半ばとなっている。（図８－５－３）

（６）自宅の水害リスクの把握度

◎《水害リスクを把握している》が５割を超える

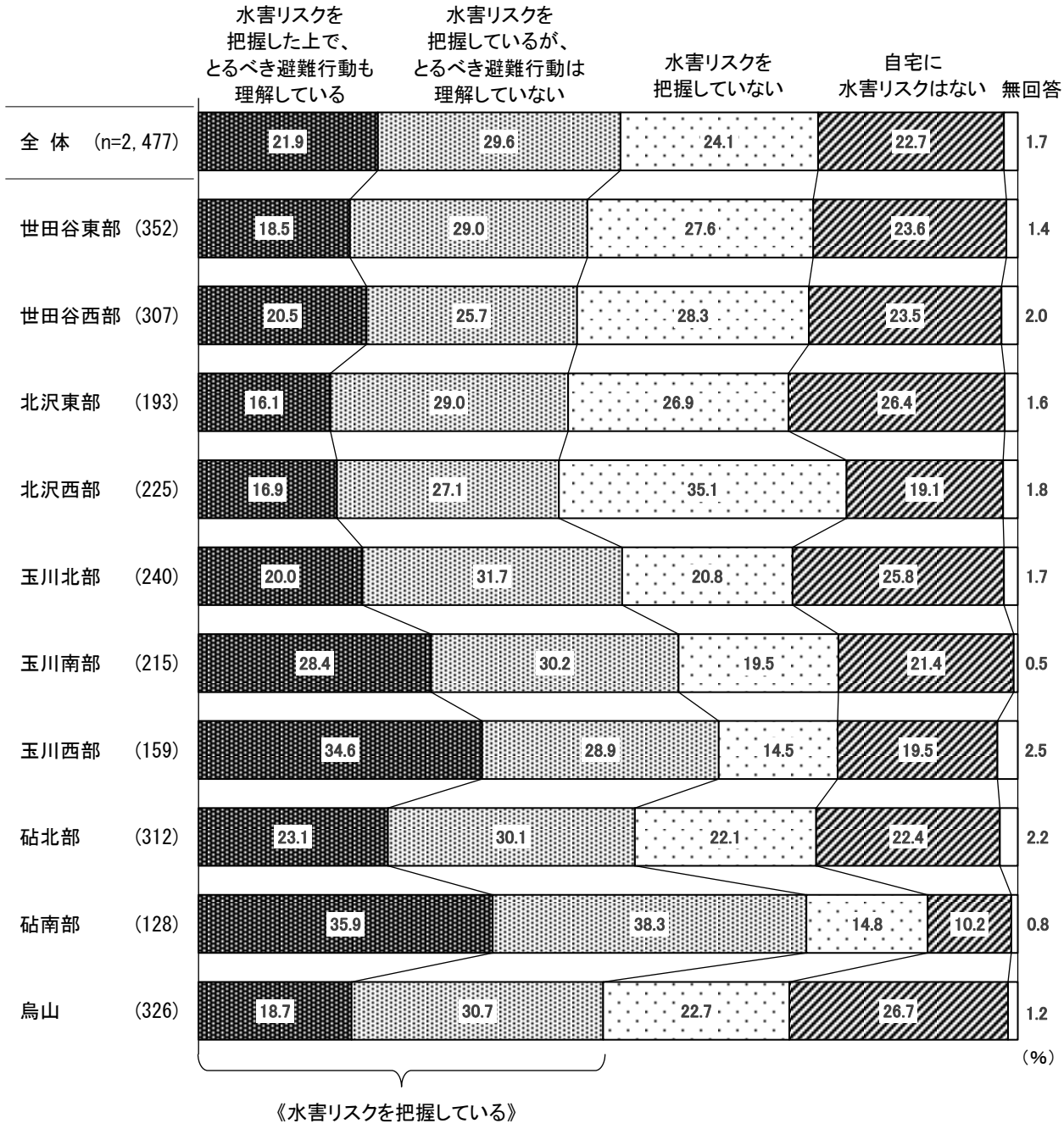
問２６　あなたは、ハザードマップ等により、ご自宅の水害リスクを把握していますか。
（○は１つ）

図８－６－１



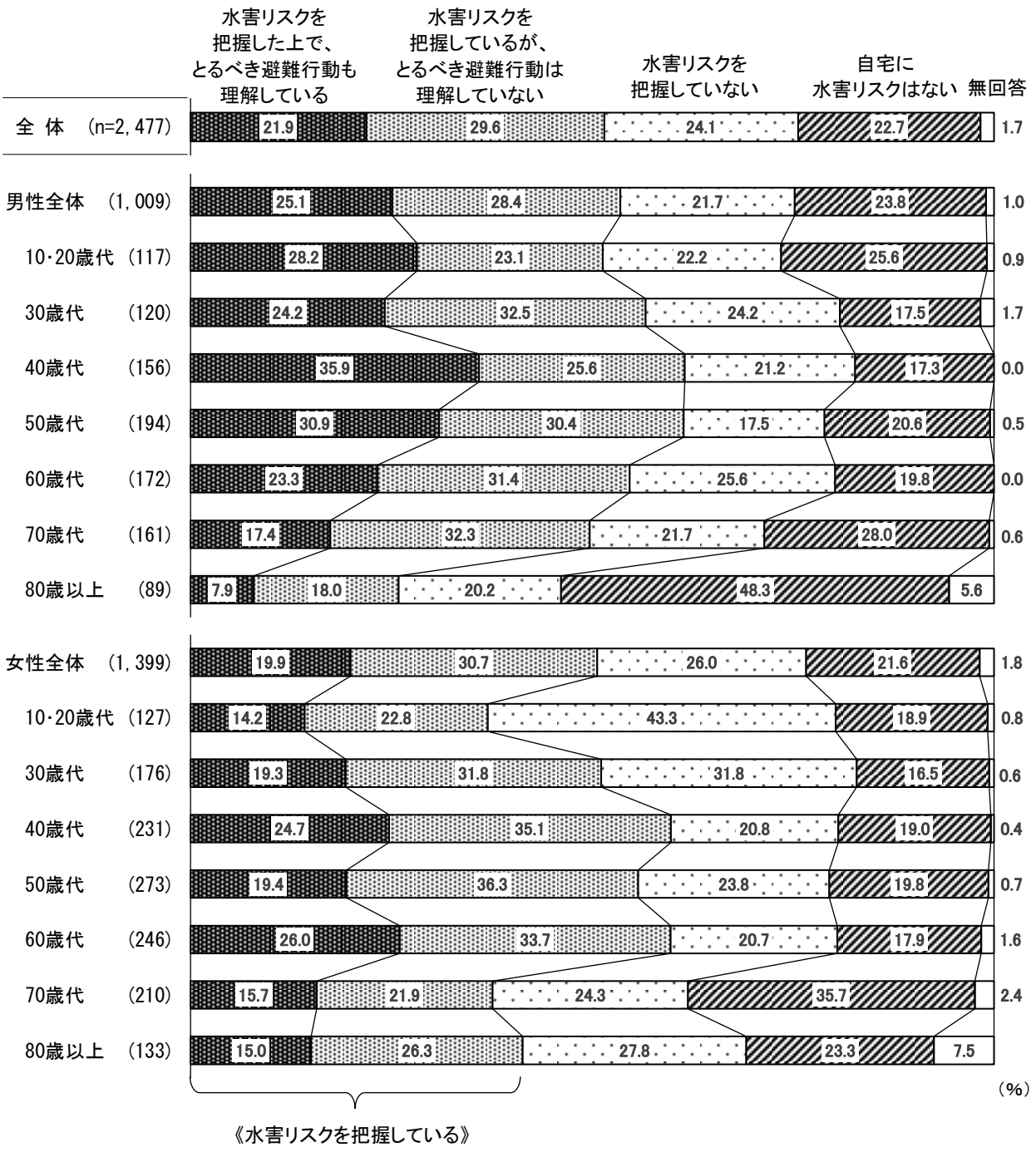
自宅の水害リスクを把握しているか聞いたところ、「水害リスクを把握しているが、とるべき避難行動は理解していない」（29.6%）が３割で最も高く、「水害リスクを把握した上で、とるべき避難行動も理解している」(21.9%)が２割を超え、両者を合わせた《水害リスクを把握している》(51.5%)が５割を超えている。「水害リスクを把握していない」（24.1%）は２割半ば、「自宅に水害リスクはない」（22.7%）は２割を超えている。（図８－６－１）

図８－６－２　自宅の水害リスクの把握度（地域別）



地域別にみると、《水害リスクを把握している》は砧南部で７割半ば、玉川西部で６割を超え、玉川南部で６割近くとなっている。「水害リスクを把握した上で、とるべき避難行動も理解している」は砧南部、玉川西部で３割半ばとなっている一方で、「水害リスクを把握しているが、とるべき避難行動は理解していない」は砧南部で４割近くとなっている。「水害リスクを把握していない」は北沢西部で３割半ばとなっている。（図８－６－２）

図８－６－３　自宅の水害リスクの把握度（性・年齢別）



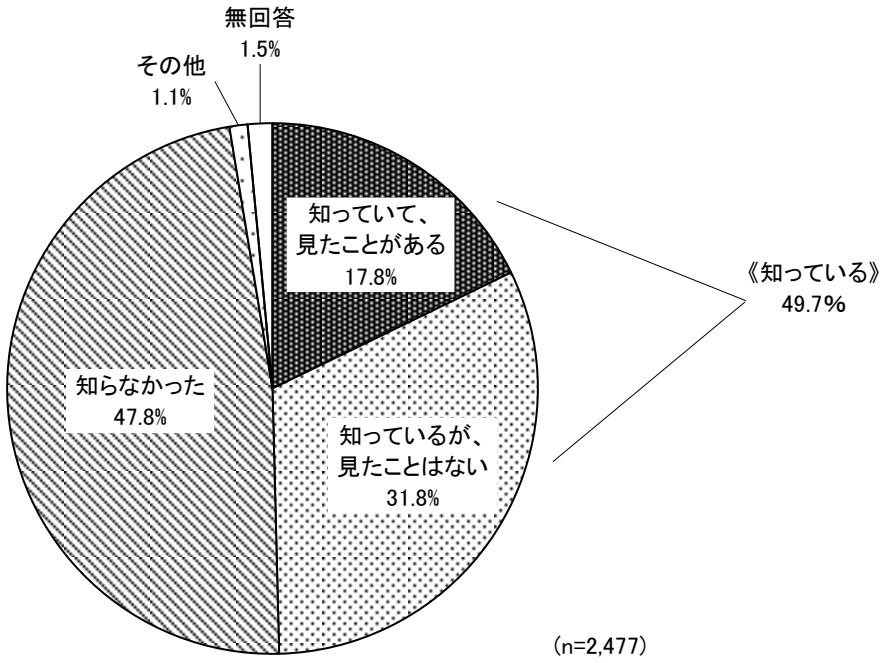
性・年齢別にみると、《水害リスクを把握している》は男性の 40 歳代と 50 歳代で６割を超え、女性の 40 歳代と 60 歳代で６割となっている。「水害リスクを把握した上で、とるべき避難行動も理解している」は男性の 40 歳代で３割半ば、男性の 50 歳代でほぼ３割となっている。「水害リスクを把握しているが、とるべき避難行動は理解していない」は女性の 40 歳代と 50 歳代で３割半ばとなっている。「水害リスクを把握していない」は女性の 10・20 歳代で４割を超え、女性の 30 歳代で３割を超えている。（図８－６－３）

（７）世田谷区防災ポータルの認知度

◎《知っている》が５割

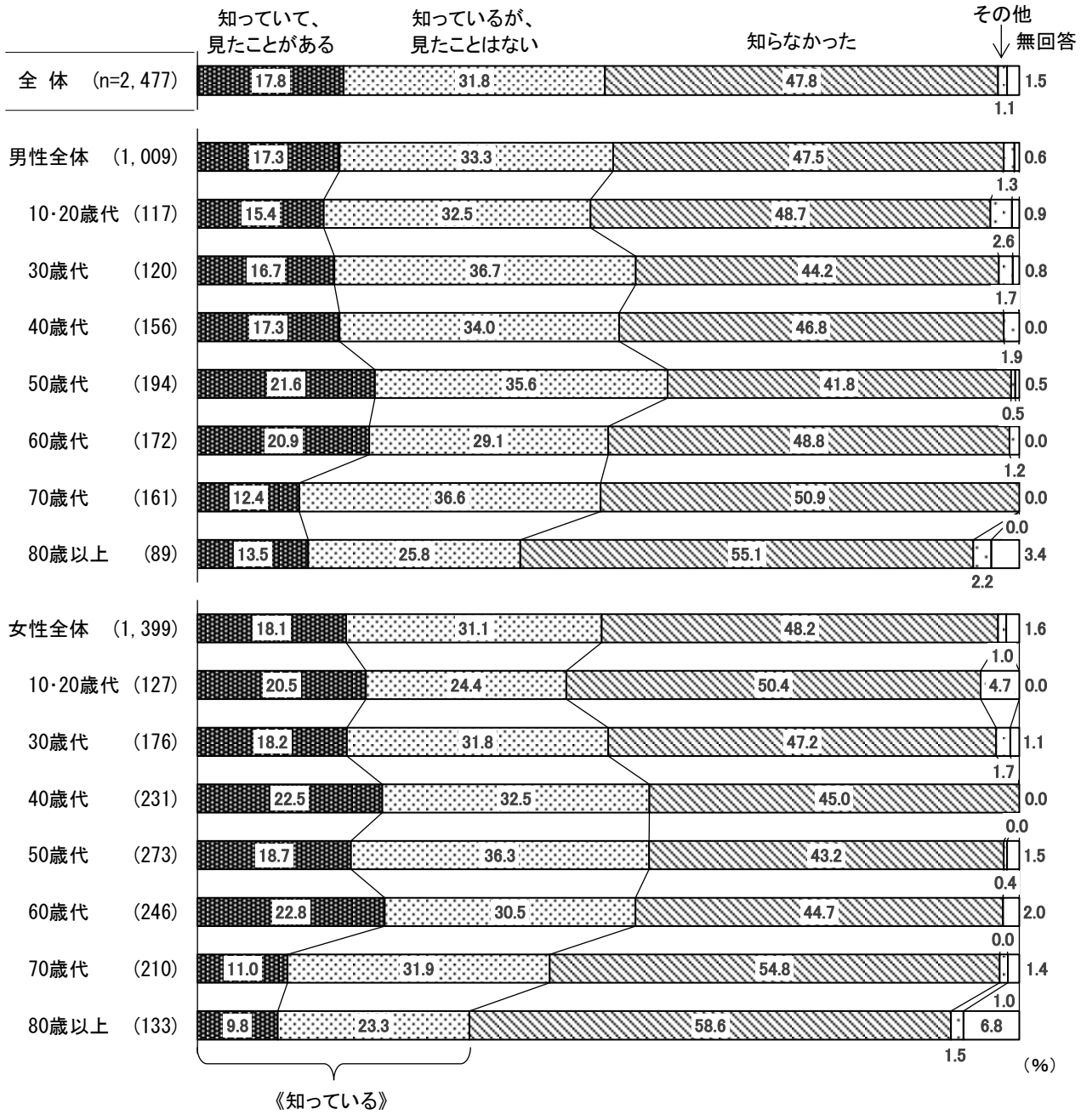
問２７　あなたは、世田谷区防災ポータルサイトのことを知っていますか。（○は１つ）

図８－７－１



世田谷区防災ポータルサイトの認知度を聞いたところ、「知っているが、見たことはない」(31.8%)と「知っていて、見たことがある」（17.8%）を合わせた《知っている》（49.7%）が５割となっている。一方、「知らなかった」（47.8%）は５割近くとなっている。（図８－７－１）

図８－７－２　世田谷区防災ポータルの認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《知っている》は男性の 50 歳代で６割近く、女性の 40 歳代と 50 歳代で５割半ばとなっている。「知っていて、見たことがある」は男性の 50 歳代、女性の 40 歳代と 60 歳代で２割を超えている。一方、「知らなかった」は女性の 80 歳以上で６割近く、男性の 80 歳以上、女性の 70 歳代で５割半ばとなっている。（図８－７－２）

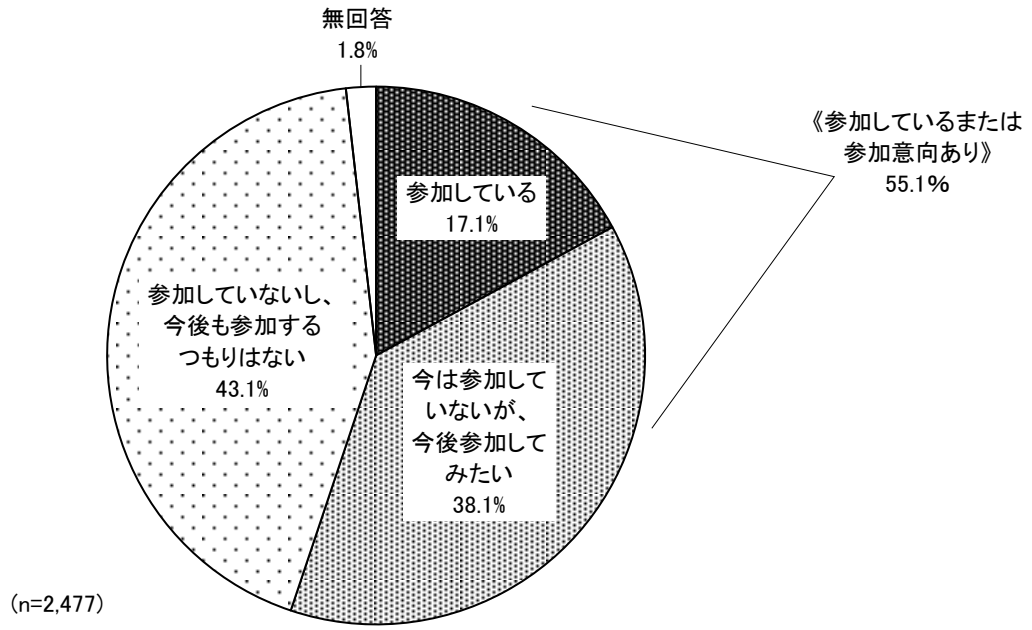
９．地域コミュニティ

（１）地域活動への参加経験・参加意向

◎《参加しているまたは参加意向あり》が５割半ば

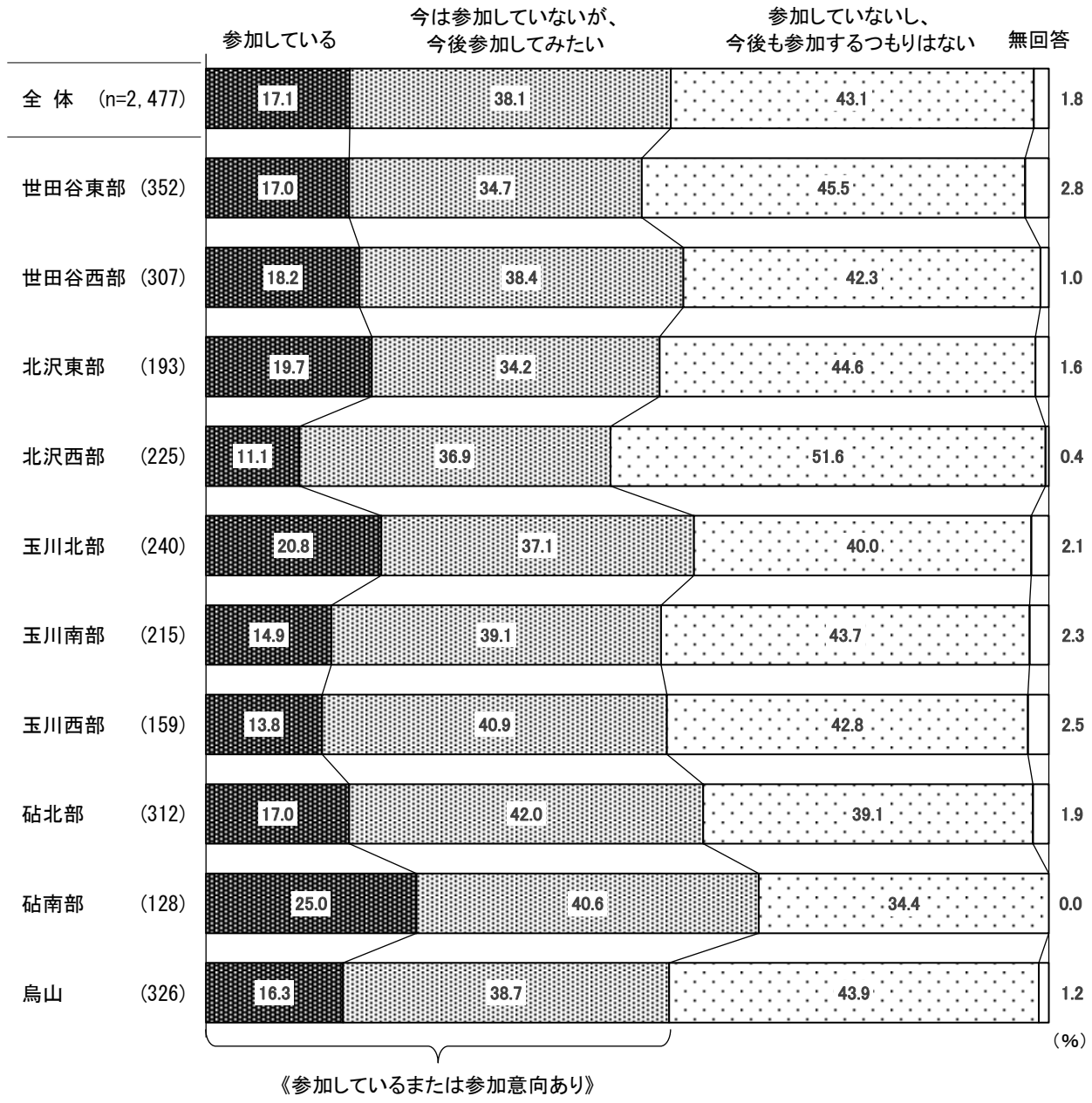
問２８　あなたは、身近な地域の活動に参加していますか。（○は１つ）

図９－１－１



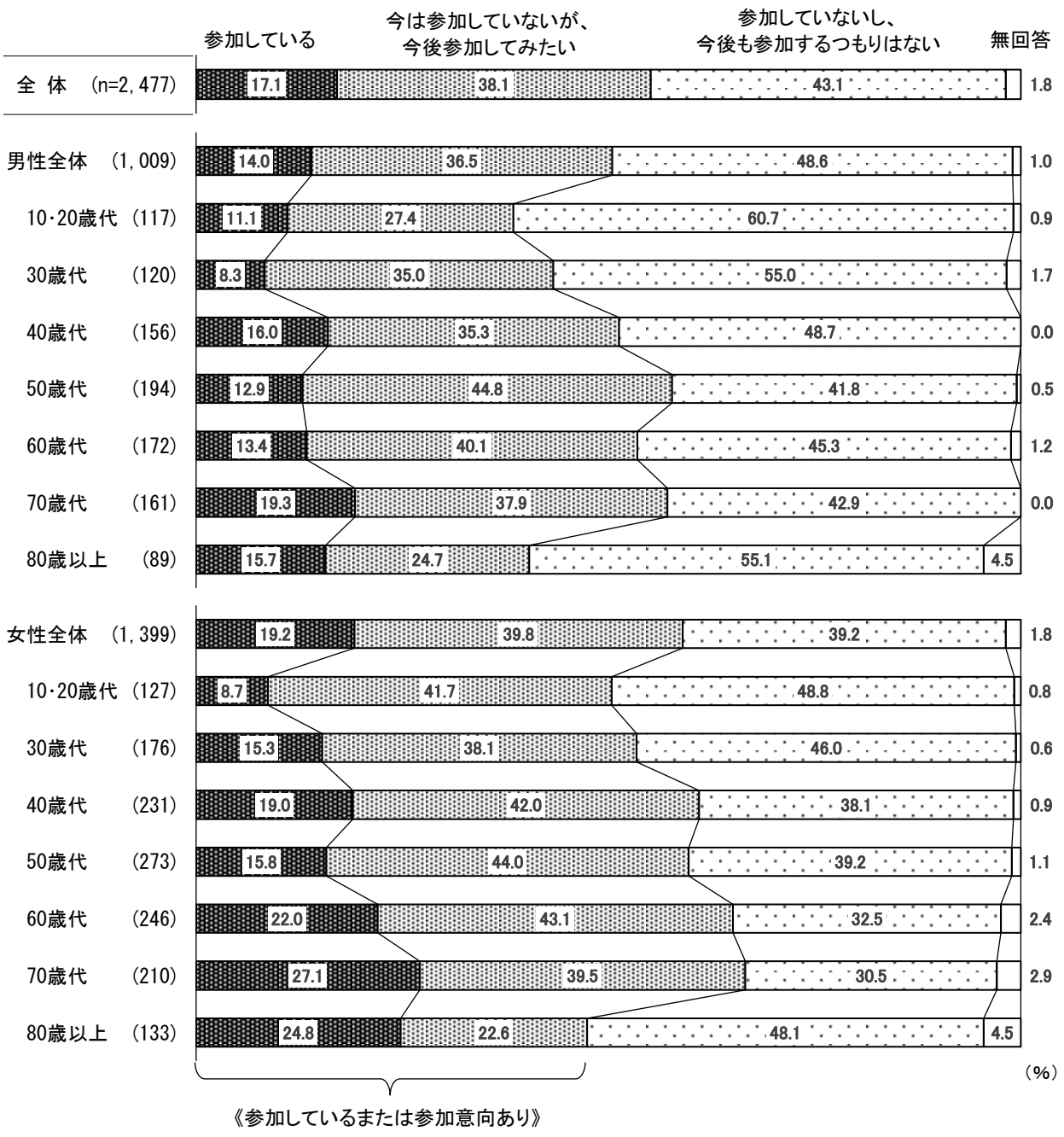
身近な地域の活動に参加しているかどうか聞いたところ、「参加している」（17.1%）と「今は参加していないが、今後参加してみたい」（38.1%）を合わせた《参加しているまたは参加意向あり》（55.1%）が５割半ばとなっている。「参加していないし、今後も参加するつもりはない」（43.1%）は４割を超えている。（図９－１－１）

図９－１－２　地域活動への参加経験・参加意向（地域別）



地域別にみると、「参加している」は砧南部で２割半ば、玉川北部でほぼ２割、北沢東部で２割、「今は参加していないが、今後参加してみたい」は砧北部で４割を超え、玉川西部、砧南部、玉川南部でほぼ４割となっている。《参加しているまたは参加意向あり》は砧南部で６割半ば、砧北部でほぼ６割、玉川北部、世田谷西部で６割近くとなっている。（図９－１－２）

図９－１－３　地域活動への参加経験・参加意向（性・年齢別）



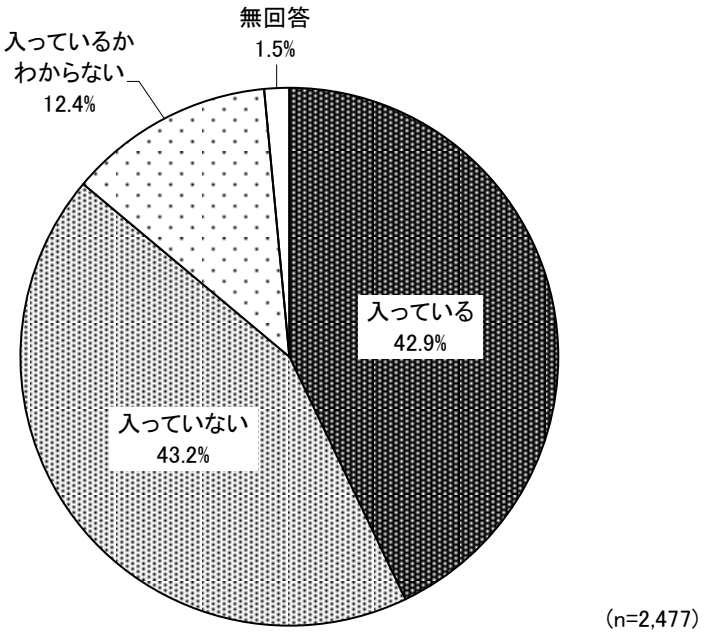
性・年齢別にみると、「参加している」は女性の 70 歳代で３割近く、女性の 80 歳以上で２割半ば、女性の 60 歳代で２割を超えている。「今は参加していないが、今後参加してみたい」は男女とも 50 歳代で４割半ばとなっている。《参加しているまたは参加意向あり》は女性の 70 歳代で７割近く、女性の 60 歳代で６割半ば、女性の 40 歳代で６割を超えている。（図９－１－３）

（２）町会・自治会への加入状況

◎「入っている」と「入っていない」がともに４割を超える

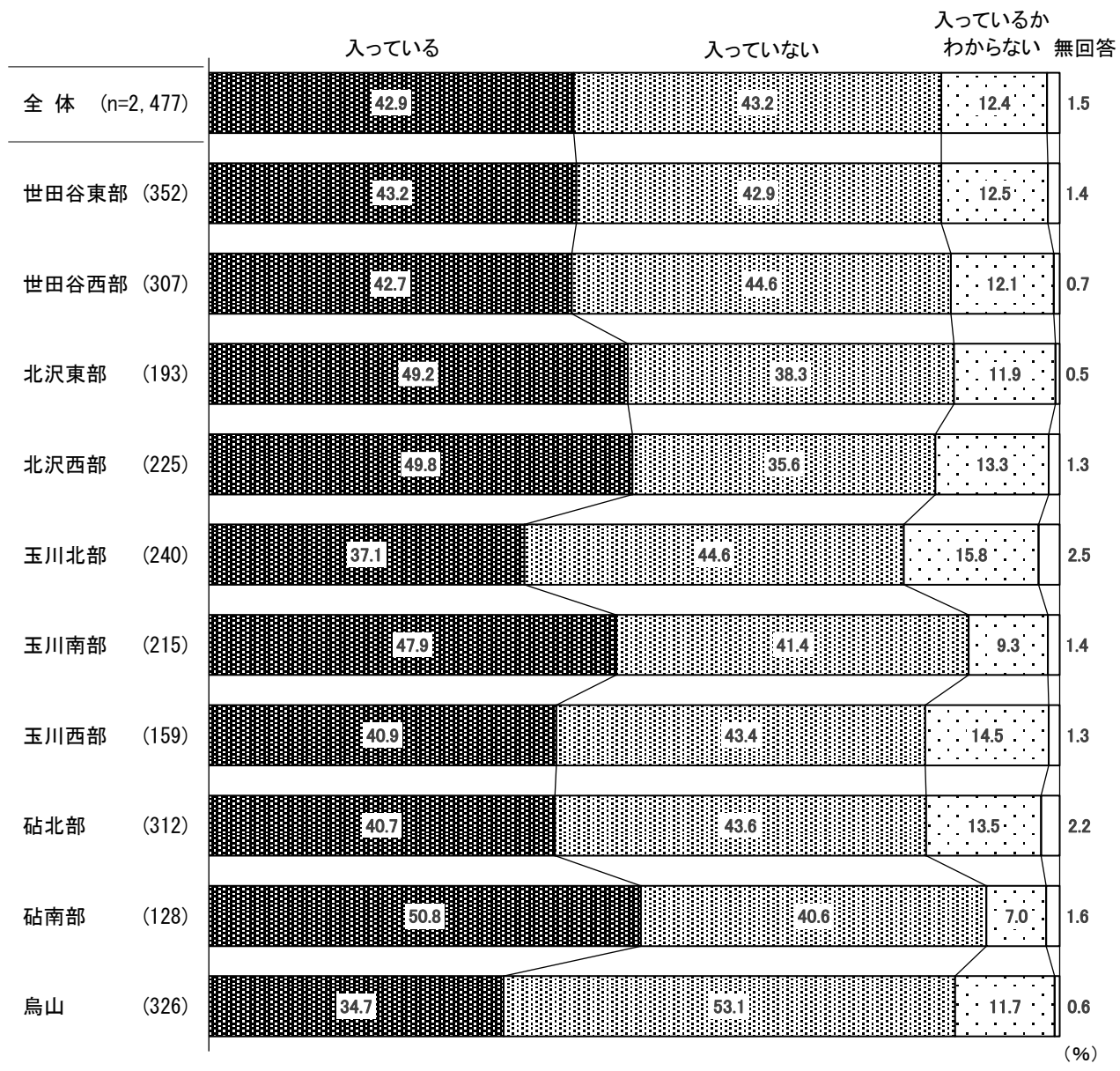
問２９　あなたは、町会・自治会に入っていますか。（○は１つ）

図９－２－１



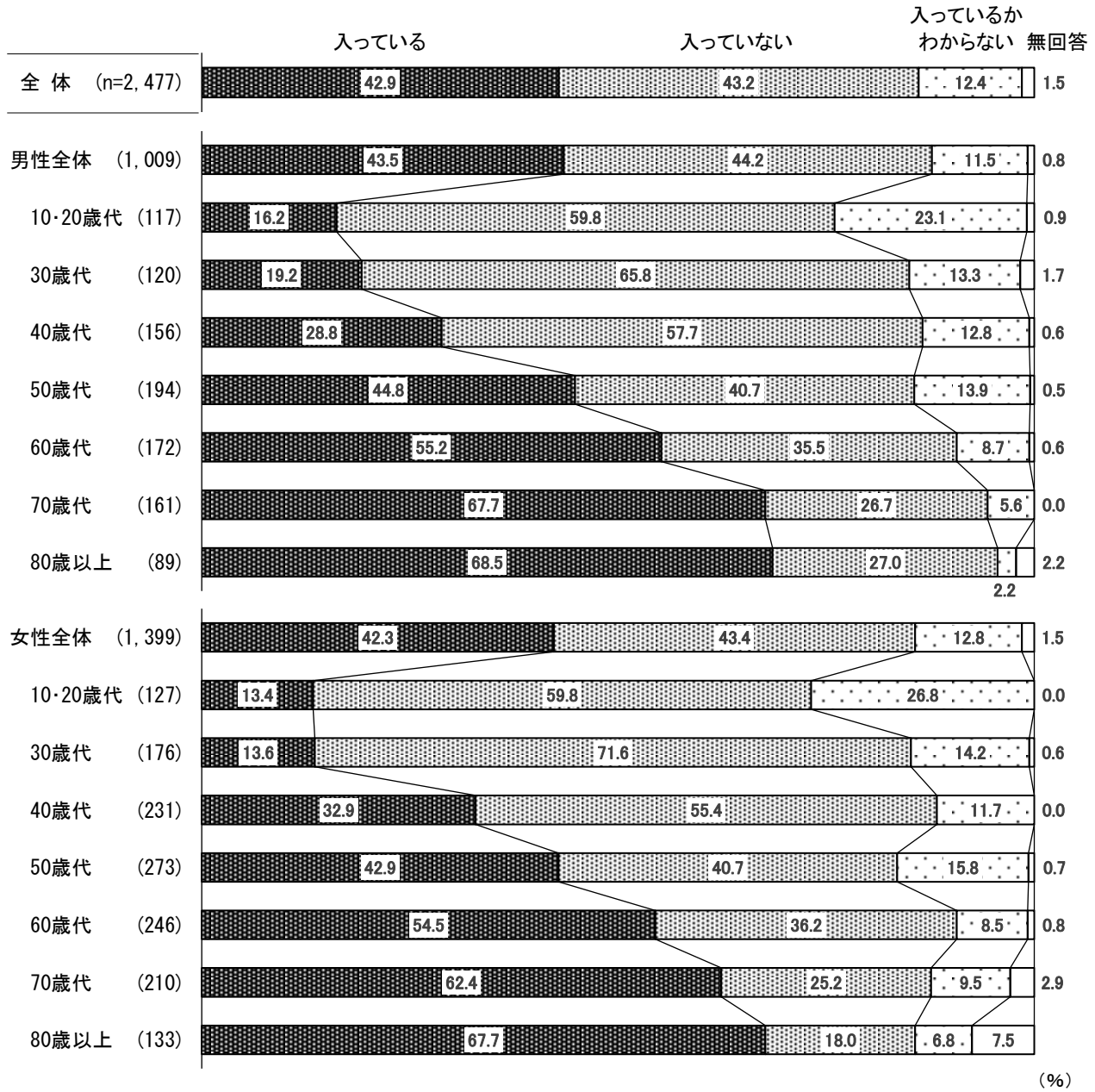
町会・自治会への加入状況を聞いたところ、「入っている」（42.9%）と「入っていない」（43.2%）がともに４割を超え、「入っているかわからない」（12.4%）が１割を超えている。（図９－２－１）

図９－２－２　町会・自治会への加入状況（地域別）



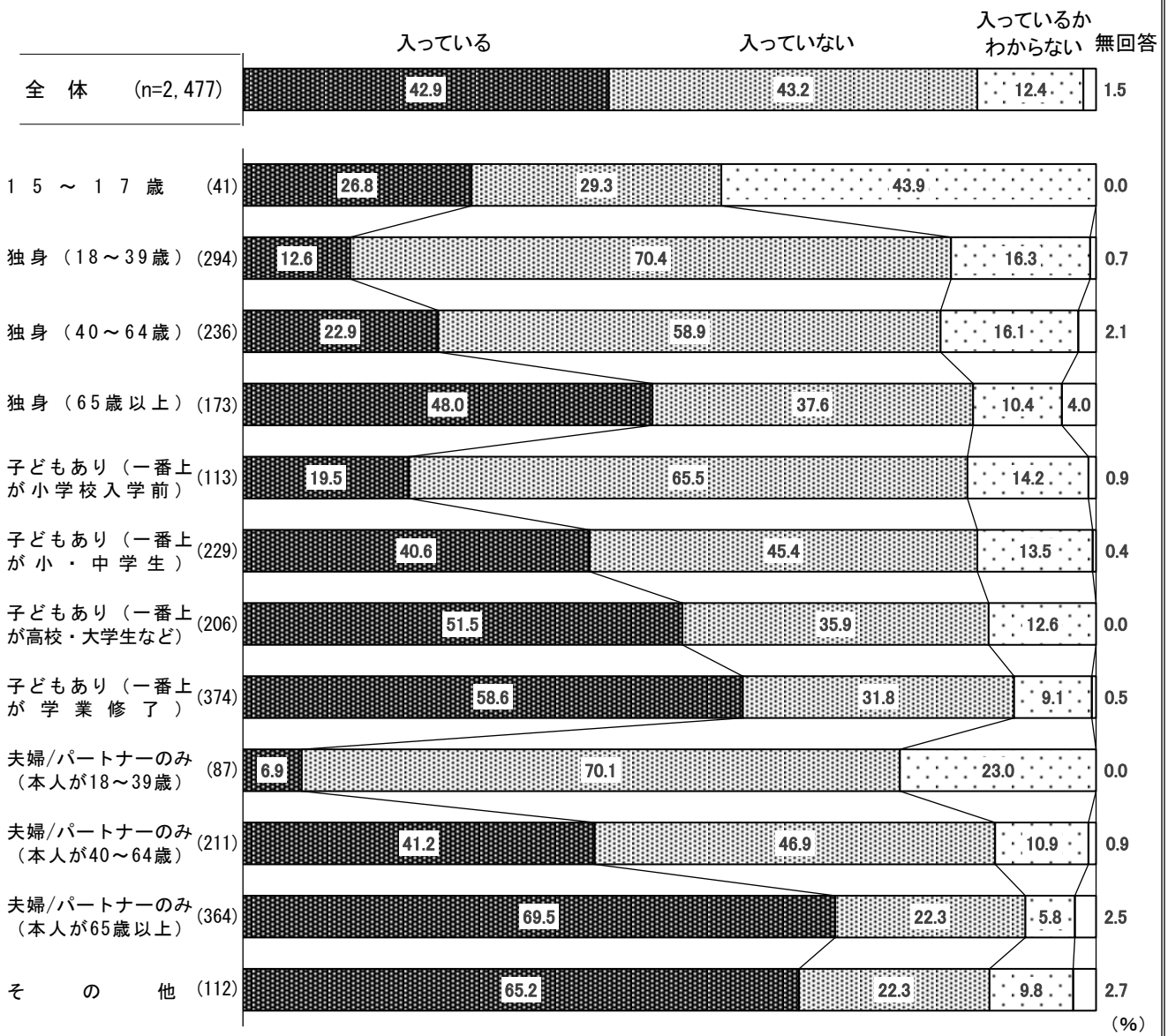
地域別にみると、「入っている」は砧南部、北沢西部、北沢東部で５割前後、玉川南部で５割近くとなっている。「入っていない」は烏山で５割を超えている。（図９－２－２）

図９－２－３　町会・自治会への加入状況（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「入っている」は年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、男女とも 70 歳代以上で６割台、60 歳代で５割半ばとなっている。「入っていない」は女性の 30 歳代で７割を超え、男性の 30 歳代で６割半ばとなっている。（図９－２－３）

図９－２－４　町会・自治会への加入状況（ライフスタイル別）



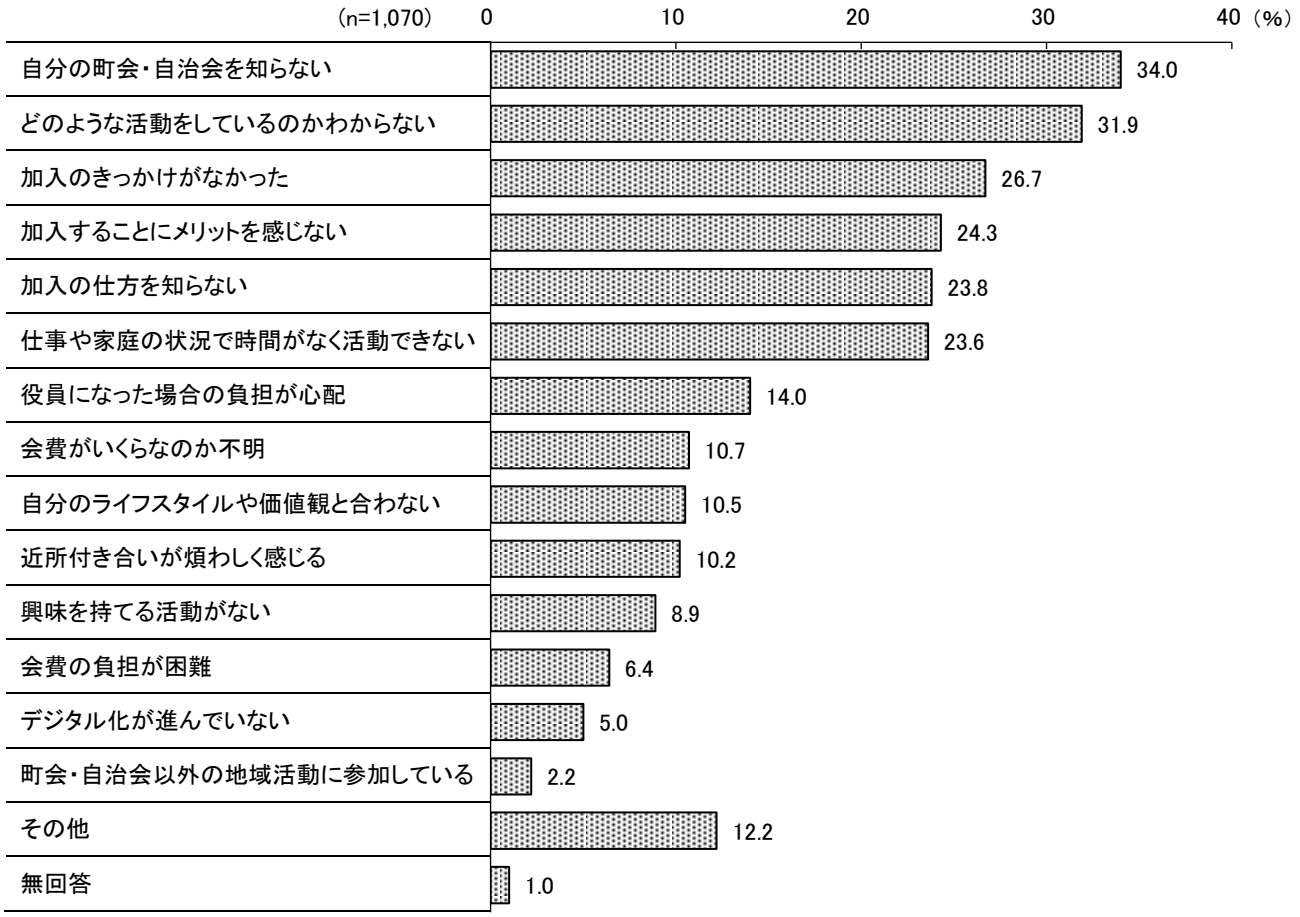
ライフスタイル別にみると、「入っている」は夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で７割、その他で６割半ば、子どもあり（一番上が学業修了）で６割近くとなっている。「入っていない」は独身（18～39 歳）と夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で７割、子どもあり（一番上が小学校入学前）で６割半ばとなっている。（図９－２－４）

（３）町会・自治会に加入しない理由

◎「自分の町会・自治会を知らない」が３割半ば

（問２９で「入っていない」と答えた方に）
問２９－１　町会・自治会に入っていない理由は何ですか。（○はいくつでも）

図９－３－１



町会・自治会に「入っていない」と答えた方（1,070 人）に、入っていない理由を聞いたところ、「自分の町会・自治会を知らない」（34.0%）が３割半ばで最も高く、以下、「どのような活動をしているのかわからない」（31.9%）、「加入のきっかけがなかった」（26.7%）、「加入することにメリットを感じない」（24.3%）、「加入の仕方を知らない」（23.8%）、「仕事や家庭の状況で時間がなく活動できない」（23.6%）などと続く。（図９－３－１）

表９－３－１　町会・自治会に加入しない理由（地域別）

（%）

		n	自分の町会・自治会を知らない	どのような活動をしているのかわからない	加入のきっかけがなかった	加入することにメリットを感じない	加入の仕方を知らない	仕事や家庭の状況で時間がなく活動できない	役員になった場合の負担が心配	会費がいくらなのか不明	自分のライフスタイルや価値観と合わない	近所付き合いが煩わしく感じる	興味を持てる活動がない	会費の負担が困難	デジタル化が進んでいない	町会・自治会以外の地域活動に参加している	その他	無回答
全　体		1,070	34.0	31.9	26.7	24.3	23.8	23.6	14.0	10.7	10.5	10.2	8.9	6.4	5.0	2.2	12.2	1.0
地域別	世田谷東部	151	33.1	36.4	30.5	23.8	25.2	22.5	8.6	9.9	13.2	11.9	6.6	6.6	5.3	2.0	12.6	1.3
	世田谷西部	137	37.2	36.5	22.6	22.6	19.7	28.5	13.1	12.4	11.7	10.2	9.5	8.8	6.6	0.7	13.1	－
	北沢東部	74	31.1	32.4	24.3	21.6	29.7	23.0	13.5	10.8	17.6	9.5	10.8	5.4	5.4	4.1	9.5	－
	北沢西部	80	27.5	31.3	20.0	23.8	18.8	18.8	12.5	11.3	2.5	7.5	7.5	7.5	1.3	1.3	10.0	3.8
	玉川北部	107	41.1	36.4	27.1	25.2	26.2	28.0	17.8	9.3	6.5	9.3	13.1	3.7	5.6	1.9	10.3	1.9
	玉川南部	89	38.2	28.1	23.6	21.3	19.1	22.5	13.5	6.7	9.0	13.5	5.6	6.7	3.4	2.2	6.7	3.4
	玉川西部	69	34.8	31.9	24.6	23.2	24.6	27.5	11.6	14.5	10.1	11.6	11.6	4.3	8.7	－	15.9	－
	砧北部	136	26.5	24.3	22.8	24.3	23.5	20.6	12.5	6.6	8.8	8.8	8.8	2.2	4.4	5.9	10.3	－
	砧南部	52	23.1	25.0	40.4	30.8	25.0	23.1	23.1	13.5	11.5	9.6	11.5	5.8	9.6	5.8	21.2	－
	烏山	173	38.7	30.6	31.8	27.2	26.0	22.0	17.9	12.7	12.1	9.8	7.5	9.8	2.3	0.6	15.0	0.6

地域別にみると、「自分の町会・自治会を知らない」は玉川北部で４割を超え、烏山、玉川南部、世田谷西部で４割近くとなっている。「どのような活動をしているのかわからない」は世田谷西部で４割近く、世田谷東部、玉川北部で３割半ば、「加入のきっかけがなかった」は砧南部で４割となっている。（表９－３－１）

表９－３－２　町会・自治会に加入しない理由（性・年齢別）

（%）

		n	自分の町会・自治会を知らない	どのような活動をしているのかわからない	加入のきっかけがなかった	加入することにメリットを感じない	加入の仕方を知らない	仕事や家庭の状況で時間がなく活動できない	役員になった場合の負担が心配	会費がいくらなのか不明	自分のライフスタイルや価値観と合わない	近所付き合いが煩わしく感じる	興味を持てる活動がない	会費の負担が困難	デジタル化が進んでいない	町会・自治会以外の地域活動に参加している	その他	無回答
全　体		1,070	34.0	31.9	26.7	24.3	23.8	23.6	14.0	10.7	10.5	10.2	8.9	6.4	5.0	2.2	12.2	1.0
性・年齢別	男性全体	446	32.1	32.5	28.7	25.6	23.1	23.3	13.0	10.8	11.4	12.1	11.9	6.5	4.9	2.9	11.4	1.1
	10･20歳代	70	21.4	31.4	35.7	22.9	22.9	14.3	10.0	10.0	8.6	5.7	14.3	8.6	4.3	－	15.7	1.4
	30歳代	79	29.1	39.2	40.5	35.4	31.6	24.1	10.1	15.2	13.9	12.7	15.2	10.1	10.1	2.5	5.1	1.3
	40歳代	90	32.2	31.1	28.9	25.6	24.4	37.8	21.1	8.9	15.6	13.3	4.4	3.3	5.6	2.2	6.7	1.1
	50歳代	79	39.2	34.2	27.8	24.1	29.1	22.8	8.9	8.9	6.3	13.9	11.4	6.3	3.8	3.8	12.7	－
	60歳代	61	39.3	24.6	18.0	23.0	18.0	23.0	13.1	11.5	9.8	13.1	16.4	8.2	3.3	－	14.8	1.6
	70歳代	43	25.6	34.9	14.0	27.9	11.6	16.3	16.3	11.6	18.6	16.3	16.3	2.3	2.3	14.0	16.3	－
	80歳以上	24	41.7	29.2	25.0	8.3	4.2	8.3	8.3	8.3	4.2	8.3	4.2	4.2	－	－	16.7	4.2
	女性全体	607	35.7	31.5	25.5	23.2	24.7	23.9	14.3	10.5	9.9	8.2	6.6	6.3	4.8	1.6	13.0	1.0
	10･20歳代	76	25.0	35.5	36.8	19.7	23.7	23.7	3.9	7.9	5.3	3.9	5.3	2.6	3.9	－	13.2	－
	30歳代	126	31.0	41.3	37.3	31.7	32.5	30.2	14.3	15.9	14.3	11.1	7.9	8.7	4.8	0.8	2.4	1.6
	40歳代	128	41.4	29.7	21.1	23.4	30.5	27.3	18.8	9.4	9.4	7.0	5.5	6.3	6.3	1.6	11.7	－
	50歳代	111	40.5	22.5	20.7	15.3	25.2	26.1	20.7	10.8	7.2	12.6	6.3	3.6	5.4	1.8	14.4	0.9
	60歳代	89	43.8	34.8	19.1	24.7	18.0	22.5	12.4	11.2	11.2	4.5	6.7	10.1	4.5	3.4	12.4	1.1
	70歳代	53	37.7	24.5	18.9	15.1	11.3	9.4	7.5	5.7	9.4	5.7	7.5	5.7	1.9	1.9	26.4	1.9
	80歳以上	24	8.3	20.8	12.5	37.5	8.3	－	16.7	4.2	12.5	12.5	8.3	4.2	4.2	4.2	41.7	4.2

性・年齢別にみると、「自分の町会・自治会を知らない」は女性の 40 歳代と 60 歳代で４割を超え、男性の 50 歳代と 60 歳代、女性の 50 歳代でほぼ４割となっている。「どのような活動をしているのかわからない」は女性の 30 歳代で４割を超え、男性の 30 歳代でほぼ４割、「加入のきっかけがなかった」は男性の 30 歳代でほぼ４割となっている。（表９－３－２）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

表９－３－３　町会・自治会に加入しない理由（ライフスタイル別）

（%）

		n	自分の町会・自治会を知らない	どのような活動をしているのかわからない	加入のきっかけがなかった	加入することにメリットを感じない	加入の仕方を知らない	仕事や家庭の状況で時間がなく活動できない	役員になった場合の負担が心配	会費がいくらなのか不明	自分のライフスタイルや価値観と合わない	近所付き合いが煩わしく感じる	興味を持てる活動がない	会費の負担が困難	デジタル化が進んでいない	町会・自治会以外の地域活動に参加している	その他	無回答
全体		1,070	34.0	31.9	26.7	24.3	23.8	23.6	14.0	10.7	10.5	10.2	8.9	6.4	5.0	2.2	12.2	1.0
ライフスタイル別	15～17歳	12	16.7	41.7	41.7	25.0	50.0	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	－	16.7	－
	独身（18～39歳）	207	24.2	34.8	38.6	23.7	27.1	19.3	8.2	9.7	9.7	7.2	11.1	5.8	5.8	1.0	10.6	1.4
	独身（40～64歳）	139	45.3	36.0	21.6	19.4	28.1	20.1	11.5	12.9	11.5	10.8	6.5	7.9	2.2	1.4	9.4	－
	独身（65歳以上）	65	32.3	32.3	9.2	16.9	4.6	12.3	4.6	9.2	12.3	7.7	6.2	4.6	1.5	3.1	26.2	1.5
	子どもあり（一番上が小学校入学前）	74	32.4	28.4	32.4	32.4	25.7	32.4	10.8	6.8	9.5	8.1	5.4	5.4	4.1	1.4	6.8	－
	子どもあり（一番上が小・中学生）	104	27.9	29.8	25.0	26.9	22.1	32.7	19.2	8.7	11.5	11.5	5.8	5.8	5.8	1.9	10.6	－
	子どもあり（一番上が高校・大学生など）	74	29.7	21.6	25.7	28.4	21.6	31.1	18.9	8.1	8.1	18.9	12.2	2.7	6.8	2.7	10.8	－
	子どもあり（一番上が学業修了）	119	37.0	29.4	21.8	24.4	19.3	28.6	23.5	10.1	10.9	10.9	13.4	6.7	5.0	4.2	12.6	0.8
	夫婦/パートナーのみ（本人が18～39歳）	61	39.3	60.7	39.3	42.6	39.3	39.3	14.8	31.1	16.4	16.4	13.1	18.0	9.8	1.6	－	1.6
	夫婦/パートナーのみ（本人が40～64歳）	99	49.5	29.3	24.2	17.2	33.3	23.2	20.2	9.1	8.1	6.1	4.0	3.0	5.1	1.0	14.1	1.0
	夫婦/パートナーのみ（本人が65歳以上）	81	34.6	23.5	23.5	22.2	9.9	11.1	11.1	6.2	7.4	4.9	9.9	6.2	1.2	3.7	19.8	2.5
	その他	25	24.0	12.0	12.0	16.0	20.0	12.0	20.0	12.0	16.0	24.0	8.0	8.0	8.0	－	28.0	8.0

ライフスタイル別にみると、「自分の町会・自治会を知らない」は夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で５割、独身（40～64 歳）で４割半ばとなっている。「どのような活動をしているのかわからない」は夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）でほぼ６割、「加入のきっかけがなかった」は夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）でほぼ４割、独身（18～39 歳）で４割近く、「加入することにメリットを感じない」は夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で４割を超えている。

（表９－３－３）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

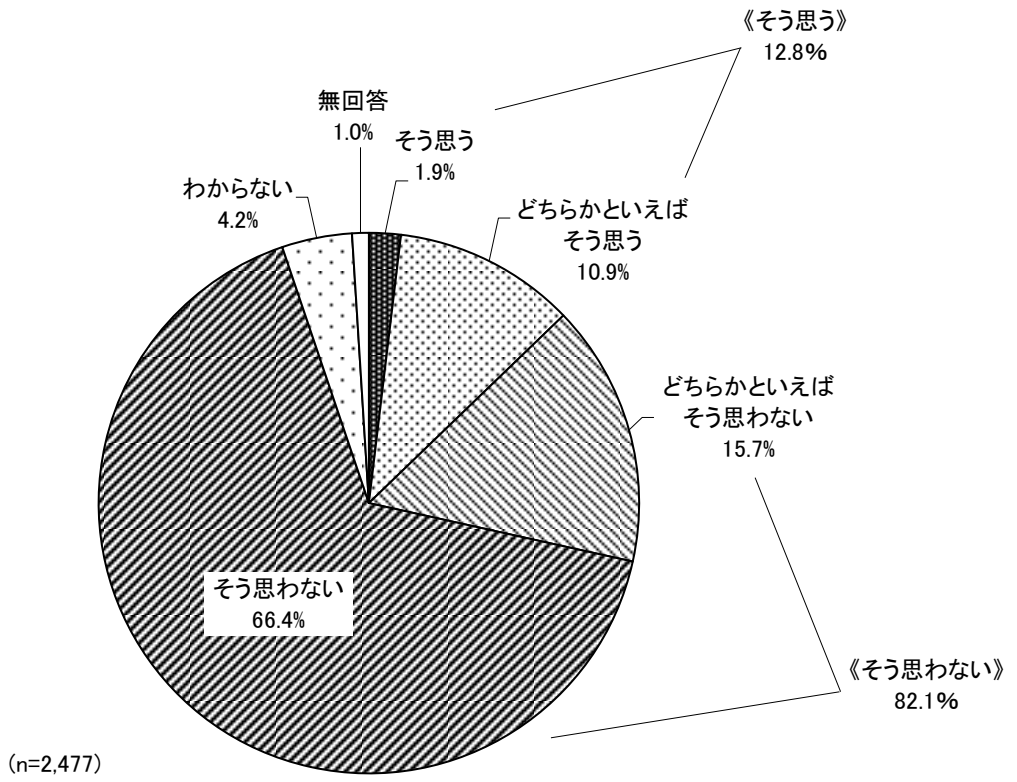
10. 男女共同参画

（１）「男は仕事、女は家庭」という考え方について

◎《そう思わない》が８割を超える

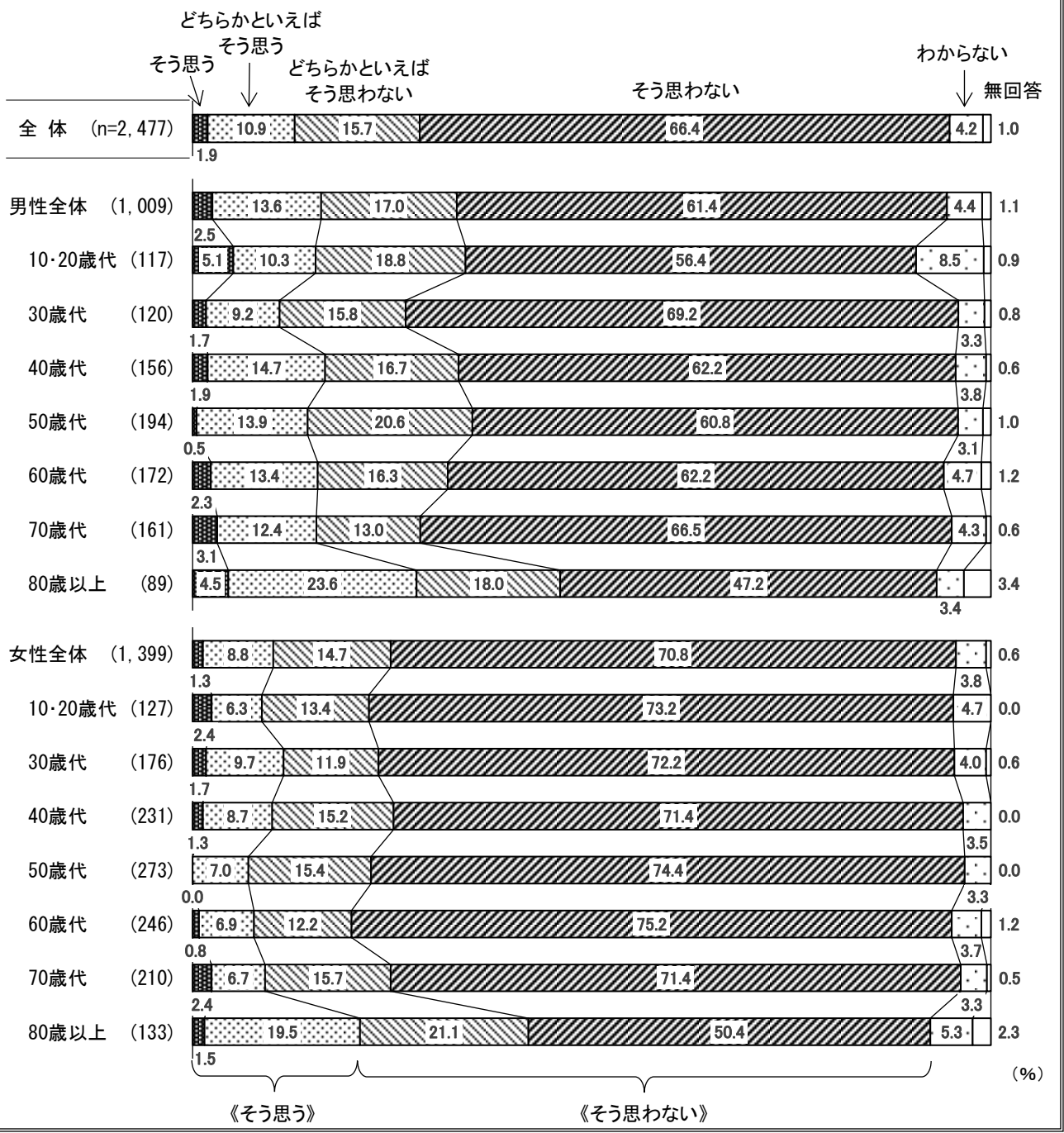
問３０　あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方には共感しますか。（○は１つ）

図１０－１－１



「男は仕事、女は家庭」という考え方に共感するかを聞いたところ、「そう思わない」（66.4%）が６割半ばで最も高く、「どちらかといえばそう思わない」（15.7%）と合わせた《そう思わない》（82.1%）が８割を超えている。一方、「どちらかといえばそう思う」（10.9%）と「そう思う」（1.9%）を合わせた《そう思う》（12.8%）は１割を超えている。（図１０－１－１）

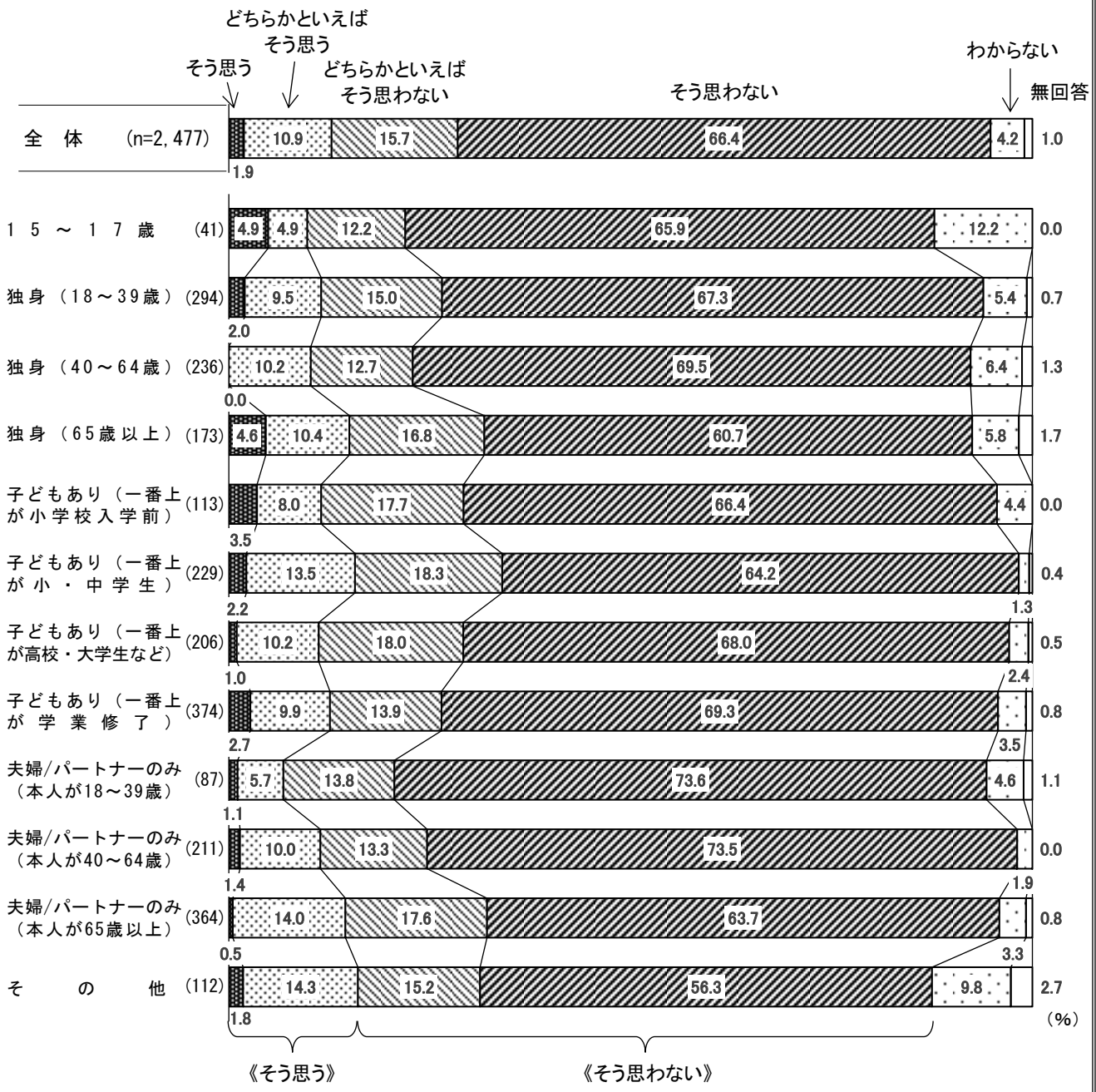
図１０－１－２　「男は仕事、女は家庭」という考え方について（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《そう思う》は男女ともに 80 歳以上が高く、男性の 80 歳以上で３割近く、女性の 80 歳以上で２割を超えている。一方、《そう思わない》は女性の 50 歳代で９割、女性の 10・20 歳代、40 歳代、60 歳代、70 歳代で９割近く、男女とも 30 歳代で８割半ばとなっている。

（図１０－１－２）

図１０－１－３　「男は仕事、女は家庭」という考え方について（ライフスタイル別）



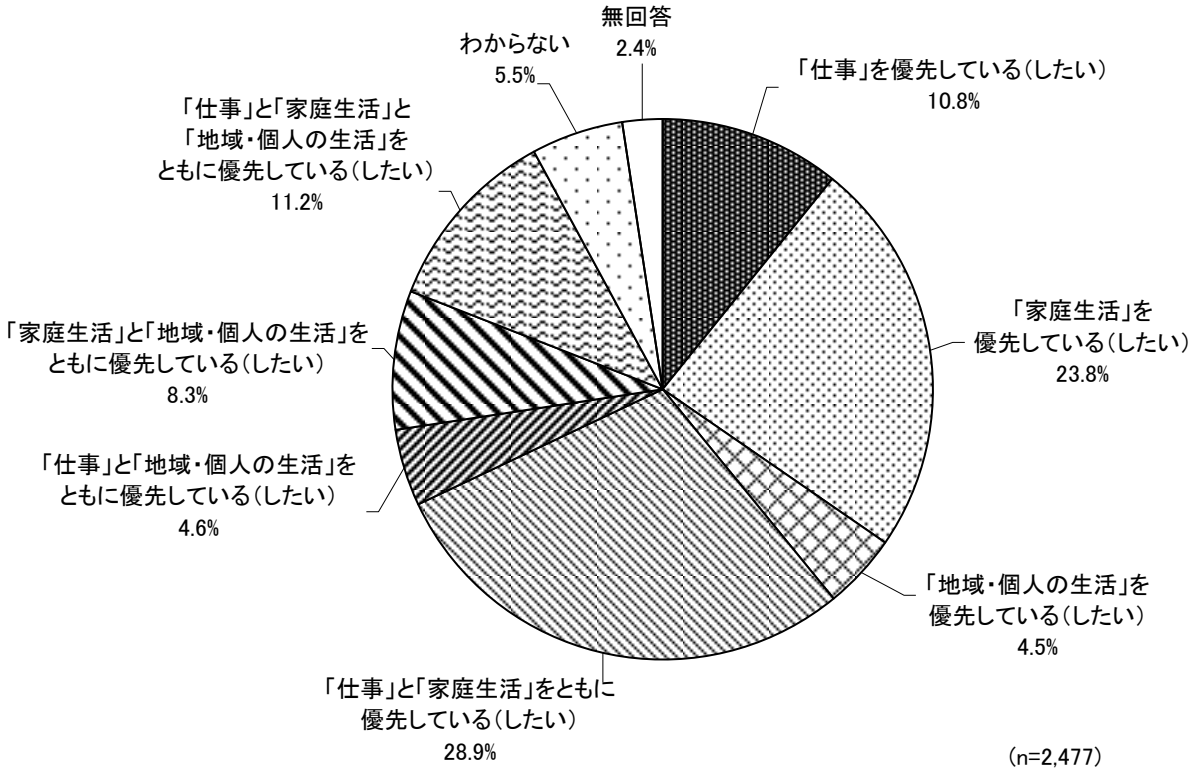
ライフスタイル別にみると、《そう思う》は独身（65 歳以上）、子どもあり（一番上が小・中学生）、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）、その他で１割半ばとなっている。一方、《そう思わない》は夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で９割近く、子どもあり（一番上が小学校入学前）、子どもあり（一番上が高校・大学生など）で８割半ばとなっている。（図１０－１－３）

（２）「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度

◎「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（したい）」が３割近く

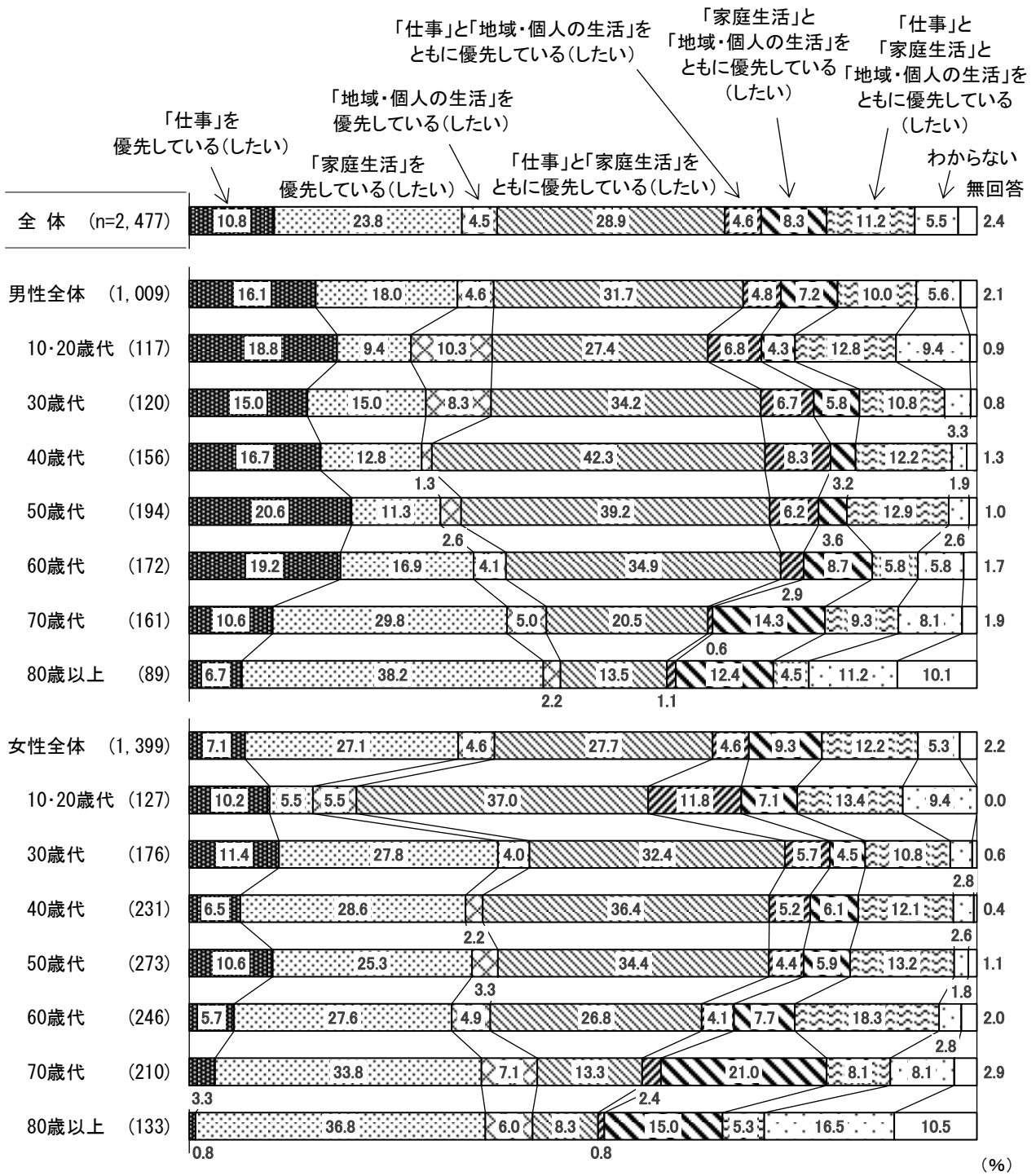
問３１　あなたの生活の中で「仕事」、「家庭生活（家族と過ごすこと、家事、育児、介護など）」、「地域・個人の生活（地域・社会活動、学習・研修、趣味、娯楽、スポーツなど）」の優先度についておたずねします。あなたの現状に近いものはどれですか（現在学生の方は、将来の希望についてお答えください）。（○は１つ）

図１０－２－１



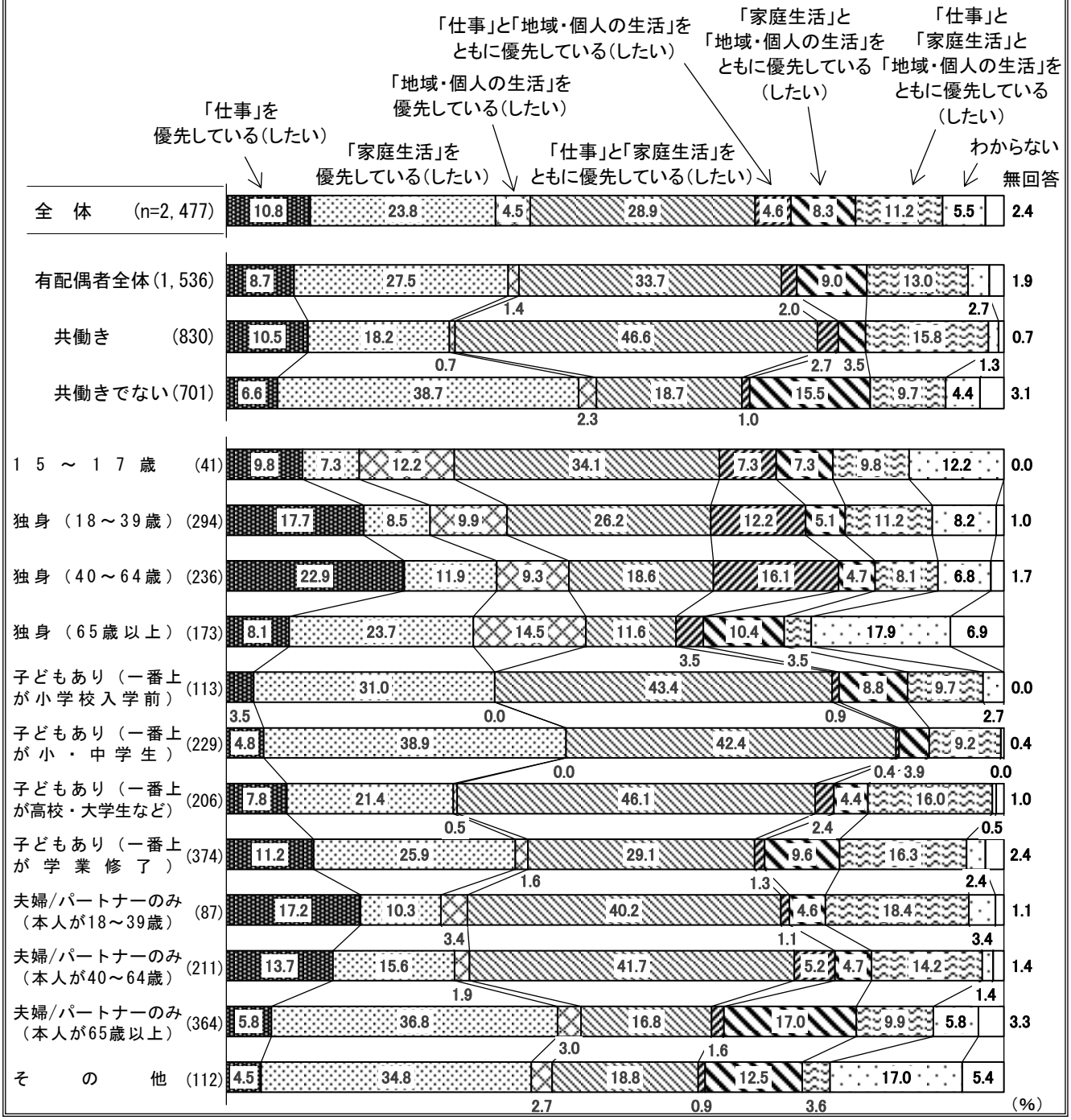
「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度を聞いたところ、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（したい）」（28.9%）が３割近くで最も高く、以下、「「家庭生活」を優先している（したい）」（23.8%）、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している（したい）」（11.2%）、「「仕事」を優先している（したい）」（10.8%）などと続く。（図１０－２－１）

図１０－２－２　「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（したい）」は男性の 40 歳代で４割を超え、男性の 50 歳代でほぼ４割、女性の 10・20 歳代で４割近くとなっている。「「家庭生活」を優先している（したい）」は男女とも 80 歳以上で４割近く、女性の 70 歳代で３割を超えている。「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している（したい）」は女性の 60 歳代で２割近く、「「仕事」を優先している（したい）」は男性の 50 歳代と 60 歳代でほぼ２割、男性の 10・20 歳代と 40 歳代で２割近くとなっている。（図１０－２－２）

図１０－２－３　「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度
（共働きの有無別・ライフスタイル別）



共働きの有無別にみると、共働き世帯は「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（したい）」が５割近くで最も高く、共働きでない世帯は「「家庭生活」を優先している（したい）」が４割近くで最も高くなっている。

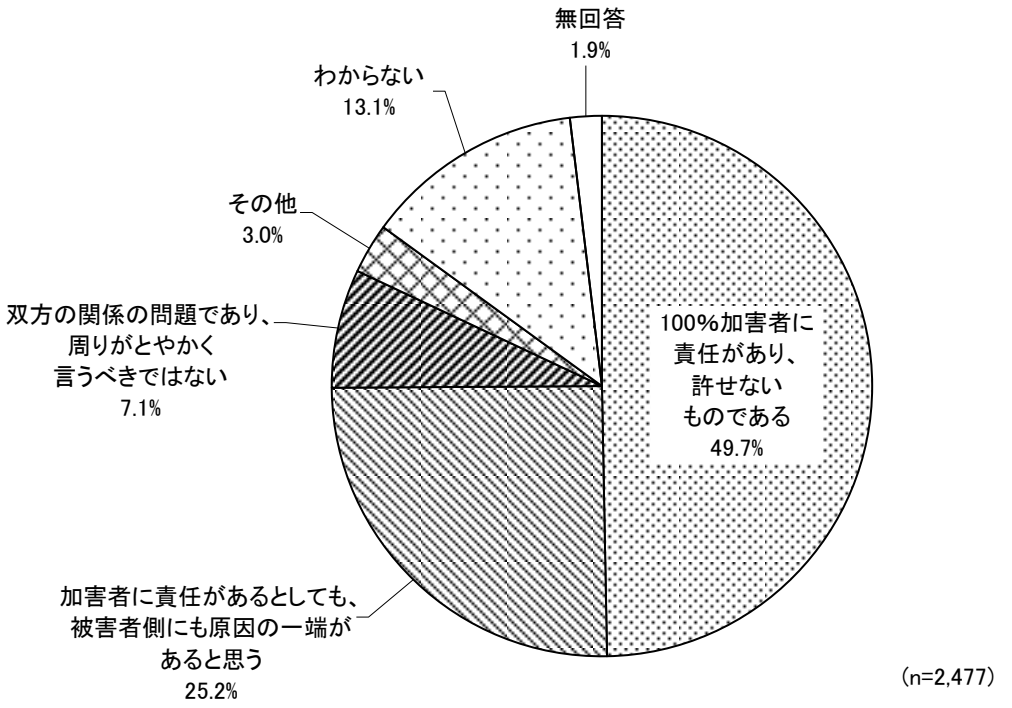
ライフスタイル別にみると、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している（したい）」は子どもあり（一番上が高校・大学生など）で４割半ば、子どもあり（一番上が小学校入学前）、子どもあり（一番上が小・中学生）、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で４割を超えている。「「家庭生活」を優先している（したい）」は子どもあり（一番上が小・中学生）と夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で４割近くとなっている。（図１０－２－３）

（３）「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方

◎「100%加害者に責任があり、許せないものである」が５割

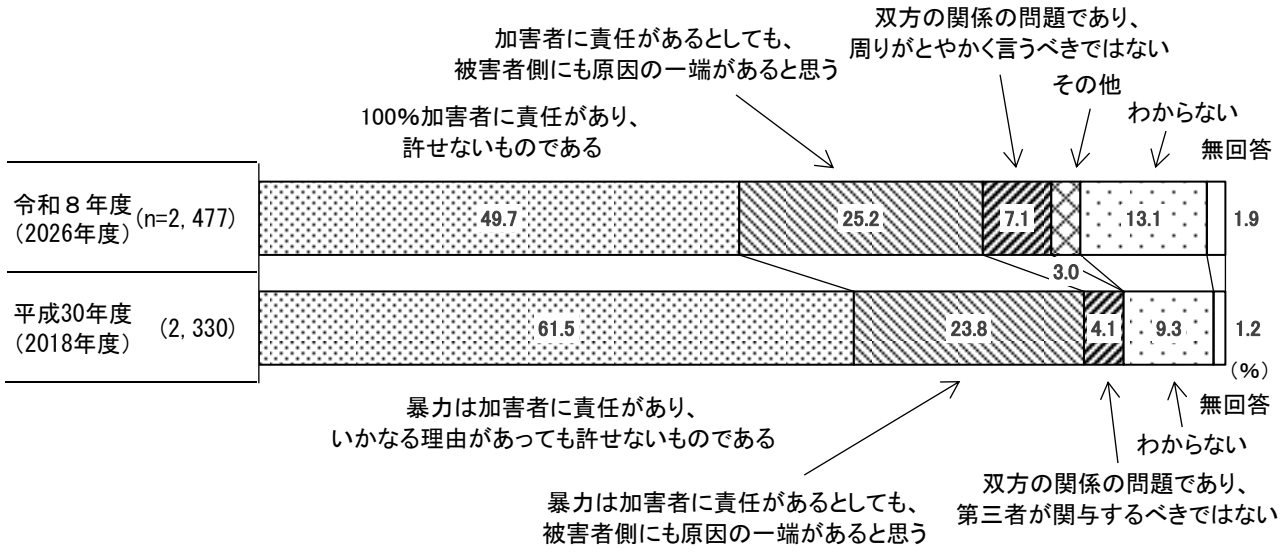
問３２　あなたは、「ドメスティック・バイオレンス」について、どのようにお考えですか。
（○は１つ）

図１０－３－１



ドメスティック・バイオレンスに対する考え方について聞いたところ、「100%加害者に責任があり、許せないものである」（49.7%）が５割で最も高く、「加害者に責任があるとしても、被害者側にも原因の一端があると思う」（25.2%）が２割半ば、「双方の関係の問題であり、周りがとやかく言うべきではない」（7.1%）が１割近くとなっている。（図１０－３－１）

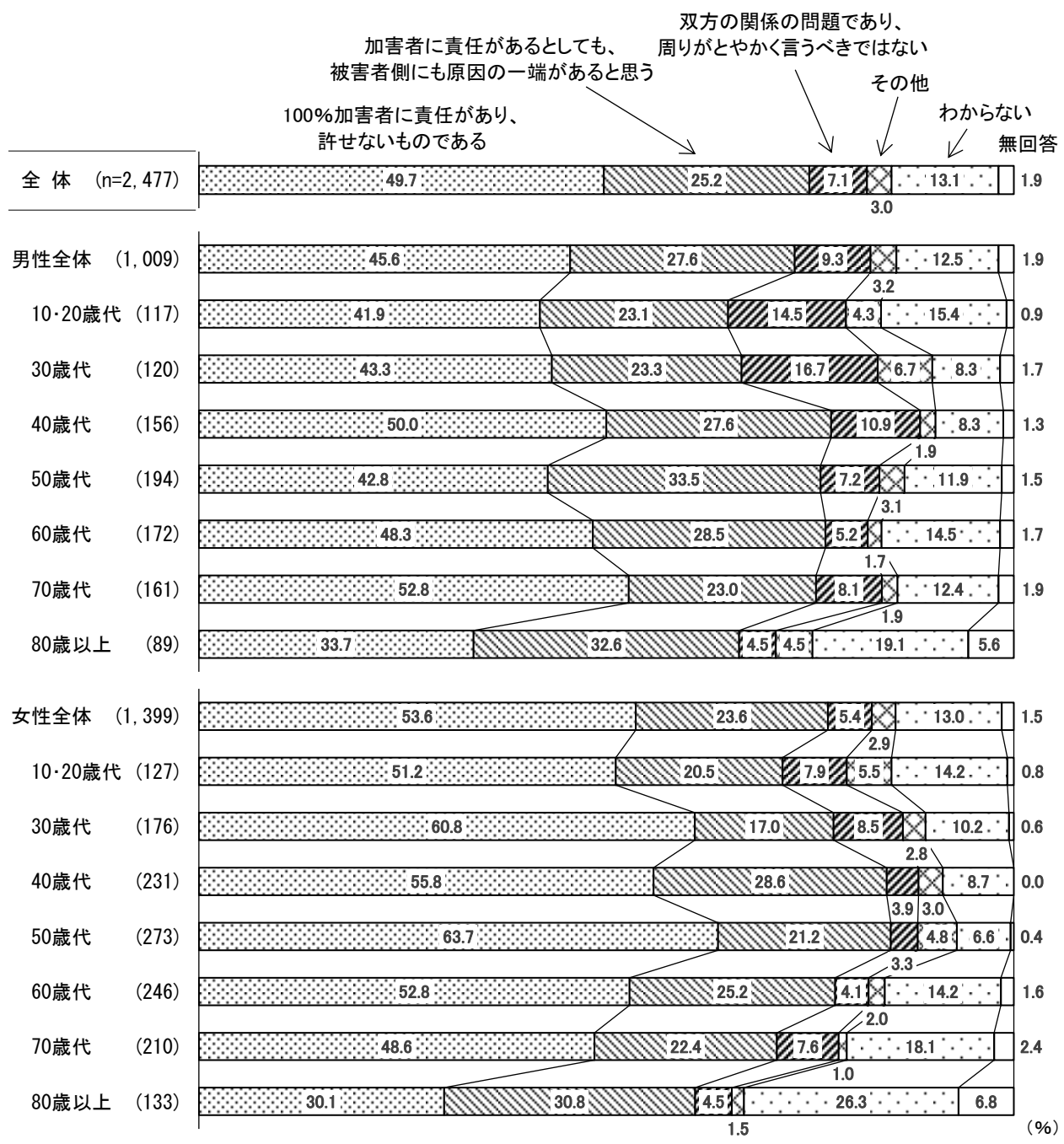
図１０－３－２　「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方（時系列）



注）令和8年度（2026 年度）調査では「その他」の選択肢を追加した。

平成 30 年度（2018 年度）からの時系列の変化をみると、平成 30 年度（2018 年度）の「暴力は加害者に責任があり、いかなる理由があっても許せないものである」と令和８年度（2026 年度）の「100%加害者に責任があり、許せないものである」の比較では、平成 30 年度（2018 年度）（61.5%）から令和８年度（2026 年度）（49.7%）で減少している。（図１０－３－２）

図１０－３－３　「ドメスティック・バイオレンス」に対する考え方（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「100%加害者に責任があり、許せないものである」は女性の 50 歳代で６割を超え、女性の 30 歳代でほぼ６割、女性の 40 歳代で５割半ば、男性の 70 歳代、女性の 10・20 歳代と 60 歳代で５割を超えている。「加害者に責任があるとしても、被害者側にも原因の一端があると思う」は男性の 50 歳代と 80 歳以上で３割を超え、女性の 80 歳以上でほぼ３割となっている。

（図１０－３－３）

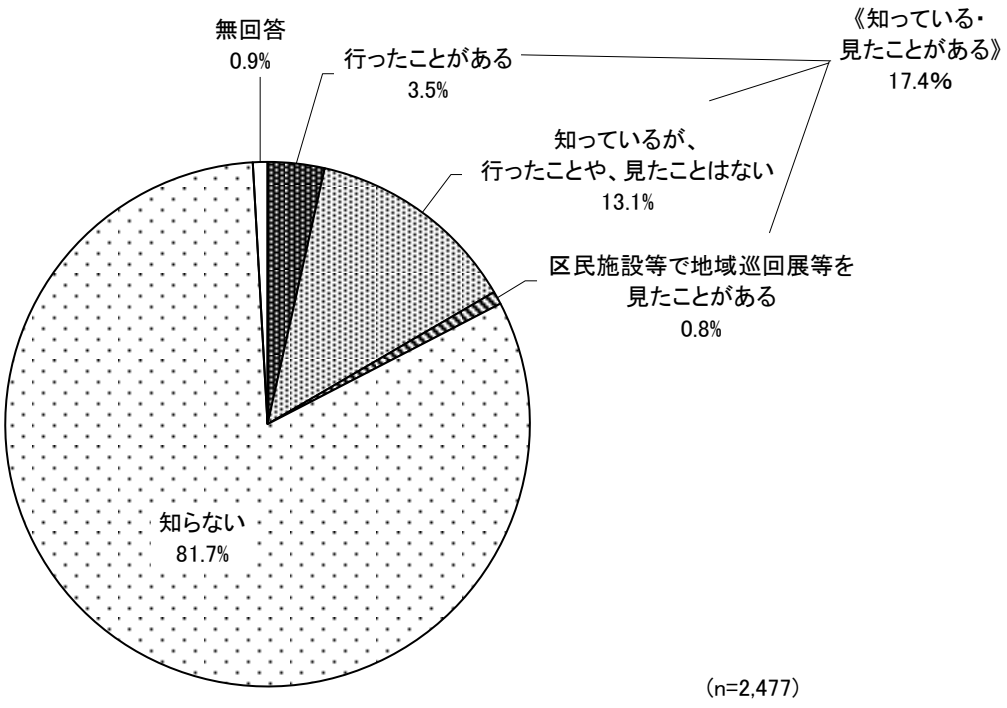
11. 平和資料館

（１）せたがや未来の平和館（区立平和資料館）の認知度

◎「知らない」が８割を超える

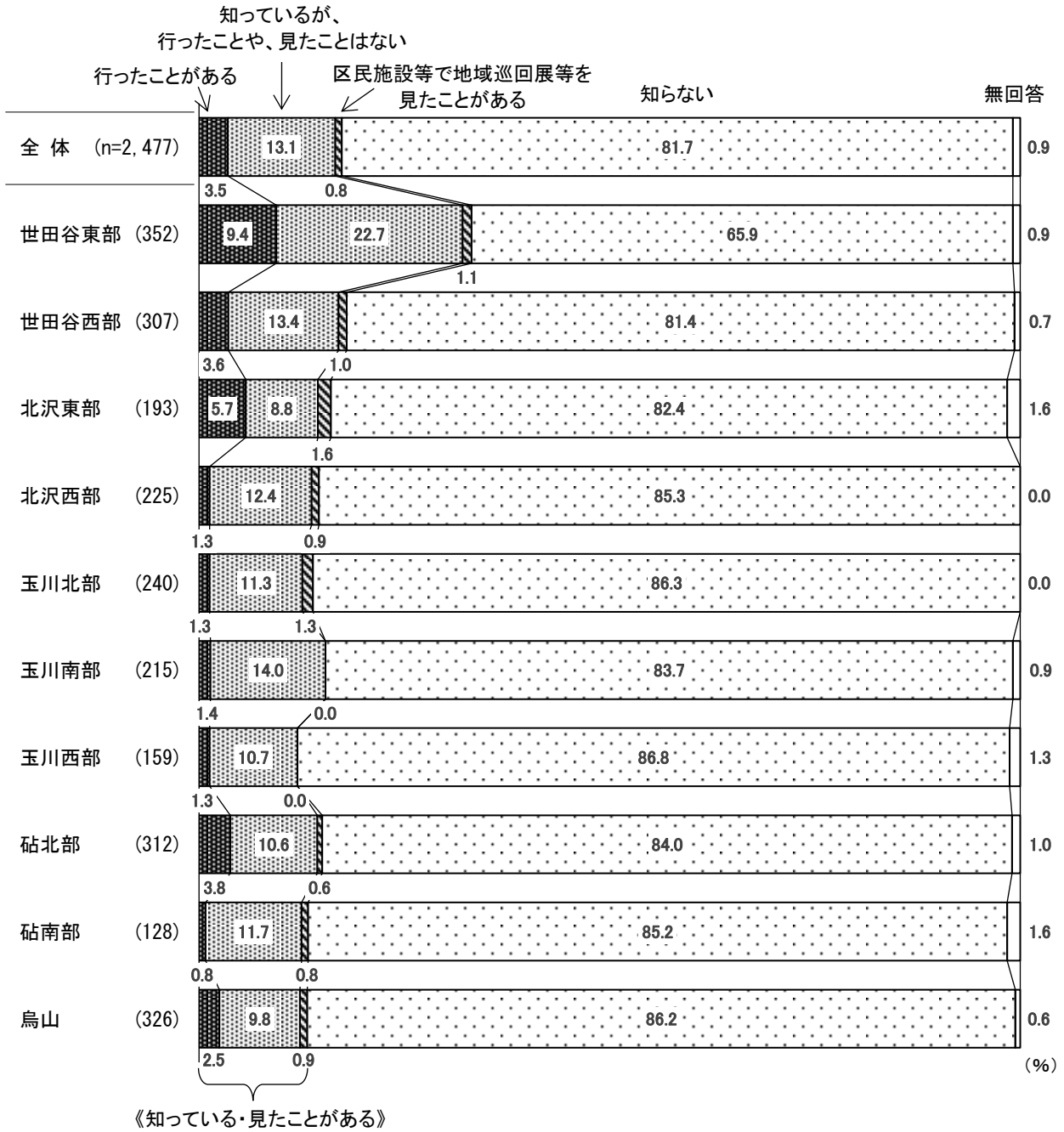
問３３　あなたは、せたがや未来の平和館（世田谷区立平和資料館）を知っていますか。
（○は１つ）

図１１－１－１



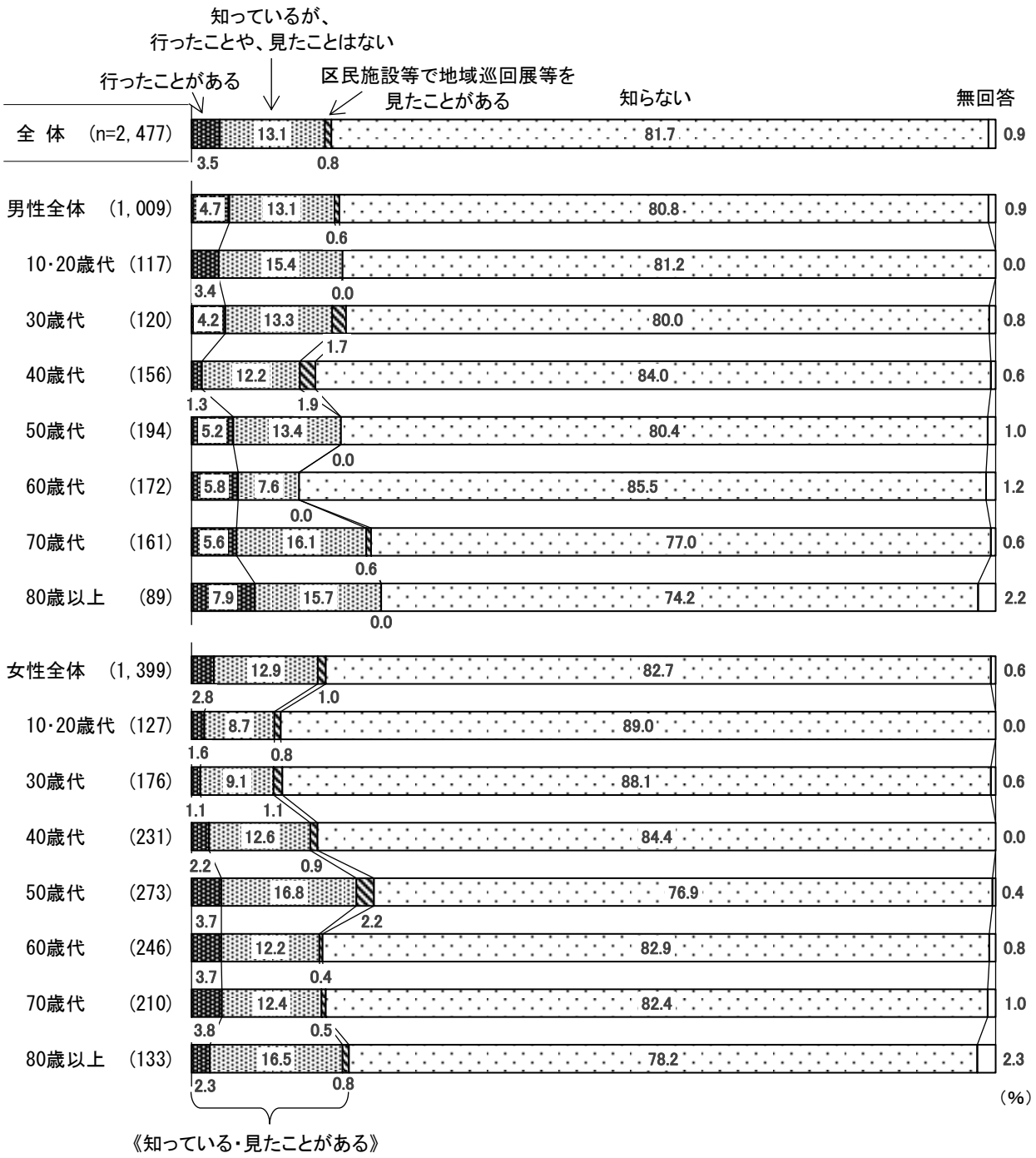
せたがや未来の平和館（世田谷区立平和資料館）の認知度を聞いたところ、「知らない」（81.7%）が８割を超えている。「知っているが、行ったことや、見たことはない」（13.1%）が１割を超え、「行ったことがある」（3.5%）、「区民施設等で地域巡回展等を見たことがある」（0.8%）を合わせた《知っている・見たことがある》（17.4%）が２割近くとなっている。（図１１－１－１）

図１１－１－２　せたがや未来の平和館（区立平和資料館）の認知度（地域別）



地域別にみると、世田谷東部は「行ったことがある」がほぼ１割、「知っているが、行ったことや、見たことはない」が２割を超え、《知っている・見たことがある》は３割を超え、他の地域より高くなっている。（図１１－１－２）

図１１－１－３　せたがや未来の平和館（区立平和資料館）の認知度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「知っているが、行ったことや、見たことはない」は女性の 50 歳代と 80 歳以上で２割近く、男性の 10・20 歳代と 70 歳代以上で１割半ば、《知っている・見たことがある》は男性の 70 歳代以上、女性の 50 歳代で２割を超え、女性の 80 歳以上で２割、男性の 30 歳代でほぼ２割となっている。「知らない」は女性の 10・20 歳代でほぼ９割、女性の 30 歳代で９割近くとなっている。（図１１－１－３）

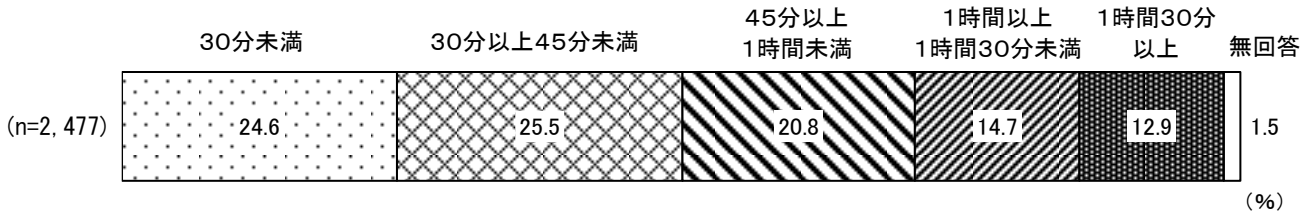
12. 健康づくり

（１） １日の歩行時間

◎「30 分未満」と「30 分以上 45 分未満」が２割半ば

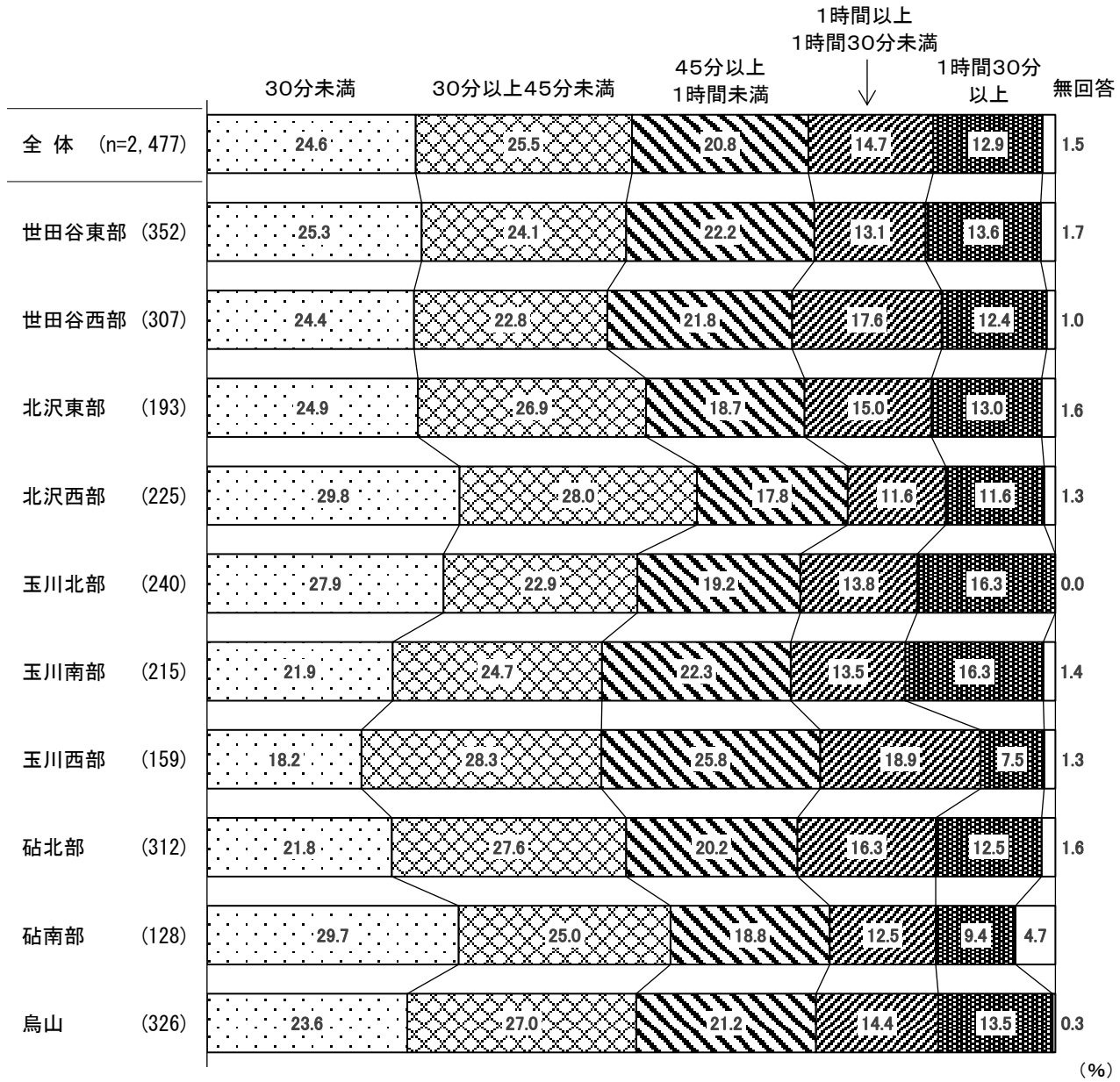
問３４　あなたは、１日にあわせてどのくらい歩きますか。
（通学・通勤のための徒歩や室内の移動、散歩を含む）（○は１つ）

図１２－１－１



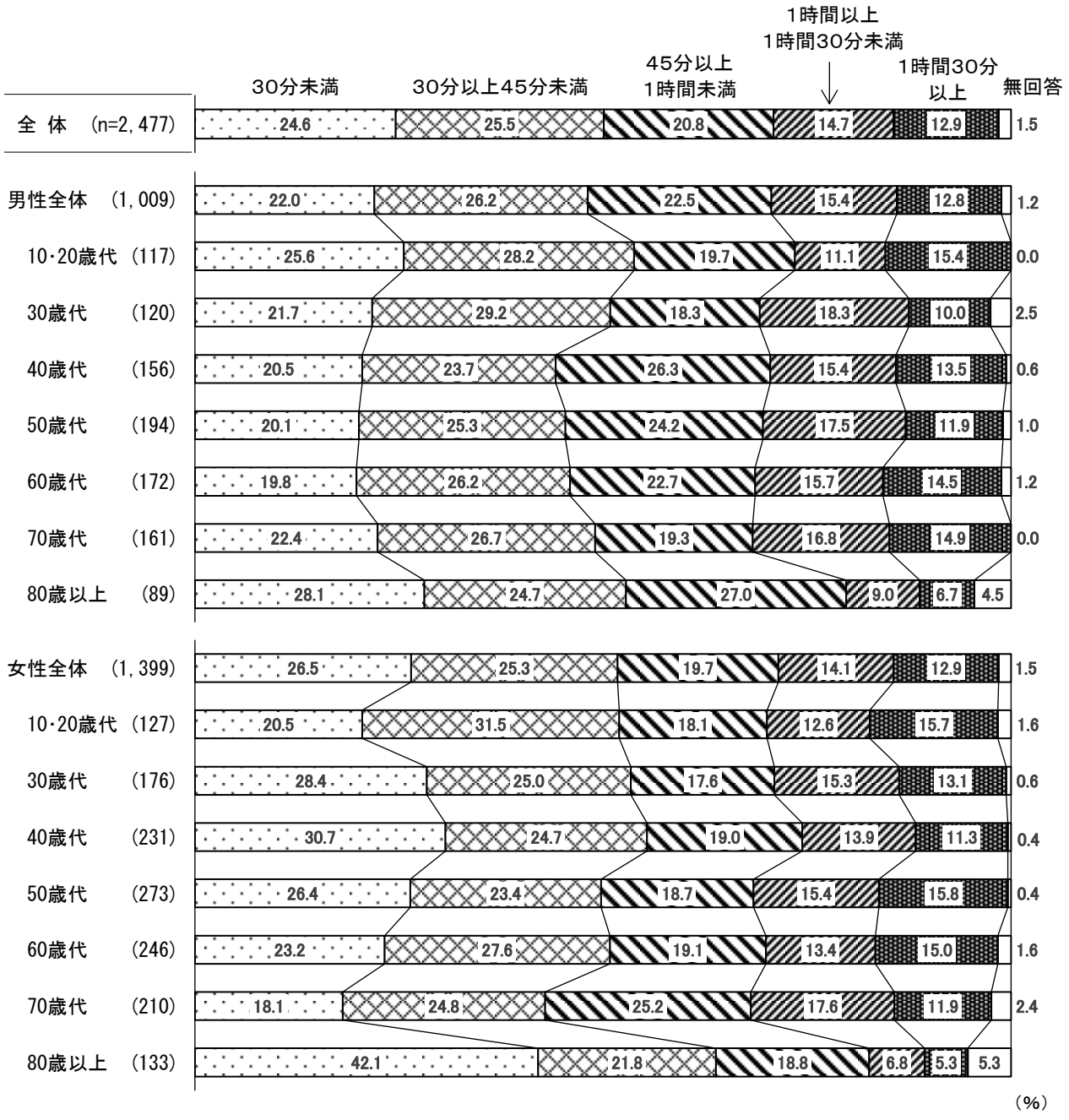
１日の歩行時間を聞いたところ、「30 分未満」（24.6%）と「30 分以上 45 分未満」（25.5%）が２割半ばとなっている。以下、「45 分以上１時間未満」（20.8%）、「１時間以上１時間 30 分未満」（14.7%）、「１時間 30 分以上」（12.9%）と続く。（図１２－１－１）

図１２－１－２　１日の歩行時間（地域別）



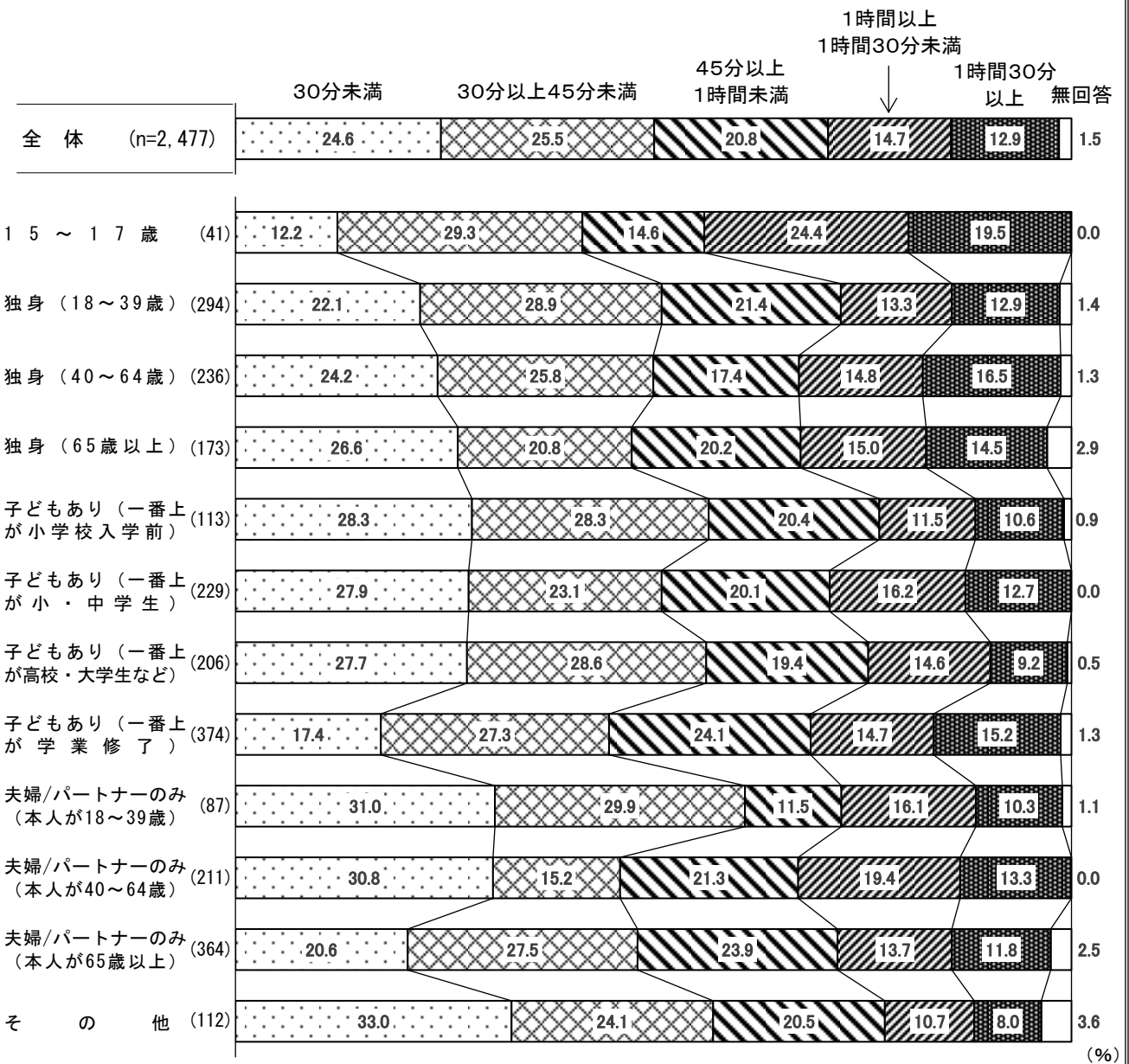
地域別にみると、「30 分未満」は北沢西部と砧南部で３割、玉川北部で３割近くとなっている。「30 分以上 45 分未満」は玉川西部、北沢西部、砧北部、烏山、北沢東部で３割近くとなっている。30 分以上（「30 分以上 45 分未満」＋「45 分以上１時間未満」＋「１時間以上１時間 30 分未満」＋「１時間 30 分以上」）は玉川西部でほぼ８割、玉川南部、砧北部で８割近く、烏山、世田谷西部で７割半ばとなっている。（図１２－１－２）

図１２－１－３　１日の歩行時間（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「30 分未満」は女性の 80 歳以上で４割を超え、女性の 40 歳代でほぼ３割となっている。「30 分以上 45 分未満」は女性の 10・20 歳代で３割を超え、男性の 30 歳代でほぼ３割となっている。30 分以上（「30 分以上 45 分未満」＋「45 分以上１時間未満」＋「１時間以上１時間 30 分未満」＋「１時間 30 分以上」）は女性の 70 歳代で８割、男性の 60 歳代でほぼ８割、男性の 40 歳代、50 歳代、70 歳代、女性の 10・20 歳代で８割近くとなっている。（図１２－１－３）

図１２－１－４　１日の歩行時間（ライフスタイル別）



ライフスタイル別にみると、「30 分未満」は夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）とその他で３割を超え、夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）でほぼ３割となっている。「30 分以上 45 分未満」は夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で３割、15～17 歳でほぼ３割となっている。30 分以上（「30 分以上 45 分未満」＋「45 分以上１時間未満」＋「１時間以上１時間 30 分未満」＋「１時間 30 分以上」）は 15～17 歳で９割近く、子どもあり（一番上が学業修了）で８割を超えている。

（図１２－１－４）

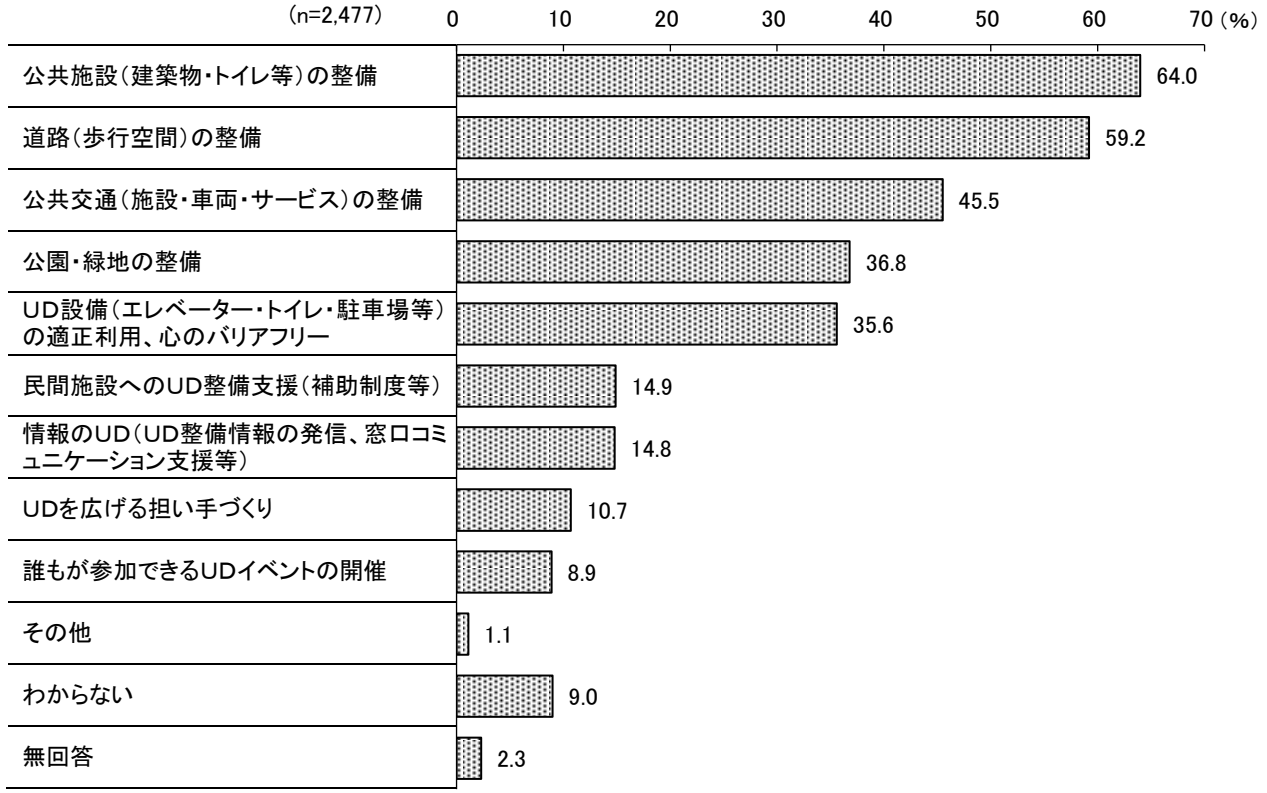
13. 都市デザイン

（１）ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み

◎「公共施設（建築物・トイレ等）の整備」が６割半ば

問３５　ユニバーサルデザイン（ＵＤ）のまちづくりを進める上で重要だと思う取り組みは何ですか。（○はいくつでも）

図１３－１－１



ユニバーサルデザインのまちづくりを進める上で重要だと思う取り組みを聞いたところ、「公共施設（建築物・トイレ等）の整備」（64.0%）が６割半ばで最も高く、以下、「道路（歩行空間）の整備」（59.2%）、「公共交通（施設・車両・サービス）の整備」（45.5%）、「公園・緑地の整備」（36.8%）、「ＵＤ設備（エレベーター・トイレ・駐車場等）の適正利用、心のバリアフリー」（35.6%）などと続く。（図１３－１－１）

表１３－１－１　ユニバーサルデザインのまちづくりで重要だと思う取り組み（性・年齢別）

（%）

		n	公共施設（建築物・トイレ等）の整備	道路（歩行空間）の整備	公共交通（施設・車両・サービス）の整備	公園・緑地の整備	UD設備（エレベーター・トイレ・駐車場等）の適正利用、心のバリアフリー	民間施設へのUD整備支援（補助制度等）	情報のUD（UD整備情報の発信、窓口コミュニケーション支援等）	UDを広げる担い手づくり	誰もが参加できるUDイベントの開催	その他	わからない	無回答
全　　体		2,477	64.0	59.2	45.5	36.8	35.6	14.9	14.8	10.7	8.9	1.1	9.0	2.3
性・年齢別	男性全体	1,009	63.4	58.0	44.4	37.7	31.5	13.4	12.8	9.3	8.0	1.1	8.7	1.7
	10･20歳代	117	59.8	53.8	40.2	30.8	25.6	12.0	14.5	8.5	9.4	2.6	16.2	0.9
	30歳代	120	61.7	59.2	45.0	36.7	32.5	11.7	9.2	5.8	8.3	1.7	7.5	1.7
	40歳代	156	63.5	64.1	50.0	42.3	32.7	14.1	16.0	12.8	7.7	0.6	8.3	－
	50歳代	194	64.9	58.8	49.0	35.1	30.9	14.4	12.4	6.7	6.2	0.5	6.2	2.1
	60歳代	172	61.6	60.5	44.8	35.5	33.7	14.5	11.6	7.6	7.0	－	9.3	0.6
	70歳代	161	67.7	55.9	42.9	46.0	36.0	16.8	14.3	11.8	9.9	2.5	5.6	1.2
	80歳以上	89	62.9	48.3	31.5	34.8	24.7	5.6	10.1	13.5	9.0	－	11.2	7.9
	女性全体	1,399	65.5	60.9	47.2	36.8	39.5	16.2	16.4	11.9	9.9	1.0	8.6	2.3
	10･20歳代	127	66.9	44.1	40.2	29.1	31.5	13.4	11.0	8.7	5.5	－	14.2	1.6
	30歳代	176	67.6	59.1	43.2	39.2	29.0	9.7	9.1	9.1	4.0	1.1	9.1	1.1
	40歳代	231	65.8	64.9	53.2	42.0	38.1	16.9	15.2	12.6	10.4	1.7	7.4	0.9
	50歳代	273	70.7	70.7	59.0	37.4	49.5	21.2	23.1	10.6	10.3	0.7	4.8	0.4
	60歳代	246	65.9	67.1	48.4	35.0	47.2	15.4	21.5	13.4	11.0	1.2	6.5	1.2
	70歳代	210	63.8	57.1	40.5	38.6	40.0	18.1	15.7	13.8	12.9	1.0	8.6	3.8
	80歳以上	133	52.6	48.1	33.1	31.6	27.1	13.5	10.5	14.3	12.8	0.8	17.3	9.8

性・年齢別にみると、「公共施設（建築物・トイレ等）の整備」は女性の 50 歳代でほぼ７割、男性の 70 歳代、女性の 10・20 歳代と 30 歳代で７割近く、男性の 50 歳代、女性の 40 歳代と 60 歳代で６割半ばとなっている。「道路（歩行空間）の整備」は女性の 50 歳代でほぼ７割、女性の 60 歳代で７割近く、「公共交通（施設・車両・サービス）の整備」は女性の 50 歳代でほぼ６割となっている。

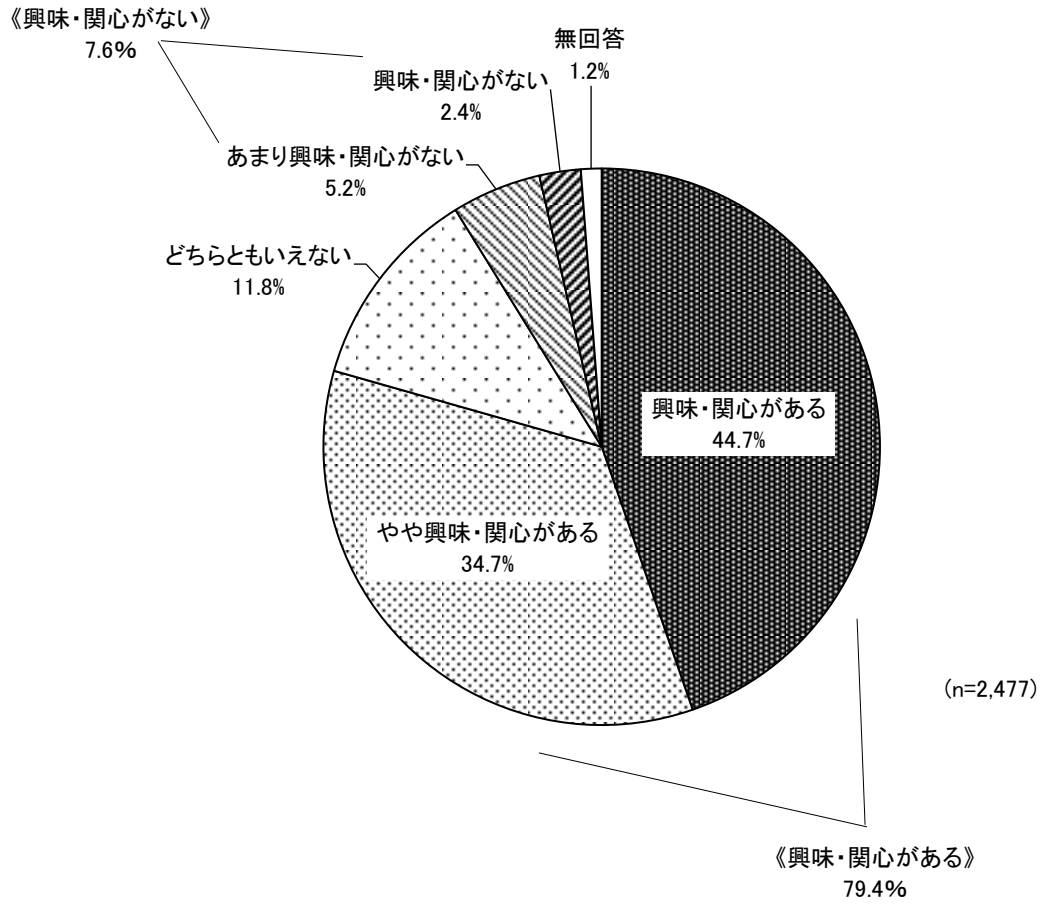
（表１３－１－１）

（２）区内の風景への興味・関心

◎《興味・関心がある》がほぼ８割

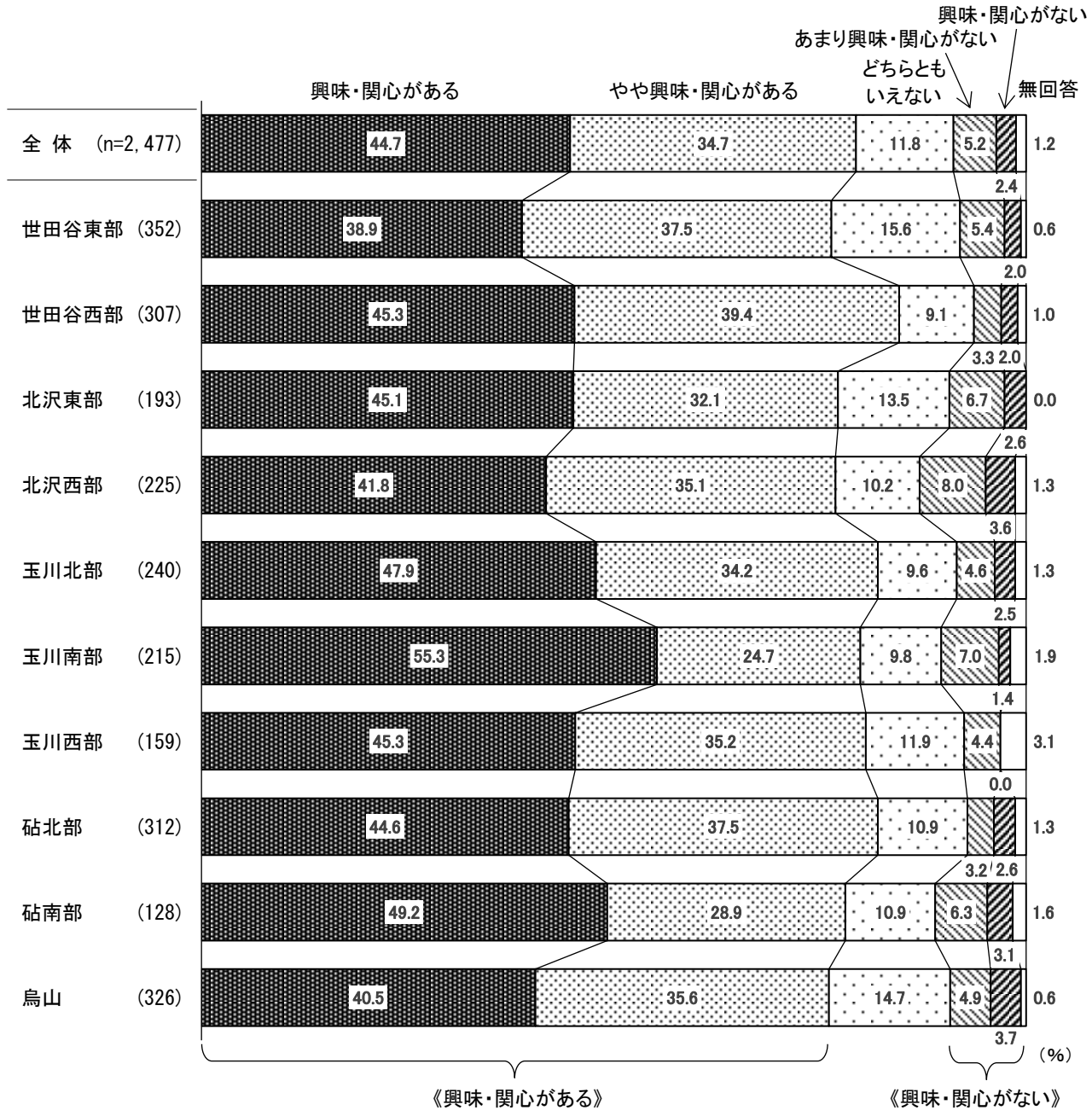
問３６　あなたは、区内の風景（景観、景色、眺め、まちなみ等）に興味・関心がありますか。（○は１つ）

図１３－２－１



区内の風景に興味・関心があるか聞いたところ、「興味・関心がある」（44.7%）が４割半ばで最も高く、「やや興味・関心がある」（34.7%）を合わせた《興味・関心がある》（79.4%）がほぼ８割となっている。「あまり興味・関心がない」（5.2%）と「興味・関心がない」（2.4%）を合わせた《興味・関心がない》（7.6%）は１割未満である。（図１３－２－１）

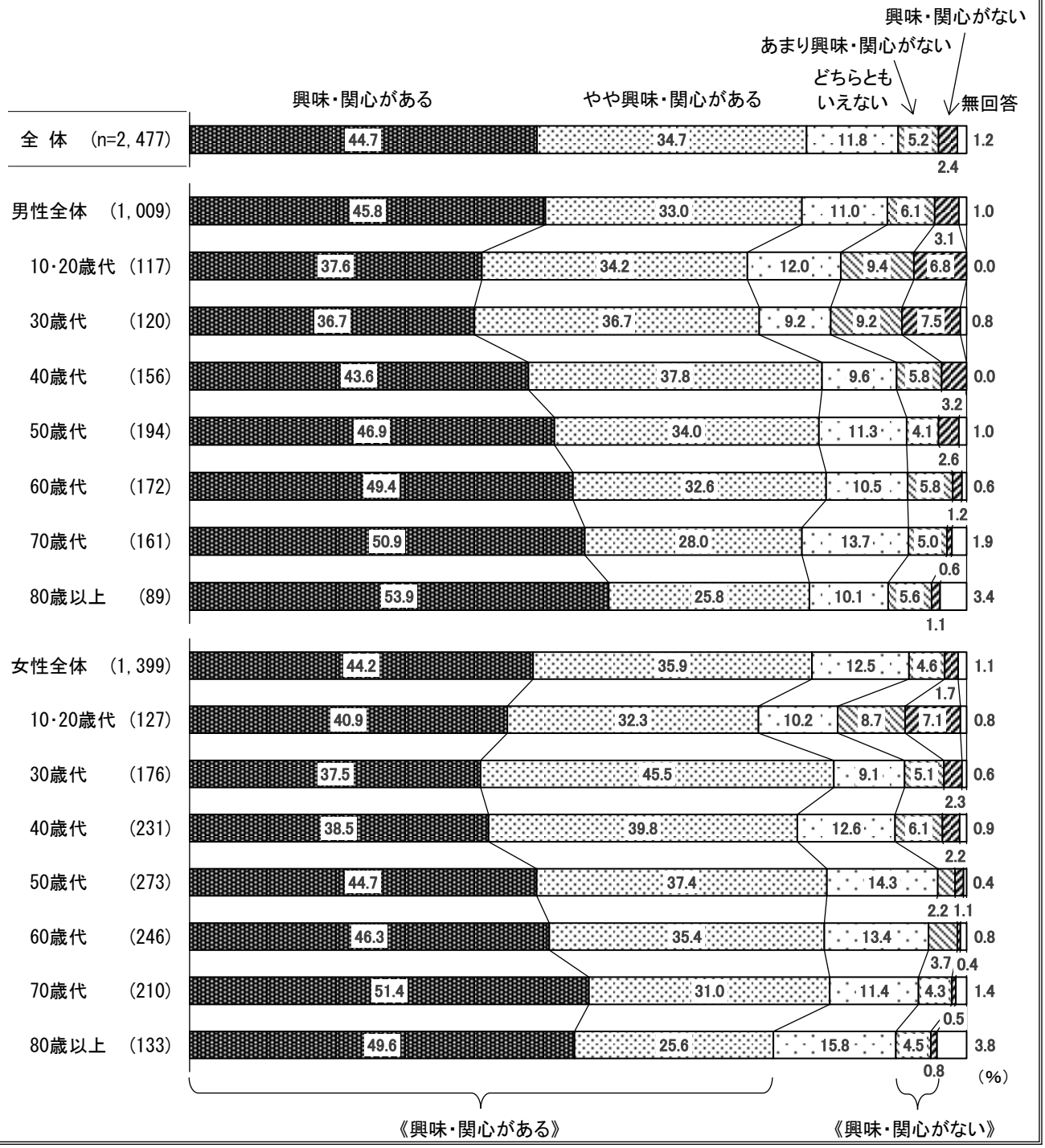
図１３－２－２　区内の風景への興味・関心（地域別）



地域別にみると、「興味・関心がある」は玉川南部で５割半ば、砧南部でほぼ５割となっている。《興味・関心がある》は世田谷西部で８割半ば、玉川北部、砧北部で８割を超え、玉川西部でほぼ８割、玉川南部で８割となっている。《興味・関心がない》は北沢西部で１割を超えている。

（図１３－２－２）

図１３－２－３　区内の風景への興味・関心（性・年齢別）



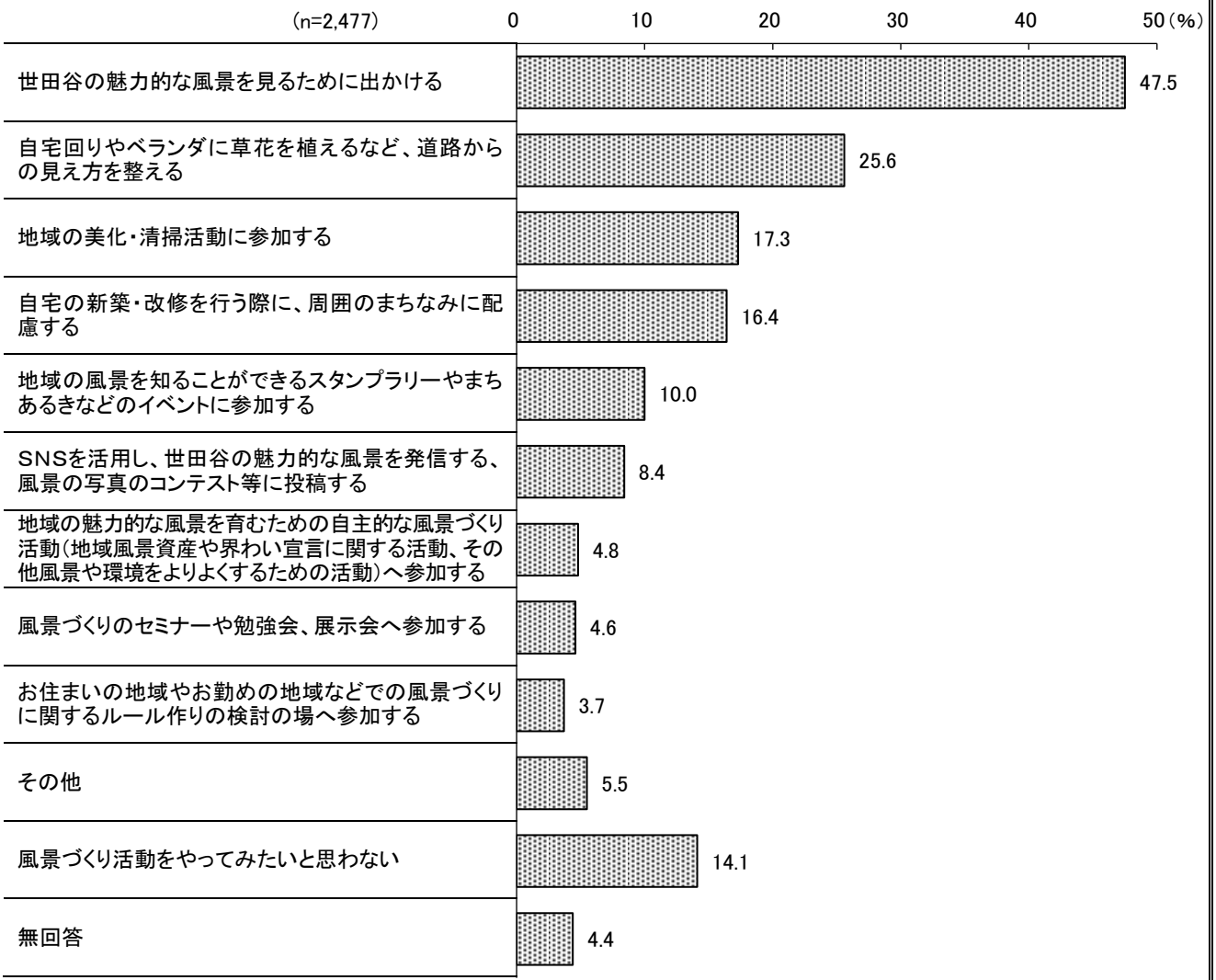
性・年齢別にみると、「興味・関心がある」は男性の 80 歳以上と女性の 70 歳代で５割を超え、男性の 60 歳代と 70 歳代、女性の 80 歳以上で５割前後となっている。《興味・関心がある》は男性の 40 歳代と 60 歳代、女性の 30 歳代、50 歳代～70 歳代で８割を超えている。《興味・関心がない》は男性の 30 歳代で２割近く、男女とも 10・20 歳代で１割半ばとなっている。（図１３－２－３）

（３）やってみたい風景づくり活動

◎「世田谷の魅力的な風景を見るために出かける」が５割近く

問３７　区では、区民による風景づくり活動が活発に行われるような施策を検討しています。
あなたがやってみたいと思う風景づくり活動を選択してください。（○はいくつでも）

図１３－３－１



やってみたいと思う風景づくり活動を聞いたところ、「世田谷の魅力的な風景を見るために出かける」（47.5%）が５割近くで最も高く、以下、「自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える」（25.6%）、「地域の美化・清掃活動に参加する」（17.3%）、「自宅の新築・改修を行う際に、周囲のまちなみに配慮する」（16.4%）などと続く。（図１３－３－１）

表１３－３－１　やってみたい風景づくり活動（性・年齢別）

（%）

		n	世田谷の魅力的な風景を見るために出かける	自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える	地域の美化・清掃活動に参加する	自宅の新築・改修を行う際に、周囲のまちなみに配慮する	地域の風景を知ることができるスタンプラリーやまちあるきなどのイベントに参加する	ＳＮＳを活用し、世田谷の魅力的な風景を発信する、風景の写真のコンテスト等に投稿する	地域の魅力的な風景を育むための自主的な風景づくり活動（地域風景資産や界わい宣言に関する活動、その他風景や環境をよりよくするための活動）へ参加する	風景づくりのセミナーや勉強会、展示会へ参加する	お住まいの地域やお勤めの地域などでの風景づくりに関するルール作りの検討の場へ参加する	その他	風景づくり活動をやってみたいと思わない	無回答
全　体		2,477	47.5	25.6	17.3	16.4	10.0	8.4	4.8	4.6	3.7	5.5	14.1	4.4
性・年齢別	男性全体	1,009	46.7	23.3	17.6	17.4	8.0	8.3	4.9	4.1	5.2	5.5	16.7	3.2
	10・20歳代	117	47.9	14.5	14.5	6.0	8.5	21.4	4.3	3.4	1.7	0.9	23.9	2.6
	30歳代	120	40.8	15.8	14.2	13.3	6.7	12.5	2.5	3.3	5.8	5.8	25.0	3.3
	40歳代	156	47.4	17.3	23.1	15.4	11.5	8.3	5.8	2.6	7.1	4.5	16.7	1.3
	50歳代	194	50.0	24.7	21.1	20.1	8.8	4.6	4.6	4.1	6.2	5.7	17.5	2.6
	60歳代	172	50.0	23.3	15.1	17.4	8.1	6.4	4.7	5.8	4.7	7.0	13.4	1.7
	70歳代	161	44.1	33.5	17.4	24.2	6.8	5.0	6.2	3.1	3.7	6.8	13.0	4.3
	80歳以上	89	42.7	33.7	14.6	23.6	3.4	3.4	5.6	6.7	6.7	6.7	6.7	9.0
	女性全体	1,399	48.9	27.2	17.3	15.6	11.2	8.6	4.9	4.9	2.8	5.4	12.2	4.9
	10・20歳代	127	48.0	11.8	16.5	7.9	11.0	15.7	3.1	3.1	0.8	5.5	16.5	2.4
	30歳代	176	47.7	17.6	18.2	10.8	15.9	14.2	4.0	4.5	2.8	2.3	15.9	5.7
	40歳代	231	43.7	22.5	19.9	16.0	11.3	14.3	3.0	2.2	3.0	2.6	17.7	2.2
	50歳代	273	59.3	26.7	14.7	18.3	14.3	8.8	7.7	6.6	2.2	2.6	12.5	2.9
	60歳代	246	52.4	32.1	19.1	17.5	8.5	6.1	5.7	4.5	4.9	6.9	8.9	2.8
	70歳代	210	47.6	37.6	17.6	16.2	11.0	1.0	4.8	7.6	2.9	8.1	6.2	6.7
	80歳以上	133	34.6	38.3	14.3	17.3	4.5	0.8	4.5	4.5	1.5	12.8	9.0	15.8

性・年齢別にみると、「世田谷の魅力的な風景を見るために出かける」は女性の 50 歳代でほぼ６割、女性の 60 歳代で５割を超え、男性の 50 歳代と 60 歳代で５割となっている。「自宅回りやベランダに草花を植えるなど、道路からの見え方を整える」は女性の 70 歳代以上で４割近く、男性の 70 歳代以上、女性の 60 歳代で３割を超えている。「風景づくり活動をやってみたいと思わない」は男性の 30 歳代で２割半ば、男性の 10・20 歳代で２割を超えている。（表１３－３－１）

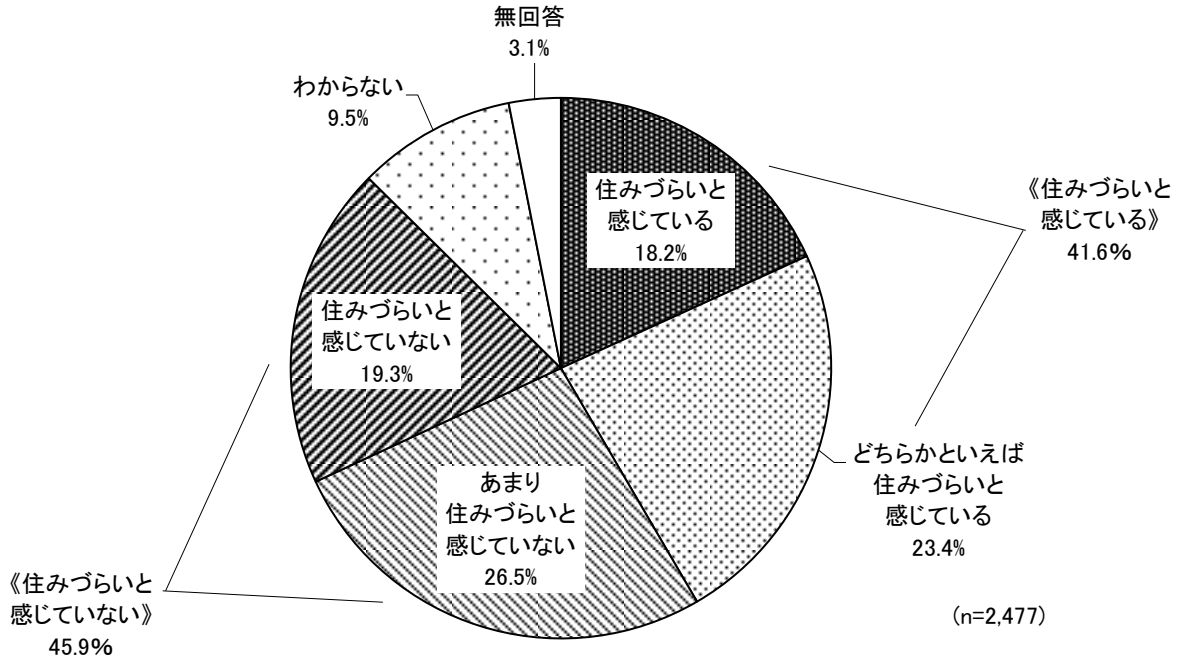
14. 住まい

（１）住居費要因による住みづらさ

◎《住みづらいと感じていない》が４割半ば、《住みづらいと感じている》は４割を超える

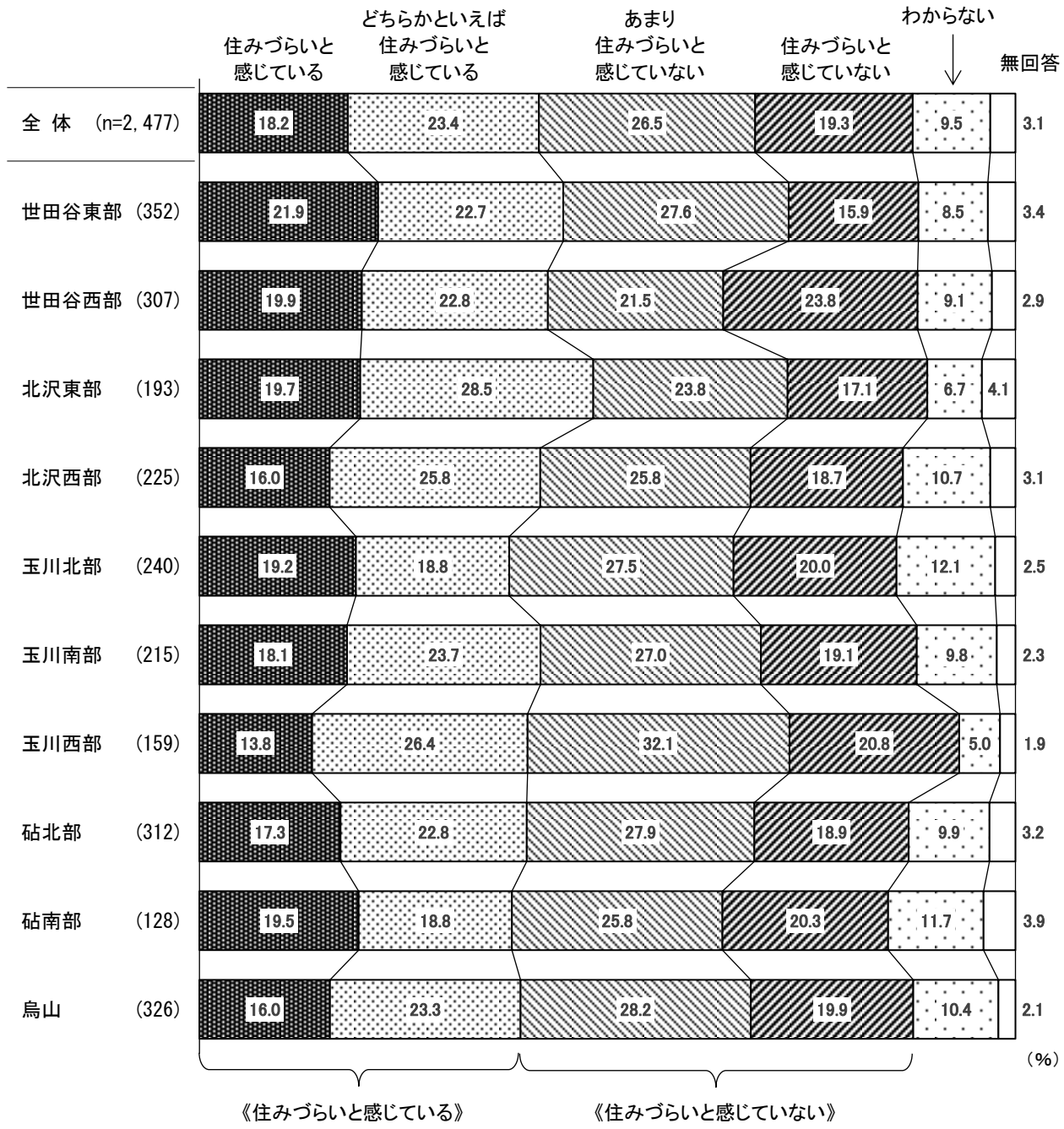
問３８　あなたは、近年の住宅価格の高騰や家賃の上昇など、住居費が要因で、世田谷区内で住みづらいと感じていますか。（○は１つ）

図１４－１－１



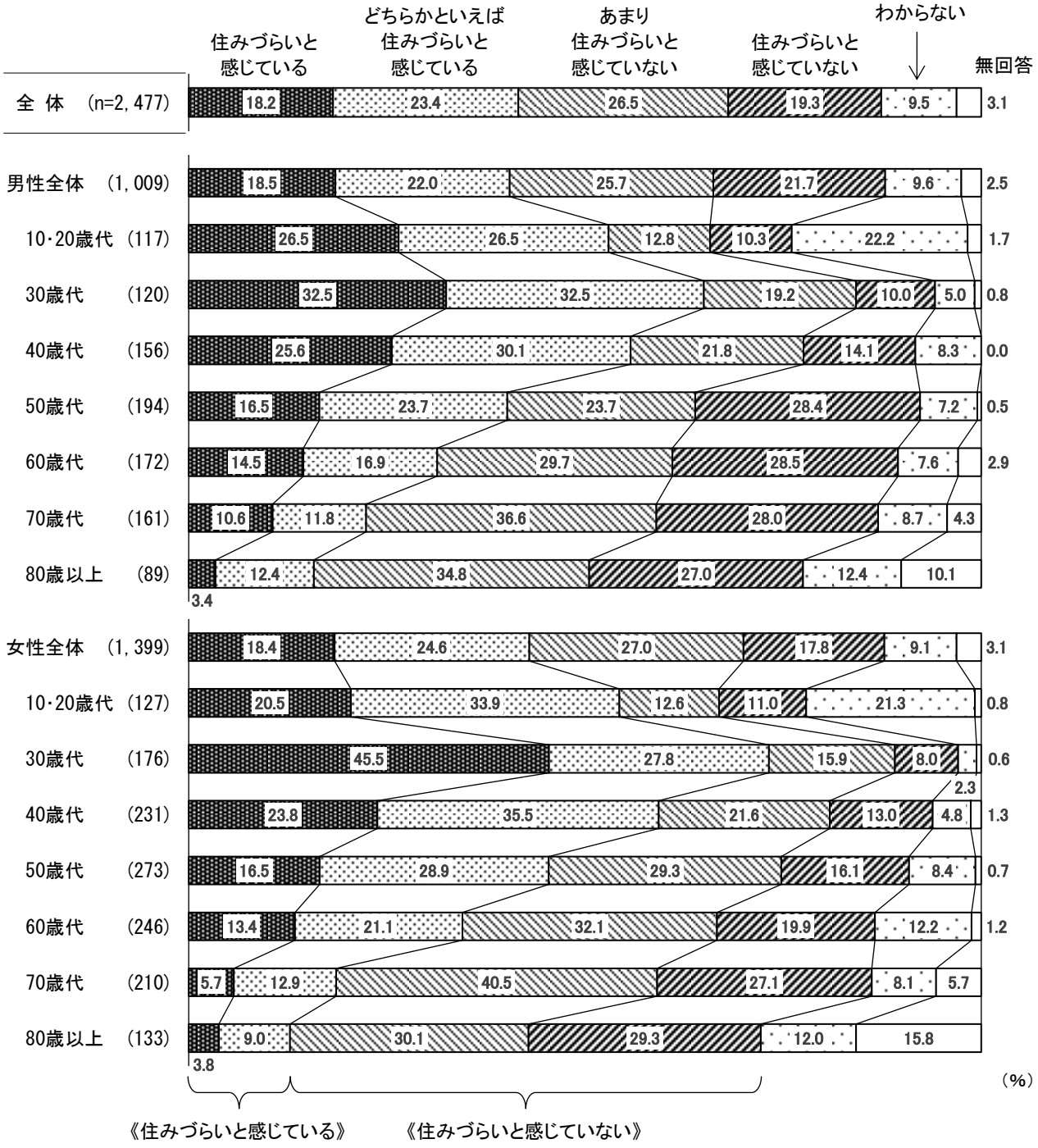
住居費が要因で世田谷区内で住みづらいと感じているかを聞いたところ、「あまり住みづらいと感じていない」（26.5%）と「住みづらいと感じていない」（19.3%）を合わせた《住みづらいと感じていない》（45.9%）が４割半ばとなっている。一方、「どちらかといえば住みづらいと感じている」（23.4%）と「住みづらいと感じている」（18.2%）を合わせた《住みづらいと感じている》（41.6%）は４割を超えている。（図１４－１－１）

図１４－１－２　住居費要因による住みづらさ（地域別）



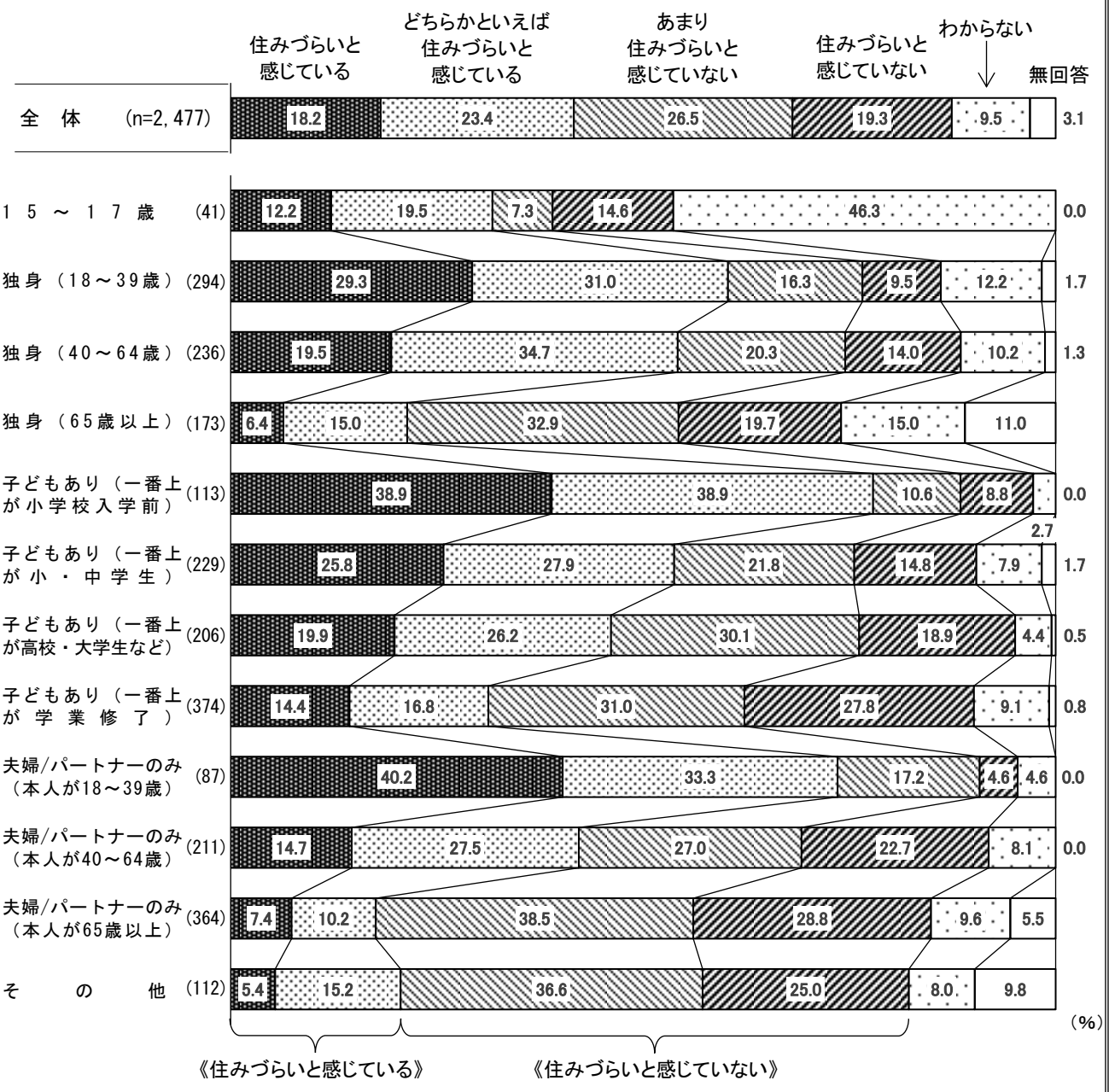
地域別にみると、《住みづらいと感じていない》は玉川西部で５割を超えている。一方、《住みづらいと感じている》は北沢東部で５割近く、世田谷東部で４割半ばとなっている。（図１４－１－２）

図１４－１－３　住居費要因による住みづらさ（性・年齢別）



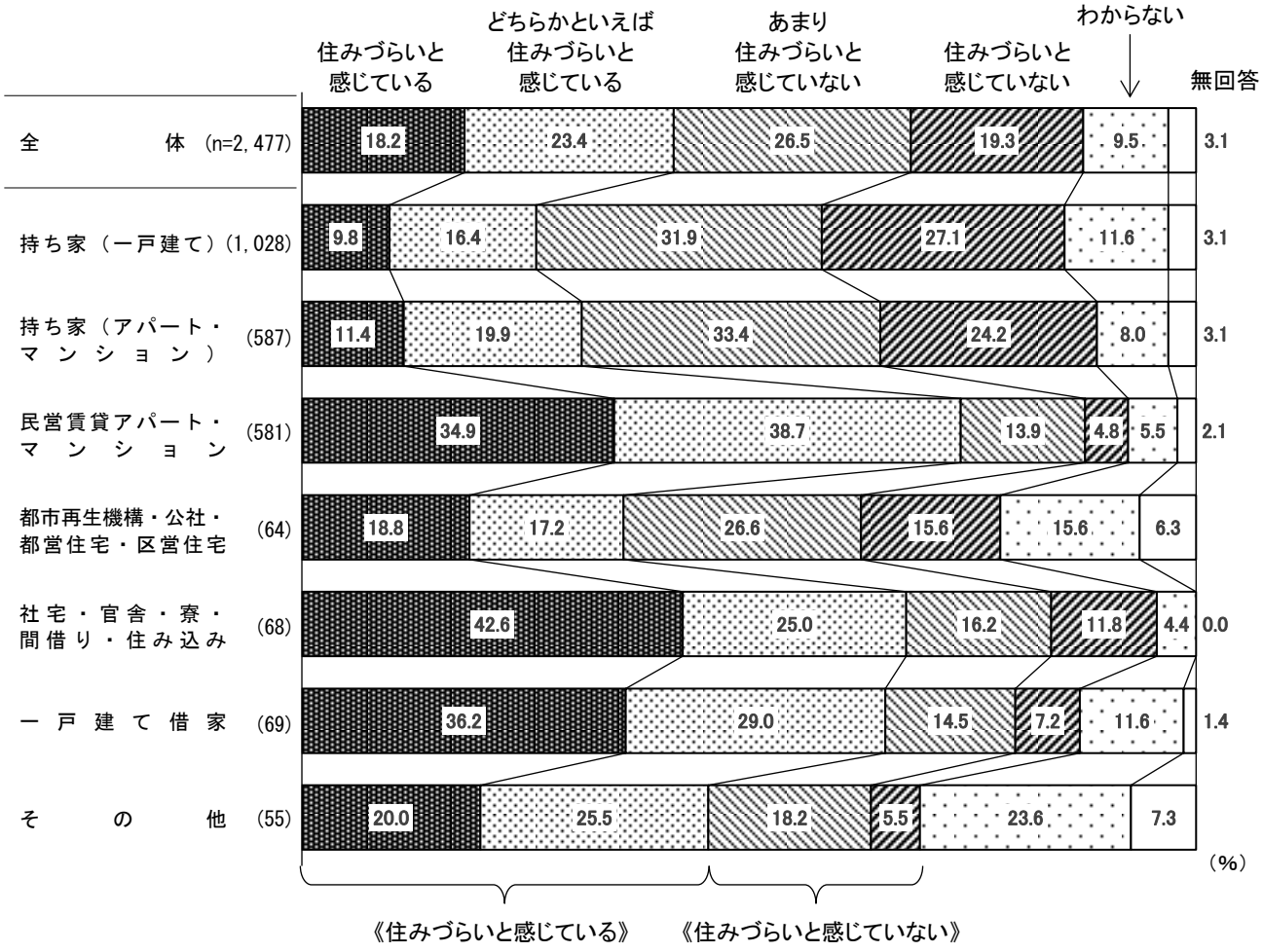
性・年齢別にみると、《住みづらいと感じていない》は男女ともに 10・20 歳代から 70 歳代までは年代が上がるにつれ高くなる傾向がみられ、女性の 70 歳代は７割近く、男性の 70 歳代は６割半ばとなっている。《住みづらいと感じている》は男女とも 30 歳代が最も高く、女性の 30 歳代で７割を超え、男性の 30 歳代で６割半ばとなっている。（図１４－１－３）

図１４－１－４　住居費要因による住みづらさ（ライフスタイル別）



ライフスタイル別にみると、《住みづらいと感じていない》は夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で７割近く、その他で６割を超え、子どもあり（一番上が学業修了）で６割近くとなっている。《住みづらいと感じている》は子どもあり（一番上が小学校入学前）で８割近く、夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で７割を超え、独身（18～39 歳）で６割となっている。（図１４－１－４）

図１４－１－５　住居費要因による住みづらさ（住居形態別）



住居形態別にみると、《住みづらいと感じていない》は持ち家（一戸建て）でほぼ６割、持ち家（アパート・マンション）で６割近くとなっている。一方、《住みづらいと感じている》は民営賃貸アパート・マンションで７割を超え、社宅・官舎・寮・間借り・住み込みで７割近く、一戸建て借家で６割半ばとなっている。（図１４－１－５）

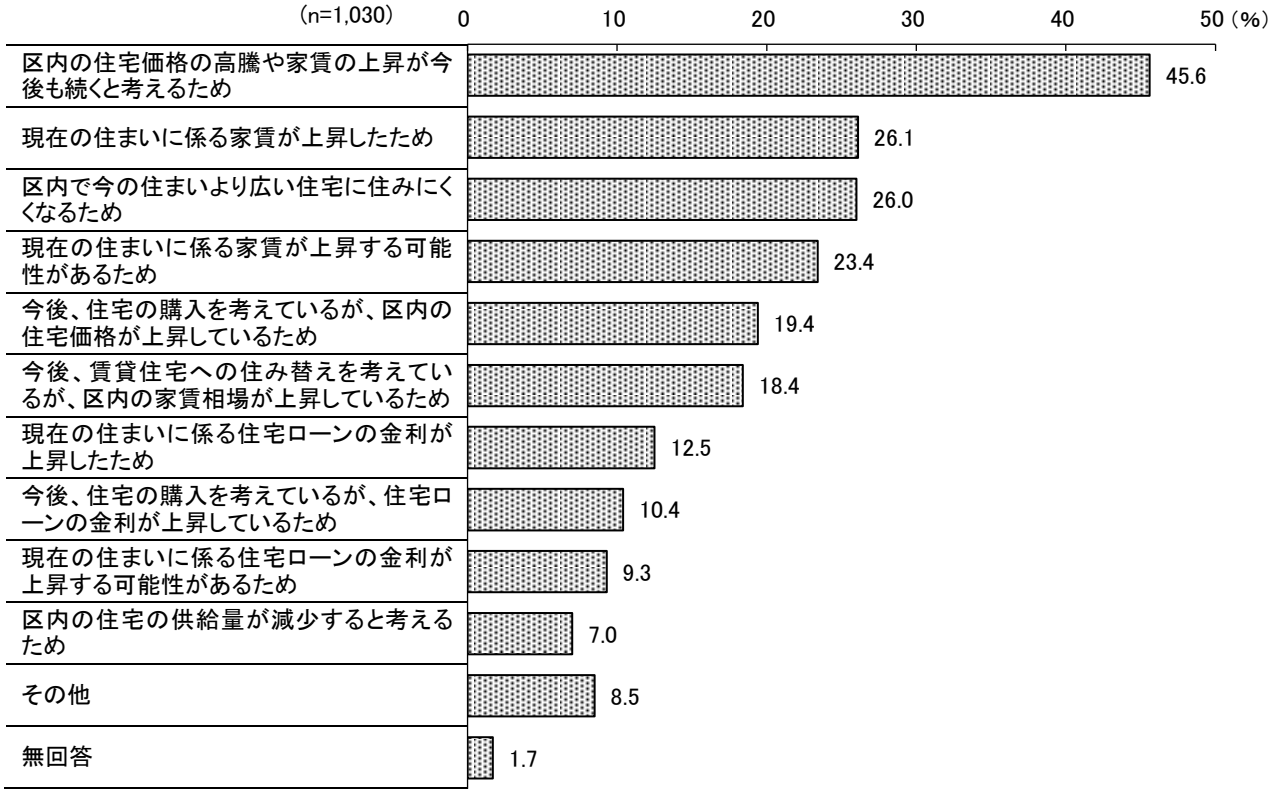
（２）住みづらいと感じている理由

◎「区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため」が４割半ば

（問３８で「住みづらいと感じている」または「どちらかといえば住みづらいと感じている」と答えた方に）

問３８－１　「住みづらいと感じている」理由は何ですか。（○はいくつでも）

図１４－２－１



住居費が要因で世田谷区内で「住みづらいと感じている」または「どちらかといえば住みづらいと感じている」と答えた方（1,030 人）に、その理由を聞いたところ、「区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため」（45.6%）が４割半ばで最も高く、以下、「現在の住まいに係る家賃が上昇したため」(26.1%)、「区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため」(26.0%)、「現在の住まいに係る家賃が上昇する可能性があるため」(23.4%) などと続く。（図１４－２－１）

表１４－２－１　住みづらいと感じている理由（地域別）

（%）

		n	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため	現在の住まいに係る家賃が上昇したため	区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため	現在の住まいに係る家賃が上昇する可能性があるため	今後、住宅の購入を考えているが、区内の住宅価格が上昇しているため	今後、賃貸住宅への住み替えを考えているが、区内の家賃相場が上昇しているため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇したため	今後、住宅の購入を考えているが、住宅ローンの金利が上昇しているため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇する可能性があるため	区内の住宅の供給量が減少すると考えるため	その他	無回答
全　体		1,030	45.6	26.1	26.0	23.4	19.4	18.4	12.5	10.4	9.3	7.0	8.5	1.7
地域別	世田谷東部	157	43.3	28.0	26.8	22.3	20.4	17.2	7.6	10.8	5.7	6.4	9.6	1.9
	世田谷西部	131	53.4	24.4	31.3	29.0	19.8	22.1	11.5	9.9	8.4	9.2	8.4	－
	北沢東部	93	55.9	31.2	22.6	16.1	19.4	20.4	9.7	9.7	5.4	14.0	9.7	5.4
	北沢西部	94	40.4	27.7	11.7	19.1	21.3	13.8	11.7	8.5	7.4	4.3	8.5	3.2
	玉川北部	91	50.5	26.4	36.3	24.2	23.1	26.4	13.2	16.5	8.8	6.6	5.5	－
	玉川南部	90	41.1	18.9	26.7	24.4	17.8	13.3	14.4	8.9	14.4	7.8	12.2	2.2
	玉川西部	64	42.2	34.4	28.1	23.4	21.9	15.6	15.6	14.1	14.1	3.1	7.8	3.1
	砧北部	125	40.8	20.0	21.6	20.8	19.2	18.4	18.4	10.4	10.4	7.2	8.8	－
	砧南部	49	51.0	24.5	26.5	28.6	18.4	18.4	18.4	10.2	14.3	8.2	14.3	2.0
	烏山	128	39.8	29.7	26.6	27.3	14.1	16.4	11.7	7.0	10.9	3.9	4.7	0.8

地域別にみると、「区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため」は北沢東部で５割半ば、世田谷西部、砧南部で５割を超え、玉川北部でほぼ５割となっている。「現在の住まいに係る家賃が上昇したため」は玉川西部で３割半ば、北沢東部で３割を超え、「区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため」は玉川北部で３割半ば、世田谷西部で３割を超えている。

（表１４－２－１）

表１４－２－２　住みづらいと感じている理由（性・年齢別）

（%）

		n	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため	現在の住まいに係る家賃が上昇したため	区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため	現在の住まいに係る家賃が上昇する可能性があるため	今後、住宅の購入を考えているが、区内の住宅価格が上昇しているため	今後、賃貸住宅への住み替えを考えているが、区内の家賃相場が上昇しているため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇したため	今後、住宅の購入を考えているが、住宅ローンの金利が上昇しているため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇する可能性があるため	区内の住宅の供給量が減少すると考えるため	その他	無回答
全　　体		1,030	45.6	26.1	26.0	23.4	19.4	18.4	12.5	10.4	9.3	7.0	8.5	1.7
性・年齢別	男性全体	409	46.9	24.9	26.2	26.7	19.6	18.1	15.9	11.7	10.8	7.6	7.6	1.0
	10･20歳代	62	33.9	41.9	27.4	25.8	22.6	16.1	14.5	11.3	9.7	8.1	8.1	－
	30歳代	78	51.3	26.9	37.2	37.2	34.6	26.9	12.8	23.1	9.0	11.5	9.0	1.3
	40歳代	87	48.3	27.6	25.3	25.3	19.5	20.7	24.1	13.8	12.6	5.7	6.9	－
	50歳代	78	46.2	20.5	26.9	24.4	15.4	16.7	20.5	9.0	17.9	3.8	6.4	2.6
	60歳代	54	44.4	16.7	18.5	27.8	9.3	9.3	13.0	－	7.4	7.4	5.6	－
	70歳代	36	63.9	8.3	13.9	11.1	11.1	11.1	2.8	5.6	2.8	8.3	5.6	2.8
	80歳以上	14	42.9	21.4	21.4	28.6	7.1	21.4	7.1	14.3	7.1	14.3	21.4	－
	女性全体	601	44.8	26.8	25.6	21.3	19.6	18.6	10.5	9.7	8.5	6.7	9.3	2.0
	10･20歳代	69	40.6	23.2	17.4	27.5	20.3	15.9	5.8	11.6	8.7	2.9	5.8	1.4
	30歳代	129	42.6	42.6	29.5	25.6	30.2	27.9	14.0	17.1	10.1	8.5	－	0.8
	40歳代	137	46.0	28.5	34.3	17.5	18.2	13.1	21.9	10.9	10.9	7.3	8.0	－
	50歳代	124	49.2	21.8	30.6	20.2	18.5	23.4	4.8	6.5	7.3	3.2	10.5	1.6
	60歳代	85	44.7	15.3	14.1	21.2	16.5	10.6	1.2	4.7	7.1	9.4	20.0	3.5
	70歳代	39	48.7	17.9	17.9	12.8	7.7	15.4	7.7	2.6	5.1	7.7	20.5	7.7
	80歳以上	17	29.4	23.5	－	23.5	－	17.6	5.9	－	－	11.8	17.6	5.9

性・年齢別にみると、「区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため」は男性の70歳代で６割を超え、男性の30歳代で５割を超え、女性の50歳代でほぼ５割となっている。「現在の住まいに係る家賃が上昇したため」は男性の10・20歳代、女性の30歳代で４割を超え、「区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため」と「現在の住まいに係る家賃が上昇する可能性があるため」は男性の30歳代で４割近くとなっている。（表１４－２－２）

なお、基数(n)が30に満たない層については参考値とする。

表１４－２－３　住みづらいと感じている理由（ライフスタイル別）

（%）

		n	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため	現在の住まいに係る家賃が上昇したため	区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため	現在の住まいに係る家賃が上昇する可能性があるため	今後、住宅の購入を考えているが、区内の住宅価格が上昇しているため	今後、賃貸住宅への住み替えを考えているが、区内の家賃相場が上昇しているため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇したため	今後、住宅の購入を考えているが、住宅ローンの金利が上昇しているため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇する可能性があるため	区内の住宅の供給量が減少すると考えるため	その他	無回答
全　体		1,030	45.6	26.1	26.0	23.4	19.4	18.4	12.5	10.4	9.3	7.0	8.5	1.7
ライフスタイル別	15～17歳	13	23.1	30.8	30.8	30.8	15.4	15.4	7.7	－	23.1	7.7	7.7	－
	独身（18～39歳）	177	41.2	34.5	20.3	31.1	18.1	22.0	7.9	9.0	5.6	6.8	7.9	0.6
	独身（40～64歳）	128	45.3	29.7	25.0	25.8	14.1	25.8	5.5	7.8	3.1	5.5	11.7	0.8
	独身（65歳以上）	37	40.5	24.3	13.5	24.3	10.8	10.8	－	－	－	5.4	18.9	5.4
	子どもあり（一番上が小学校入学前）	88	52.3	27.3	45.5	20.5	37.5	21.6	17.0	23.9	14.8	12.5	3.4	－
	子どもあり（一番上が小・中学生）	123	38.2	31.7	29.3	17.9	21.1	13.0	30.9	13.0	13.8	4.9	5.7	1.6
	子どもあり（一番上が高校・大学生など）	95	47.4	10.5	27.4	15.8	16.8	10.5	23.2	7.4	25.3	5.3	7.4	1.1
	子どもあり（一番上が学業修了）	117	47.0	13.7	17.1	15.4	15.4	13.7	9.4	5.1	6.8	5.1	12.0	2.6
	夫婦/パートナーのみ（本人が18～39歳）	64	45.3	45.3	32.8	32.8	40.6	29.7	10.9	28.1	7.8	6.3	－	－
	夫婦/パートナーのみ（本人が40～64歳）	89	59.6	30.3	31.5	33.7	14.6	16.9	7.9	9.0	9.0	9.0	7.9	2.2
	夫婦/パートナーのみ（本人が65歳以上）	64	50.0	4.7	15.6	17.2	10.9	14.1	7.8	6.3	3.1	10.9	10.9	6.3
	その他	23	34.8	39.1	17.4	17.4	8.7	21.7	8.7	4.3	8.7	8.7	21.7	－

ライフスタイル別にみると、「区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため」は夫婦/パートナーのみ（本人が 40～64 歳）で６割、子どもあり（一番上が小学校入学前）で５割を超え、夫婦/パートナーのみ（本人が 65 歳以上）で５割となっている。「現在の住まいに係る家賃が上昇したため」は夫婦/パートナーのみ（本人が 18～39 歳）で４割半ば、「区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため」は子どもあり（一番上が小学校入学前）で４割半ばとなっている。

（表１４－２－３）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

表１４－２－４　住みづらいと感じている理由（住居形態別）

（%）

		n	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため	現在の住まいに係る家賃が上昇したため	区内で今の住まいより広い住宅に住みにくくなるため	現在の住まいに係る家賃が上昇する可能性があるため	今後、住宅の購入を考えているが、区内の住宅価格が上昇しているため	今後、賃貸住宅への住み替えを考えているが、区内の家賃相場が上昇しているため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇したため	今後、住宅の購入を考えているが、住宅ローンの金利が上昇しているため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇する可能性があるため	区内の住宅の供給量が減少すると考えるため	その他	無回答
全　体		1,030	45.6	26.1	26.0	23.4	19.4	18.4	12.5	10.4	9.3	7.0	8.5	1.7
住居形態別	持ち家（一戸建て）	270	41.1	8.9	15.9	7.0	11.1	5.6	25.2	4.4	15.6	7.0	18.1	3.0
	持ち家（アパート・マンション）	184	41.3	9.2	29.3	11.4	14.1	9.2	23.9	7.6	22.3	8.2	10.3	1.1
	民営賃貸アパート・マンション	428	47.9	43.9	30.4	38.6	23.1	28.3	2.8	13.8	1.9	7.2	3.3	0.7
	都市再生機構・公社・都営住宅・区営住宅	23	56.5	47.8	30.4	39.1	21.7	13.0	4.3	17.4	4.3	－	－	－
	社宅・官舎・寮・間借り・住み込み	46	60.9	28.3	30.4	17.4	43.5	32.6	2.2	15.2	－	10.9	－	－
	一戸建て借家	45	48.9	26.7	22.2	33.3	31.1	28.9	4.4	22.2	4.4	2.2	4.4	2.2
	その他	25	48.0	16.0	20.0	16.0	16.0	16.0	4.0	4.0	8.0	4.0	16.0	4.0

住居形態別にみると、「区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が今後も続くと考えるため」は社宅・官舎・寮・間借り・住み込みでほぼ６割、一戸建て借家と民営賃貸アパート・マンションで５割近くとなっている。「現在の住まいに係る家賃が上昇したため」は民営賃貸アパート・マンションで４割を超え、「現在の住まいに係る家賃が上昇する可能性があるため」は民営賃貸アパート・マンションで４割近くとなっている。「今後、住宅の購入を考えているが、区内の住宅価格が上昇しているため」は社宅・官舎・寮・間借り・住み込みで４割を超えている。（表１４－２－４）

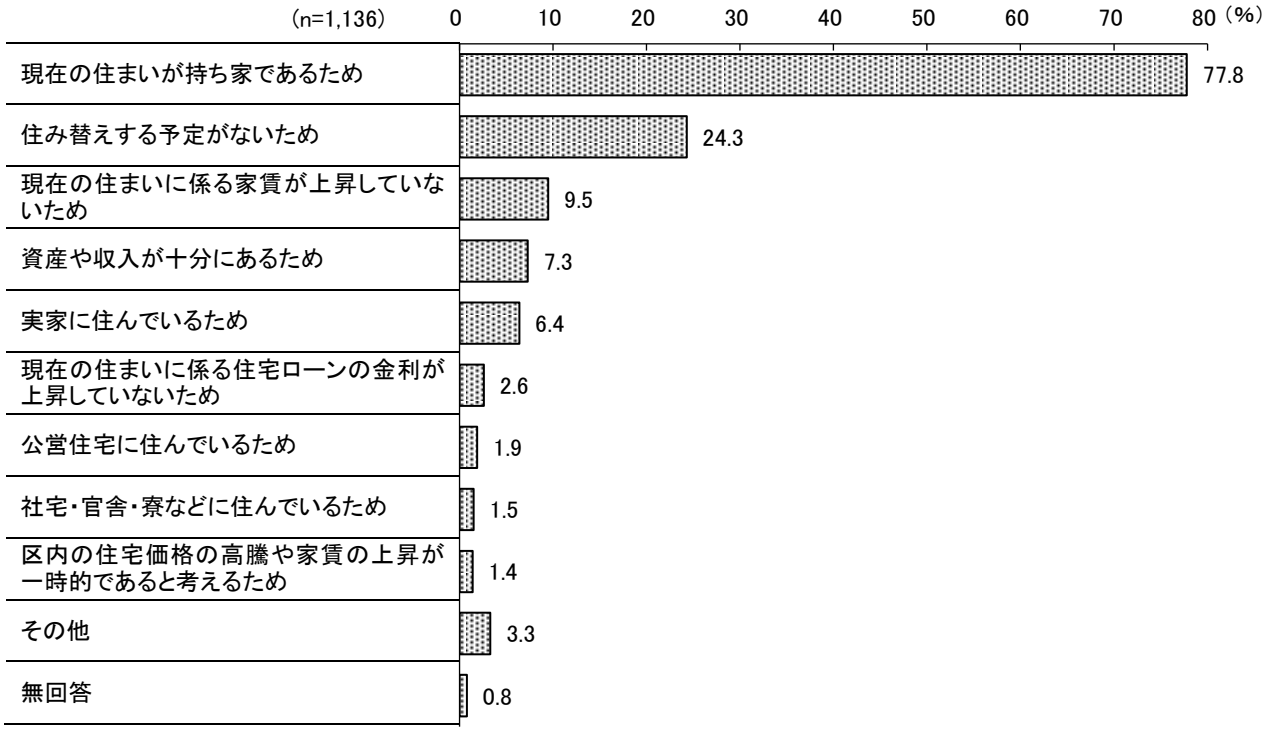
なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

（３）住みづらいと感じていない理由

◎「現在の住まいが持ち家であるため」が８割近く

（問３８で「あまり住みづらいと感じていない」または「住みづらいと感じていない」と答えた方に）
問３８－２　「住みづらいと感じていない」理由は何ですか。（○はいくつでも）

図１４－３－１



住居費が要因で世田谷区内で「あまり住みづらいと感じていない」または「住みづらいと感じていない」と答えた方（1,136 人）に、その理由を聞いたところ、「現在の住まいが持ち家であるため」（77.8%）が８割近くで最も高く、以下、「住み替えする予定がないため」（24.3%）、「現在の住まいに係る家賃が上昇していないため」（9.5%）、「資産や収入が十分にあるため」（7.3%）などと続く。（図１４－３－１）

表１４－３－１　住みづらいと感じていない理由（地域別）

（%）

		n	現在の住まいが持ち家であるため	住み替えする予定がないため	現在の住まいに係る家賃が上昇していないため	資産や収入が十分にあるため	実家に住んでいるため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇していないため	公営住宅に住んでいるため	社宅・官舎・寮などに住んでいるため	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が一時的であると考えるため	その他	無回答
全　体		1,136	77.8	24.3	9.5	7.3	6.4	2.6	1.9	1.5	1.4	3.3	0.8
地域別	世田谷東部	153	77.8	20.9	13.7	3.3	5.2	3.3	0.7	3.3	1.3	5.2	0.7
	世田谷西部	139	76.3	22.3	8.6	8.6	5.8	4.3	2.9	1.4	1.4	1.4	－
	北沢東部	79	70.9	15.2	12.7	6.3	3.8	1.3	－	1.3	3.8	5.1	－
	北沢西部	100	82.0	25.0	8.0	5.0	8.0	－	2.0	－	1.0	4.0	3.0
	玉川北部	114	77.2	25.4	8.8	9.6	7.0	0.9	2.6	1.8	0.9	2.6	－
	玉川南部	99	82.8	28.3	4.0	14.1	10.1	2.0	－	2.0	2.0	1.0	1.0
	玉川西部	84	85.7	27.4	8.3	11.9	8.3	2.4	1.2	1.2	－	2.4	－
	砧北部	146	77.4	30.1	8.2	6.2	8.2	2.1	2.7	2.1	1.4	2.1	2.1
	砧南部	59	69.5	28.8	10.2	3.4	6.8	6.8	3.4	－	－	6.8	－
	烏山	157	77.1	21.0	11.5	6.4	3.2	3.8	3.2	0.6	1.9	3.2	0.6

地域別にみると、「現在の住まいが持ち家であるため」は玉川西部で８割半ば、玉川南部、北沢西部で８割を超えている。「住み替えする予定がないため」は砧北部で３割、砧南部、玉川南部、玉川西部で３割近くとなっている。（表１４－３－１）

表１４－３－２　住みづらいと感じていない理由（性・年齢別）

（%）

		n	現在の住まいが持ち家であるため	住み替えする予定がないため	現在の住まいに係る家賃が上昇していないため	資産や収入が十分にあるため	実家に住んでいるため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇していないため	公営住宅に住んでいるため	社宅・官舎・寮などに住んでいるため	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が一時的であると考えるため	その他	無回答
全　　体		1,136	77.8	24.3	9.5	7.3	6.4	2.6	1.9	1.5	1.4	3.3	0.8
性・年齢別	男性全体	478	76.4	22.4	12.1	10.0	7.3	3.6	1.3	1.3	1.7	2.5	1.0
	10・20歳代	27	14.8	7.4	22.2	18.5	37.0	－	－	3.7	－	7.4	－
	30歳代	35	37.1	8.6	28.6	8.6	20.0	5.7	－	－	－	8.6	2.9
	40歳代	56	76.8	16.1	19.6	12.5	3.6	7.1	1.8	1.8	－	1.8	－
	50歳代	101	83.2	19.8	7.9	12.9	7.9	7.9	1.0	2.0	1.0	3.0	3.0
	60歳代	100	84.0	22.0	9.0	13.0	3.0	3.0	1.0	－	1.0	1.0	1.0
	70歳代	104	85.6	28.8	8.7	3.8	3.8	－	1.9	1.0	3.8	1.9	－
	80歳以上	55	87.3	38.2	9.1	5.5	1.8	－	1.8	1.8	3.6	－	－
	女性全体	627	78.1	24.9	8.0	5.4	5.6	2.1	2.6	1.8	1.1	3.8	0.6
	10・20歳代	30	26.7	3.3	23.3	6.7	36.7	－	－	3.3	3.3	6.7	－
	30歳代	42	31.0	21.4	16.7	4.8	4.8	2.4	2.4	9.5	2.4	14.3	4.8
	40歳代	80	68.8	13.8	13.8	8.8	7.5	3.8	1.3	2.5	1.3	3.8	－
	50歳代	124	84.7	22.6	8.1	4.8	4.8	4.0	0.8	1.6	－	2.4	－
	60歳代	128	89.1	24.2	4.7	4.7	6.3	2.3	0.8	0.8	0.8	3.1	－
	70歳代	142	88.7	31.7	4.2	4.2	0.7	－	5.6	0.7	2.1	2.1	－
	80歳以上	79	84.8	38.0	3.8	5.1	1.3	1.3	5.1	－	－	3.8	2.5

性・年齢別にみると、「現在の住まいが持ち家であるため」は男女とも 50 歳代以上で８割台となっている。「住み替えする予定がないため」は男女とも 80 歳以上で４割近く、女性の 70 歳代で３割を超え、男性の 70 歳代で３割近く、「現在の住まいに係る家賃が上昇していないため」は男性の 30 歳代で３割近くとなっている。（表１４－３－２）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

表１４－３－３　住みづらいと感じていない理由（住居形態別）

（%）

		n	現在の住まいが持ち家であるため	住み替えする予定がないため	現在の住まいに係る家賃が上昇していないため	資産や収入が十分にあるため	実家に住んでいるため	現在の住まいに係る住宅ローンの金利が上昇していないため	公営住宅に住んでいるため	社宅・官舎・寮などに住んでいるため	区内の住宅価格の高騰や家賃の上昇が一時的であると考えるため	その他	無回答
全　体		1,136	77.8	24.3	9.5	7.3	6.4	2.6	1.9	1.5	1.4	3.3	0.8
住居形態別	持ち家（一戸建て）	607	92.9	23.4	1.6	6.9	8.2	2.5	0.2	0.2	1.2	1.5	0.5
	持ち家（アパート・マンション）	338	91.1	29.0	2.7	8.3	3.0	4.4	－	－	1.8	2.4	0.3
	民営賃貸アパート・マンション	109	－	19.3	63.3	10.1	0.9	－	－	2.8	2.8	13.8	2.8
	都市再生機構・公社・都営住宅・区営住宅	27	－	18.5	25.9	3.7	－	－	77.8	－	－	3.7	3.7
	社宅・官舎・寮・間借り・住み込み	19	15.8	10.5	15.8	5.3	－	－	－	68.4	－	－	－
	一戸建て借家	15	6.7	13.3	46.7	－	33.3	－	－	－	－	13.3	－
	その他	13	23.1	23.1	23.1	－	46.2	－	－	－	－	7.7	7.7

住居形態別にみると、持ち家（一戸建て）と持ち家（アパート・マンション）は「現在の住まいが持ち家であるため」が９割を超え、「住み替えする予定がないため」が２割台となっている。民営賃貸アパート・マンションは「現在の住まいに係る家賃が上昇していないため」が６割を超え、「住み替えする予定がないため」がほぼ２割となっている。（表１４－３－３）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

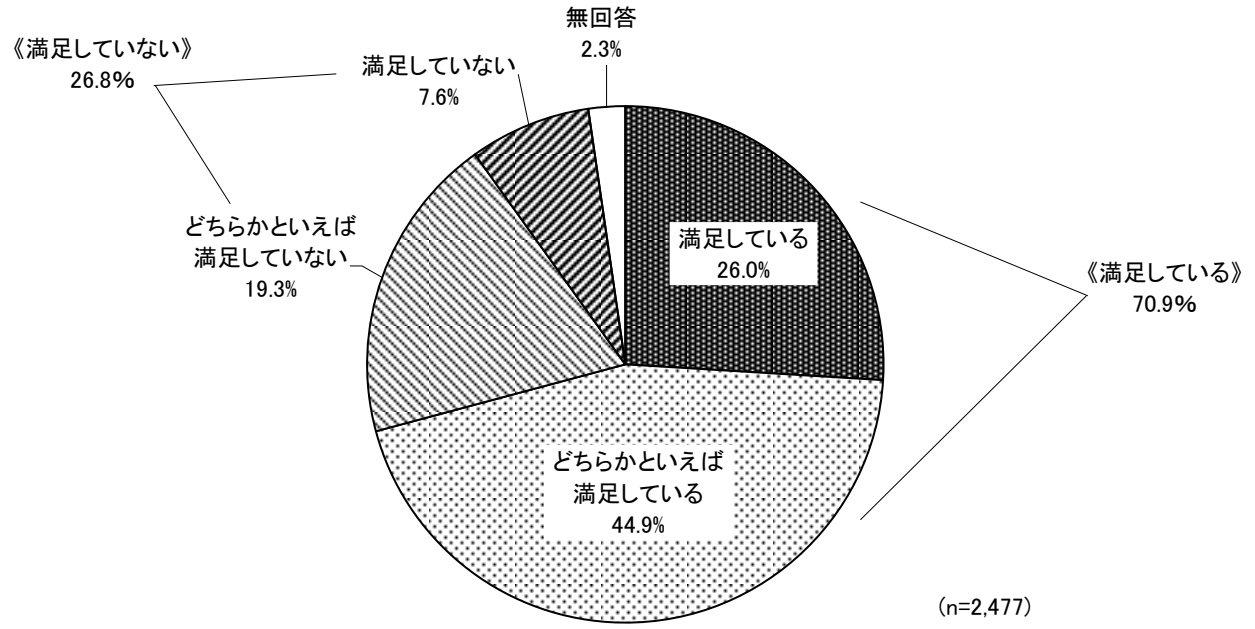
15. 交通

（１）区の交通手段の満足度

◎《満足している》がほぼ７割、《満足していない》が３割近く

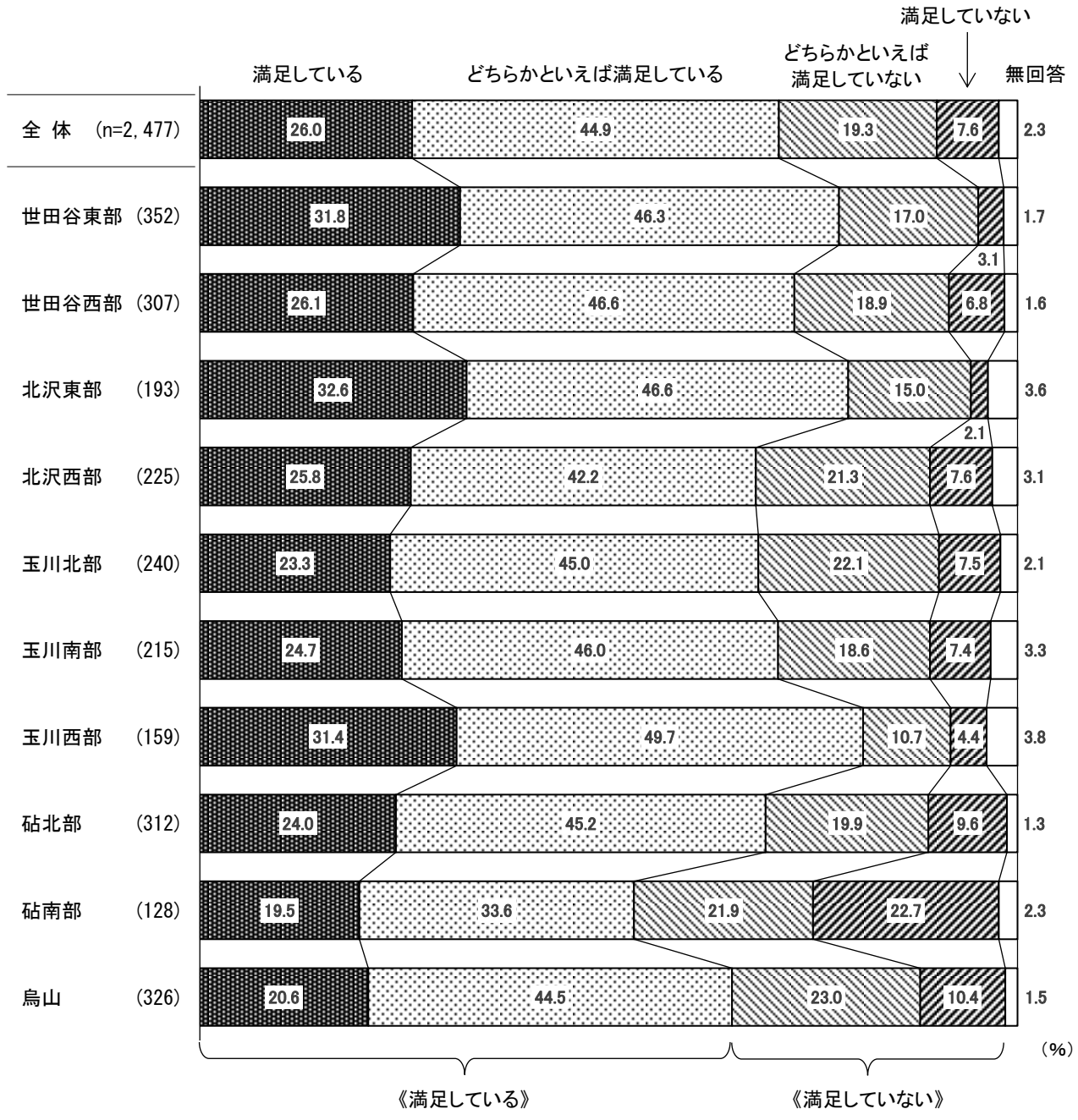
問３９　あなたは、区内の交通手段（移動手段）に満足していますか。（○は１つ）

図１５－１－１



区内の交通手段に満足しているか聞いたところ、「どちらかといえば満足している」（44.9%）が４割半ばで最も高く、「満足している」（26.0%）と合わせた《満足している》（70.9%）がほぼ７割となっている。「どちらかといえば満足していない」（19.3%）と「満足していない」（7.6%）を合わせた《満足していない》（26.8%）は３割近くとなっている。（図１５－１－１）

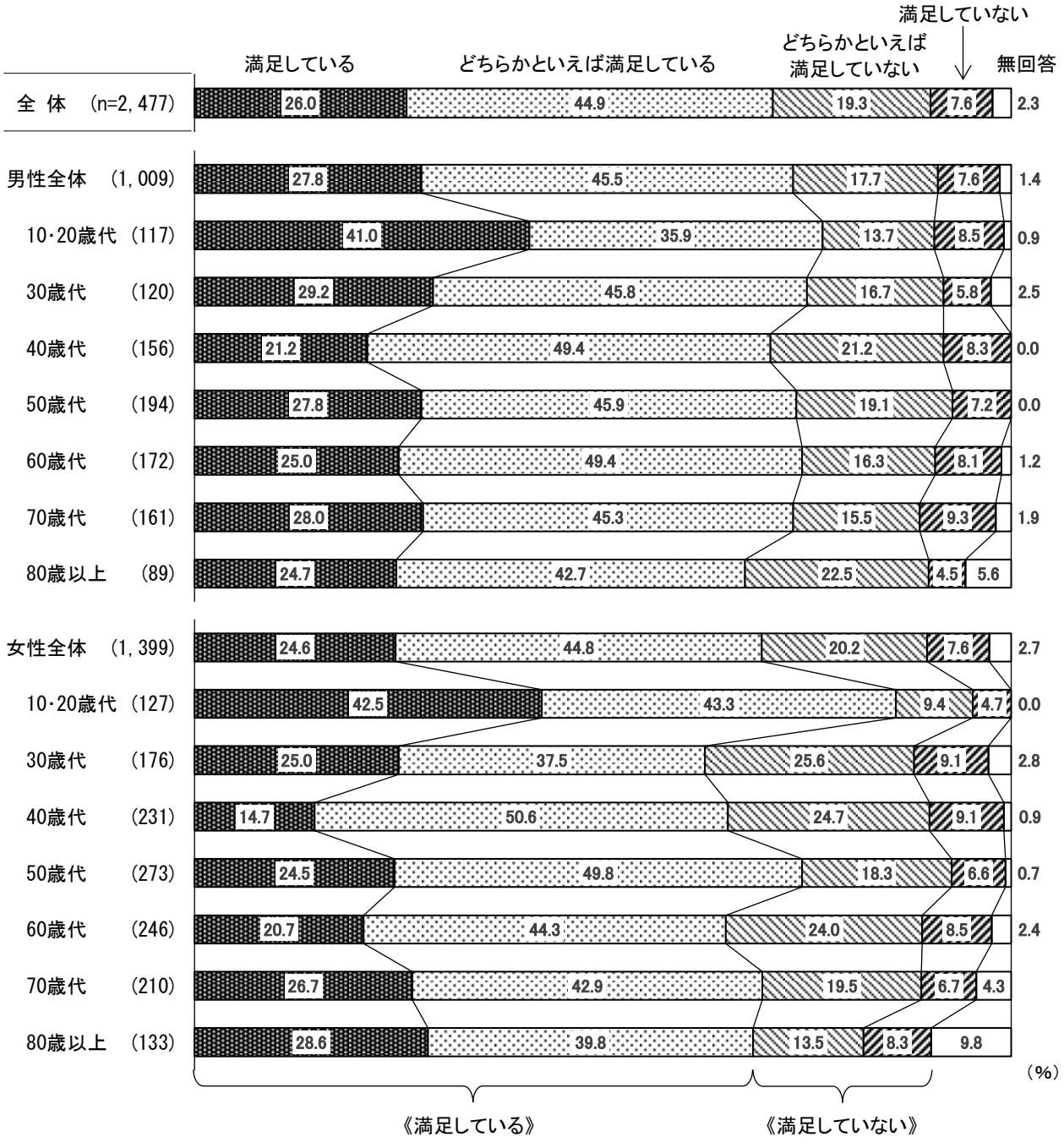
図１５－１－２　区の交通手段の満足度（地域別）



地域別にみると、「満足している」は北沢東部、世田谷東部、玉川西部で３割を超えている。《満足している》は玉川西部で８割を超え、北沢東部でほぼ８割、世田谷東部で８割近くとなっている。《満足していない》は砧南部で４割半ば、烏山で３割を超え、玉川北部、砧北部で３割となっている。

（図１５－１－２）

図１５－１－３　区の交通手段の満足度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「満足している」は男女とも 10・20 歳代で４割を超えている。《満足している》は女性の 10・20 歳代で８割半ば、男性の 10・20 歳代で８割近く、男性の 30 歳代と 60 歳代、女性の 50 歳代で７割半ばとなっている。《満足していない》は女性の 30 歳代で３割半ば、女性の 40 歳代と 60 歳代で３割を超え、男性の 40 歳代で３割となっている。（図１５－１－３）

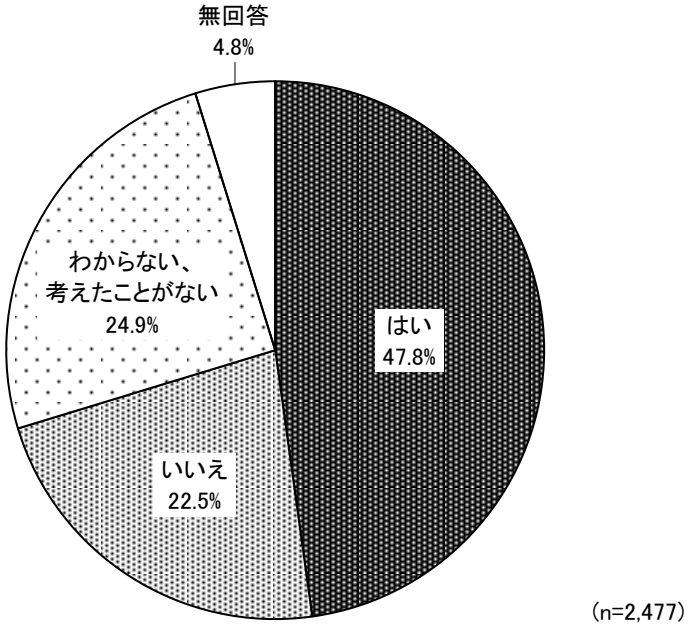
16. 就労・起業

（１）キャリアアップへの興味

◎「はい」が５割近く

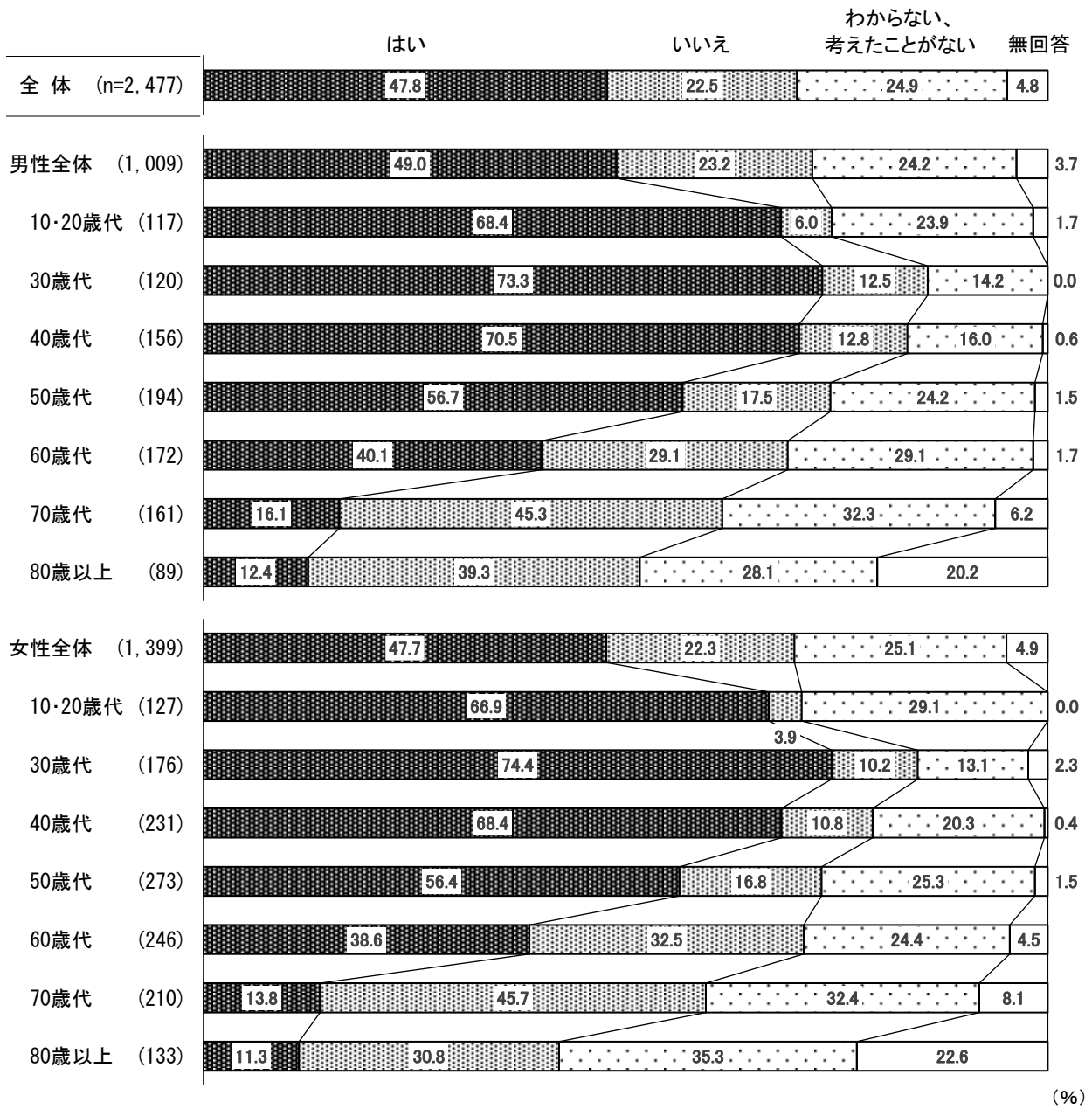
問４０　収入のある仕事を通じたキャリアアップについて、興味がありますか。（○は１つ）

図１６－１－１



収入のある仕事を通じたキャリアアップに興味があるかを聞いたところ、「はい」（47.8%）が５割近くで最も高く、「わからない、考えたことがない」（24.9%）が２割半ば、「いいえ」（22.5%）が２割を超えている。（図１６－１－１）

図１６－１－２　キャリアアップへの興味（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「はい」は女性の 30 歳代で７割半ば、男性の 30 歳代で７割を超え、男性の 40 歳代でほぼ７割、男性の 10・20 歳代、女性の 10・20 歳代と 40 歳代で７割近くとなっている。

（図１６－１－２）

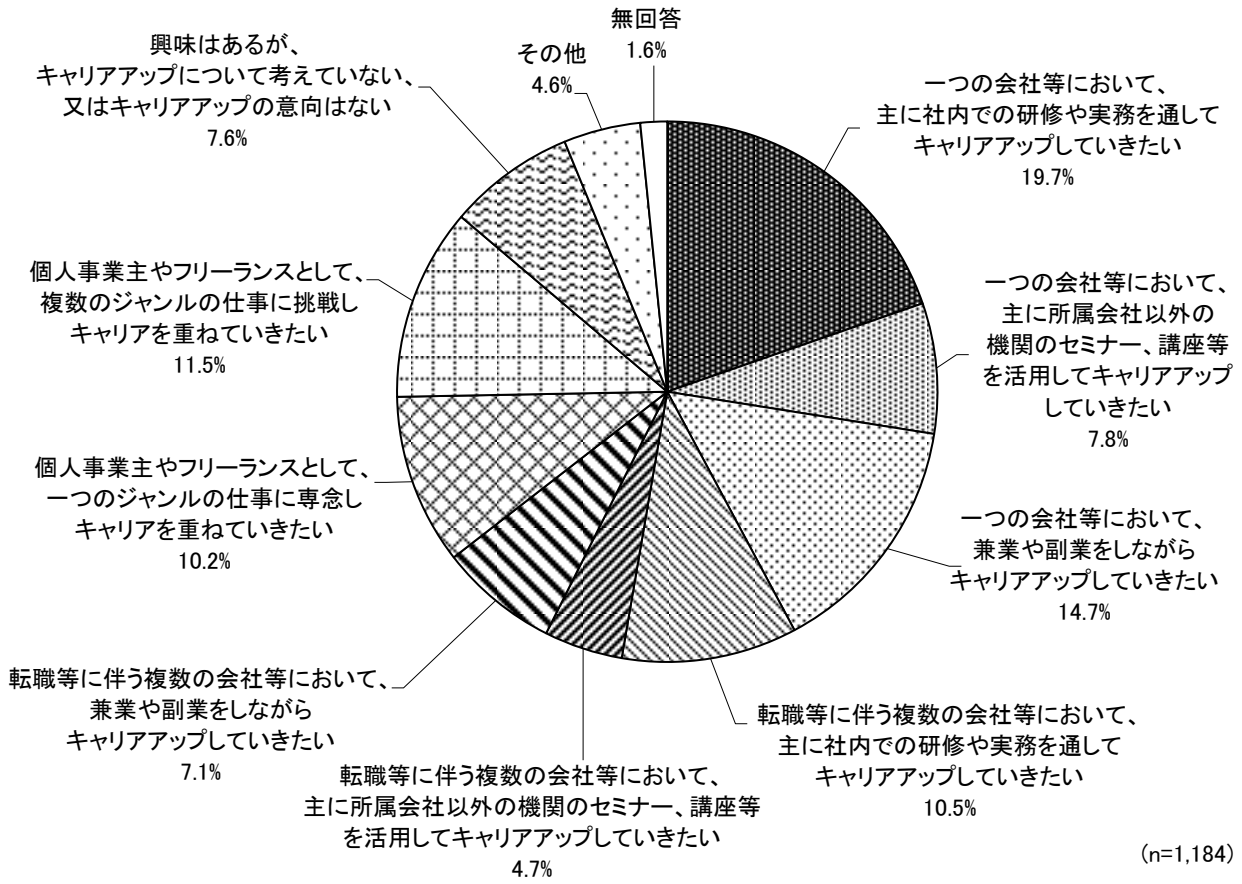
（２）キャリアアップについての考え方

◎「一つの会社等において、主に社内での研修や実務を通してキャリアアップしていきたい」が２割

（問４０で「はい」と答えた方に）

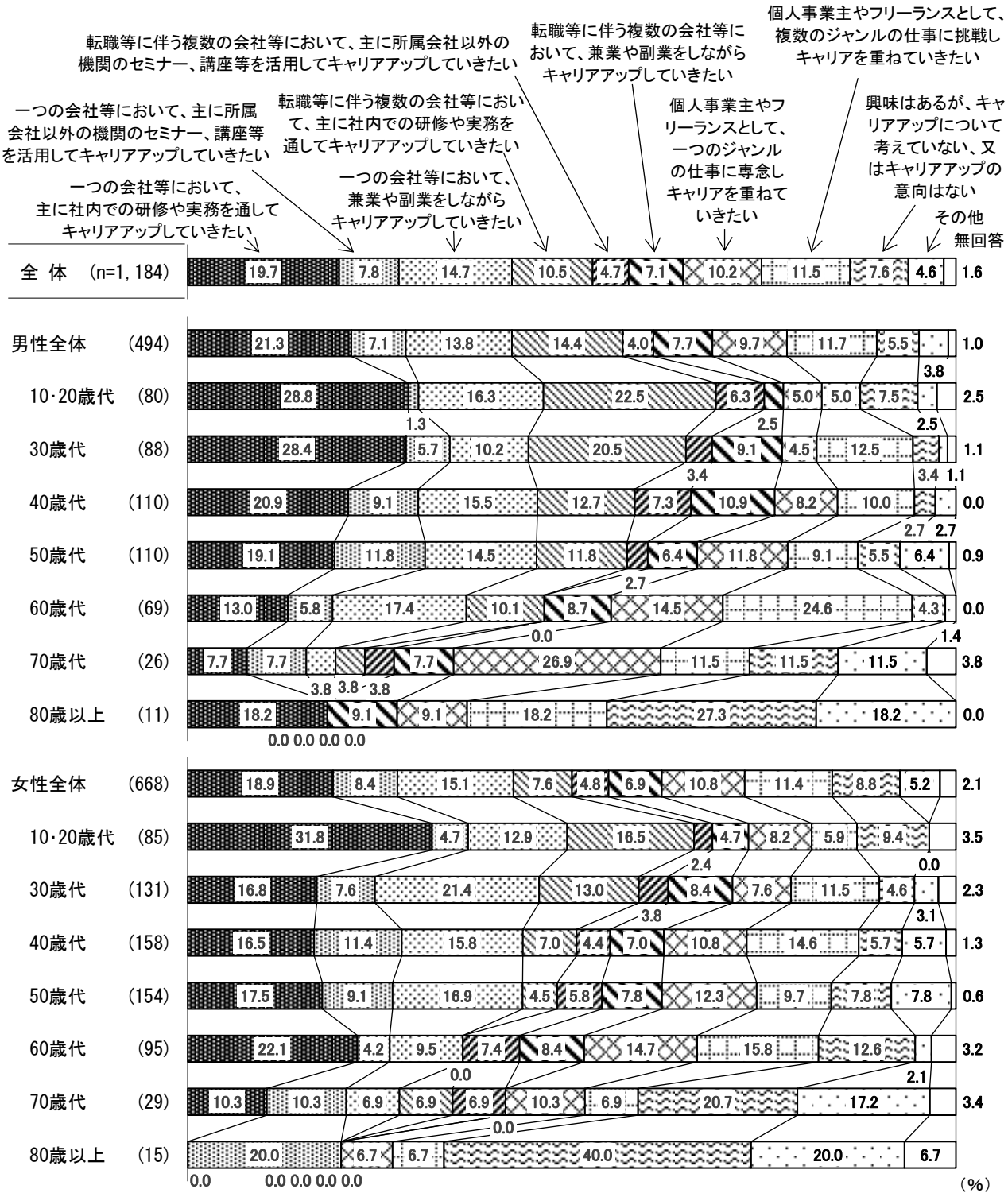
問４０－１　収入のある仕事を通じたキャリアアップについて、自身の考え方に一番近いものはどれですか。（○は１つ）

図１６－２－１



収入のある仕事を通じたキャリアアップに興味があるかについて「はい」と答えた方（1,184 人）に、キャリアアップについての考え方を聞いたところ、「一つの会社等において、主に社内での研修や実務を通してキャリアアップしていきたい」（19.7%）が２割で最も高く、以下、「一つの会社等において、兼業や副業をしながらキャリアアップしていきたい」（14.7%）、「個人事業主やフリーランスとして、複数のジャンルの仕事に挑戦しキャリアを重ねていきたい」（11.5%）、「転職等に伴う複数の会社等において、主に社内での研修や実務を通してキャリアアップしていきたい」（10.5%）などと続く。（図１６－２－１）

図１６－２－２　キャリアアップについての考え方（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「一つの会社等において、主に社内での研修や実務を通してキャリアアップしていきたい」は女性の 10・20 歳代で３割を超え、男性の 10・20 歳代と 30 歳代で３割近く、「一つの会社等において、兼業や副業をしながらキャリアアップしていきたい」は女性の 30 歳代で２割を超えている。「個人事業主やフリーランスとして、複数のジャンルの仕事に挑戦しキャリアを重ねていきたい」は男性の 60 歳代で２割半ばとなっている。（図１６－２－２）

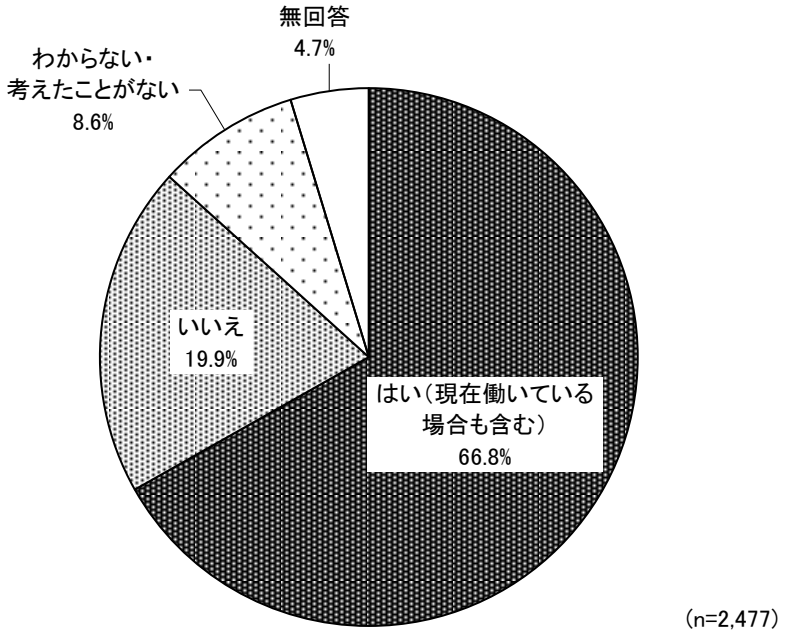
なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

（３）就労意向

◎「はい（現在働いている場合も含む）」が７割近く

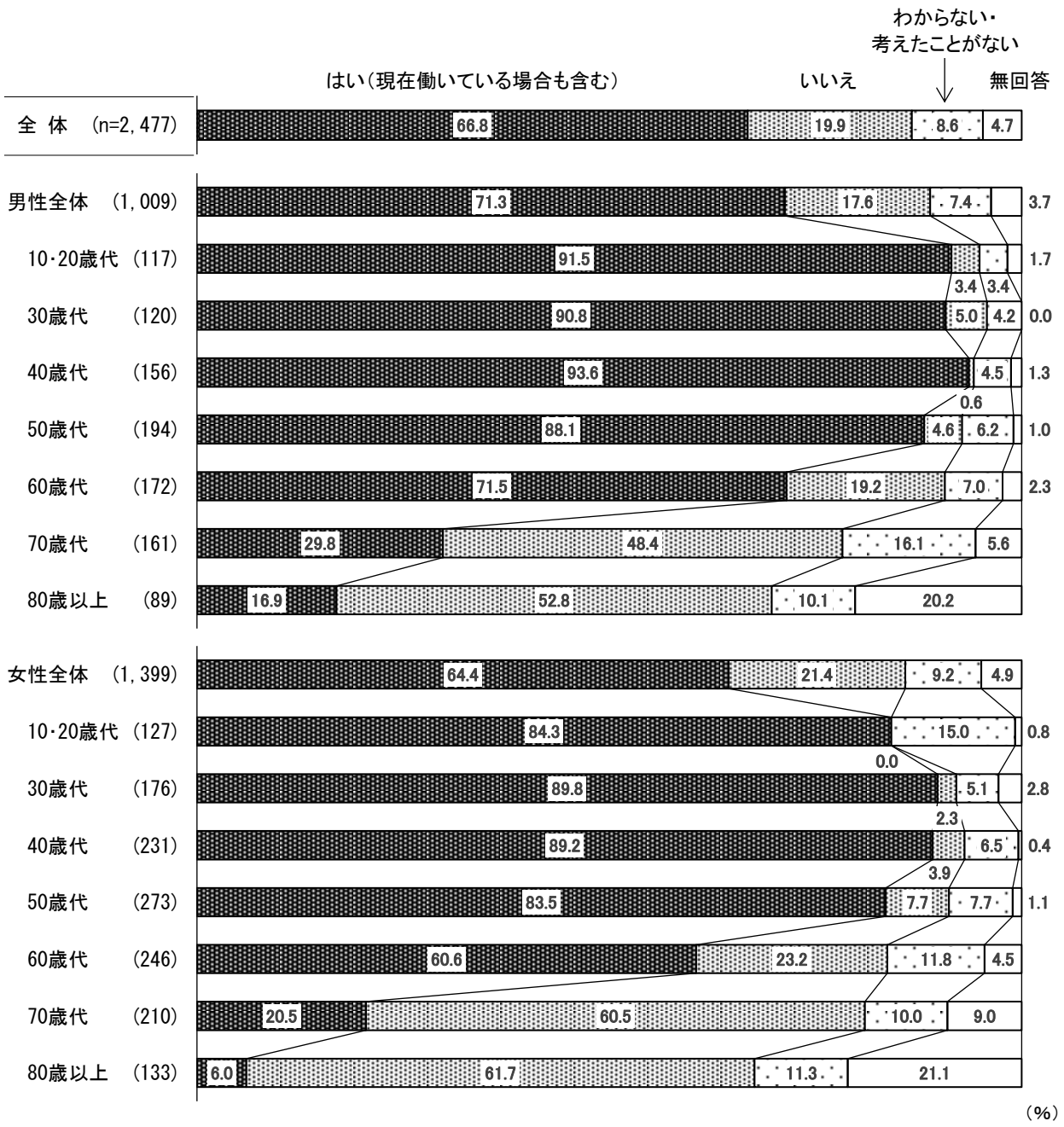
問４１　収入のある仕事に就く意向がありますか。（○は１つ）

図１６－３－１



収入のある仕事に就く意向があるかを聞いたところ、「はい（現在働いている場合も含む）」（66.8%）が７割近くで最も高く、「いいえ」（19.9%）が２割、「わからない・考えたことがない」（8.6%）が１割近くとなっている。（図１６－３－１）

図１６－３－２　就労意向（性・年齢別）



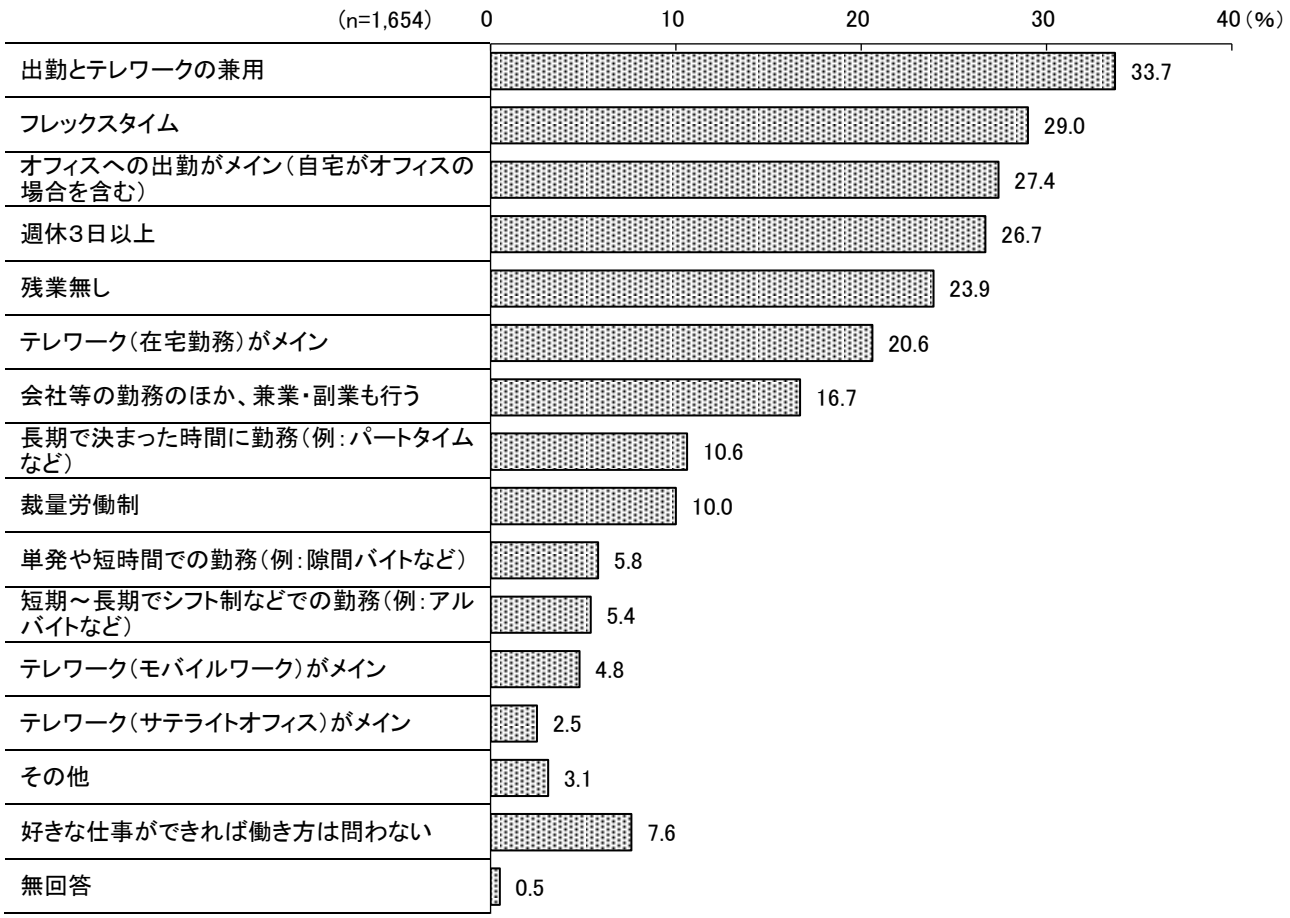
性・年齢別にみると、「はい（現在働いている場合も含む）」は男性の 10・20 歳代～40 歳代が９割台、男性の 50 歳代と女性の 10・20 歳代～50 歳代が８割台となっている。（図１６－３－２）

（４）希望する働き方

◎「出勤とテレワークの兼用」が３割を超える

（問４１で「はい（現在働いている場合も含む）」と答えた方に）
問４１－１　どのような働き方を希望しますか。（○はいくつでも）

図１６－４－１



収入のある仕事に就く意向があるかについて「はい(現在働いている場合も含む)」と答えた方(1,654人）に、希望する働き方を聞いたところ、「出勤とテレワークの兼用」（33.7%）が３割を超えて最も高く、以下、「フレックスタイム」（29.0%）、「オフィスへの出勤がメイン（自宅がオフィスの場合を含む）」（27.4%）、「週休３日以上」（26.7%）、「残業無し」（23.9%）などと続く。

（図１６－４－１）

表１６－４－１　希望する働き方（性・年齢別）

（%）

		n	出勤とテレワークの兼用	フレックスタイム	オフィスへの出勤がメイン（自宅がオフィスの場合を含む）	週休３日以上	残業無し	テレワーク（在宅勤務）がメイン	会社等の勤務のほか、兼業・副業も行う	長期で決まった時間に勤務（例：パートタイムなど）	裁量労働制	単発や短時間での勤務（例：隙間バイトなど）	短期～長期でシフト制などでの勤務（例：アルバイトなど）	テレワーク（モバイルワーク）がメイン	テレワーク（サテライトオフィス）がメイン	その他	好きな仕事ができれば働き方は問わない	無回答
全　体		1,654	33.7	29.0	27.4	26.7	23.9	20.6	16.7	10.6	10.0	5.8	5.4	4.8	2.5	3.1	7.6	0.5
性・年齢別	男性全体	719	36.6	27.8	32.8	22.7	18.4	16.8	18.9	3.6	13.4	2.8	2.4	3.8	3.1	3.6	8.5	0.3
	10･20歳代	107	35.5	27.1	39.3	19.6	14.0	17.8	14.0	1.9	4.7	0.9	0.9	2.8	2.8	1.9	18.7	－
	30歳代	109	45.9	37.6	29.4	33.0	30.3	28.4	23.9	2.8	11.0	0.9	－	1.8	3.7	1.8	2.8	－
	40歳代	146	39.0	32.9	29.5	22.6	20.5	18.5	24.0	1.4	18.5	0.7	1.4	5.5	5.5	4.8	8.2	1.4
	50歳代	171	43.9	29.2	37.4	16.4	14.6	11.7	19.3	3.5	18.7	2.9	1.8	5.8	2.3	1.8	7.0	－
	60歳代	123	29.3	18.7	34.1	29.3	18.7	16.3	18.7	4.1	11.4	4.9	0.8	2.4	1.6	2.4	5.7	－
	70歳代	48	10.4	14.6	20.8	16.7	8.3	4.2	8.3	8.3	10.4	8.3	12.5	2.1	2.1	16.7	12.5	－
	80歳以上	15	13.3	13.3	20.0	6.7	13.3	13.3	－	26.7	6.7	13.3	26.7	－	－	6.7	6.7	－
	女性全体	901	32.1	30.5	23.4	29.5	28.2	23.4	15.1	16.1	7.3	7.9	7.5	5.5	2.2	2.7	6.7	0.6
	10･20歳代	107	34.6	31.8	36.4	24.3	31.8	16.8	17.8	1.9	4.7	4.7	3.7	5.6	1.9	1.9	13.1	0.9
	30歳代	158	48.1	44.3	22.2	31.6	30.4	36.1	17.7	7.0	7.0	3.2	1.3	8.9	3.8	0.6	1.3	0.6
	40歳代	206	39.3	37.4	18.4	34.0	32.0	32.5	21.8	12.1	10.2	7.8	6.3	8.3	3.9	1.0	6.3	1.0
	50歳代	228	32.0	28.1	25.0	30.3	30.3	20.2	14.5	20.2	6.6	7.9	10.5	3.9	1.3	3.1	7.0	0.4
	60歳代	149	14.1	16.8	22.1	27.5	21.5	14.8	7.4	30.9	6.7	14.1	14.1	2.7	0.7	3.4	5.4	－
	70歳代	43	2.3	9.3	14.0	20.9	9.3	2.3	－	32.6	9.3	9.3	9.3	－	－	9.3	14.0	－
	80歳以上	8	－	12.5	37.5	12.5	12.5	－	－	12.5	－	12.5	－	－	－	25.0	12.5	－

性・年齢別にみると、「出勤とテレワークの兼用」は女性の 30 歳代で５割近く、男性の 30 歳代で４割半ば、男性の 50 歳代で４割を超えている。「フレックスタイム」は女性の 30 歳代で４割半ば、男性の 30 歳代、女性の 40 歳代で４割近く、「オフィスへの出勤がメイン（自宅がオフィスの場合を含む）」は男性の 10・20 歳代でほぼ４割、男性の 50 歳代で４割近く、女性の 10・20 歳代で３割半ばとなっている。（表１６－４－１）

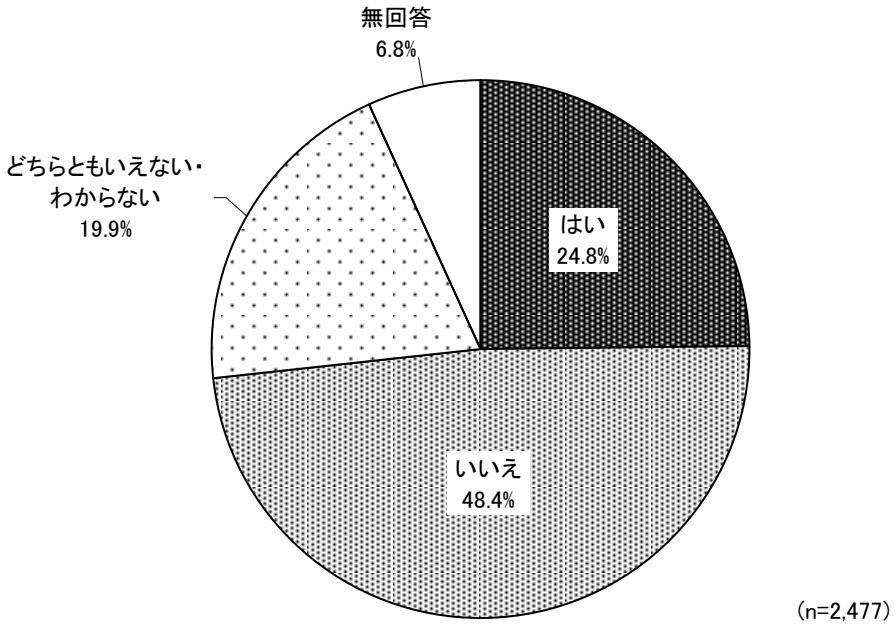
なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

（５）起業への関心

◎「いいえ」が５割近く、「はい」が２割半ば

問４２　起業（自営業の方は新分野へ進出）に関心はありますか。現在の職業や立場（学生・会社員・家事専業など）は問いません。なお、起業を伴う副業も含みます。（○は１つ）

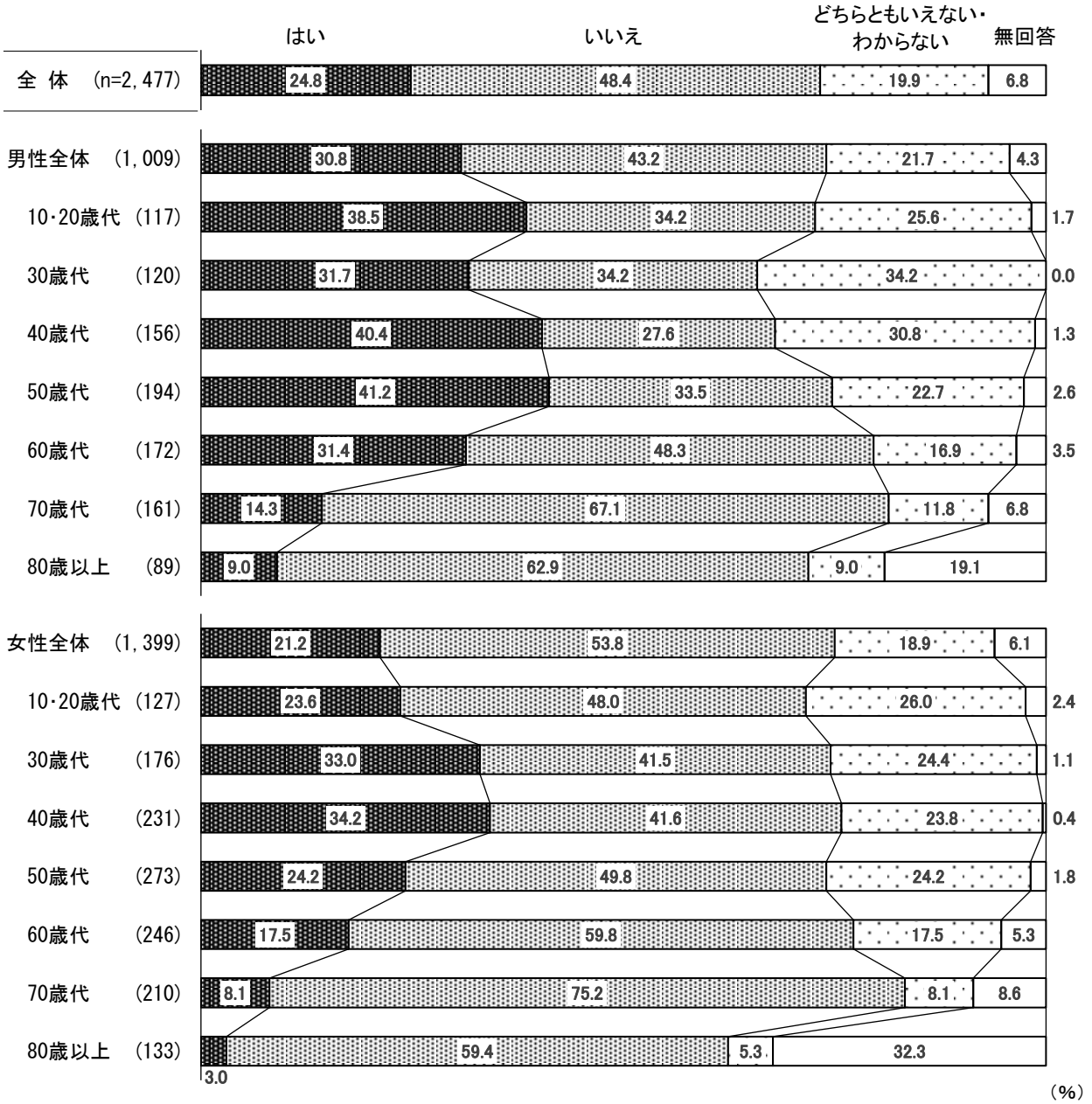
図１６－５－１



起業に関心があるかを聞いたところ、「いいえ」（48.4%）が５割近くで最も高く、「はい」（24.8%）が２割半ば、「どちらともいえない・わからない」（19.9%）が２割となっている。

（図１６－５－１）

図１６－５－２　起業への関心（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「はい」は男性の 50 歳代で４割を超え、男性の 40 歳代で４割、男性の 10・20 歳代で４割近く、女性の 40 歳代で３割半ば、男性の 30 歳代と 60 歳代、女性の 30 歳代で３割を超えている。（図１６－５－２）

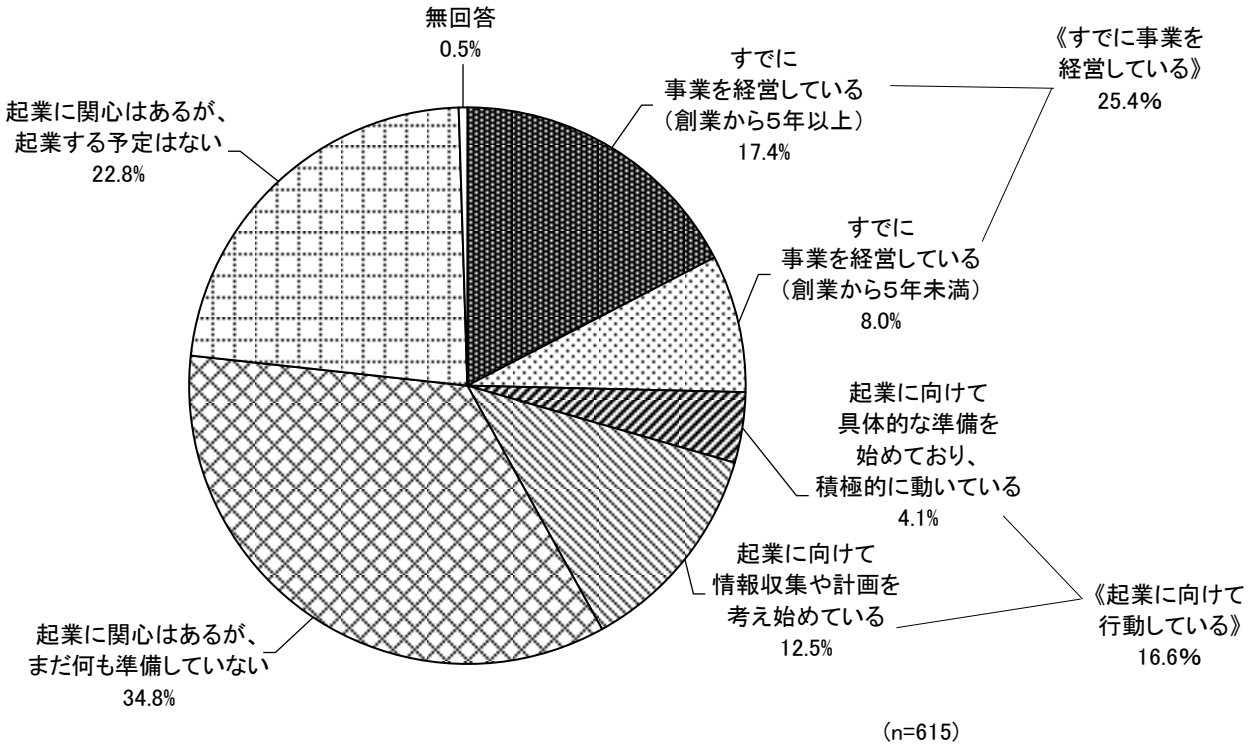
（６）起業に関する状況

◎「起業に関心はあるが、まだ何も準備していない」が３割半ば

（問４２で「はい」と答えた方に）

問４２－１　起業に関してあなたの状況に一番近いものを教えてください。（○は１つ）

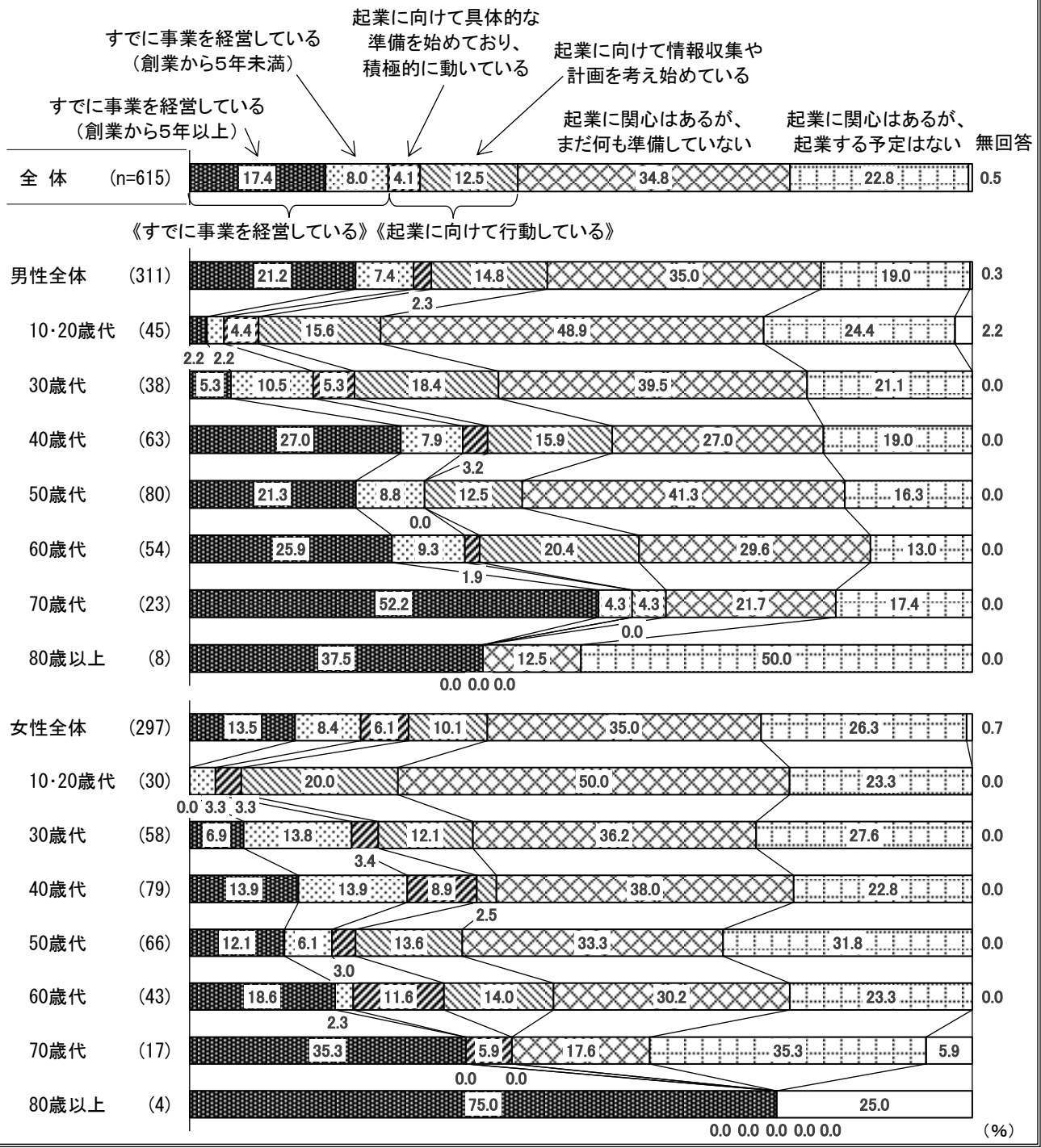
図１６－６－１



起業に関心があるかについて「はい」と答えた方（615 人）に、起業に関する状況を聞いたところ、「起業に関心はあるが、まだ何も準備していない」（34.8%）が３割半ばで最も高く、以下、「起業に関心はあるが、起業する予定はない」（22.8%）、「すでに事業を経営している（創業から５年以上）」（17.4%）、「起業に向けて情報収集や計画を考え始めている」（12.5%）などと続く。

「すでに事業を経営している（創業から５年以上）」（17.4%）と「すでに事業を経営している（創業から５年未満）」（8.0%）を合わせた《すでに事業を経営している》（25.4%）は２割半ば、「起業に向けて具体的な準備を始めており、積極的に動いている」（4.1%）と「起業に向けて情報収集や計画を考え始めている」（12.5%）を合わせた《起業に向けて行動している》（16.6%）は２割近くとなっている。（図１６－６－１）

図１６－６－２　起業に関する状況（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「起業に関心はあるが、まだ何も準備していない」は女性の 10・20 歳代で５割、男性の 10・20 歳代で５割近く、男性の 50 歳代で４割を超え、男性の 30 歳代で４割となっている。「起業に関心はあるが、起業する予定はない」は女性の 50 歳代で３割を超え、女性の 30 歳代で３割近く、「すでに事業を経営している（創業から５年以上）」は男性の 40 歳代で３割近く、男性の 60 歳代で２割半ばとなっている。《起業に向けて行動している》は 60 歳代女性（25.6％）、30 歳代男性（23.7％）、10・20 歳代女性（23.3％）、60 歳代男性（22.2％）と、世代間で比較すると、60 歳代と若年層で割合が高い。（図１６－６－２）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

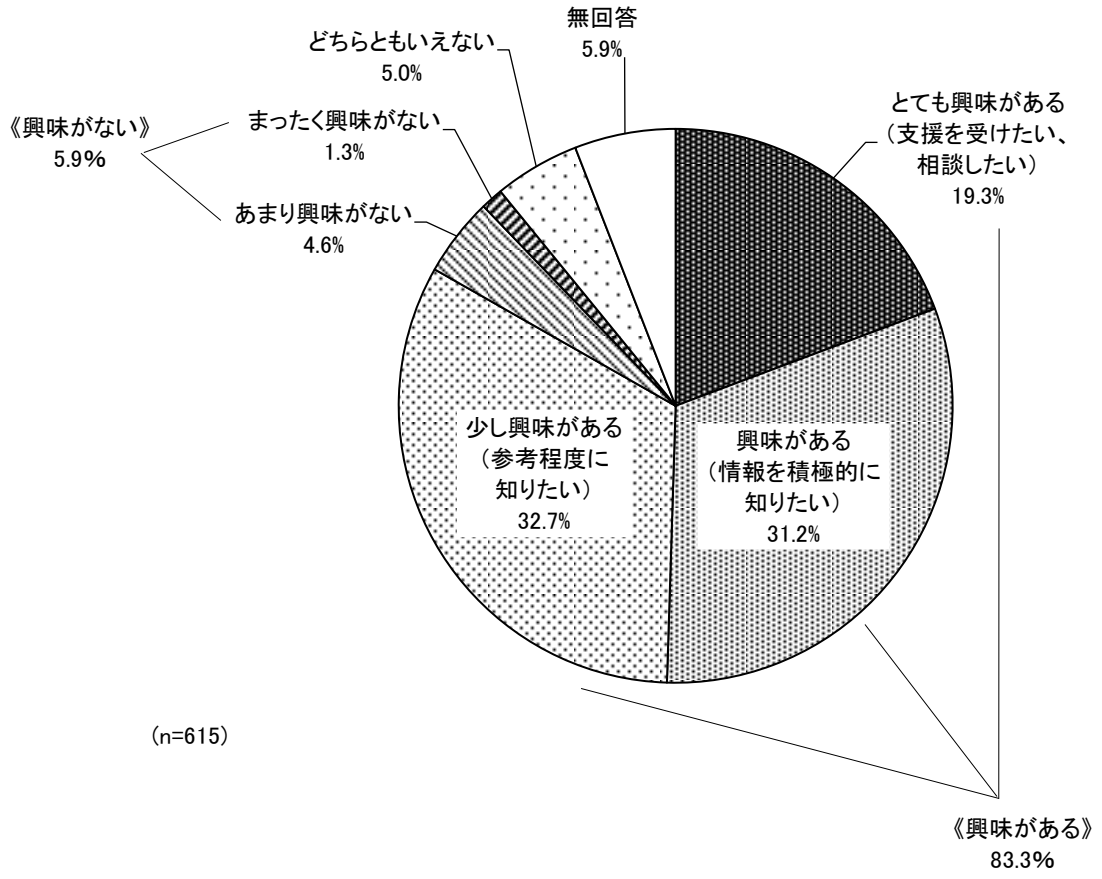
（７）起業に関する情報・支援への興味

◎《興味がある》が８割を超える

（問４２で「はい」と答えた方に）

問４２－２　起業に関する情報や支援にどの程度興味がありますか。（○は１つ）

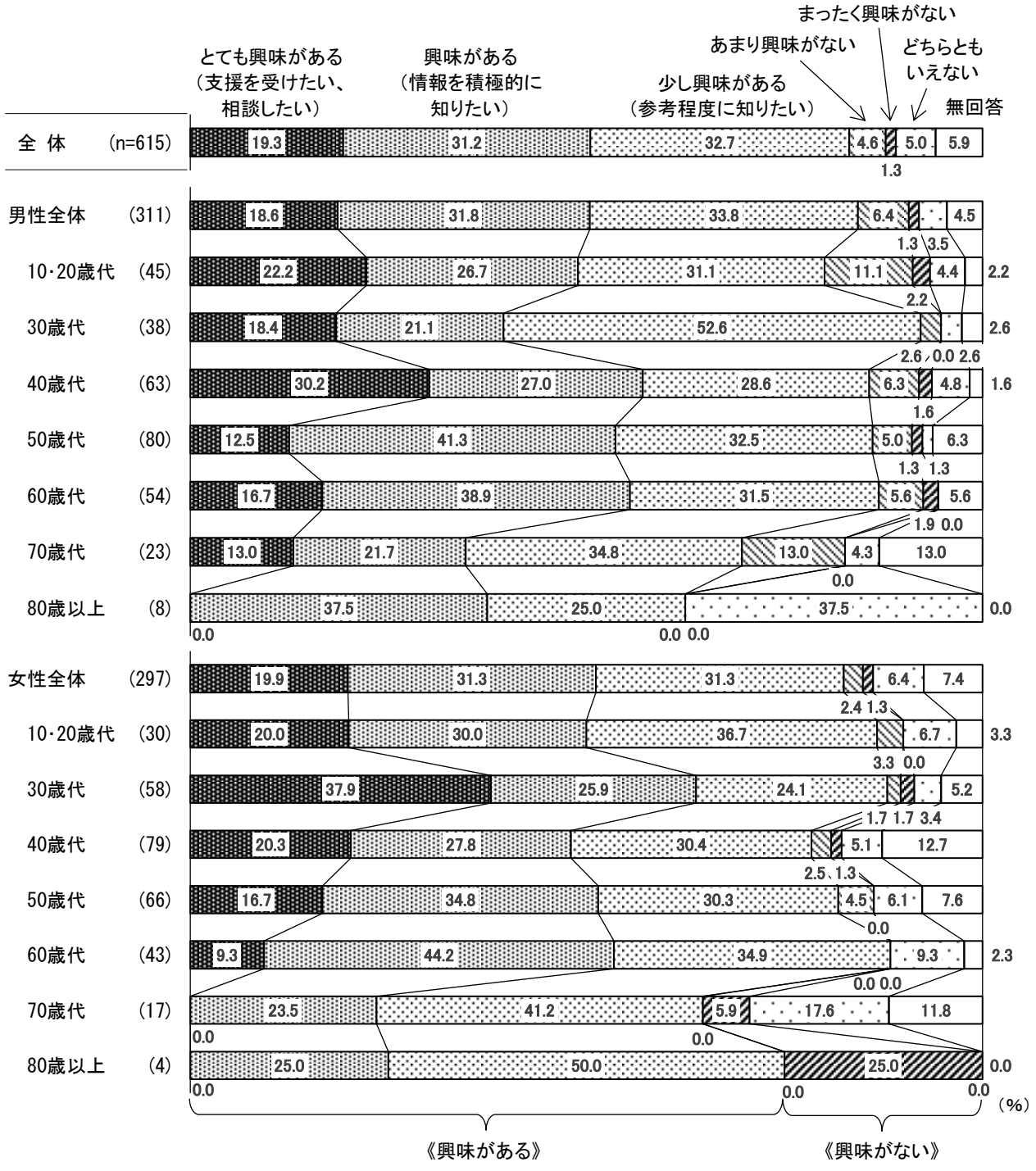
図１６－７－１



起業に関心があるかについて「はい」と答えた方（615 人）に、起業に関する情報や支援にどの程度興味があるかを聞いたところ、「少し興味がある（参考程度に知りたい）」（32.7%）と「興味がある（情報を積極的に知りたい）」（31.2%）が３割を超え、「とても興味がある（支援を受けたい、相談したい）」（19.3%）を合わせた《興味がある》（83.3%）が８割を超えている。

（図１６－７－１）

図１６－７－２　起業に関する情報・支援への興味（性・年齢別）



性・年齢別にみると、「少し興味がある（参考程度に知りたい）」は男性の 30 歳代で５割を超え、「興味がある（情報を積極的に知りたい）」は女性の 60 歳代で４割半ば、男性の 50 歳代で４割を超え、「とても興味がある（支援を受けたい、相談したい）」は女性の 30 歳代で４割近く、男性の 40 歳代で３割となっている。《興味がある》は男性の 30 歳代で９割を超え、男性の 60 歳代、女性の 10・20 歳代、30 歳代、60 歳代で９割近くとなっている。（図１６－７－２）

なお、基数(n)が 30 に満たない層については参考値とする。

世 田 谷 区 民 意 識 調 査 ２ ０ ２ ６

令和８年（2026 年）９月発行（広報印刷物登録番号 No. ２４７８）

発　行　　世田谷区政策経営部広報広聴課
〒154-8504　東京都世田谷区世田谷４丁目 21 番 27 号
電話：０３（５４３２）２０１４
ファクシミリ：０３（５４３２）３００１

実　施　　株式会社アダムスコミュニケーション
〒168-0074　東京都杉並区上高井戸１丁目８番 17 号
ブライトコアビル新館６階
電話：０３（６８４７）５７５７
ファクシミリ：０３（６８４７）５７５６